令和３年度決算に係る行政報告書

（主要な施策の成果を説明する書類）

令和４年８月

埼玉県加須市

目　　次

Ⅰ　財政の状況（一般会計）

１　歳入 …… １
２　歳出 …… ２
３　収支 …… ５
４　市税 …… ６
５　地方債等（一般会計・全会計） …… ７
６　財政構造（普通会計） …… １１
７　地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要した経費 …… １２
８　森林環境譲与税の使途 …… １４

Ⅱ　一般会計の状況（主要な事業の実績・成果　予算科目別）

１款　議会費　１項　議会費 …… １７
２款　総務費　１項　総務管理費 …… ２１
２款　総務費　２項　徴税費 …… １４６
２款　総務費　３項　戸籍住民基本台帳費 …… １５４
２款　総務費　４項　選挙費 …… １６２
２款　総務費　５項　統計調査費 …… １６７
２款　総務費　６項　監査委員費 …… １７０
３款　民生費　１項　社会福祉費 …… １７１
３款　民生費　２項　児童福祉費 …… ２４７
３款　民生費　３項　生活保護費 …… ３０７
３款　民生費　４項　災害救助費 …… ３１１
４款　衛生費　１項　保健衛生費 …… ３１４
４款　衛生費　２項　清掃費 …… ３７８
５款　労働費　１項　労働諸費 …… ３８７
６款　農林水産業費　１項　農業費 …… ３９６
７款　商工費　１項　商工費 …… ４４４
８款　土木費　１項　土木管理費 …… ４７１
８款　土木費　２項　道路橋りょう費 …… ４７５
８款　土木費　３項　河川費 …… ４９１
８款　土木費　４項　都市計画費 …… ４９３
８款　土木費　５項　住宅費 …… ５１３
９款　消防費　１項　消防費 …… ５１５
１０款　教育費　１項　教育総務費 …… ５３５
１０款　教育費　２項　小学校費 …… ５５７
１０款　教育費　３項　中学校費 …… ５６４
１０款　教育費　４項　幼稚園費 …… ５７２
１０款　教育費　５項　社会教育費 …… ５７４
１０款　教育費　６項　保健体育費 …… ６１３
１１款　公債費　１項　公債費 …… ６３４
１２款　予備費　１項　予備費 …… ６３５

Ⅲ　特別会計の状況

国民健康保険事業 …… ６３９
国民健康保険直営診療所 …… ６４６
後期高齢者医療 …… ６４７
介護保険事業 …… ６５０
農業集落排水事業 …… ６６３
野中土地区画整理事業 …… ６６５
栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業 …… ６６８
河野博士育英事業 …… ６６９

Ⅳ　ゼロ予算事業の状況（実績・成果　部課順）

…… ６７３

この報告書は、地方自治法第233条及び加須市予算規則第29条に基づき、令和3年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類として作成したものである。

当該決算年度に、どういう予算に基づいて、何にどう取り組み、結果としてどんな事業実績や成果をあげることができたか等について、原則として職員人件費を除くすべての予算事業について、具体的な数値等で、より見やすく分かりやすくとりまとめた。

なお、成果を数値化できないもの等については、事業を行うに当たり、特に意を用いたことや改善したこと等を記載するように努めた。

また、ゼロ予算事業として、予算措置は伴わないものの職員の創意工夫や市民の皆さんとのパートナーシップなどにより市民サービスを向上させる事業についての実績・成果も同様にとりまとめた。

表記について

主な事業の実績・成果については、過去5年分の実績も合わせて表に掲載し、より分かりやすくデータ化した。

事業名に【繰越明許】と表記されている事業は、令和2年度から繰越し、令和3年度に実施されたものである。

Ⅰ　財政の状況（一般会計）

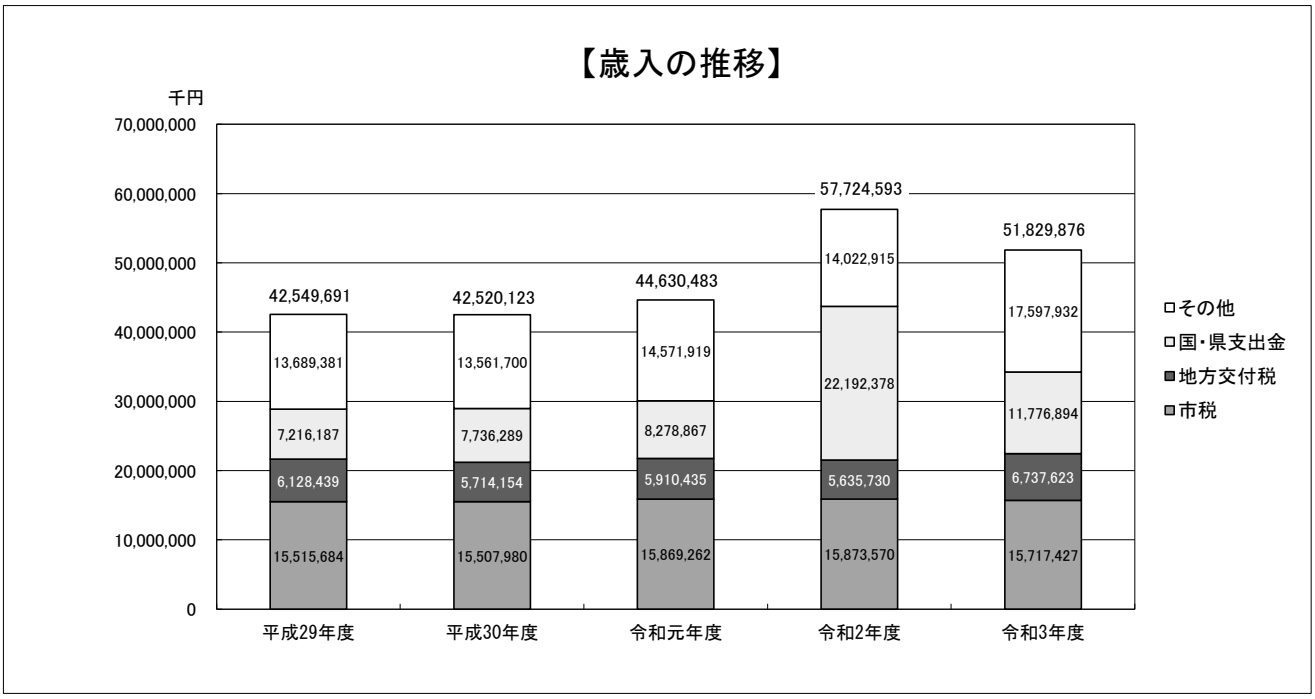
１　歳入

（単位：千円）

区分	令和3年度					令和2年度				
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）
市税	15,717,427	30.3	▲ 156,143	▲ 1.0	140,401	15,873,570	27.5	4,308	0.0	141,011
地方譲与税	532,639	1.0	12,105	2.3	4,758	520,534	0.9	▲ 159	0.0	4,624
利子割交付金	8,707	0.0	▲ 1,865	▲ 17.6	78	10,572	0.0	495	4.9	94
配当割交付金	85,355	0.2	29,459	52.7	762	55,896	0.1	▲ 9,730	▲ 14.8	497
株式等譲渡所得割交付金	101,281	0.2	34,432	51.5	905	66,849	0.1	27,264	68.9	594
法人事業税交付金	170,639	0.4	93,056	119.9	1,524	77,583	0.1	77,583	皆増	689
地方消費税交付金	2,553,137	4.9	204,980	8.7	22,807	2,348,157	4.1	410,445	21.2	20,860
自動車取得税交付金					0		0.0	▲ 117,445	皆減	0
環境性能割交付金	71,220	0.1	▲ 2,341	▲ 3.2	636	73,561	0.1	38,010	106.9	653
地方特例交付金	302,501	0.6	134,593	80.2	2,702	167,908	0.3	▲ 138,775	▲ 45.3	1,492
地方交付税	6,737,623	13.0	1,101,893	19.6	60,186	5,635,730	9.8	▲ 274,705	▲ 4.6	50,064
（普通）	5,975,723	11.5	1,066,704	21.7	53,380	4,909,019	8.5	▲ 75,326	▲ 1.5	43,609
（特別）	760,180	1.5	36,428	5.0	6,791	723,752	1.3	▲ 201,338	▲ 21.8	6,429
交通安全対策特別交付金	18,380	0.0	▲ 1,344	▲ 6.8	164	19,724	0.0	1,284	7.0	175
分担金及び負担金	216,569	0.4	33,057	18.0	1,935	183,512	0.3	▲ 137,258	▲ 42.8	1,630
使用料及び手数料	463,422	0.9	22,662	5.1	4,140	440,760	0.8	▲ 48,089	▲ 9.8	3,915
国庫支出金	9,178,846	17.7	▲ 10,077,018	▲ 52.3	81,993	19,255,864	33.4	13,593,098	240.0	171,057
県支出金	2,598,048	5.0	▲ 338,466	▲ 11.5	23,208	2,936,514	5.1	320,413	12.2	26,086
財産収入	115,685	0.2	73,256	172.7	1,033	42,429	0.1	▲ 156,843	▲ 78.7	377
寄附金	29,417	0.1	8,656	41.7	263	20,761	0.0	6,418	44.7	184
繰入金	4,486,032	8.7	3,283,173	272.9	40,073	1,202,859	2.1	▲ 174,170	▲ 12.6	10,685
繰越金	5,494,789	10.6	801,997	17.1	49,084	4,692,792	8.1	518,115	12.4	41,688
諸収入	1,012,653	2.0	99,169	10.9	9,046	913,484	1.6	▲ 28,287	▲ 3.0	8,115
市債	1,935,507	3.7	▲ 1,250,026	▲ 39.2	17,289	3,185,533	5.5	▲ 817,863	▲ 20.4	28,298
合計	51,829,876	100.0	▲ 5,894,717	▲ 10.2	462,986	57,724,593	100.0	13,094,110	29.3	512,788

住民基本台帳人口　　令和4年3月31日　111,947人　　令和3年3月31日　112,570人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



2　歳出

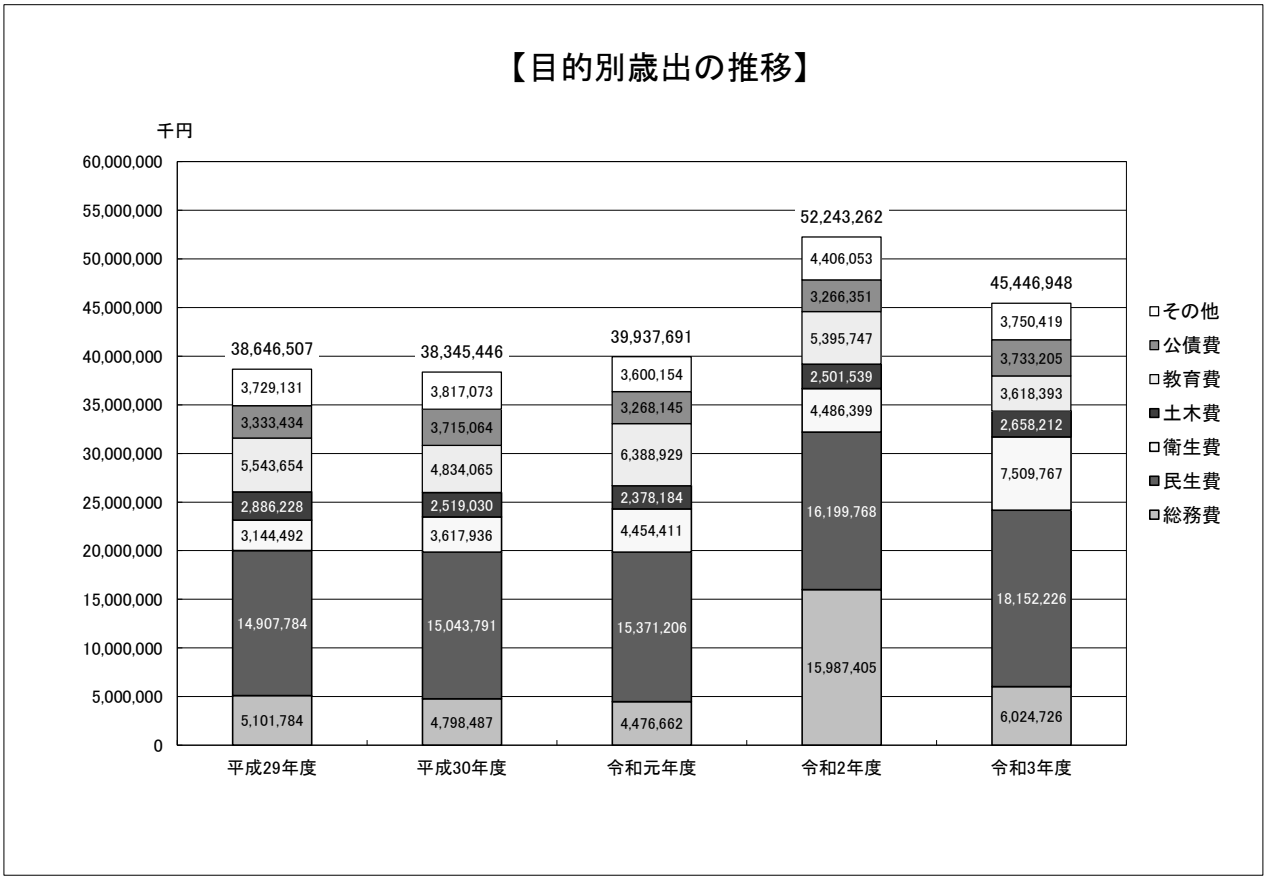
(1) 目的別歳出内訳

（単位：千円）

区　分	令和3年度					令和2年度				
	決算額	構成比(%)	前年比 増減額(千円)	前年比 増減率(%)	人口一人当たり額(円)	決算額	構成比(%)	前年比 増減額(千円)	前年比 増減率(%)	人口一人当たり額(円)
議会費	291,334	0.6	▲ 14,518	▲ 4.7	2,602	305,852	0.6	▲ 2,586	▲ 0.8	2,717
総務費	6,024,726	13.3	▲ 9,962,679	▲ 62.3	53,818	15,987,405	30.6	11,510,743	257.1	142,022
民生費	18,152,226	39.9	1,952,458	12.1	162,150	16,199,768	31.0	828,562	5.4	143,908
衛生費	7,509,767	16.5	3,023,368	67.4	67,083	4,486,399	8.6	31,988	0.7	39,854
労働費	81,185	0.2	▲ 14,342	▲ 15.0	725	95,527	0.2	▲ 8,806	▲ 8.4	849
農林水産業費	1,450,685	3.2	▲ 61,845	▲ 4.1	12,959	1,512,530	2.9	150,053	11.0	13,436
商工費	347,797	0.8	▲ 243,230	▲ 41.2	3,107	591,027	1.1	400,044	209.5	5,250
土木費	2,658,212	5.8	156,673	6.3	23,745	2,501,539	4.8	123,355	5.2	22,222
消防費	1,579,418	3.5	▲ 321,700	▲ 16.9	14,109	1,901,118	3.6	267,194	16.4	16,888
教育費	3,618,393	8.0	▲ 1,777,354	▲ 32.9	32,322	5,395,747	10.3	▲ 993,182	▲ 15.5	47,932
公債費	3,733,205	8.2	466,854	14.3	33,348	3,266,351	6.3	▲ 1,794	▲ 0.1	29,016
諸支出金					0					0
合計	45,446,948	100.0	▲ 6,796,314	▲ 13.0	405,968	52,243,262	100.0	12,305,571	30.8	464,096

住民基本台帳人口　　令和4年3月31日　111,947人　　令和3年3月31日　112,570人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



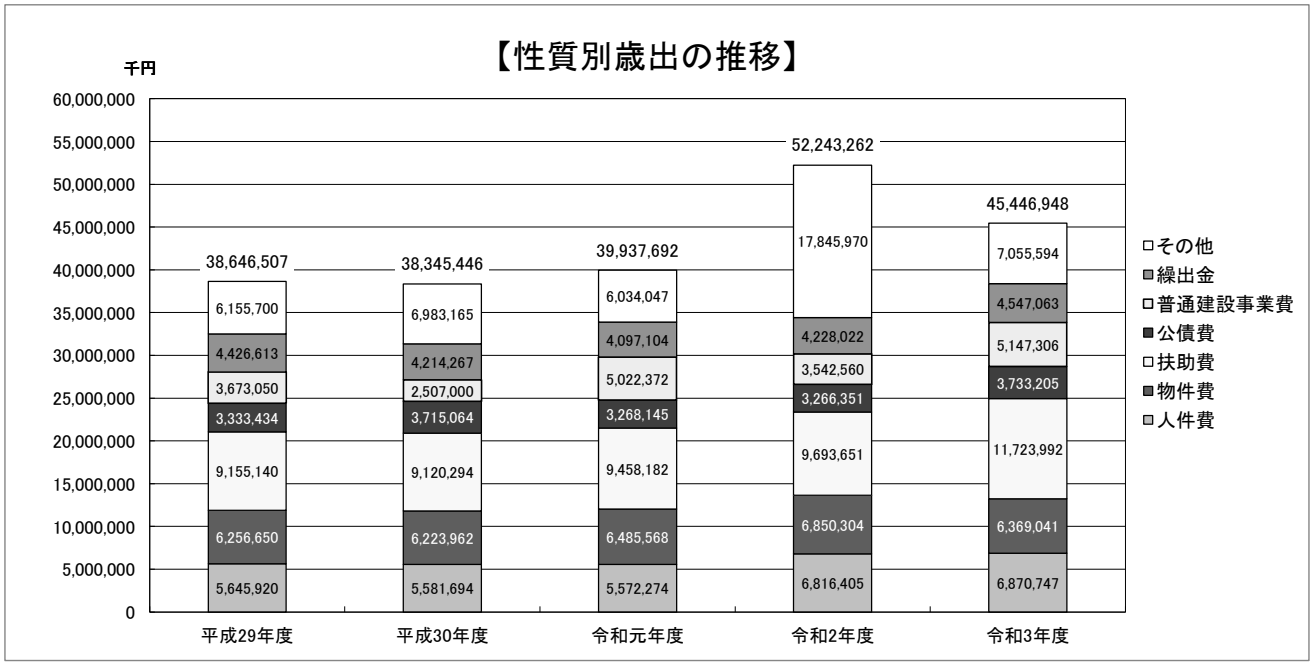
(2) 性質別歳出内訳

（単位：千円）

区　　分	令和3年度						令和2年度		
	決算額	構成比(%)	前年比 増減額(千円)	前年比 増減率(%)	人口一人当たり額(円)	一般財源等	決算額	構成比(%)	人口一人当たり額(円)
人件費	6,870,747	15.1	54,342	0.8	61,375	6,247,931	6,816,405	13.0	60,553
任期の定めのない常勤職員	3,880,402	8.5	▲ 1,085	0.0	34,663	3,536,282	3,881,487	7.4	34,481
再任用職員	80,882	0.2	2,672	3.4	723	80,882	78,210	0.1	695
会計年度任用職員(フルタイム)	161,144	0.4	4,622	3.0	1,439	161,068	156,522	0.3	1,390
会計年度任用職員(パートタイム)	1,008,125	2.2	33,280	3.4	9,005	753,433	974,845	1.9	8,660
物件費	6,369,041	14.0	▲ 481,263	▲ 7.0	56,893	4,308,285	6,850,304	13.1	60,854
維持補修費	1,122,166	2.5	244,039	27.8	10,024	680,612	878,127	1.7	7,801
扶助費	11,723,992	25.8	2,030,341	20.9	104,728	3,027,014	9,693,651	18.6	86,112
補助費等	4,269,298	9.4	▲ 11,854,081	▲ 73.5	38,137	3,613,669	16,123,379	30.9	143,230
公債費	3,733,205	8.2	466,854	14.3	33,348	3,697,807	3,266,351	6.3	29,016
積立金	1,630,797	3.6	871,124	114.7	14,568	1,600,099	759,673	1.5	6,748
投資及び出資金	0	0.0	▲ 20,000	皆減	0	0	20,000	0.0	178
貸付金	33,333	0.1	▲ 18,184	▲ 35.3	298	0	51,517	0.1	458
繰出金	4,547,063	10.0	319,041	7.5	40,618	3,875,518	4,228,022	8.1	37,559
普通建設事業費	5,147,306	11.3	1,604,746	45.3	45,980	550,067	3,542,560	6.8	31,470
補助事業	177,952	0.4	▲ 732,035	▲ 80.4	1,590	49,716	909,987	1.7	8,084
単独事業	4,910,703	10.8	2,316,813	89.3	43,866	486,486	2,593,890	5.0	23,042
その他	58,651	0.1	19,968	51.6	524	13,865	38,683	0.1	344
災害復旧事業費	0	0.0	▲ 13,274	皆減	0	0	13,274	0.0	118
合　　計	45,446,948	100.0	▲ 6,796,314	▲ 13.0	405,968	27,601,002	52,243,262	100.0	464,096

住民基本台帳人口　　令和4年3月31日　111,947人　　令和3年3月31日　112,570人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



(3) 節別歳出内訳

（単位：千円）

区　　分	令和3年度					令和2年度				
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）
1 報酬	1,201,425	2.6	▲ 1,962	▲ 0.2	10,732	1,203,387	2.3	945,676	367.0	10,690
2 給料	2,685,762	5.9	▲ 32,031	▲ 1.2	23,991	2,717,793	5.2	42,877	1.6	24,143
3 職員手当等	1,742,025	3.8	3,275	0.2	15,561	1,738,750	3.3	5,483	0.3	15,446
4 共済費	1,000,958	2.2	▲ 791	▲ 0.1	8,941	1,001,749	1.9	4,175	0.4	8,899
5 災害補償費	41	0.0	30	272.7	0	11	0.0	11	皆増	0
6 恩給及び退職年金					0					0
賃金					0	0	0.0	▲ 910,570	皆減	0
7 報償費	92,640	0.2	23,452	33.9	828	69,188	0.1	▲ 66,052	▲ 48.8	615
8 旅費	44,901	0.1	2,462	5.8	401	42,439	0.1	6,389	17.7	377
9 交際費	462	0.0	▲ 44	▲ 8.7	4	506	0.0	▲ 1,525	▲ 75.1	4
10 需用費	1,885,684	4.2	▲ 47,925	▲ 2.5	16,844	1,933,609	3.7	63,295	3.4	17,177
11 役務費	299,532	0.7	30,805	11.5	2,676	268,727	0.5	17,083	6.8	2,387
12 委託料	6,388,274	14.1	595,660	10.3	57,065	5,792,614	11.1	150,253	2.7	51,458
13 使用料及び賃借料	418,679	0.9	▲ 58,522	▲ 12.3	3,740	477,201	0.9	▲ 32,540	▲ 6.4	4,239
14 工事請負費	1,530,035	3.4	▲ 462,470	▲ 23.2	13,667	1,992,505	3.8	▲ 1,859,411	▲ 48.3	17,700
15 原材料費	12,815	0.0	594	4.9	114	12,221	0.0	▲ 1,377	▲ 10.1	109
16 公有財産購入費	2,882	0.0	▲ 6,303	▲ 68.6	26	9,185	0.0	▲ 437,334	▲ 97.9	82
17 備品購入費	227,152	0.5	▲ 1,035,697	▲ 82.0	2,029	1,262,849	2.4	1,128,985	843.4	11,218
18 負担金、補助及び交付金	8,891,526	19.6	▲ 9,444,024	▲ 51.5	79,426	18,335,550	35.1	12,861,623	235.0	162,881
19 扶助費	10,013,538	22.0	2,226,787	28.6	89,449	7,786,751	14.9	316,165	4.2	69,173
20 貸付金	33,333	0.1	▲ 18,184	▲ 35.3	298	51,517	0.1	▲ 134,144	▲ 72.3	458
21 補償補填及び賠償金	33,773	0.1	▲ 9,286	▲ 21.6	302	43,059	0.1	▲ 2,694	▲ 5.9	383
22 償還金利子及び割引料	3,929,893	8.6	297,072	8.2	35,105	3,632,821	7.0	103,895	2.9	32,272
23 投資及び出資金	0	0.0	▲ 20,000	皆減	0	20,000	0.1	20,000	皆増	178
24 積立金	1,630,798	3.6	871,126	114.7	14,568	759,672	1.5	▲ 99,681	▲ 11.6	6,748
25 寄附金					0					0
26 公課費	2,643	0.0	767	40.9	24	1,876	0.0	▲ 674	▲ 26.4	17
27 繰出金	3,378,178	7.4	288,895	9.4	30,177	3,089,283	5.9	185,663	6.4	27,443
合　　計	45,446,948	100.0	▲ 6,796,314	▲ 13.0	405,968	52,243,262	100.0	12,305,571	30.8	464,096

住民基本台帳人口　　令和4年3月31日　111,947人　　令和3年3月31日　112,570人

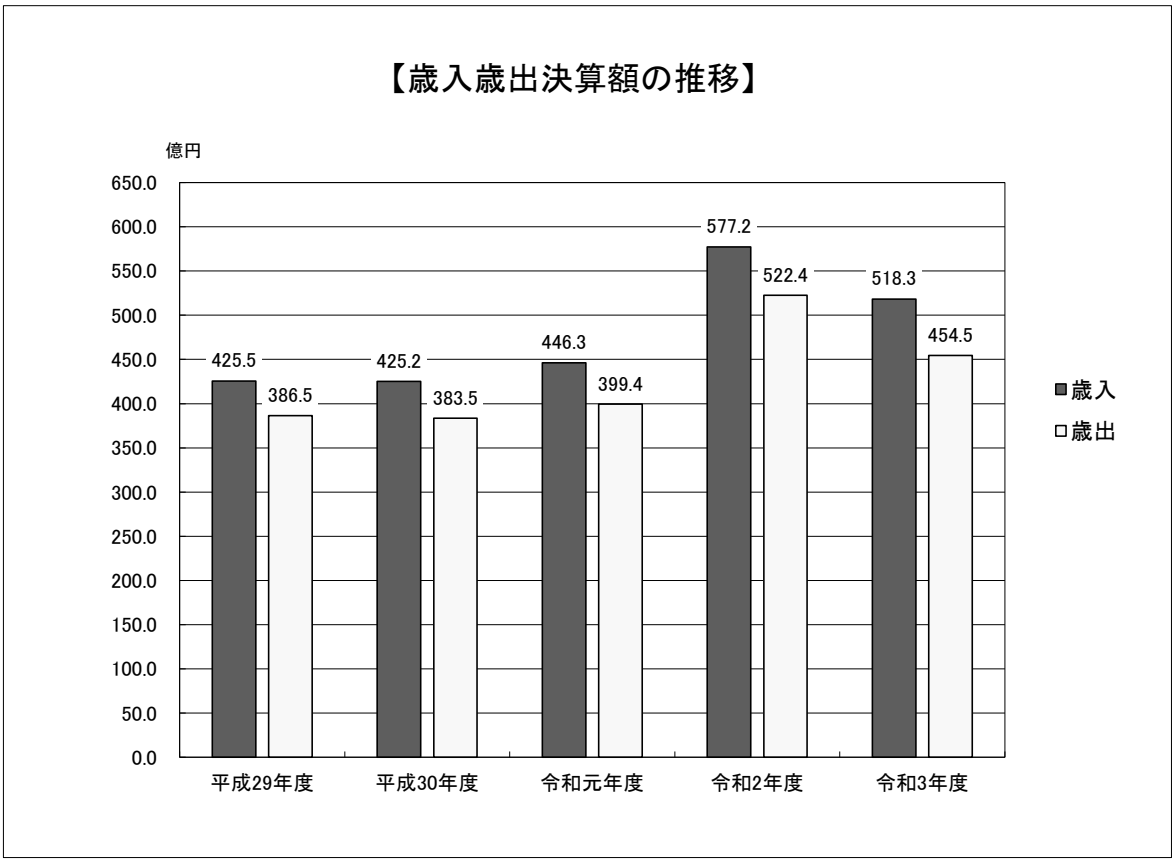
※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

３　収支

（単位：千円）

	令和3年度	前年比（%）	令和2年度	前年比（%）
A　歳入総額	51,829,876	▲ 10.2	57,724,593	29.3
B　歳出総額	45,446,948	▲ 13.0	52,243,262	30.8
C　形式収支（A-B）	6,382,928	16.4	5,481,331	16.8
D　実質収支	5,090,116	8.5	4,692,656	19.5
E　実質収支比率	19.4%		18.6%	
F　単年度収支	397,460	▲ 48.1	765,838	2.7
G　実質的黒字要素の額（財政調整基金積立等）	227,963	17,368.4	1,305	▲ 99.2
H　実質的赤字要素の額（財政調整基金取崩等）	19,127	2,004.2	909	▲ 96.6
I　実質単年度収支（F+G-H）	606,296	▲ 20.9	766,234	▲ 13.3

※　端数整理の結果、形式収支と実質収支が整合しない場合がある。
※　実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む。）で除したもの。



4　市税

（単位：千円）

区分 / 税目別	調定済額 現年課税分 A	調定済額 滞納繰越分 B	調定済額 合計 C	収入済額 現年課税分 D	収入済額 滞納繰越分 E	収入済額 合計 F	構成比 %	収入済額Fの対前年度増減率 %
普通税 1 法定普通税	15,169,819	370,894	15,552,155	15,045,642	145,799	15,202,883	96.7	▲ 0.9
(1)市民税	6,483,143	182,003	6,665,146	6,423,528	70,480	6,494,008	41.3	▲ 0.8
個人均等割	205,893	6,420	212,313	203,837	2,445	206,282	1.3	0.0
所得割	5,372,065	167,504	5,539,569	5,318,404	63,775	5,382,179	34.2	▲ 2.2
法人均等割	333,625	2,978	336,603	331,499	1,567	333,066	2.1	1.1
法人税割	571,560	5,101	576,661	569,788	2,693	572,481	3.6	12.2
(2)固定資産税	7,558,361	174,931	7,733,292	7,498,837	71,117	7,569,954	48.2	▲ 1.8
純固定資産税	7,480,285	174,931	7,655,216	7,420,761	71,117	7,491,878	47.7	▲ 1.8
土地	2,251,608	52,655	2,304,263	2,233,691	21,407	2,255,098	14.3	▲ 0.8
家屋	3,668,814	85,797	3,754,611	3,639,619	34,880	3,674,499	23.4	▲ 1.4
償却資産	1,559,863	36,479	1,596,342	1,547,451	14,830	1,562,281	9.9	▲ 4.3
交付金・納付金	78,076		78,076	78,076		78,076	0.5	▲ 1.3
(3)軽自動車税			374,858			360,063	2.3	3.4
環境性能割			11,442			11,442	0.1	6.0
種別割	349,457	13,959	363,416	344,419	4,202	348,621	2.2	3.4
(4)市たばこ税	778,858	1	778,859	778,858	0	778,858	5.0	5.9
(5)特別土地保有税								
目的税 1 都市計画税	513,748	12,014	525,762	509,660	4,884	514,544	3.3	▲ 3.1
(1)土地	240,018	5,613	245,631	238,108	2,282	240,390	1.5	▲ 0.9
(2)家屋	273,730	6,401	280,131	271,552	2,602	274,154	1.7	▲ 4.9
合計	15,683,567	382,908	16,077,917	15,555,302	150,683	15,717,427	100.0	▲ 1.0
国民健康保険税	2,292,481	401,744	2,694,225	2,154,889	115,560	2,270,449	100.0	▲ 1.1

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

区分 / 税目別	徴収率（%） D／A ×100	前年度	E／B ×100	F／C ×100
普通税 1 法定普通税	99.2	99.0	39.3	97.8
(1)市民税	99.1	99.0	38.7	97.4
個人均等割	99.0	98.9	38.1	97.2
所得割	99.0	98.9	38.1	97.2
法人均等割	99.4	100.0	52.6	98.9
法人税割	99.7	100.0	52.8	99.3
(2)固定資産税	99.2	99.0	40.7	97.9
純固定資産税	99.2	99.0	40.7	97.9
土地	99.2	99.0	40.7	97.9
家屋	99.2	99.0	40.7	97.9
償却資産	99.2	99.0	40.7	97.9
交付金・納付金	100.0	100.0		100.0
(3)軽自動車税				96.1
(4)市たばこ税	100.0	100.0		100.0
(5)特別土地保有税				
目的税 1 都市計画税	99.2	99.0	40.7	97.9
(1)土地	99.2	99.0	40.7	97.9
(2)家屋	99.2	99.0	40.7	97.9
合計	99.2	99.0	39.4	97.8
国民健康保険税	94.0	92.5	28.8	84.3

【都市計画事業費等及び財源内訳（都市計画税等）】

（単位：千円）

区分			令和3年度（決算額）
都市計画事業費等	街路		
	公園		
	下水道		1,845,516
	その他		
	市街地開発事業		152,080
	都市計画事業　計	A	1,997,596
	土地区画整理事業	B	
	地方債償還額	C	1,220,776
	合計（A+B+C）	D	3,218,372
Dの財源内訳	地方債	E	391,500
	支出金	F	185,994
	負担金その他	G	573,415
	都市計画税収入額	H	514,544
	新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	I	6,203
	一般財源等 D－（E+F+G+H+I）	J	1,546,716
	合計		3,218,372
充当割合 $\frac{H+I}{H+I+J}\times 100$		K	25.2%

5　地方債等（一般会計・全会計）

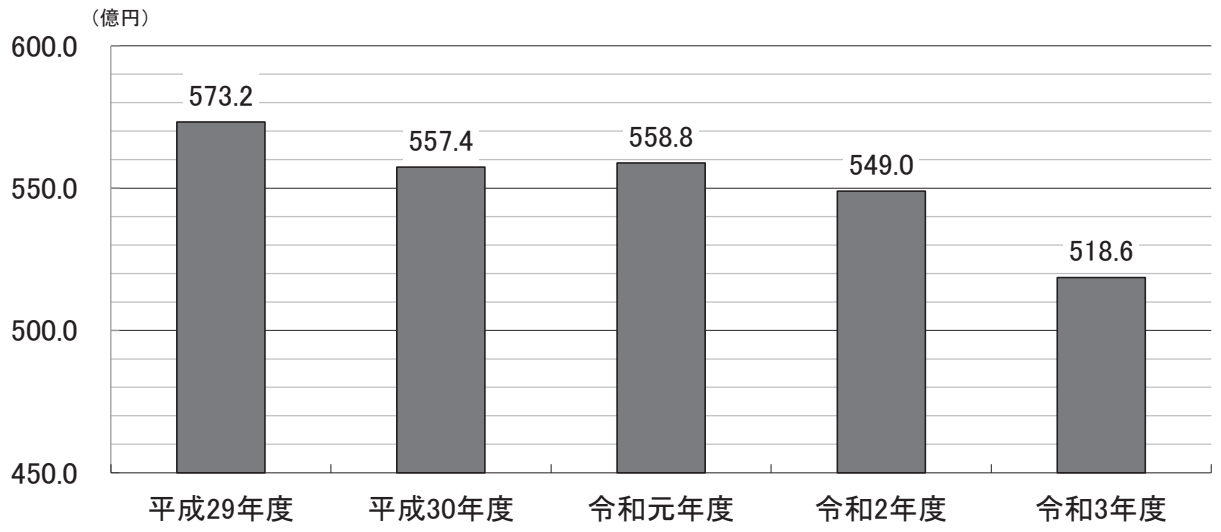
(1) 会計別現在高

（単位：千円）

区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般会計	31,045,196	32,750,333	32,703,694	31,810,937	32,416,519
住宅新築資金等貸付事業特別会計				329	647
野中土地区画整理事業特別会計	121,056	165,202	218,763	285,274	361,915
栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計		8,888	18,908	34,926	57,112
普通会計	31,166,252	32,924,423	32,941,365	32,131,467	32,836,192
国民健康保険直営診療所特別会計					
農業集落排水事業特別会計	3,360,338	3,670,433	3,974,517	4,272,707	4,527,121
野中土地区画整理事業特別会計					
水道事業会計	8,004,768	8,313,879	8,315,417	7,973,091	7,865,631
下水道事業会計	9,120,694	9,717,423	10,394,193	11,050,767	11,718,185
公営事業会計	20,485,800	21,701,735	22,684,127	23,296,566	24,110,938
埼玉東部消防組合	208,926	270,400	257,300	311,470	372,040
一部事務組合	208,926	270,400	257,300	311,470	372,040
合計	51,860,978	54,896,558	55,882,792	55,739,503	57,319,171
増減額	▲ 3,035,580	▲ 986,234	143,289	▲ 1,579,668	69,306

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。
※　一部事務組合は、借入ごとの構成市町の負担割合に基づく加須市負担分である。

【全ての地方債等現在高の推移】



(2) 借入先別・利率別現在高（一般会計）

		政府資金				地方公共団体金融機構
		財政融資資金	郵便貯金・簡易生命保険管理機構		小計	
			（旧郵貯資金）	（旧簡保資金）		
令和2年度現在高 A		13,915,369		435,111	14,350,480	10,129,119
令和3年度発行額 B		319,236			319,236	1,485,371
令和3年度元金償還額 C		1,565,781		147,976	1,713,757	831,611
差引現在高 A＋B－C		12,668,824		287,135	12,955,959	10,782,879
差引現在高の利率別内訳	0.5% 以下	10,021,054		142,596	10,163,650	9,118,396
	1.0% 以下	2,013,557		6,682	2,020,239	1,494,715
	1.5% 以下	29,202			29,202	
	2.0% 以下	541,957		137,857	679,814	159,755
	2.5% 以下	36,077			36,077	4,977
	3.0% 以下	2,384			2,384	2,375
	3.5% 以下	1,170			1,170	966
	4.0% 以下					
	4.5% 以下	18,822			18,822	
	5.0% 以下	4,601			4,601	1,695
	5.5% 以下					
	6.0% 以下					
	6.5% 以下					
	7.0% 以下					
	7.0% 超					
証書借入分		12,668,824		287,135	12,955,959	10,782,879
証券発行分						
割合（％）		40.8		0.9	41.7	34.7

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

（単位：千円）

市中銀行等	国の予算貸付・政府関係機関貸付	共済等	埼玉県	合　　計	割合（%）
6,587,664	33,973	670,197	978,900	32,750,333	
130,900				1,935,507	
979,415	4,247	32,019	79,595	3,640,644	
5,739,149	29,726	638,178	899,305	31,045,196	
5,729,099	29,726	400,000	899,305	26,340,176	84.9
		215,353		3,730,307	12.0
		22,825		52,027	0.2
10,050				849,619	2.7
				41,054	0.1
				4,759	0.0
				2,136	0.0
				18,822	0.1
				6,296	0.0
5,739,149	29,726	638,178	899,305	31,045,196	100.0
18.5	0.1	2.1	2.9	100.0	

(3) 目的別現在高（一般会計）

（単位：千円）

区　　分	令和2年度 現在高 A	令和3年度 発行額 B	令和3年度元利償還額			差引現在高 A＋B－C	割合 %
			元金 C	利　子	計		
総務債	1,213,610	299,900	163,834	1,781	165,615	1,349,676	4.4
民生債	369,164	0	71,547	527	72,074	297,617	1.0
衛生債	1,320,140	0	65,940	5,622	71,562	1,254,200	4.0
農林水産業債	289,021	53,800	36,682	605	37,287	306,139	1.0
土木債	227,372	18,100	51,462	2,565	54,027	194,009	0.6
消防債	813,358	3,300	249,947	3,776	253,723	566,711	1.8
教育債	7,125,030	16,300	1,134,929	26,265	1,161,193	6,096,401	19.6
減税補てん債	221,811	0	67,094	457	67,551	154,718	0.5
減収補てん債	104,067	0	0	3	3	104,067	0.3
臨時財政対策債	20,976,760	1,544,107	1,799,209	50,960	1,850,170	20,721,658	66.8
合　　計	32,750,333	1,935,507	3,640,644	92,561	3,733,205	31,045,196	100.0

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

６　財政構造（普通会計）

（単位：千円）

区　　分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
1　形式収支 （前年度比（％））	6,387,709 （　16.1）	5,499,566 （　16.8）	4,710,003 （　12.4）	4,191,014 （　7.0）	3,918,136 （　27.7）
2　実質収支 （前年度比（％））	5,060,230 （　9.0）	4,644,224 （　18.2）	3,927,970 （　23.9）	3,170,530 （　▲ 12.1）	3,607,034 （　44.1）
3　実質収支比率（％）	19.3	18.4	16.1	13.0	14.8
4　単年度収支	416,006	716,254	757,440	▲ 436,504	1,104,371
5　実質単年度収支	624,842	716,650	894,938	358,598	491,348
6　財政力指数	0.737	0.756	0.754	0.752	0.749
7　経常収支比率（％）	87.9 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 93.3%）	91.8 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 97.4%）	89.3 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 94.0%）	91.6 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 97.5%）	88.9 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 95.0%）
8　実質公債費比率（％）	4.5	4.4	4.8	5.5	6.0
9　一般財源比率（％）	65.6	56.7	67.2	72.0	69.6
10　義務的経費比率（％）	49.1	37.9	45.8	48.0	47.0

※　（　）内は、前年度比増減割合。

※　普通会計とは、総務省の定める会計区分のひとつで、一般会計・特別会計で経理する事業の範囲が自治体ごとに異なっているため、統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分。
当市の普通会計は、次の会計を合算したもの。
・一般会計　・住宅新築資金等貸付事業特別会計　・不動岡土地区画整理事業特別会計
・三俣第二土地区画整理事業特別会計　・野中土地区画整理事業特別会計（一部）
・栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計　・河野博士育英事業特別会計

※　平成26年度からは不動岡土地区画整理事業特別会計を、平成28年度からは三俣第二土地区画整理事業特別会計を加えた数値。（事業が完了し、公営企業会計から普通会計へ移行）

※　不動岡土地区画整理事業特別会計及び三俣第二土地区画整理事業特別会計は、平成29年度末をもって廃止。
住宅新築資金等貸付事業特別会計は令和2年度末をもって廃止。

※　実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む）で除したもの。

地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる
社会保障4経費その他社会保障施策に要した経費

（歳入）
地方消費税交付金（社会保障財源化分）　1,360,433 千円
（歳出）
社会保障4経費その他社会保障施策に要した経費　14,178,741 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要した経費】　（単位：千円）

事業名		経費	財源内訳 特定財源 国県支出金	市債	その他	一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
社会福祉	戦没者遺族支援事業	520				520	104
	更生保護活動支援事業	880				880	175
	民生委員・児童委員活動推進事業	26,575	17,296			9,279	1,846
	生活困窮者住居確保給付事業	7,554	5,760			1,794	357
	生活困窮者学習支援事業	5,998	2,999			2,999	597
	中国残留邦人等支援事業	4,399				4,399	875
	障害（児）者生活サポート事業	20,490	2,000			18,490	3,679
	心身障害者生活ホーム事業	902	450			452	90
	重度心身障害者医療費支給事業	175,209	86,005			89,204	17,749
	在宅障害者おむつ支給事業	3,959				3,959	788
	特別障害者手当等支給事業	57,581	42,839			14,742	2,933
	在宅重度心身障害者手当支給事業	51,610	24,967			26,643	5,301
	重度視覚障害者介助手当支給事業	936				936	186
	在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業	1,650	825			825	164
	身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業	46				46	9
	障害者福祉団体支援事業	561				561	112
	障がい者訪問サービス事業	244,347	172,265			72,082	14,342
	障がい者日中活動サービス事業	1,288,617	908,475			380,142	75,638
	障がい者居住サービス事業	577,150	406,891			170,259	33,877
	障がい者相談管理事業	23,954	8,351			15,603	3,105
	補装具費支給事業	14,732	10,826			3,906	777
	自立支援医療費支給事業	122,602	120,717			1,885	375
	障がい児発達支援事業	358,008	226,143			131,865	26,237
	障がい者成年後見制度利用支援事業	244	150			94	19
	訪問入浴サービス事業	5,450	3,344			2,106	419
	日中一時支援事業	17	10			7	1
	地域活動支援センター事業	8,743			3,776	4,967	988
	移動支援事業	21,752	13,346			8,406	1,673
	障害（児）者日常生活用具給付等事業	21,485	13,172			8,313	1,654
	障害者相談支援事業	10,867				10,867	2,162
	障害者就労支援事業	3,125				3,125	622
	障害者スポーツ交流事業	69				69	14
	障害者コミュニケーション支援事業	3,268	2,704			564	112
	社会参加促進事業	7,743				7,743	1,541
	外国人高齢者福祉手当支給事業	120				120	24
	老人クラブ支援事業	5,660	1,160			4,500	895
	ひとり暮らし高齢者地域交流助成事業	12				12	2
	ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業	10,590				10,590	2,107
	家族介護用品支給事業	2,882				2,882	573
	緊急通報システム整備事業	2,555				2,555	508
	配食サービス事業	13,981				13,981	2,782
	生活管理指導短期入所事業	675				675	134
	養護老人ホーム入所事業	48,224			8,910	39,314	7,822
	敬老祝金支給事業	45,550				45,550	9,063
	敬老会助成事業	5,053				5,053	1,005
	介護サービス利用者負担助成事業	30,494				30,494	6,067
	産後支援ヘルパー派遣事業	477			89	388	77
	産後サポート事業	77	39			38	8
	産後ケア事業	506	135		21	350	70
	子育て支援医療費支給事業	285,242	38,656			246,586	49,064
	未熟児養育医療給付事業	5,611	4,187			1,424	283
	遺児手当事業	2,859				2,859	569
	多子世帯学童保育料軽減事業	5,941				5,941	1,182
	子育てのための施設等利用費支給事業	63,695	32,874			30,821	6,133
	教育・保育に係る教材費等補助事業	2,367	433			1,934	385
	子育て支援センター事業	38,361	33,558			4,803	956
	民間児童館助成事業	3,189				3,189	635
	母子自立支援施設入所事業	6,128	4,530			1,598	318
	母子家庭等自立支援事業	7,328	5,495			1,833	365

【社会保障4経費その他社会保障施策に要した経費】

（単位：千円）

	事業名	経費	財源内訳 特定財源 国県支出金	市債	その他	一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
社会福祉	ひとり親家庭等医療費事業	41,876	20,067			21,809	4,339
	民間保育所運営委託事業	1,554,041	973,222		102,989	477,830	95,075
	民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業	433,011	285,083			147,928	29,434
	低年齢児保育事業	61,828	30,914			30,914	6,151
	長時間保育事業	32,431	22,154			10,277	2,045
	病後児保育事業	11,510	6,412			5,098	1,014
	夜間保育所事業	26,908	17,480			9,428	1,876
	民間保育所障害児保育事業	10,946	3,360			7,586	1,509
	保育所アレルギー等対応特別給食提供事業	600	300			300	60
	一時保育事業	16,151	10,766			5,385	1,072
	避難者支援民間保育所等運営委託事業	3,139	2,039			1,100	219
	民間保育所助成事業	28,362	11,839			16,523	3,288
	保育団体助成事業	232				232	46
	民間放課後児童健全育成事業	260,739	158,870		498	101,371	20,170
	児童手当支給事業	1,561,955	1,324,225			237,730	47,302
	児童扶養手当支給事業	368,578	120,563			248,015	49,348
	避難者支援児童扶養手当支給事業	3,014	1,004			2,010	400
	公立保育所管理運営事業	864				864	172
	あすなろ園管理運営事業	720				720	143
	生活保護事業	1,707,500	1,388,298			319,202	63,512
	被災者支援事業	1,210				1,210	241
	小計	9,784,235	6,567,198		116,283	3,100,754	616,964
社会保険	国民健康保険組合支援事業	594				594	118
	国民健康保険事業特別会計繰出事業	1,053,293	321,169			732,124	145,672
	後期高齢者医療広域連合負担事業	984,073				984,073	195,803
	後期高齢者医療特別会計繰出事業	258,771	182,029			76,742	15,270
	介護保険事業特別会計繰出事業	1,458,795	69,543			1,389,252	276,423
	小計	3,755,526	572,741			3,182,785	633,286
保健衛生	骨髄移植ドナー推進事業	420	70			350	70
	食生活改善推進事業	513				513	102
	地域医療ネットワーク（とねっと）事業	3,884				3,884	773
	初期・２次・３次救急医療支援事業	50,636			1,316	49,320	9,813
	休日小児科診療事業	1,380				1,380	275
	特別休日歯科診療事業	175				175	35
	小児科医による救急講座・子育て相談事業	30				30	6
	不妊治療事業	5,843	864			4,979	991
	妊婦保健事業	58,437				58,437	11,627
	こんにちは赤ちゃん事業	2,845	2,155			690	137
	母子保健推進員訪問活動事業	37				37	7
	健康づくり地域交流事業	943				943	188
	乳幼児健診事業	10,545				10,545	2,098
	親子歯科保健推進事業	836				836	166
	育児健康相談事業	402				402	80
	幼児発達支援事業	2,800				2,800	557
	親と子の食育事業	42				42	8
	がん検診事業	115,879	1,341		2,852	111,686	22,223
	肝炎検診事業	539	359			180	36
	骨粗しょう症予防事業	1,606	835			771	154
	健康相談事業	221	147			74	15
	生活習慣病予防事業	160	40			120	24
	成人歯科保健推進事業	1,938	339			1,599	318
	こころの健康づくり事業	778	404			374	74
	新型コロナウイルス感染症予防対策事業	22,797			5,156	17,641	3,510
	高齢者予防接種事業	82,761				82,761	16,467
	予防接種事業	194,616	5,861			188,755	37,557
	避難者支援予防接種事業	580				580	115
	医療診断センター管理運営事業	77,337			63,480	13,857	2,757
	小計	638,980	12,415		72,804	553,761	110,183
合計		14,178,741	7,152,354		189,087	6,837,300	1,360,433

※上記経費は、令和3年度決算に基づく集計である。
※事務費や事務職員の人件費等は除外している。
※地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

８　森林環境譲与税の使途

（歳入）
森林環境譲与税　9,332 千円

（歳出）
木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等に要した経費（森林環境譲与税充当分）　9,332 千円

【森林環境譲与税の使途】

（単位：千円）

事業区分	事業名	経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち森林環境譲与税
			国県支出金	市債	その他		
森林保護対策	屋敷林等保全事業	935	0	0	0	935	935
木造公共建築物の整備等	公園整備事業	7,732	0	0	0	7,732	7,732
	うち令和3年度から令和4年度への繰越額(※１)	3,013	0	0	0	3,013	3,013
	「風の里」環境保全事業	1,276	0	0	0	1,276	665
合計		9,943	0	0	0	9,943	9,332

※1　騎西総合公園木造橋改修工事等について、材料の入手が困難であったため令和4年度へ繰り越した。

Ⅱ　一般会計の状況

（主要な事業の実績・成果　予算科目別）

事業名	議会運営事業		
担当課	議会事務局	総合振興計画コード	5131-10
款 01	議会費	当初予算額	32,008,000円
項 01	議会費	最終予算額	32,008,000円
目 01	議会費	決算額	20,163,198円

事業の目的	加須市議会基本条例に基づき、市民と行政との協働を推進するため、議決機関としての議会運営を適切に補助し、議会運営の充実を図る。	事業の概要	・事務局機能を発揮し、円滑かつ効率的な議会運営に努めるとともに、会議録（本会議・常任委員会・特別委員会）の公開により、さらに開かれた議会を推進する。 ・住民自治を原則にした請願・陳情等を受理し、議会に諮る。 ・タブレット端末を導入し、活用する。 ・議会改革を推進する。

事業の実績・成果

二元代表制に基づく議決機関として、団体意思の決定機能及び執行機関への監視機能を担う議会の補助を行い、本会議、常任委員会、議会運営委員会を円滑に運営した。

また、予算と決算の審査を特別委員会から分科会方式へ変更し、部門別の常任委員会における審査の活性化や、本会議や委員会において、質疑内容の重複を避けるなどの効率化を図った。

1　会議の開催状況

（1）本会議

区分	会期日数（日）	本会議日数（日）	市長提出議案（件）	諮問（件）	請願（件）	陳情（件）	議員提出議案（件）	議員提出修正案（件）	傍聴者（人）
合計	95	30	101	4	6	0	4	1	221

※市民に開かれた市議会を目指し、質疑及び一般質問の通告書をホームページで事前公表した。

（2）常任委員会

区分	開催日数（日）	条例（件）	予算（件）	決算（件）	請願（件）	陳情（件）	傍聴者（人）
総務常任委員会	5	2	4	1	3	－	9
民生教育常任委員会	5	1	5	5	2	－	2
産業建設常任委員会	5	1	4	5	1	－	0
予算決算常任委員会	11	0	1	1	－	－	71
合計	26	4	14	12	6	－	82

（3）その他の委員会

区分	構成人員（人）	内容	開催日数（日）
議会運営委員会	7	議会運営等について	21

２　会議録、ホームページの作成

議会に対する市民の理解と信頼を深めるため、会議録を作成し、市ホームページ上での公開を行い、より開かれた議会を推進した。また、市議会ホームページを更新し、積極的な情報発信を行い、より開かれた議会の推進に努めた。

（１）加須市議会会議録の作成

会 議 録 名	作成部数（部）	内　　訳	支出額（円）
定例会会議録	60	15 部×4 回	3,701,656
臨時会会議録	15	15 部×1 回	129,264
常任委員会会議録 （総務・民生教育・産業建設）	56	14 部×4 回	1,387,433
予算決算常任委員会会議録	28	14 部×2 回	1,859,054
合　　計	159		7,077,407

（２）市ホームページにおける議会のホームページへのアクセス件数　（単位：件）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
件数	16,233	44,286	127,699	50,917	60,401

３　政務活動費の交付

議員の政策立案能力の向上及び調査研究並びに議会の活性化に資するため必要な経費の一部として、１人当たり月額 12,000 円の政務活動費を会派に交付し、議員の能力の向上や議会の活性化を図った。

また、収支報告書及び領収書をホームページで公表し、適正な運用と透明性の向上に努めた。

（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
交付額	4,032,000	4,032,000	3,408,000	3,972,000	3,888,000
決算額	3,576,853	3,403,359	3,120,333	2,332,694	2,443,551

４　行政視察

隔年で、総務・民生教育・産業建設常任委員会において先進地を視察しているが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

５　議長交際費

「加須市議会議長交際費支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
予算額	800,000	800,000	800,000	800,000	720,000
決算額	440,700	332,400	293,700	148,750	72,300

６　本会議インターネット中継の運用（インターネット中継システム使用料）

市民に開かれた議会の実施に向け、本会議におけるインターネット中継（ライブ中継及び録画中継）を行った。　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
予算額	605,000	1,879,000	1,879,000
決算額	594,000	1,775,400	1,711,600

【繰越明許　令和 3 年度から令和 4 年度へ繰り越す理由】

タブレット端末の導入に係る経費（繰越明許額：3,073,000 円）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、世界的な半導体不足により、タブレット端末の年度内の納品が困難となったため、繰り越した。

（１）消耗品費（タブレット端末ケース及び画面保護フィルム）：215,000 円
（２）委託料（タブレット端末設定作業等一式及び利用者等講習会）：567,000 円
（３）使用料及び賃借料（アプリケーション等使用料一式及びタブレット端末借上料）：1,815,000 円
（４）備品購入費（タブレット端末用ペンシル）：476,000 円

事業名	議会広聴広報事業			
担当課	議会事務局		総合振興計画コード	5131-11
款	01	議会費	当初予算額	3,126,000円
項	01	議会費	最終予算額	3,126,000円
目	01	議会費	決算額	2,634,952円
事業の目的	加須市議会基本条例に基づき、市民に信頼される開かれた議会、より身近な議会を推進するため、積極的に議会情報を発信するとともに、市民との意見交換会等を通じた広聴活動を行う。	事業の概要	市議会だよりを年4回（39,200部）定例会後に発行する。 また、市議会ホームページの内容を充実するとともに、新着情報を随時更新して周知を図る。 さらに、市議会モニター制度、市民や平成国際大学生との意見交換会の開催といった広聴活動を展開する。	

事業の実績・成果

開かれた議会、親しみやすい議会を目指し、かぞ市議会だよりを自治会を通じて配布するとともに、ホームページに掲載し、市議会の審議や活動状況を広く、分かりやすく市民に周知した。

また、市議会議員と市議会モニターとの意見交換会の開催など、広聴活動に取り組んだ。

1　かぞ市議会だよりの発行

発行日	市議会だより名	発行部数（部）	支出額（円）
6月1日	かぞ市議会だより第48号	39,200	642,488
9月1日	かぞ市議会だより第49号	39,200	642,488
12月1日	かぞ市議会だより第50号	39,200	642,488
3月1日	かぞ市議会だより第51号	39,200	642,488
合　計		156,800	2,569,952

2　加須市議会議員と加須市議会モニターとの意見交換会の参加者数

		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
開催数		2回		2回		2回	
参加者数（人）		47		60		49	
内訳	回	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
	市議会モニター	6	8	7	10	9	7
	市議会議員	10	10	10	9	9	9
	傍聴議員	3	10	12	12	9	6

3　加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会の参加者数

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催数		1回	－回	－回
参加者数（人）		55	－	－
内訳	平成国際大学学生	28	－	－
	教員	3	－	－
	市議会議員	24	－	－

例年、加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会を開催しているが、令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

事 業 名		議員年金対策給付費負担事業		
担 当 課		議会事務局	総合振興計画コード	5131-12
款	01	議会費	当 初 予 算 額	41,733,000 円
項	01	議会費	最 終 予 算 額	41,733,000 円
目	01	議会費	決 算 額	41,732,320 円
事業の目的	平成 23 年 5 月末で地方議会議員年金制度が廃止されたことから、適正に議員年金を支給するために必要な負担金を市議会議員共済会へ支払う。	事業の概要	これまでの議員年金は、議員共済会の積立金、共済給付費負担金、共済掛金、特別掛金により支給されていたが、地方議会議員年金制度廃止後の給付に要する費用は、地方議員共済会が保有する残金の積立金を除き、加須市が負担する。	

事業の実績・成果

地方議会議員年金制度の廃止に伴い、経過措置としての給付に要する費用の財源を各地方公共団体が公費で負担するため、総務省及び市議会議員共済会から示された給付費を負担した。

1．負担金 （単位：円）

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
事務負担金	364,000	364,000	364,000	364,000	364,000
市議会議員共済会給付費負担金	50,688,960	48,773,760	47,113,920	45,198,720	41,368,320
合 計	51,052,960	49,137,760	47,477,920	45,562,720	41,732,320

2．年金受給者数等

内 容		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
年金受給者数（人）		93	95	89	86	83
内訳	退職年金	58	54	48	47	45
	遺族年金	35	41	41	39	38
退職年金平均受給額（年額）（円）		889,814	869,680	868,169	881,531	873,513

事業名	ワークシェアリング事業			
担当課	職員課		総合振興計画コード	3112-03
款	02	総務費	当初予算額	10,488,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,282,577円
目	01	一般管理費	決算額	928,194円
事業の目的	会計年度任用職員として任用し市政に参画してもらうとともに、市職員の時間外勤務の抑制及び健康増進に資する。	事業の概要	会計年度任用職員を業務繁忙等により人員を必要としている部署に配置する。	

事業の実績・成果

会計年度任用職員を広報紙やポスター・チラシなどで募集し、業務繁忙等により人員を必要としている部署に人員配置した。

【ワークシェアリング実績】

No.	配置部署	配置人数	配置理由
1	スポーツ振興課	1人	コロンビア共和国オリンピック選手団の受入準備及び滞在期間中の生活サポート業務
2	子育て支援課	1人	子宮頸がん予防接種対象者への予診票送付業務

事業名	秘書事務事業			
担当課	秘書課		総合振興計画コード	5121-04
款	02	総務費	当初予算額	6,519,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	6,519,000円
目	01	一般管理費	決算額	4,676,335円
事業の目的	市長及び副市長の公務を適切に執行する。	事業の概要	市長及び副市長のスケジュール管理、政策秘書業務、市長交際費の適正管理を行う。	

事業の実績・成果

○市長交際費

「加須市市長交際費の支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。

なお、令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、行事等の中止や延期が相次いだことにより、市長交際費の支出も減少した。

【市長交際費の推移】 (単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,800,000
決算額	1,328,700	1,244,604	1,351,540	287,650	289,450

○祝電

叙勲褒章等の受章者に対し、祝電を送った。

【祝電の推移】 (単位:人)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
49	48	38	33	52

事業名	市の花、市の木普及事業		
担当課	総務課	総合振興計画コード	5133-07
款 02	総務費	当初予算額	1,292,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	1,292,000円
目 01	一般管理費	決算額	1,104,964円

事業の目的	事業の概要
・市の花「コスモス」、市の木「サクラ」が市民生活と結びつき、加須市の象徴として市民に末永く愛され、親しまれる花、木として市内全域の普及に努め、併せて市民と行政との協働によるまちづくりの推進を図る。	・市民と協働による市の花、市の木の植樹等を推進する。 ・市の花、市の木の市内における見どころを関係課等と連携して整備、紹介する。 ・市の花、市の木が加須市のＰＲに有効に活用できるものとして、各公共施設等への植樹、外部へ情報を発信する際の封筒や資料への掲載を積極的に行う。

事業の実績・成果

1　市の花「コスモス」

・全自治協力団体及び公共施設にコスモスの種の配付希望を確認し、希望のあった自治協力団体及び公共施設にコスモスの種を配付した。その結果、市内各所及び多くの公共施設でコスモスが咲き、街並みに彩りを加え、市民に親しんでいただくことができた。

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自治協力団体	配付団体数	23	21	20	17	13
	栽培面積(㎡)	7,575	18,822	11,322	6,970	7,660
公共施設	配付施設数	40	39	37	39	44
	栽培面積(㎡)	2,194	2,978	2,796	2,663	3,015

・加須未来館周辺の休耕田等に景観形成作物（コスモス・菜の花）の栽培を実施し、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整の推進を図ることができた。【農業振興課】
〔受託者〕加須市グリーン・ツーリズム振興組合
〔事業面積〕9,097㎡

2　市の木「サクラ」【まちづくり課】

・市公共施設にあるサクラの本数を把握するため、各施設所管課の協力により「サクラ現況台帳」を更新した。(4,964 本)
・加須市役所本庁舎敷地内にサクラの基準木を設定し、開花状況等を市ホームページで周知した。

事 業 名		市民の日記念・顕彰事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	5133-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,048,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,048,000 円
目	01	一般管理費	決 算 額	707,393 円
事業の目的	・「加須市民の日」(3 月 23 日) を記念する事業を展開し、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図る。また、市民顕彰を適時行い、市民と行政との協働によるまちづくりを推進する。	事業の概要	・市の取り組みとして、市民の日記念式典や公共施設の無料化等を行い、また、市民の取り組みとして、民間協賛事業の展開等を行うなど、市と市民が共に市民の日にちなんだ事業を展開する。 ・名誉市民、一般表彰、感謝状の贈呈を行う。	

事業の実績・成果

○加須市民の日記念事業

「加須市民の日を定める条例」の趣旨を踏まえ、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図るため、市民の日（3 月 23 日）を中心として、市の取組及び市民の取組を実施した。

1　「市の取組」の実施内容

3 月 23 日を中心とする 9 日間（3 月 19 日～27 日）に下記の事業を展開し、市民との更なる共有化を図るとともに、市民の郷土意識を高めた。

(1)「令和 3 年度加須市民の日記念式典」の開催

3 月 23 日に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、時間を短縮して開催し、各課において様々な分野で功績等のあった市民及び団体を表彰した。

(2) イベントの実施

市民の日特別給食メニューの提供（小中学校及び幼稚園・保育所）、「私の 323」の募集・紹介、郷土史料展示室（騎西城）特別公開など 7 事業を実施した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため 1 事業を中止）

(3) 有料公共施設等の無料化を実施

シャトルバス、運動公園、体育館、グリーンファームなどの 16 施設等で実施した。

2　「市民の取組」の実施内容（市民の日協賛事業）

「加須市民の日協賛事業募集要項」に基づき、市民団体等から市民の日にちなんだ自発的な取組を募り、実施した。

記念セール・割引など 22 事業を実施していただき、1,896 名が利用した。

○市民顕彰事業

市政の進展及び市民福祉の増進に貢献し、功労のあった個人又は団体に対し、感謝状等を贈呈することにより、活力あるまちづくりへの推進及び市政への参画と協働に対する市民意識の醸成が図られた。

1　市政の進展・市民福祉の増進に功労のあった個人・団体に感謝状を贈呈した。(309 件)

防災防犯、自治協力団体、市のＰＲ、環境衛生、社会福祉等の活動…　加須市感謝状贈呈に関する要綱

事 業 名		自治体間交流事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	5134-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	734,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	734,000 円
目	01	一般管理費	決 算 額	4,360 円
事業の目的	・県内外の自治体との間で、教育、文化、スポーツなど交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図ることを目的とする。		事業の概要	・防災協定関係等にある自治体や、県内外の自治体との間で、教育、文化、スポーツなどの交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図る。 ・姉妹都市等との住民交流を促進するため、該当する事業に対して補助金を交付する。

事業の実績・成果

1　姉妹都市・友好都市交流事業補助金

姉妹都市（栃木県さくら市）、友好都市（福島県双葉町）と住民交流の推進を図るため、1 団体当たり補助対象人数 30 人（訪問事業：1,500 円／人、歓迎事業：1,000 円／人）を限度として、親善及び交流を目的とする事業に補助金を交付する。令和 3 年度はコロナ禍のため、利用団体はなかった。

・訪問事業（最大 45,000 円／団体）〔交付〕0 団体

2　姉妹都市、友好都市との主な交流

(1) 栃木県さくら市

さくら市の名産品・名所等を見る、食べる、体験する「姉妹都市魅力発見グルメツアー」を実施するため、事前打ち合わせとしてさくら市を訪問したが、ツアーは、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止とした。

広報かぞ令和 4 年 3 月号の紙面上において、さくら市ミュージアム荒井寛方記念館で開かれる作品展を「姉妹都市情報」として紹介した。

(2) 福島県双葉町

1 月 19 日に種足小学校の 6 年生がオンラインにより双葉南、双葉北小学校と授業交流を行った。

事 業 名		国際交流推進事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	5135-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,503,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,503,000 円
目	01	一般管理費	決 算 額	428,923 円
事業の目的	・国籍や民族・性別など、互いの差異を認め合い、対等な関係を築き、違いについて理解を深める。	事業の概要	・海外日本語教師のホームステイ先を斡旋する「ワンナイトステイ事業」や、国際交流を行う市内団体への支援を行う。 ・外国人住民が地域社会の一員として共に暮らしていくために必要な支援等を行う。	

事業の実績・成果

1　ワンナイトステイ事業

国際交流基金日本語国際センター及び埼玉県国際交流協会において実施する海外日本語教師のホームステイについて、市内の受入家庭を登録し、ホームステイ受入の斡旋をすることで、身近な国際交流の進展を図った。

年　　度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録家庭数	11	10	9	5	5
受入人数	2	4	4	0（※1）	1（※2）

（※1）新型コロナウイルス感染症予防のため、斡旋団体の事業が中止

（※2）オンラインにて交流会を開催

2　市内在住外国人向け多言語表記配布物等

(1) 市で作成・配布（延べ56種類）

・主な市の配布物等

市ホームページ（8か国）、加須市紹介リーフレット（1か国）、市民プラザかぞ施設案内（1か国）、総合案内表示（1か国）、ごみの分け方・出し方（3か国）、地域別ごみカレンダー（3か国）、災害時における避難場所に配布するコミュニケーション支援ボード（5か国）、ハザードマップ（6か国）、「加須の舞」のイベント用チラシ（1か国）、観光案内看板（1か国）、こいのぼりの紹介（1か国）、うどんの日の紹介（1か国）、母子手帳（9か国）、予防接種予診票（16か国）、観光ガイドパンフレット（クライミングウォールの説明）（1か国）、結核初回質問票（3か国）

(2) 関係機関が作成したものを市で配布（延べ44種類）

・主な配布物等

外国語人権相談ダイヤル・人権相談所案内リーフレット（5か国）、DV相談窓口多言語チラシ（9か国）、かぞにほんごの会「にほんご教室」案内（8か国）、外国人向け新型コロナウイルス相談ホットラインリーフレット（10か国）、交通安全教育テキスト（8か国）、日本年金機構ホームページ・国民年金制度の仕組み（14か国）、NPO法人ブックスタート作成・多言語ブックスタート紹介シート（11か国）

3　団体への助成【生涯学習課】

(1) 団 体 名　日中友好加須市民会議

(2) 助成目的　互いの国の歴史や文化・習慣を見聞きすることで、国際感覚を養うことに寄与

(3) 助成対象　中国人留学生宿泊交流や過疎地域学校支援などの事業及び運営

(4) 内　　容　第39回中国人留学生宿泊交流

令和3年8月27日～29日、2泊3日で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、宿泊交流事業は中止

(5) 団体の解散　会員の高齢化等に伴い、令和3年度を以って解散

事業名	入札契約管理事業			
担当課	管理契約課		総合振興計画コード	5311-23
款	02	総務費	当初予算額	1,610,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,610,000円
目	01	一般管理費	決算額	1,482,743円
事業の目的	適正な公共調達の実施のため、地域性に応じ、透明性、競争性、公正性を確保した入札・契約事務の執行を図る。	事業の概要	・「公共調達改革に関する加須市の取組基本方針」に基づく適正な公共調達の確保 ・適正な公共工事の施工を確保するための業者選定業務の実施 ・電子入札システムを活用し透明性を確保した円滑で効率的な入札契約業務を執行	

事業の実績・成果

加須市が発注する建設工事の入札・契約を適正かつ効率的に行った。一般競争入札については、電子入札システムにて20件実施し、全案件成立した。また、指名競争入札については、電子入札システムにて177件実施し、176件成立した。

設計・調査・測量及び土木施設維持管理の委託については、指名競争入札で電子入札システムにて99件実施し、全案件成立した。

物品購入等に係る入札については、指名競争入札で、154件実施し、144件成立した。

公共施設飲料自動販売機設置の入札については、事前審査型一般競争入札により4箇所実施し、3箇所成立した。

1　建設工事等入札状況

（一般競争入札）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
建設工事	件数（件）	12	15	9	13	20
	金額（円）	1,759,352,400	494,305,200	309,963,500	452,771,000	599,102,900
	平均落札率（%）	96.08	95.80	95.83	95.16	95.98

（指名競争入札）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
建設工事	件数（件）	157	134	137	135	176
	金額（円）	3,291,601,960	2,781,511,120	1,988,906,936	2,166,906,300	2,320,726,829
	平均落札率（%）	95.53	96.44	95.67	95.91	96.48

（注）単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算

（指名競争入札）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
土木施設維持管理 設計・調査・測量	件数（件）	99	102	96	101	99
	金額（円）	431,214,468	542,654,529	370,556,982	450,844,750	462,518,951
	平均落札率（%）	93.82	94.18	94.14	94.61	94.32

（注）単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算

2　物品購入等入札状況

（指名競争入札）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
物品購入等	件　　数（件）	147	120	152	134	144
	金　　額（円）	3,552,030,841	1,367,596,789	4,105,428,276	600,101,433	1,659,326,516
	平均落札率（%）	85.17	83.29	82.03	81.88	84.56

（注）単価契約については、落札金額（単価）に予定数量を掛けた総額で換算

3　公共施設飲料自動販売機設置入札状況

一般競争入札件数 4件中3件成立した。落札金額は計977,509円、平均落札率は210.49%となっている。

事業名	法務相談事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	5312-02
款	02	総務費	当初予算額	1,300,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,300,000円
目	01	一般管理費	決算額	962,676円
事業の目的	法令上の争点を整理し、法的紛争を未然に防止するとともに、発生した訴訟及び審査請求に的確に対応する。	事業の概要	・本事業の定例相談を、毎月1回本庁舎において顧問弁護士と直接相談することにより行う。 ・臨時相談は急を要するときに行うものとする。 ・業務の執行により紛争等が生じたとき、又は生じるおそれがあるときに業務所管課が相談するものとする。 ・行政不服審査法に基づく行政不服審査制度への対応を行う。	

事業の実績・成果

1　顧問弁護士相談

顧問弁護士契約（単年度契約）を締結し、市役所における定例相談及び電子メールによる臨時相談を行った。

顧問弁護士からの的確な助言等を業務に生かし、問題の発生を未然に防止するとともに、円滑な行政の遂行が図られた。

【令和3年度の定例相談件数等】

総数32件（うち電子メール等による臨時相談14件）

（相談部局等の内訳）　（単位：件）

総合政策部	6	都市整備部	1
総務部	7	生涯学習部	7
環境安全部	3	学校教育部	1
経済部	2	農業委員会	1
福祉部	4	合計	32

【相談件数の推移】　（単位：件）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数	26	19	19	23	32

2　訴訟への対応

・損害賠償請求事件（令和元年（ワ）第1710号）
令和3年6月25日　終結

※平成29年6月6日、給食準備のため、小学5年生男児が一人で丸食缶を運搬中にバランスを崩し、丸食缶に入っていた味噌汁が当該児童にかかり、火傷を負った事故が発生したことについて、事故発生を未然に防ぐべき校長及び教員の注意義務違反があるとして、国家賠償法に基づき、市に損害賠償を請求した事件

・障害者自立支援給付費不正請求に係る損害賠償請求事件（令和3年（ワ）第222号）
令和3年6月24日　終結

※障害者自立支援給付費の不正請求に係る市による再三にわたる支払の催告にもかかわらず、これを支払わないため、支払督促の申立てを行ったところ、督促異議の申立てがあったことから、民事訴訟法第395条の規定による訴えの提起とみなされた事件

3　審査請求への対応

・市民税・県民税延滞金額の減免申請に対する棄却処分に係る審査請求事件（令和3年第1号）
令和3年11月16日　受付、令和4年1月26日　棄却裁決

・保育所等の利用申込みに対する施設利用保留処分に係る審査請求事件（令和4年第1号）
令和4年2月24日　受付

事 業 名		人事管理事業		
担 当 課		職員課	総合振興計画コード	5313-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	49,269,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	58,474,423 円
目	01	一般管理費	決 算 額	52,008,124 円

事業の目的	・自立した自治体経営を目指すため、人材を経営資源の１つと捉え、人材育成事業と組合わせながら、公平・公正で職員一人ひとりの能力を発揮させる人事管理を行う。 ・職員が健康で安全に働き続けられる職場とするため、健康診断や産業医による健康相談など労働安全衛生対策の充実を図る。	事業の概要	・職員採用試験、職員昇任試験(主幹職・主査職)や人事評価などを実施する。 ・定期健康診断や産業医による健康相談 ・ストレスチェックや産業医による健康相談 ・人事配置・給与支給・服務管理（分限懲戒等） ・会計年度任用職員の任用管理

事業の実績・成果

1　職員昇任試験の実施

(1) 一次試験（筆記・論文試験）：令和３年 11 月 23 日
　　二次試験（面接試験）：令和４年１月 19 日・20 日

(2) 受験者数及び合格者数の推移　（単位：人）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
主査職	対象者数	98	87	81	69	70
	受験者数	38	33	31	19	16
	受 験 率	38.8%	37.9%	38.3%	27.5%	22.9%
	合格者数	15	12	16	9	10
主幹職	対象者数	130	134	128	132	136
	受験者数	29	27	19	16	16
	受 験 率	22.3%	20.1%	14.8%	12.1%	11.8%
	合格者数	10	11	13	11	11

2　職員採用試験の実施

(1) 一次試験（教養試験・適性検査・論文・専門試験）：令和３年９月 19 日
　　二次試験（面接試験１回目）：令和３年 10 月 16 日
　　（面接試験２回目）：令和３年 10 月 19 日・20 日・21 日・27 日
・ポスターやＰＲ動画を作成し周知することで、受験者数の確保に努めた。
・実施方法等について適宜見直しを行い、人材の確保に努めた。

(2) 受験者数及び採用者数の推移　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
受験者数	107	67	77	128	105
採用者数	27	14	16	24	21

※採用者数は翌年４月１日現在
※職種別内訳：一般事務 13 人、一般事務(埋蔵文化財)１人、保健師２人、
　　社会福祉士２人、土木１人、建築１人、幼稚園教諭１人

3　職員表彰の実施

(1)　永年勤続表彰　　勤続 30 年となった職員を表彰　30 人
(2)　功績表彰　　他の職員の模範となり推奨すべき業績のあった職員を表彰　８件(19 人)

4　健康月間の実施

7月を健康月間と定め、職員のストレスチェックを実施(受検者数1,282人：受検率96.6%)し、同7月に労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断を実施(一般健診1,108人：受診率81.1%)した。

5　会計年度任用職員の任用管理

(1)会計年度任用職員の任用管理業務の一部（雇用保険資格取得・喪失手続き、社会保険標準報酬月額の計算など）を外部委託することで事務の適正化と効率化を図った。

事業名	人材育成事業			
担当課	職員課		総合振興計画コード	5313-04
款	02	総務費	当初予算額	4,807,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	4,807,000円
目	01	一般管理費	決算額	1,949,439円

事業の目的	事業の概要
自立した自治体経営を目指すため、加須市職員の目指すべき「職員像」を明らかにし、総合的視点から職員の人材育成を図る。	・自主研修を実施する。 ・鴻巣市、行田市及び羽生市と共同で実施している「四市共同研修会」や彩の国さいたま人づくり広域連合で行われる各種研修へ計画的に職員を派遣する。 ・自治大学校や市町村アカデミー等への派遣研修を行う。 ・新規採用職員サポーター制度を実施する。

事業の実績・成果

1　各種研修の実施

職員の能力・資質を伸ばし、市民サービスの向上につなげるため、職員研修実施計画に基づき各種研修を実施した。

(1) 令和３年度　研修実績

○市の自主研修　（単位：人）

新規採用職員研修(前期・後期)	23	職員人権問題研修	442	ハラスメント研修	557
メンタルヘルス研修（ラインケア）	56	メンタルヘルス研修（セルフケア）	42	コンプライアンス研修	654
タイムマネジメント研修	555	新任課長研修	13	IT 研修（e ラーニング研修）	300
人事評価（評価者）研修	72	コミュニケーション研修	34	財務会計事務研修	52

※コロナ対応として、全職員対象の研修であるハラスメント研修・タイムマネジメント研修は、2 回実施のうち、1 回はパストラルかぞ小ホールから大ホールへ変更した。

○四市共同研修　（単位：人）

初級職員研修	14	ＯＪＴ研修	16	民法・行政法研修	46
法制執務研修	16	監督者研修	22		

○彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修　（単位：人）

課長級研修	12	課長補佐級研修	13	主査級研修	12
中級研修（実践）	13	中級研修（基礎）	15	階層別選択等研修	10
講師養成研修	1	民間企業派遣研修	2		

○その他機関への派遣研修　（単位：人）

自治大学校事後研修会	2	国土交通大学校	1	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）	3
地域活性化センターとの連携協定に基づいた事業	18	埼玉県	4	一般財団法人地域活性化センター	1
安全衛生推進者養成講習等	5				

(2) 研修人数の推移　　(単位：人)

研　　修　　名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市の自主研修	3,127	2,292	2,188	2,297	2,800
四市共同研修	97	70	77	39	114
彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修	109	103	77	81	78
その他機関への派遣研修	27	37	130	27	34
合　　計	3,360	2,502	2,472	2,444	3,026

2　新規採用職員サポーター制度の実施

対象者数：新規採用職員23人

実施期間：令和3年4月～9月

所属長の推薦をもとにサポーターを指名し、所属長の作成した指導案に基づいて、サポーターを中心に各課において新規採用職員へ指導・助言を行った。

事業名		職員福利厚生事業		
担当課		職員課	総合振興計画コード	5313-06
款	02	総務費	当初予算額	1,520,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,520,000円
目	01	一般管理費	決算額	19,026円
事業の目的	職員の福利厚生の充実を図るとともに、自立した自治体経営を目指すため、職員間の交流による連携(絆)を深め、組織力を向上させる。	事業の概要	・加須市役所職員厚生会の活動を支援する。 ・職員用の医薬品を購入し、配備する。	

事業の実績・成果

1　職員厚生会実施事業

コロナ対策のため、全事業未実施。

【補助金の推移】　　(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市補助金	2,523	1,873	1,633	0	0

2　職員用の常備医薬品を購入し、本庁舎及び各総合支所へ配備した。

事業名		施工等管理事業			
担当課		管理契約課		総合振興計画コード	5314-03
款	02	総務費		当初予算額	197,000円
項	01	総務管理費		最終予算額	197,000円
目	01	一般管理費		決算額	146,237円
事業の目的	・市が発注する建設工事及び委託に係る契約の適正な履行の確保と給付の完了の確認及び良質な成果品を確保するため、検査を適正かつ円滑に執行する。 ・市発注工事における優秀な成績の建設工事に対し、その施工業者を表彰することにより、請負業者の建設意欲を高め、工事の質的向上を図る。		事業の概要	・監督員及び指定検査員を対象とした研修会を実施するために、研修資料を作成し、研修会の機会を増やし研修会を実施する。 ・優秀建設工事表彰式を実施するために、優秀建設工事表彰審査委員会を開催し、表彰対象工事を選定する。	

事業の実績・成果

令和3年度の入札による工事169件、委託140件、合計309件。随意契約による工事118件、委託270件、合計388件の検査を執行した結果、すべて合格であり良質な成果品を確保することが出来た。

1　加須市優秀建設工事表彰式を開催して、市発注工事における優秀な成績の工事に対し、受注者と技術者を表彰し受注者及び技術者の建設意欲を高め、併せて工事の質的向上を図った。

開催日　　令和3年8月18日（水）
会　場　　北川辺文化・学習センター　みのり　多目的ホール
表彰者　　3者　（土木業者2者、電気・機械業者1者）

2　監督員及び指定検査員研修会は、研修資料を作成して新規に指定検査員になった職員を対象に、7月5日、7月14日、1月19日の3回研修会を実施した結果、監督員や指定検査員からの質問や指定検査員の作成した検査書類の記入ミスが減少した。

3　検査員研修については、埼玉県行田県土整備事務所の土木工事の検査に、新規に検査員となった職員を臨場させ、検査技術を習得することが出来た。

開催日　　令和3年6月9日
参加者　　検査員1名

また、今年度新規に検査員となった職員が一般社団法人日本経営協会主催による「土木工事技術検査の具体的な進め方」についての研修会をオンラインで受講し完成検査・部分検査について技術面・法律面から検査執行について受講した結果、円滑に工事検査を実施することが出来た。

開催日　　令和3年11月8日・9日
参加者　　検査員3名

4　検査員会議を年3回(6月14日、7月30日、2月1日)開催し、兼任検査員との情報交換や優秀建設工事表彰式での役割分担、工事検査における主な視点、年度末に向けての検査実施等について協議し、受注者の技術の向上や指導・育成等を図ることが出来た。

事業名		総務管理事業		
担当課		総務課	総合振興計画コード	5314-10
款	02	総務費	当初予算額	8,888,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	8,888,000円
目	01	一般管理費	決算額	6,901,288円
事業の目的	・適正な事務執行に努めることで、総務一般事業の円滑な遂行をする。	事業の概要	・市民総合賠償保険加入、消耗品の購入等について、財政事情を勘案しながら予算の執行を行う。 ・行政境界事務、自衛隊受託事務等について、効率的・効果的な事務の執行を推進する。 ・県外避難者支援、平和事業、栄典事務について、必要に応じた適切な事務事業を行う。	

事業の実績・成果

1　市民総合賠償補償保険

市が所有、使用、管理する施設の瑕疵や市の業務遂行上の過失に起因する事故の損害賠償金及び市が主催する行事へ参加した市民等が入院・通院を伴う傷害を被った場合の補償金を補てんする保険として、市民総合賠償補償保険に引き続き加入し、万一の事故等の発生に備えた。

保険適用案件：1件

2　新聞購読【総務課、各支所地域振興課】

新聞による情報収集等を行い、様々な業務に役立てた。

本庁舎（埼玉：32部）	1,145,472円
騎西総合支所（埼玉、読売、朝日）	129,438円
北川辺総合支所（埼玉、読売、朝日）	117,375円
大利根総合支所（埼玉、読売、朝日）	129,108円

3　自衛官募集事務

自衛隊に対する理解と協力を推進するため、自衛隊家族会等と協力して自衛官募集を行った。

・自衛官募集案内を広報かぞへ掲載（7、9、11、1、3月号）計5回

・自衛官募集啓発品（ウエットティッシュ）を配布（3月）

4　東日本大震災による県外避難者支援

(1) 広報紙、関連情報紙を希望する県外避難者宅へ郵送（1回／月）

(2) 戸別訪問の実施

令和3年5月に実施した第20回戸別訪問及び12月に実施した第21回戸別訪問は、避難者及び訪問者相互の新型コロナウイルス感染予防のため、アンケートを郵送し、返送してもらう方法で実施することにより、避難者の健康状態等の確認、必要な支援の把握等を行い、市が対応できる案件については各所管課で対応した。

(3) 加須市被災者支援会議の開催

アンケート結果を踏まえて、令和3年7月に第15回、令和4年2月に第16回加須市被災者支援会議を開催し、避難者住民に係る特例事務への対応状況等の確認や、市の支援状況等について情報共有を図った。

(4) 令和3年度東日本大震災犠牲者追悼行事の開催

令和4年3月11日に双葉町埼玉自治会主催による「東日本大震災犠牲者追悼行事」が旧県立騎西高等学校モニュメント前にて開催され、避難者をはじめ、加須市長及び県サッカー協会会長が出席した。

日　時　　令和4年3月11日（金）　午後2時～

会　場　　旧県立騎西高等学校（SFAフットボールセンター「彩の国KAZOヴィレッジ」）

主　催　　双葉町埼玉自治会

内　容　　東日本大震災で犠牲となった方の追悼式

参加者　　約80人

5　平和事業

5月3日	加須市民平和祭　新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
7月27日～8月13日	「平和を考える写真展」を開催
8月15日	終戦の日　半旗掲揚を実施

6　加須市文芸復興特別公演

新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年3月22日の「加須市合併10周年記念式典」で上演予定であった「語りつきミュージカル《いち》」について、当初予定した9月12日は緊急事態宣言の発令期間中により延期し、再度令和4年2月13日に開催するため準備したが、まん延防止等重点措置の適用期間中により中止した。

事業名		広報紙等発行事業		
担当課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	5111-01
款	02	総務費	当初予算額	23,633,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	23,633,000円
目	02	文書広報費	決算額	16,235,957円
事業の目的	広報紙を発行することにより、市民へ行政に関する必要な情報を提供し、情報の共有化を図る。		事業の概要	市民との情報の共有化を図るため、広報紙「広報かぞ」を毎月発行する。

事業の実績・成果

令和3年5月号から「つながる、広がる広報紙へ」をコンセプトに、広報紙を全面リニューアルした。若い世代を新規開拓のターゲットに、幅広い年齢層の方に親しまれ、コミュニケーションの輪が広がる紙面とし、名称を「広報かぞ」に改めた。

広報紙は、市公式ホームページのほか、民間の無料アプリ「マチイロ」や一般社団法人が運営するインターネットサイト「マイ広報紙」（自治体等の広報紙をネット上で無料配信するサービス）を活用し、多くのツールでの配信を行った。

中学校の生徒が「子ども記者」として、地域社会の疑問や気になっていることを取材・体験し、発行する「子ども版広報かぞ」を計画していたが、取材や編集過程で生徒の新型コロナウイルス感染症の感染の恐れがあるため、令和4年度に再延期とした。

1　主なリニューアル内容

①　オールカラー化　色鮮やかに魅力の伝わる紙面とした。
②　特集　テーマは市民が主役の暮らしに近い情報として、ページ数も4ページ以上とした。
③　市民が登場　これまで以上に市民が主役となるコンテンツとした。
④　ページ数　より手に取りやすくするため、情報を厳選し、平均36ページから32ページとした。

2　「広報かぞ」月発行部数及び年間印刷製本費

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
月発行部数（部）	41,200 （4月～4月）	41,400 （5月～4月）	41,400 （5月～4月）	41,400 （5月～4月）	41,600 （5月～4月）
決算額（円）	11,799,774	14,966,811	17,454,816	15,847,920	13,979,674

3　配布

自治協力団体を通じた配布をはじめ、市内の公共施設、コンビニエンスストア、駅、工業団地立地企業や東日本大震災避難者等に配布し、広く情報提供に努めた。

事 業 名		市民カメラマン事業		
担 当 課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	5111-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	35,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	35,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	19,350 円
事業の目的	市民との協働による広報活動の活性化を図る。		事業の概要	20 歳以上の市民で、土日に活動でき、ボランティアとして活動する意欲がある者を公募し、市民カメラマンとして市長が委嘱するもので、市内で行われるイベント等の撮影を依頼する。 3 年以上活動した方には、市から感謝状を贈呈する。

事業の実績・成果

市民カメラマン事業は、平成 22 年 10 月（加須地域では平成 19 年 4 月）から実施しており、撮影していただいた写真を広報紙やＳＮＳ（インスタグラム）へ採用し、市民との協働によるまちづくりにつなげている。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症により多くのイベント等が中止となったこと、広報紙の全面リニューアルに伴い掲載枠が減少したことから、広報紙等に掲載した件数は減少した。

また、市民カメラマンの周知及び市民カメラマンのモチベーションアップのため例年開催している「市民カメラマン写真展」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和 2 年度に引き続き、市公式ホームページでオンライン開催とした。

1　委嘱日
令和 3 年 4 月 19 日（月）

2　委嘱数及び広報紙等掲載件数

年　度	市民カメラマンの数（人）	広報紙やホームページに掲載した件数（件）
平成 29 年度	7	158
平成 30 年度	5	243
令和元年度	6	240
令和 2 年度	5	86
令和 3 年度	5	49

3　オンライン写真展
令和 4 年 1 月 7 日（金）～

事 業 名		加須市ＰＲ・営業推進事業		
担 当 課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	5112-01
款	02	総務費	当　初　予　算　額	6,538,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	6,538,000 円
目	02	文書広報費	決　　算　　額	5,325,659 円
事業の目的	加須市の魅力や特長、アピールポイント、各種施策を市内外に向けて積極的に情報発信することにより、本市の認知度を上げるシティプロモーションを展開する。		事業の概要	ＰＲ営業本部会議を開催し、新たなＰＲ方策の検討・事業化に努める。また、本部委員及び観光大使へＰＲ定期便を送付し、各々の活動機会にＰＲを依頼する。 ＰＲ用品等の作成・活用のほか、様々なＰＲ手段を積極的に導入し、加須市の魅力発信に努める。

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となる中で、コロナ禍でも可能な新たな市のＰＲ方策を検討し、事業化に努めた。

本市の魅力を全国に向けて発信するため、公開番組「ＮＨＫのど自慢」を開催した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、観覧者を減らして開催した。

新型コロナウイルス感染症の埼玉県におけるまん延防止等重点措置（令和４年１月 19 日指定）により、ＰＲ営業本部会議の開催を延期とした。また、ふるさと動画コンクールの二次審査を、資料の送付により依頼した。

毎月１回、委員や観光大使にＰＲ情報定期便として市のイベント情報等を提供し、それぞれの立場でＰＲを依頼していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や書類送付による感染リスクを避けるため、前年度に引き続き一時休止とした。

1　加須市ＰＲ営業本部委員
①　委 嘱 日：令和３年１月１日（任期２年）
②　委員構成：副市長、加須市商工会代表、加須市山岳連盟代表、ＰＴＡ連合会代表、加須市観光大使、株式会社むさしの村代表、きさいルネサンス“藤”代表、道の駅かぞわたらせ代表、道の駅童謡のふる里おおとね代表、加須はなさき公園代表、平成国際大学教授、一般公募（合計 18 名）

2　公開番組「ＮＨＫのど自慢」の実施
①　実 施 日：令和３年４月 18 日（日）、予選会（非公開）：令和３年４月 17 日（土）
②　会　　場：パストラルかぞ　大ホール
③　主な経費：1,050,700 円（施設使用料）

3　こいのぼり手ぬぐいの作製
①　作製個数：2,500 本　　②　作製費用：1,036,750 円

4　名刺台紙の作製
①　作製個数：２種 1000 セット　　②　作製費用：247,500 円

5　ガイドマップの作製（修正増刷）
①　作製部数：10,000 部　　②　作製費用：1,507,000 円

6　スポーツガイドの作製（修正増刷）
①　作製部数：10,000 部　　②　作製費用：484,000 円

7　高速道路サービスエリアのリーフレット設置
①　設置場所・期間：蓮田ＳＡ（上り）・令和３年８月の１カ月間　　②　広告料：59,400 円
③　設置冊子（配布数）：るるぶ特別編集 埼玉県加須（1,443 部）

8　テレビ埼玉データ放送サービスの実施
①　提供件数：17 件/年間　　②　使用料：55,000 円×12 月＝660,000 円
新型コロナウイルス感染症に係る情報を年間を通じて随時提供

9　加須市が新聞、テレビ、ラジオなどで掲載（放送）された件数　　（単位：件）

年　度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
件　数	471	500	505	570	611

事業名	ホームページ・ＳＮＳ活用事業		
担当課	シティプロモーション課	総合振興計画コード	5112-02
款 02	総務費	当初予算額	3,364,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	3,364,000円
目 02	文書広報費	決算額	2,755,511円

事業の目的	事業の概要
ホームページやＳＮＳを活用し、世界に向けてタイムリーかつスピーディーに情報を発信し、加須市の認知度を高める。	ホームページの更新状況を把握し、各課に対し更新の働きかけを行う。 見やすく分かりやすいホームページ作成に取り組むため、庁内研修を実施するとともに、閲覧者からのホームページに対する意見を担当課に伝える。 また、ＳＮＳで旬な情報や動画をタイムリーかつスピーディーに発信する。

事業の実績・成果

1　ホームページ

市の情報をタイムリーかつスピーディーに発信するため、随時改良を加えて公開している。特に、新型コロナウイルス感染症に関連した情報は、カテゴリの見直しや重要情報を見やすい位置に配置するなど、閲覧者が必要な情報を早く入手できるよう努めた。

・ホームページ運営管理諸費用　（単位：円）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
運営管理諸費	15,524,893	3,001,000	2,819,493	4,771,663	2,656,500

・ホームページの月平均閲覧件数　（単位：件）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	280,557	252,415	310,667	541,706	612,632

2　ＳＮＳ

市の情報やＰＲ動画を、市内外に向けて広く発信した。特に、ホストタウン事業では、コロナ禍のためコロンビア選手団と市民との直接的な交流が制限されたことから、選手団への取材を精力的に行い、練習風景や選手からのメッセージなどの動画を作成してＳＮＳで配信し、新しいかたちのホストタウン交流に取り組んだ。

・内訳　（単位：件）

ＳＮＳ	件名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
フェイスブック	投稿数	475	500	504	280	257
	フォロワー数	1,716	2,112	2,432	2,709	2,814
ツイッター	投稿数	594	592	644	279	266
	フォロワー数	2,391	3,011	4,201	4,873	5,131
ユーチューブ	投稿数	24	137	142	146	119
	チャンネル登録数	106	175	199	685	907
インスタグラム（平成30年5月1日開始）	投稿数	—	116	127	172	58
	フォロワー数	—	713	972	1,423	1,770
ライン（平成30年6月1日開始）	投稿数	—	36	123	119	212
	友だち数	—	806	1,406	3,133	45,923

3　アプリ「暮らし応援アプリ『かぞっぷ』」（平成30年3月1日開始）　（単位：件）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ダウンロード数	941	2,326	2,795	3,356	3,905

事 業 名	ふるさと写真・動画コンクール事業			
担 当 課	シティプロモーション課		総合振興計画コード	5112-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	241,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	241,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	208,537 円
事業の目的	加須市の素晴らしさを再発見し、郷土への愛着を高めてもらうとともに、応募作品を周知し、多くの方に本市の魅力をＰＲする。	事業の概要	テーマを発表し、応募作品の受付、市民の日に表彰を行う。 写真の部は、幅広い世代への働きかけを行い、入賞作品をホームページ等で公開をする。 動画の部は、入賞作品を市公式動画サイトに登録し、ＳＮＳ等で公開する。	

事業の実績・成果

【写真の部】

『＃あなたに見せたい世界（かぞ）がある』をテーマに写真コンクールを開催した。

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、応募方法を例年の写真提出から、市公式ホームページからのオンライン応募に変更した。また、巡回展示を中止し、応募のあった全作品を市公式ホームページに公開し、市内外に向けて広く市の魅力を発信した。

小・中学生の部については、出品者の減少により廃止とした。

1　出品数の推移

回数 開催年度	第８回 平成 29 年度	第９回 平成 30 年度	第 10 回 令和元年度	第 11 回 令和２年度	第 12 回 令和３年度
出品者数（人） （内、小中学生数）	71	70 (5)	80 (22)	52 (5)	67
出品点数（点） （内、小中学生数）	112	102 (6)	155 (66)	79 (5)	107

2　主な経費

○一般の部

市長賞　１人（賞金 30,000 円）
議長賞　１人（賞金 20,000 円）
優秀賞　３人（ 7,000 円）
入選　　４人（ 3,000 円）

○審査員謝金　6,000 円（3,000 円×２人＝6,000 円）

【動画の部】

『＃あなたに見せたい世界（かぞ）がある』をテーマに動画コンクールを開催した。

応募のあった全作品を市公式ＳＮＳに投稿し、市内外に向けて広く市の魅力を発信した。

1　出品数の推移

回数 開催年度	第１回 平成 29 年度	第２回 平成 30 年度	第３回 令和元年度	第４回 令和２年度	第５回 令和３年度
出品者数（人）	10	11	12	15	15

2　主な経費

市長賞　１人（賞金 30,000 円＋かぞブランド認定品 20,000 円相当）
議長賞　１人（賞金 20,000 円＋かぞブランド認定品 10,000 円相当）
優秀賞　３人（賞金 7,000 円＋かぞブランド認定品 3,000 円相当）
入選　　４人（かぞブランド認定品 2,000 円相当）

事 業 名		全国こいのぼり写真コンクール事業		
担 当 課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	5112-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	361,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	361,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	324,899 円
事業の目的	全国こいのぼり写真コンクールを開催することにより、このぼりの素晴らしさを再発見するとともに、全国のこいのぼりの魅力を「こいのぼりのまち　加須」から紹介する。		事業の概要	隔年で全国こいのぼり写真コンクールを開催する。 全国各地の多くの方から応募していただけるよう、写真雑誌、ホームページやＳＮＳ等を有効活用する。 また、応募された全作品を、ホームページで公開する。

事業の実績・成果

全国各地で撮影された鯉のぼりをモチーフとした写真コンクールを開催した。

35 都道府県 180 人の方から 289 点の応募があり、こいのぼりによるまちおこしに取り組む加須市を全国にＰＲすることができた。

1　募集期間：令和３年６月１日（火）～6 月 30 日（水）

2　題材　・子どもの健やかな成長を願い、家族の絆を深める「こいのぼり」の写真
　　・「こいのぼり」にちなんだ観光イベントや伝統工芸の写真
　　・その他「こいのぼり」をモチーフにした写真

3　出品数等の推移

回数 開催年度	第１回 平成 28 年度	第２回 平成 29 年度	第３回 令和元年度	第４回 令和３年度
出品者数	226	204	180	295
出品点数	468	358	289	441
都道府県数	38	39	35	43

・第３回から隔年開催、市公式ホームページでの画像データ応募に変更
・第２回から１人２点まで応募可に変更（第１回１人３点まで）

4　主な経費
○チラシ作製：3,000 枚　　作製費用：69,300 円
○専門誌「フォトコン５月号」広告掲載料：88,000 円
○入賞者への賞金　102,500 円
　市長賞　１人（30,000 円）
　議長賞　１人（20,000 円）
　優秀賞　３人（ 7,000 円）
　入選　　５人（ 3,000 円）
　佳作　　10 人（副賞　北川辺産こしひかり 5kg　1,650 円）
○審査員謝金　12,000 円
　審査員　２人（3,000 円×2 回＝12,000 円）

事 業 名		市長への手紙・メール事業		
担 当 課		秘書課	総合振興計画コード	5121-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	18,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	18,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	8,970 円
事業の目的	広聴の推進を図るため、市民から直接、手紙・メールによる意見、提案、要望等をいただく。		事業の概要	手紙については、市内公共施設に投函箱を設置し、メールについては、ホームページによりそれぞれ意見等を伺い、市長が 1 件ずつ確認して市長名で回答するとともに、市政に出来る限り反映させる。

事業の実績・成果

「市長への手紙」専用はがき及び投函箱を本庁舎、各総合支所、各地区のコミュニティセンターなどをはじめとする市内の公共施設に設置し、市民等からいただいたご意見等について、市長名で回答している。

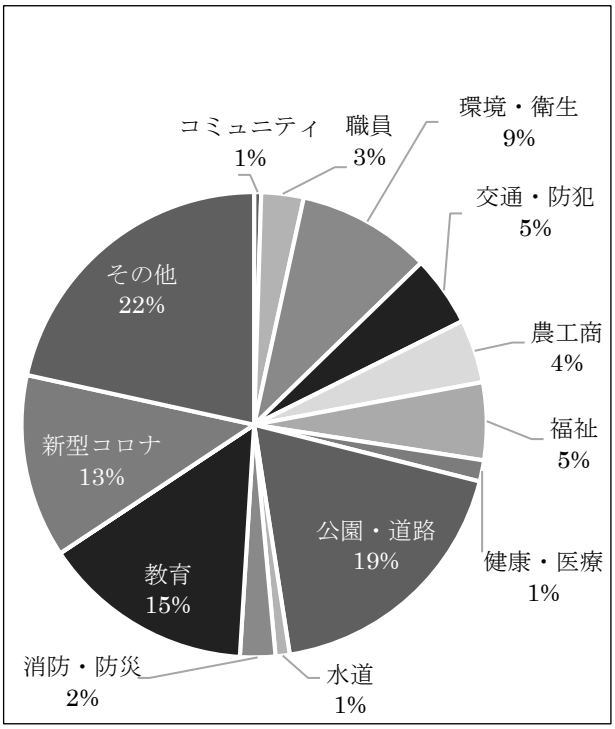
また、加須市公式ホームページ内の「市長へのメール」からいただいたご意見等についても、市長名で回答している。

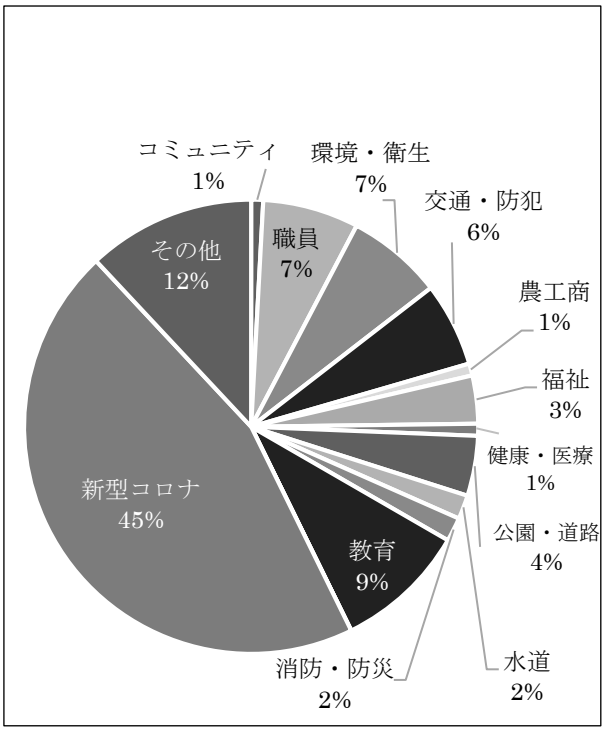
1　市長への手紙通数の推移　（単位：通）

年　度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
通　数	166	205	215	232	204

2　市長へのメール通数の推移　（単位：通）

年　度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
通　数	132	86	97	132	117





事 業 名		市政についての話し合い開催事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	5122-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	14,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	14,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	0 円
事業の目的	市民と行政の相互理解を深めるため、各地域別に広聴集会を開催し、それぞれの地域にお住まいの市民の皆様から市政全般にわたる意見及び要望等を聴取し、これを可能な限り市政に反映させる。		事業の概要	毎年、話し合いのテーマを設け、市内の公共施設等を会場として話し合いを実施する。

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、中止とした。

○参加者数の推移 （単位：人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
参加者数	920	932	1,009	－	－

事業名	情報公開・個人情報保護事業		
担当課	総務課	総合振興計画コード	5132-01
款 02	総務費	当初予算額	652,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	652,000円
目 02	文書広報費	決算額	190,812円
事業の目的	透明で開かれた市政運営の推進と行政への市民の信頼の確保を図るとともに、市が保有する個人情報を適切に保護することにより個人の権利利益の保護を図り、もって基本的人権の擁護に資する。	事業の概要	・加須市情報公開条例及び加須市個人情報保護条例に基づく制度を適正に運用する。 ・加須市情報公開・個人情報保護審査会及び加須市情報公開・個人情報保護運営審議会を必要に応じて開催する。 ・審議会等の会議の公開及び会議録の公表制度を運用する。

事業の実績・成果

○個人情報の保護及び行政情報の公開を適切に実施した。
○個人情報を取り扱う事務の処理に当たっては、条例に基づき、加須市情報公開・個人情報保護運営審議会への諮問、答申を経て、当該事務の委託等を実施した。
○審議会等の会議の公開及び会議録の公表制度の運用を適切に実施した。

1　情報公開及び個人情報保護関係

(1)情報公開請求受付処理件数　(単位：件)

	受付処理件数	全部公開	一部公開	非公開	取下げ
公開請求等	24	12	9	3	0

【情報公開請求受付処理件数の推移】　(単位：件)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受付処理件数	47	16	17	21	24

(2)個人情報開示請求受付処理件数　(単位：件)

	受付処理件数	全部開示	一部開示	不開示･存否応答拒否	取下げ
開示請求	50	8	36	5	1

【個人情報開示請求受付処理件数の推移】　(単位：件)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受付処理件数	38	40	38	32	50

(3) 加須市情報公開・個人情報保護運営審議会の開催（委員10名）
・第1回　令和3年7月16日　　諮問事項6件、報告事項3件
・第2回　令和3年12月13日　　諮問事項1件、報告事項1件（書面審議）
・第3回　令和4年1月26日　　諮問事項2件、報告事項2件（書面審議）

2　審議会等の会議の公開
会議の開催件数　310件
会議を公開(一部を非公開とした会議を含む。)した会議件数　89件
書面審議の件数　30件
会議を非公開とした会議件数　221件
(非公開理由：会議の内容に個人情報が含まれるため)
傍聴者数　13名

事 業 名		文書収発浄書事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	5312-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	84,744,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	84,744,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	73,865,220 円
事業の目的	・適正な行政サービスを実施するため、本市における印刷、郵送、使送などの事務を円滑に進める。		事業の概要	・印刷用紙などの関連消耗品の購入、郵送、使送業務、ＯＡ機器等の借上げ ・コピー機等の管理をするとともに簡易印刷物については庁内印刷機等を活用する。 ・郵便物等の文書の収発業務及び自治会等への使送業務を行う。

事業の実績・成果

○自治協力団体への広報紙等の使送業務について、配布物の仕分け・配送をシルバー人材センターへ業務委託を行い、市内４地域で配布物を１日間で配布することにより、市民サービスの向上が図られている。
また、市からの広報物については、新型コロナウイルス感染防止対応として、回覧文書を取りやめ、個別配布を実施した。
○ 郵便料、コピー用紙購入費については、経費削減のため、電子メールの活用や裏面の再利用、イベント等の広報を可能な限り広報へ一元化するなどの取組を行い、総合的な経費の削減に努めた。

１　郵便料等の推移　（単位：円）

年　度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
郵便料	44,106,013	40,978,626	42,743,057	41,952,274	41,391,490

（単位：円）

年　度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
コピー用紙購入費	11,407,901	11,306,441	11,663,037	12,451,336	12,464,808

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
コピー機管理台数（台）	14	14	14	15	15
コピー機カウンター料金（円/年）	4,674,482	4,488,695	4,136,378	4,361,564	4,066,003
コピー機使用枚数（枚/年）	4,537,688	4,464,424	4,071,125	4,295,774	4,251,521

〔コピー機管理台数内訳〕本庁：９台、各総合支所：各２台　　計15台

２　ＯＡ機器にかかる費用
【本庁】（総務課）

種　類	リース料(円)		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
電子製版機	26,268	－(再リース)	R3.4.1	R4.3.31	富士通リース㈱
ファクシミリ	35,310	－(再リース)	R2.10.1	R3.9.30	五幸事務機㈱
ファクシミリ	35,310	－(再リース)	R3.10.1	R4.9.30	五幸事務機㈱
紙折機	6,534	－(再リース)	R2.10.1	R3.9.30	㈲ アライ
紙折機	6,534	－(再リース)	R3.10.1	R4.9.30	㈲ アライ
電動断裁機	27,500	13,750	R3.2.1	R8.1.31	キヤノンシステムアンドサポート㈱

デジタル印刷機1号機	245,520	20,460	R1.8.1	R4.7.31	㈲ アライ
デジタル印刷機2号機	125,400	10,450	R2.3.1	R5.2.28	㈲ アライ
丁合機	10,450	10,450	R2.3.1	R5.2.28	㈲ アライ

【騎西総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
ポスター・プリンター	76,560	6,380	R2.4.1	R7.3.31	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
印刷機	125,400	10,450	R3.4.1	R4.3.31	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	75,948	―	R3.4.1	R4.3.31	キヤノンシステムアンドサポート㈱
ファクシミリ	59,616	4,968	H30.9.1	R5.8.31	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機（市民用）	82,686	―	H30.7.1	R5.6.30	キヤノンシステムアンドサポート㈱

【北川辺総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
印刷機	31,350	10,450	H28.7.1	R3.6.30	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
印刷機	89,100	9,900	R3.7.1	R4.6.30	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	49,863	―	H28.7.1	R3.6.30	ＮＴＴ・ＴＣリース㈱関東支店
複写機兼ファクシミリ	20,314	―(再ﾘｰｽ)	R3.7.1	R4.6.30	ＮＴＴ・ＴＣリース㈱関東支店
複写機兼ファクシミリ（カラー）	201,892		R1.7.1	R6.6.30	キヤノンシステムアンドサポート㈱
複写機（市民用）	116,160	―	H29.9.1	R4.8.31	埼北オーエー機器㈱

【大利根総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
印刷機	125,400	10,450	R3.4.1	R4.3.31	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	61,604	―	R3.4.1	R4.3.31	キヤノンシステムアンドサポート㈱
複写機（市民用）	44,280	3,690	R3.4.1	R4.3.31	リコージャパン㈱　関東営業部埼玉支社

事業名	例規文書管理事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	5312-03
款	02	総務費	当初予算額	8,274,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	8,274,000円
目	02	文書広報費	決算額	7,843,300円
事業の目的	法制執務や法令解釈に関し必要な助言や相談を行い、条例、規則等の制定改廃及び適切な文書管理（公印の管理を含む。）を実施することで円滑な行政運営を図る。	事業の概要	法制執務及び例規整備に関する相談を実施するとともに、法令関係図書、例規データベース等の法令業務に関する環境を全庁的に整備し、迅速かつ的確に行政立法等に係る業務を実施する。 また、情報公開に対応した文書管理の構築や公印の適正な管理を行う。	

事業の実績・成果

○例規等の審査を適切に実施し、制定改廃が必要な例規への対応を図った。
○ファイリングシステムについて、総務課職員による巡回指導を行い、所管課ごとに課題を発見し、それぞれ運用の改善を図った。

1　例規等の審査の実施
（令和3年度審査件数）条例…33件、規則…29件、訓令…10件、告示・要綱等…428件

2　各課に対する国会制定法の概要及び市への影響に係る情報提供
第204回国会…84本、第205回・第206回国会…制定法なし、第207回国会…4本

3　法制執務・政策法務等関係図書の整備　1,035,657円

4　例規・法令検索システムの適正な運用及び紙製例規集の追録作成
・例規・法令検索システム使用料…1,650,000円
・例規・法令検索システム更新データ作成…1,650,000円
・例規集追録作成…660,000円

5　ファイリング用品等の整備
保存箱、個別フォルダー、フォルダーラベル等の購入…1,738,770円

6　保存期間満了文書の再資源化
廃棄文書の搬出、溶解処理施設までの運搬及び溶解処理（古紙へ再資源化）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
処理量（kg）	16,060	16,220	14,120	16,380	15,680
単価（円／kg）	8.10	8.10	8.10	9.13	15.0
委託金額（円）	130,086	131,382	114,372	149,549	258,720

※各総合支所分を含む。

7　ファイリングシステム巡回指導の実施
【対象】各総合支所及び出先機関
【期日】令和3年10月6日～8日

事業名	財政管理事業			
担当課	財政課		総合振興計画コード	5311-24
款	02	総務費	当初予算額	11,971,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	11,971,000円
目	03	財政管理費	決算額	10,817,984円
事業の目的	経済情勢や事業の進捗状況を踏まえ、中・長期的な視点に立ち、持続可能で安定した財政運営を行う。	事業の概要	・予算編成及び執行に関すること ・財政計画（見直し）及び財政事情の公表に関すること ・その他財政に関すること（財務会計システムの管理・運用など）	

事業の実績・成果

・ 令和２年度決算に係る行政報告書（主要な施策の成果を説明する書類）及び令和４年度一般会計・特別会計予算書（当初予算書）を作成した。

令和２年度決算に係る行政報告書　・・・・　180冊　415,800円
令和４年度一般会計・特別会計予算書　・・・・　250冊　493,625円

・ 令和２年度決算に基づく健全化判断比率（4指標）を公表した。

（単位：%）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和２年度	— (12.07)	— (17.07)	4.4 (25.0)	— (350.0)
令和元年度	— (12.13)	— (17.13)	4.8 (25.0)	— (350.0)

※　実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は算出されないため、「—」と表記している。
※　括弧内の数字は、加須市の早期健全化基準である。

・ 令和２年度決算に基づく財務書類（統一的な基準）を作成し、ホームページで公表した。
※　財務書類とは、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書、注記及び附属明細書である。

事 業 名		公金納付円滑事業		
担 当 課		会計課	総合振興計画コード	5252-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	19,236,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	19,236,000 円
目	04	会計管理費	決 算 額	18,037,186 円
事業の目的	市民の利便性の向上を図るため、公金納付方法について研究し、納付場所や時間に制約されず公金を納付できる環境を整備する。	事業の概要	・口座振替での収納を促進するため、関係機関と連携し、市民への周知 ・多岐にわたる窓口で納付された公金の迅速かつ正確な管理 ・コンビニエンスストア納付制度の適切な運用	

事業の実績・成果

1　公金収納日計処理業務

コンビニエンスストア収納の導入により多様化・複雑化した日計処理業務について、専門的知識を有する事業者に委託することで、正確かつ迅速な処理を行った。

（1）業務内容

金融機関等で収納された市税、料金の納入済通知書の読取、コンビニエンスストア収納データ代行受信、各種システムへの消込データの作成等

（2）経費

令和３年度処理業務委託料　10,289,018 円

（単位：円）

会計名	一般	国保	後期高齢	介護
金　額	8,795,421	1,035,604	191,301	266,692

済通イメージ検索導入対応　605,000 円

基幹システム更改対応　2,640,000 円

（3）受託業者

ＡＧＳ株式会社

2　コンビニエンスストア収納代行業務

納付方法を拡充し、市民の利便性の向上を図るため、平成 24 年度からコンビニエンスストア収納を実施した。また、令和２年６月から、スマートフォン決済アプリ「PayB」で払うキャッシュレス決済の導入をし拡充を行った。

（1）業務内容

コンビニエンスストアでの市税、料金の収納、収納済データの作成等

（2）経費

令和３度処理業務委託料　8,569,460 円

（単位：円）

会計名	一般	国保	後期高齢	介護
金　額	5,996,765	1,861,397	239,277	472,021

（3）受託業者

りそな決済サービス株式会社

事業名	会計管理事業			
担当課	会計課		総合振興計画コード	5311-25
款	02	総務費	当初予算額	9,093,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	9,093,000円
目	04	会計管理費	決算額	8,401,821円
事業の目的	財政の健全化を図るため、法令との整合性、正確性を重視し、多様化する出納事務を円滑に遂行する。 また、公金の確実な管理と効率的な運用を図る。	事業の概要	現金等の出納・保管及び支出負担行為・支出命令に係る債務の確認を行う。 歳計現金及び各種基金の管理運用を適正に行う。 各課における公金の適正な取扱いを指導する。	

事業の実績・成果

1　歳入歳出事務について、予算及び法令に則した伝票等の審査を行い、適正な出納処理に努めた。

2「公金取扱事務の管理適正化方針」に基づいた現金取扱業務の実地検査
（1）調査日　令和3年7月2日、6日、9日、15日、21日、28日の6日間
（2）調査対象　本庁・各総合支所　　計52課
各体育館・コミセン・文化学習センター・幼稚園等　　計54施設
（3）調査項目　現金収納手続きについて
現金、葉書、切手、収入印紙及び埼玉県収入証紙の保管について
（4）調査方法　現金取扱業務一覧表に基づき、担当職員からのヒアリング
（5）指導内容　切手等は施錠できる金庫等に適正に保管をすること

3「用品調達基金廃止における物品購入選定の基本方針」に基づいた物品購入状況調査
（1）調査期間　令和3年6月1日～6月15日の15日間及び
令和3年10月27日～11月10日の15日間
（2）調査対象　本庁・各総合支所　　計54課
各体育館・文化学習センター・公民館・保育所・幼稚園・小中学校等
計68施設
（3）対象期間　令和2年10月～令和3年3月及び令和3年4月～同年9月
（4）調査項目　お茶・用紙類・トイレットペーパーの3品目の購入状況
（5）調査方法　上記3品目を担当課へ照会の上、支出伝票による購入単価の確認
（6）指導内容　品質・価格ガイドラインに定める単価での購入を指導

事 業 名		公用自転車利用推進事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	4314-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	10,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	10,000 円
目	05	財産管理費	決 算 額	0 円
事業の目的	・地球温暖化防止等に身近なところから貢献すべく、また、職員の健康増進を図るべく、積極的に公用自転車の利用を推進する。		事業の概要	・施設に応じた適正な配車を継続し、公用自転車が利用できる体制を維持する。 ・各施設から、片道２キロ未満の移動手段として、公用自転車を利用するよう、職員への周知を徹底する。

事業の実績・成果

○公用自転車の配置及び利用

業務上自転車を利用する機会、必要性があると認められる公共施設へ、公共施設から２km未満の移動手段として、公用自転車を配置し、環境への配慮及び職員の健康増進を図った。

今後、古くなった公用自転車の入替えや、新たな公共施設への配置を行い、公用自転車の更なる利用を推進していく。

１　公用自転車配置箇所及び配置台数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	合　計
加須地域（平成 28 年度以前 59 台）	不老荘（1 台）花崎コミュニティセンター（1 台）	加須南小、大越小、昭和中、加須東中（各 1 台）、加須平成中（3 台）	礼羽小、樋遣川小（各１台）、水深小、大桑小（各２台）	礼羽小（１台）	なし	75 台
騎西地域（平成 28 年度以前 12 台）	なし	騎西総合体育館（2 台）騎西小（1 台）	騎西中（1 台）	なし	総合支所（2 台）	18 台
北川辺地域（平成 28 年度以前 11 台）	なし	北川辺中（3 台）	なし	なし	なし	14 台
大利根地域（平成 28 年度以前 10 台）	なし	なし	なし	なし	なし	10 台
合　計（92 台）	2 台	13 台	7 台	1 台	2 台	117 台

２　公用自転車利用実績

年　　度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
公用自転車利用回数	839	707	546	410	307
2 km未満公用車利用回数	348	322	304	318	171
公用自転車利用率（%）	70.7	68.7	64.2	56.3	64.2

※公用自転車利用率＝公用自転車利用回数／（2 km未満公用車利用回数＋公用自転車利用回数）

事 業 名		公共施設等再整備基金事業		
担 当 課		財政課	総合振興計画コード	5311-10
款	02	総務費	当 初 予 算 額	410,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,600,410,000 円
目	05	財産管理費	決 算 額	1,600,160,525 円
事業の目的	公共施設等の整備・改修計画に位置づけられたもののほか、今後発生する一般的な公共施設等の建替え又は改修等を目的とした経費に充てる財源として、計画的に基金に積み立てるとともに、適時必要額を活用する。		事業の概要	今後予定されている公共施設等の整備・改修計画、必要額を把握し、その財源として前年度繰越金の一部を基金へ積み立てる。

事業の実績・成果

今後の公共施設の改修等を目的とした経費の財源として、前年度繰越金を活用して積み立てを行った。

また、運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。

【年度末基金残高の推移】 （単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
取り崩し額	1,025,711,743	381,806,435	619,152,184	609,937,374	469,731,509
積み立て額	601,330,485	892,536	167,022,530	701,288,556	1,600,000,000
利　　子	2,339,293	2,968,495	2,232,559	261,303	160,525
年度末残高	2,599,316,790	2,221,371,386	1,771,474,291	1,863,086,776	2,993,515,792

※　令和3年度は、クリーンセンターの施設修繕、小中学校施設整備、通学路安全対策工事などの財源として469,731,509円取り崩した。

※　令和3年度取り崩し額のうち163,708,000円は、令和2年度からの繰越明許費（(仮称）北川辺コミュニティセンター整備事業）の財源として取り崩した。

事業名	普通財産管理事業			
担当課	管理契約課		総合振興計画コード	5314-05
款	02	総務費	当初予算額	12,141,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	16,837,000円
目	05	財産管理費	決算額	11,040,562円
事業の目的	市有財産の有効活用を図るため、適正な維持管理を推進する。	事業の概要	・固定資産台帳による市有財産管理及び財産規則等に基づく公表 ・普通財産（土地・建物）の適正管理 ・除草、剪定、消防設備点検、各種修繕、火災保険及び光熱水費の支払いなどの維持管理 ・政教分離が必要な物件への適正な対応	

事業の実績・成果

加須市が所有する普通財産について、除草・樹木剪定等を行い適正な維持管理に努めた。また、用途廃止された法定外公共物の売払いを実施し、財源確保に努めた。

1　普通財産管理に係る主な歳出

（1）修繕関係	・大辻駐車場ポール修繕	18,700円	
（2）役務関係	・建物火災保険料（久下会館ほか）	209,539円	
（3）委託関係	・除草	5,339,576円	(50箇所)
	・樹木剪定及び伐採	1,595,440円	(5箇所)
	・売払いのための不動産鑑定	484,000円	(9件)
	・売払いのための測量	506,302円	(2件)
	・旧加須市北川辺介護ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ事前調査及び申請書類作成業務委託	44,000円	
	・ハチの巣駆除	27,500円	(3件)
（4）土地借上料	・旧農業振興センターほか	740,635円	
（5）工事関係	・構造物等移設工事	124,850円	
	・旧加須市北川辺介護ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ代替電気引込線工事	528,000円	
	・旧加須市北川辺介護ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ高圧受電復旧工事	256,300円	

2　加須市公有財産の取得及び処分検討委員会の開催

加須市公有財産の取得及び処分検討委員会設置要綱により委嘱された 6 人の委員で構成される当該委員会に、公有財産の処分について諮問し答申を得た。

開催日・場所	諮問内容	出席人数
令和3年5月20日（木） 加須市役所 4階 説明者控室	・旧加須市北川辺介護ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰの処分について ・令和２年度の売払い実績について	4人

3　普通財産に係る主な歳入

（1）一畝歩用水路使用料及び電柱等占用料	620,596円	(11件)
（2）市有財産使用証明書手数料	300円	(2件)
（3）市有財産境界証明書手数料	300円	(2件)
（4）土地建物貸付収入	3,851,977円	(44件)
（5）駐車場貸付収入	2,239,036円	(67件)
（6）土地売払い収入（法定外公共物）	28,056,233円	(16件)
（7）土地売払い収入（普通財産）	63,683,864円	(8件)
（8）諸収入（送電線下補償等）	482,677円	(12件)

4　普通財産の貸付け及び売払い状況

（1）貸付収入

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数（件）	127	120	111	108	111
金額（円）	7,166,377	6,925,947	6,892,264	6,295,301	5,684,798

（2）売払収入

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数（件）	26	13	9	15	24
金額（円）	76,973,503	10,134,586	170,209,748	16,074,794	91,740,097

事業名		普通財産活用推進事業			
担当課		管理契約課		総合振興計画コード	5314-06
款	02	総務費		当初予算額	1,729,000円
項	01	総務管理費		最終予算額	1,729,000円
目	05	財産管理費		決算額	1,015,783円
事業の目的	健全な財政基盤による自治体経営の実現のため、市有財産の有効活用を推進する。		事業の概要	未利用財産の適正な利活用を計画的に推進するため、「未利用財産の利活用基本方針」に基づき、対象となる未利用普通財産の利活用を実施する。	

事業の実績・成果

加須市が所有する普通財産のうち、未利用普通財産の一般競争入札による公売のほか、貸付市有地の売却を実施し、財源確保に努めた。

1　取組実績

（1）旧加須市北川辺介護サービスセンターの公募型プロポーザルによる売却

対象物件：土地　加須市柳生字新田52番1ほか3筆（地目：宅地、地積：1,628.74㎡）
建物　老人福祉施設ほか1棟（合計床面積：728.75㎡）

契約日：令和3年10月20日

売却額：36,000,000円

【内訳】　土地　16,310,000円
建物　19,690,000円（税込）

（2）一級河川中川の社会資本整備総合交付金（河川）工事に伴う売却

① 対象物件：大利根クリーンセンター敷地

所在地：北大桑字舟戸1875番6、地目：宅地、地積：135.25㎡
北大桑字舟戸1875番7、地目：畑、地積合計：27.98㎡
北大桑字舟戸1907番、地目：田、地積合計：31.97㎡
北大桑字舟戸1908番、地目：雑種地、地積合計：31.16㎡
北大桑字舟戸1909番、地目：雑種地、地積合計：20.64㎡

契約日：令和3年5月21日

売却額：7,945,876円

② 対象物件：松永新田電波塔貸付地、松永新田電波塔貸付残地

所在地：松永新田字内野402番1、地目：田、地積：193.53㎡
松永新田字内野402番3、地目：田、地積：80.69㎡
松永新田字内野402番5、地目：田、地積：22.39㎡
松永新田字内野402番10、地目：田、地積：189.88㎡

契約日：令和3年6月28日

売却額：3,861,054円

（3）随意契約による売却

① 対象物件：不動岡区画整理旧保留地№1
所在地：不動岡三丁目 21 番 3、地目：宅地、地積：178.83 ㎡
契 約 日：令和 3 年 4 月 30 日
売 却 額：6,115,986 円

② 対象物件：野中土地区画整理事業寄附地
所在地：琴寄字後川ノ三 415 番 2、地目：宅地、地積：330.00 ㎡
契 約 日：令和 3 年 10 月 11 日
売 却 額：7,849,600 円

③ 対象物件：加須・大利根工業団地ポンプ場用地
所在地：上樋遣川字立野 7002 番 1、地目：雑種地、地積：68.10 ㎡
契 約 日：令和 3 年 10 月 8 日
売 却 額：388,170 円

④ 対象物件：栄地区河川法面
所在地：栄字本田 137 番 12、地目：雑種地、地積：209.14 ㎡
契 約 日：令和 3 年 11 月 4 日
売 却 額：899,302 円

（4）貸付市有地の売却

対象物件：上種足個人貸付地
所在地：上種足字十三番 3457 番 6、地目：宅地、地積：80.42 ㎡
契 約 日：令和 3 年 9 月 24 日
売 却 額：627,276 円

2　不動産鑑定

（1）上種足貸付地（上種足字十三番 3457 番 6）
貸付地の売却に係る不動産鑑定を実施した。（177,100 円）

（2）上樋遣川地内ポンプ場跡地（上樋遣川字立野 7002 番 1）
随意契約よる売却に係る不動産鑑定を実施した。（177,100 円）

（3）栄地区河川法面（栄字本田 137 番 12）
随意契約よる売却に係る不動産鑑定を実施した。（177,100 円）

3　測量等

（1）上種足個人貸付地（上種足字十三番 3457 番 6）
貸付市有地の売却に向けた測量業務を実施した。（211,200 円）

（2）花崎区画整理地内旧保留地（花崎一丁目 10 番 6）
未利用市有財産の売却に向けた測量を実施した。（273,283 円）

4　未利用普通財産の利活用実施件数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利活用実施件数	2	0	2	2	8

事 業 名		庁舎維持管理事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	5314-08
款	02	総務費	当　初　予　算　額	482,876,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	498,260,500 円
目	05	財産管理費	決　　算　　額	439,570,638 円

事業の目的	・施設内の安全性の確保及び施設の長寿命化を図るため、庁舎の故障や不具合の有る箇所の修繕や保全のための点検・改修を実施する。	事業の概要	・庁内の総合管理体制を整備し、施設の長寿命化のため、修繕箇所に優先順位をつけ、効率的に修繕を行う。 ・空調設備の温度設定や使用時間の徹底など、経常経費の削減に努める。 ・庁舎における禁煙を徹底する。

事業の実績・成果

○庁舎を適正に維持管理する上で設備の点検を行いながら、故障や不具合があった場合において、効率的な修繕等を行うことにより、施設の適正な維持管理を行った。（令和３年度より、各総合支所で各健康福祉センターの維持管理を実施）

１　庁舎管理委託費

(1) 本庁舎　　：庁舎総合管理、電話交換設備保守委託、駐車場除草等　89,246,123 円
(2) 騎西総合支所　：庁舎総合管理、電話交換機等保守委託、整枝・剪定等　11,487,948 円
(3) 北川辺総合支所：庁舎管理、整枝・剪定、除草等　7,401,189 円
(4) 大利根総合支所：庁舎管理、電話交換機等保守委託、除草、剪定等　7,159,033 円

２　修繕費

【本庁舎】修繕工事一覧表（総務課）

修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
電算室空調機修繕	㈱大熊電気工事	2,222,000 円
冷温水発生機修繕	三菱重工冷熱㈱	847,000 円
１階防火シャッター修繕	㈲日本都市防災工業	7,904,600 円
天井裏剥落下防止ネット応急修繕	㈱久保田建設	1,292,500 円
電算室空調機修繕（その２）	㈱大熊電気工事	1,980,000 円
その他修繕（50 万円未満）	13 件	809,853 円
合　　計		15,055,953 円

【騎西総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
その他修繕（50 万円未満）	4 件	153,780 円

【北川辺総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
その他修繕（50 万円未満）	8 件	337,843 円

【大利根総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
その他修繕（50 万円未満）	6 件	767,635 円

３　電気料金、使用量・使用量増減率の推移

〇電気料金の削減を図るため、平成24年度から特定規模電気事業者（ＰＰＳ）を活用し、令和３年度末現在、78の公共施設においてＰＰＳから供給を受けている。

〇電気使用量の削減を図るため、蛍光灯の間引き、昼休みの電気消灯等を行い、節電に努めたが、3か所の健康福祉センターの管理と新型コロナウイルス感染対策事業等に伴う時間外作業が増加したため、電気使用量が増加している。

施設	項　　目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
本庁舎	電気料金（円）	15,465,035	16,273,289	16,942,227	14,927,001	16,672,373
	電気使用量（kwh）	847,889	807,216	830,554	885,562	880,221
	使用量増減率(%)※	3.7	▲4.7	2.9	6.6	▲0.6
騎西総合支所	電気料金（円）	3,079,249	3,488,728	3,355,591	3,111,038	3,745,928
	電気使用量（kwh）	132,162	137,467	135,858	153,060	158,978
	使用量増減率(%)※	▲30.0	4.0	▲1.2	12.7	3.9
北川辺総合支所	電気料金（円）	1,883,500	2,077,692	2,068,351	1,799,533	3,057,060
	電気使用量（kwh）	97,697	97,787	96,216	101,222	143,679
	使用量増減率(%)※	23.1	0.09	▲1.6	5.2	41.9
大利根総合支所	電気料金（円）	1,965,556	2,084,295	2,151,561	1,896,793	2,663,567
	電気使用量（kwh）	98,783	96,073	99,159	103,924	121,549
	使用量増減率(%)※	▲2.0	▲2.7	3.2	4.8	17.0
計	電気料金（円）	22,393,340	23,924,004	24,517,730	21,734,365	26,138,928
	電気使用量（kwh）	1,176,531	1,138,543	1,161,787	1,243,768	1,304,427
	使用量増減率(%)※	▲0.8	▲3.2	2.0	7.1	4.9

※前年度の電気使用量と比較した増減率（%）

４　光熱水費等維持管理費の推移

【本庁舎】(総務課)

年　　度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
電気料	使用量（kwh）	847,889	807,216	830,554	885,562	880,221
	支払額（円）	15,465,035	16,273,289	16,942,227	14,927,001	16,672,373
電　話　料　（円）		5,162,973	5,130,967	5,125,229	5,714,365	6,410,272
水道料	使用量（㎥）	5,791	5,536	5,673	5,682	6,492
	支払額（円）	1,635,453	1,561,551	1,514,768	1,636,294	1,875,644
下水道使用料（円）		845,433	806,713	781,867	844,574	969,984
A重油(冷暖房用)	購入量（ℓ）	61,000	60,000	55,000	64,000	65,100
	支払額（円）	3,640,336	4,531,248	3,820,485	3,765,960	5,380,320
	平均単価(円)	59.6	75.5	69.5	58.8	80.1
合計支払額（円）		26,749,230	28,303,768	28,184,576	26,888,194	31,308,593

【騎西総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電気料	使用量（kwh）	132,162	137,467	135,858	153,060	158,978
	支払額（円）	3,079,249	3,488,728	3,355,591	3,111,038	3,745,928
電　話　料　（円）		714,186	675,781	664,522	716,842	752,834
水道料	使用量（㎥）	1,206	1,069	1,074	1,002	1,028
	支払額（円）	298,242	263,310	269,025	263,380	276,580
下水道使用料（円）		132,832	114,213	118,481	119,522	129,792
合計支払額（円）		4,224,509	4,542,032	4,407,619	4,210,782	4,905,134

【北川辺総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電気料	使用量（kwh）	97,697	97,787	96,216	101,222	143,679
	支払額（円）	1,883,500	2,077,692	2,068,351	1,799,533	3,057,060
電　話　料　（円）		849,265	881,121	851,766	864,323	969,849
水道料	使用量（㎥）	420	473	503	515	670
	支払額（円）	123,696	133,978	140,774	144,894	229,442
合計支払額（円）		2,856,461	3,092,791	3,060,891	2,808,750	4,256,351

【大利根総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電気料	使用量（kwh）	98,783	96,073	99,159	103,924	121,549
	支払額（円）	1,965,556	2,084,295	2,151,561	1,896,793	2,663,567
電　話　料　（円）		1,020,593	884,130	826,574	821,213	956,917
水道料	使用量（㎥）	395	398	408	423	845
	支払額（円）	92,006	92,556	95,100	99,270	175,296
合計支払額（円）		3,078,155	3,060,981	3,073,235	2,817,276	3,795,780

5　本庁舎受変電設備等改修及び設備棟工事に係る監理委託費及び工事請負費

災害対策に伴い、受変電設備の改修及び自家発電設備を令和3年度から令和4年度の期間で整備する。

(1) 加須市本庁舎受変電設備等改修及び設備棟建設工事監理等業務委託　：　11,100,000円
(2) 加須市本庁舎受変電設備等改修及び設備棟建設工事　：　102,800,000円
(3) 加須市本庁舎受変電設備等改修及び設備棟建設電気設備工事（１工区）　：　70,400,000円
(4) 加須市本庁舎受変電設備等改修及び設備棟建設電気設備工事（２工区）　：　63,100,000円

【継続費　令和3年度から令和4年度へ繰り越す理由】

受変電設備等改修及び設備棟建設工事（逓次繰越額 46,785,042円）

令和3年度から令和4年度までの継続費（総額 491,590,000円）であり、令和3年度予算額（継続費294,954,000円）のうち決算額（248,168,958円）を除く、46,785,042円を逓次繰越した。

6　旧北川辺公民館の跡地活用

北川辺総合支所敷地内に立地する旧北川辺公民館を解体し、更なる市民の利便性向上を図るため、当該跡地を活用し北川辺総合支所をはじめとした周辺公共施設の複合駐車場として拡充再整備する。

【繰越明許　令和３年度から令和４年度へ繰り越す理由】

北川辺公民館解体及び駐車場整備工事設計業務委託【12 月補正】（繰越明許額　4,125,000 円）

・アスベスト調査　　297,000 円

・建物解体工事設計業務　　3,828,000 円

R3.12 補正予算で事業化し設計等業務を進めてきたが、年度内の完了が困難であるため繰越した。

7　庁舎の男性用個室トイレにサニタリーボックスを設置

市民等の使用頻度の高い本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所及び大利根総合支所の男性用トイレ個室に、前立腺がん患者や膀胱がん患者などの病気の方及びLGBTQ などのジェンダーに配慮することを目的としサニタリーボックスを設置した。

設置施設	個室トイレの数	設置数
本庁舎	10 か所	10 か所
騎西総合支所	7 か所	7 か所
北川辺総合支所	4 か所	4 か所
大利根総合支所	3 か所	3 か所

事業名		庁舎維持管理事業【繰越明許】		
担当課		総務課	総合振興計画コード	5314-08
款	02	総務費	当初予算額	9,660,000 円
項	01	総務管理費	最終予算額	9,660,000 円
目	05	財産管理費	決算額	8,090,500 円
事業の目的	・施設内の安全性の確保及び施設の長寿命化を図るため、庁舎の故障や不具合の有る箇所の修繕や保全のための点検・改修を実施する。		事業の概要	・庁内の総合管理体制を整備し、施設の長寿命化のため、修繕箇所に優先順位をつけ、効率的に修繕を行う。 ・空調設備の温度設定や使用時間の徹底など、経常経費の削減に努める。 ・庁舎における禁煙を徹底する。

事業の実績・成果

１．新型コロナウイルス感染症来庁者衛生に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名	車両管理事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	5314-09
款	02	総務費	当初予算額	12,070,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	12,070,000円
目	05	財産管理費	決算額	9,178,856円
事業の目的	・定期的な点検整備により安全性を確保するため、総括的配車管理により、保有する車を効率的に利用する。	事業の概要	・環境基準に合った車を適切に整備するとともに、修繕等では対応しきれない車を把握し、廃車に伴う買替えを行う。 ・庁内のネットワークを利用し、車両の利用状況の把握や管理を徹底する。 ・公用自動車の毎月の利用状況を報告書等で確認し、組織に応じた適正な配車体制を図る。	

事業の実績・成果

○車両買い替え時に低燃費、低排出ガス車への切り替えを進める中、市全体で3台の車両の入替え等を行い、燃費の節約や環境への配慮を図った。

・低公害車車両の割合：令和3年度末の低公害車138／保有車240台 ＝ 57.5%

1　共用車維持管理費用

(1) 燃料費

【本庁舎】令和3年度管理台数　21台（総務課）

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ガソリン	購入量（ℓ）	14,915	14,546	13,211	10,552	9,944
	支払額（円）	2,077,386	2,217,281	1,964,987	1,472,268	1,629,501
	平均単価(円)	139	152	149	140	164
軽油	購入量（ℓ）	3,439	3,726	3,744	477	463
	支払額（円）	389,626	484,305	467,240	55,960	68,256
	平均単価(円)	113	129	125	117	147

【騎西総合支所】令和3年度管理台数　4台（地域振興課）

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ガソリン	購入量（ℓ）	2,825	2,002	1,520	1,096	1,461
	支払額（円）	395,243	305,487	229,509	152,533	237,706
	平均単価(円)	140	153	151	139	163

【北川辺総合支所】令和3年度管理台数　11台（地域振興課）

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ガソリン	購入量（ℓ）	5,695	6,605	5,879	4,175	4,789
	支払額（円）	797,796	1,005,836	884,433	573,271	702,804
	平均単価(円)	140	152	150	137	147
軽油	購入量（ℓ）	500	587	597	453	462
	支払額（円）	58,224	75,861	76,421	51,706	63,401
	平均単価(円)	116	129	128	114	137

【大利根総合支所】令和３年度管理台数　10 台（地域振興課）

年　　度		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
ガソリン	購入量（ℓ）	4,386	4,035	3,483	3,074	2,867
	支払額（円）	599,551	613,067	524,960	434,644	468,822
	平均単価(円)	137	152	151	141	164
軽油	購入量（ℓ）	294	239	242	115	176
	支払額（円）	34,018	31,048	30,600	12,947	24,206
	平均単価(円)	116	130	126	113	138

＊車両管理事業全体の燃料費は、3,194,696 円

(2) 修繕料　　2,601,014 円（車検費用、車両修繕費用）

(3) 保険料　　1,379,089 円（任意保険料、自賠責保険料）

２　バス運転業務

年　　度		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
市所有中型バス	運行日数(日)	112	111	101	3	2
	走行距離(km)	9,396	10,175	10,011	323	183
レンタカーバス	運行日数(日)	8	9	3	0	0
	借上料（円）	260,691	283,332	108,173	0	0

※レンタカーバスについては、同日に複数の行事等によるバス運転業務が重複した場合に限り利用している。(令和３年度についても、新型コロナウイルス感染防止対応により、イベントが中止となったためレンタカーバスの利用なし)

３　ドライブレコーダーの設置

交通事故発生時における原因究明に役立てるとともに、防犯カメラとして地域の防犯に寄与するため、重要度や使用頻度等に応じてドライブレコーダーを設置した。

年　　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	合　　計
既存車（台）	0	47	9	56
リース車（台）	1	1	0	2
新車（台）	2	2	1	5
年度計	3	50	10	63

事業名	財政調整基金・市債管理基金事業			
担当課	財政課		総合振興計画コード	5311-11
款	02	総務費	当初予算額	1,438,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,438,000円
目	06	財政調整基金費	決算額	982,372円
事業の目的	災害復旧、市債の繰上償還、その他財源の不足を生じた時のために基金を積み立てるとともに、計画的に必要額を活用する。	事業の概要	預金利子を一般会計に収入した後、基金へ積み立てる。また、必要に応じて基金を取り崩し、一般会計に繰り入れる。	

事業の実績・成果

財政調整基金及び市債管理基金の管理を行い、将来の財源不足に備えるため積み立てを行った。
また、運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。

【年度末基金残高の推移】

1　財政調整基金（現金分）　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
取り崩し額	627,310,000	189,900,000	27,039,000	908,741	19,127,244
積み立て額	100,000	601,100,000	125,000,000	100,000	100,000
利子及び配当金	1,672,469	2,898,042	1,190,707	1,204,926	863,263
債券から現金に切り替え	10,000,000	0	0	0	0
現金から債券に切り替え	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0
年度末残高	2,130,658,448	2,444,756,490	2,543,908,197	2,444,304,382	2,426,140,401

※　オリンピック・パラリンピック関連事業の財源として、19,127,244円取り崩した。

2　市債管理基金　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
取り崩し額	12,514,000	381,004,000	38,346,000	100,000,000	227,000,000
積み立て額	0	0	0	0	0
利子	742,434	535,625	344,151	849,918	19,109
年度末残高	881,933,094	501,464,719	463,462,870	364,312,788	137,331,897

※　加須学校給食センター建設にかかる平成23年度借入（銀行等引受資金）の繰上償還の財源として227,000,000円取り崩した。

事業名	公共交通バリアフリー化事業			
担当課		政策調整課	総合振興計画コード	1165-03
款	02	総務費	当初予算額	46,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	46,000円
目	07	企画費	決算額	0円
事業の目的	年齢や障害の有無に関わらず、誰もが公共交通を利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、公共交通のバリアフリー化を促進する。		事業の概要	公共交通事業者に対し、駅舎等バリアフリー化を要望するとともに、バリアフリー化の改修を支援し、公共交通のバリアフリー化を図る。

事業の実績・成果

公共交通事業者に対し、駅舎等のバリアフリー化の要望活動を行った。

○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和3年10月　県交通政策課取りまとめ）

事業名	総合教育会議運営事業			
担当課		政策調整課	総合振興計画コード	2211-33
款	02	総務費	当初予算額	24,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	24,000円
目	07	企画費	決算額	6,000円
事業の目的	地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を適切に運営する。		事業の概要	市長と教育委員会により構成する、総合教育会議を開催し、以下の事項を協議・調整する。 ①加須市人づくりプランの進行管理 ②教育の条件整備など重点的に講ずべき施策 ③児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置

事業の実績・成果

○設置の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成27年4月1日から、全ての地方公共団体に市長と教育委員会で構成される「総合教育会議」の設置が義務付けられた。

本会議は、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とし、令和3年度は以下のとおり会議を開催した。

○開催回数　　1回（8月20日）

○構成員　　市長、教育長及び教育委員

○令和3年度の協議事項

・公立学校適正規模・適正配置についての意見交換

事 業 名		渡良瀬遊水地活用推進事業			
担 当 課		環境政策課		総合振興計画コード	4212-05
款	02	総務費		当 初 予 算 額	148,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	148,000 円
目	07	企画費		決 算 額	31,600 円
事業の目的	地域の振興と活性化を図るため、ラムサール条約湿地として登録された渡良瀬遊水地のワイズユース（賢明な利用）を推進する。		事業の概要	渡良瀬遊水地利活用推進計画を推進し、環境を保全しながら観光拠点としての活用を図る。	

事業の実績・成果

1　渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座の開催準備

栃木市、板倉町との共催による「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座」を令和４年度に実施するために、募集要項の検討及び広報２月号への募集記事の掲載を行った。

2　渡良瀬遊水地ロゴマークの活用

渡良瀬遊水地の価値や魅力を高め、親しみを深めてもらうために、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会で作成した、渡良瀬遊水地ロゴマークをイベントの周知等で活用した。

渡良瀬遊水地ロゴマーク

3　「渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会」　負担金　16,000 円

連絡会会員（栃木市、小山市、野木町、加須市、古河市、板倉町）及び事務局である（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と調整を行い、３月５日（土）にヨシ焼きを実施した。

4　第９回渡良瀬遊水地まつり in　KAZO

令和３年10月３日（日）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

事 業 名		渡良瀬遊水地まつり開催事業			
担 当 課		地域振興課（北川辺）		総合振興計画コード	4212-06
款	02	総務費		当 初 予 算 額	4,185,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	4,185,000 円
目	07	企画費		決 算 額	0 円
事業の目的	ラムサール条約の理念である、湿地の「賢明な利用（ワイズユース）」の考え方に基づき、渡良瀬遊水地の広大な自然の保全・活用を推進する。		事業の概要	渡良瀬遊水地のラムサール条約への登録を記念し、渡良瀬遊水地の歴史や環境、役割について、展示・体験を通じてその魅力を充分に発揮できるイベントを企画して、渡良瀬遊水地まつりを開催する。	

事業の実績・成果

渡良瀬遊水地まつり事務局会議及び実行委員への意見聴取を実施し、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ中止となった。

1　事務局会議

開催日　令和３年４月26日（月）

2　実行委員への意見聴取

聴取日　令和３年５月10日（月）～31日（月）

事業名	地域市民活動促進事業			
担当課	市民協働推進課		総合振興計画コード	5131-03
款	02	総務費	当初予算額	5,830,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	5,830,000円
目	07	企画費	決算額	4,711,313円
事業の目的	協働によるまちづくりを推進するために、市民の自主的・主体的な活動を支援する。		事業の概要	・市民の自主的、主体的な地域市民活動への参加を促進し、協働によるまちづくりを推進する。 ・「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。 ・地域市民活動支援補助金を活用し、団体の育成及び自立支援を行う。

事業の実績・成果

各地域で自主的に活動している市民活動団体に対し、人材育成や団体の成長に合わせた助成、情報の提供等を支援することにより、各種市民活動団体の自立促進を図った。

■地域市民活動支援補助金　460,000円

≪そだてよう部門≫　（単位：円）

団体名	補助金額	概要
加須子育て応援フードパントリー（加須）	160,000	〈子育て支援〉 フードパントリーを開催し、地域の子どもたちに食品を提供することで、子どもたちの健全育成に寄与するとともに、親たちの悩み相談や情報交換の場を提供することで、負担軽減等に寄与した。

≪いっしょに取り組もう部門≫　（単位：円）

団体名	補助金額	概要
一般社団法人すくすく広場（加須）	300,000	〈子育て支援〉 こども食堂、あそび場、学びの場を提供し、食事や学習の支援を行うことで、地域の子どもたちに居場所を与え、子どもたちの健全な育成に寄与した。

■まちづくり連携組織補助金　3,946,070円　（単位：円）

団体名	補助金額	概要
まちづくりネットワーク・かぞ	3,946,070	・まちづくり活動支援事業（総会、モデル事業支援、まちづくりフォーラムinかぞ2022開催等） ・情報受発信及びスキルアップ事業（まちネット通信発行、まちづくり研修、まちづくり視察研修（群馬県みどり市）開催等） ・市民活動ステーションの管理運営（市民活動団体支援、情報交換・交流事業等）

■市民活動ステーション管理運営費（消耗品費、電話料、会場借上料）　298,046円

■「市民活動フェア」　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため登録団体による活動紹介動画の配信形式で実施（令和4年3月1日から31日まで）

事業名		協働推進事業			
担当課		市民協働推進課		総合振興計画コード	5131-04
款	02	総務費		当初予算額	132,000円
項	01	総務管理費		最終予算額	132,000円
目	07	企画費		決算額	8,453円
事業の目的	将来にわたり自助・共助の精神が根づいた自立したまちをつくるため、市民、団体、企業や行政など相互の協働を推進する。		事業の概要	加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく各取組 ・協働による主体的な活動を後押しする新しいまちづくり市民会議の運営を支援する。 ・庁内の連携を図り市民等との協働を進めるため、庁内推進体制の確立を図る。 ・各課事務事業の協働の推進に係る啓発を行う。	

事業の実績・成果

○協働による事務事業の推進
・各課における協働による事務事業の状況を把握するため、調査を実施した。

○加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく庁内の協働体制づくりの推進
・各課に協働によるまちづくり推進員を配置した。

○まちづくり市民会議の開催（中止）
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和３年度は開催できなかった。
・市民会議の一環として、18歳から29歳までの若者世代を対象とする若者会議を7月から開催するため、6月に募集を行ったが、応募がなかったため令和３年度は開催できなかった。

事業名		夢・未来応援事業			
担当課		市民協働推進課		総合振興計画コード	5131-14
款	02	総務費		当初予算額	1,838,000円
項	01	総務管理費		最終予算額	1,838,000円
目	07	企画費		決算額	739,547円
事業の目的	加須市の未来を担う若者たちの夢を叶えるための挑戦を市民とともに応援することにより、市全体の活気を盛り上げ、もって元気都市かぞの実現を目指す。		事業の概要	夢を叶えるために応募してきた若者たち（市内の中学生～20歳以下）の挑戦を、一定条件の中で審査し、対象者に夢チャレンジ応援助成金（上限20万円）の支給や応援者との接点を作るなど、全市を挙げて応援する。3年以内に最終成果報告を広報紙やHPに掲載する。	

事業の実績・成果

○事業周知（7月）
・広報紙による周知や校長会において各中学校へのPRを行うほか、市内各中学校へPRチラシを配布
・市内及び近隣の高等学校、公共施設などにポスターを掲示

○挑戦者募集期間（8月2日～9月30日）
・市HP、公式ツイッター、フェイスブックにて募集開始を周知した。

○一次審査：担当及び関係部課長等による書類審査（10月21日）
・応募者：4人
・一次審査通過者：4人

○二次審査：公開プレゼンテーション
・日　時：12月12日（日）10時00分～
・場　所：パストラルかぞ 1階展示室
例年市民プラザかぞ　視聴覚ホールで開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためパストラルかぞ1階展示室に会場を拡大した。（新型コロナウイルス感染症対応経費4,500円）
・審査員：副市長、教育長
加須市観光大使2人（小春あやさん、小出美里さん）
会場に来場した会場審査員16人
・採用決定者：4人

○夢・未来応援事業チャレンジャーとして4名への支援を決定
① motoGPライダーになりたい
・挑戦者：田村颯一さん（騎西中学校）
・理　由：世界でレースがしたいから
・今頑張っていること：CBR250R Dream Cupに出場し、1位をとるために練習
・これからチャレンジしたいこと：ロードレースに出場し、良い成績を収めていきたい

② バスプロになりたい
・挑戦者：加藤怜旺さん（北川辺中学校）
・理　由：The Fishingのバス釣りのプロがかっこよかったから
・今頑張っていること：キャスト練習や実釣をして経験を積み重ねること
・これからチャレンジしたいこと：霞ヶ浦などで行われる大会やバスプロのガイドの釣りなどを行いたい

③ 科学捜査研究所の研究員になりたい
・挑戦者：黒島萌生さん（久喜北陽高校）
・理　由：小学2年生の時に叔父から元素周期の本をもらったのをきっかけに、小学5、6年生のころに自分の好きな理科を生かせる仕事は何だろうと考えたときに浮かんだのがこの仕事だったから
・今頑張っていること：学校のコース選択で理系を選択し理系科目を中心に勉強していること、勉強だけでなく社会に出たときに必要な体力をつけること
・これからチャレンジしたいこと：科捜研で、法医学の担当に興味があるので法医学に精通した方の話を聞きたい

④ KPOPアーティストのちミュージカル女優になりたい
・挑戦者：河智美空さん（加須西中学校）
・理　由：KPOP アーティストになり、ゆくゆくはミュージカル女優として、歌とダンス・お芝居で人に笑顔や夢・希望を届けたい
・今頑張っていること：毎日、KPOPのダンス練習や歌の練習のため教室に通っている
・これからチャレンジしたいこと：いろいろなオーディションを受けたい、自分を知ってもらうためにYOUTUBE動画配信をしたい

○応援支援金の支給　564,290円
・書　道　家：書道技術向上のための講座受講費、個展開催に係る費用等
・テニス選手：合宿費、大会の出場に係る費用等
・ダンサー：ダンス技術向上のための講座受講費等

○「夢の応援者（サポーター）」からの支援（令和3年度実績0件）

事 業 名		家族・地域の絆推進運動事業		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	5133-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	195,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	195,000 円
目	07	企画費	決 算 額	22,822 円

事業の目的	市民一人ひとりが家族や地域のつながりを深め、市民相互の信頼関係やコミュニティ意識を高めることにより、地域力の向上を図るとともに、「協働」のまちづくりをさらに深化させる。	事業の概要	絆運動の６つの柱（夢・安心・安全・快適・活力・いきいき）のそれぞれの視点から運動の推進を図る。 ・基本運動 あいさつ運動、えがお運動、おもいやり運動の励行 ・基本行動 市に関わりのあるすべての団体が、「絆」マーク、文言、冠を活用し、運動の展開に努める。

事業の実績・成果

○ 家族・地域の絆推進運動推進本部

本部員 54 名、参与 3 名、顧問 5 名、合計 62 名の体制で、家族・地域の絆推進運動推進本部会を書面評決により開催し、また、実際の事業を実施する推進部会（本部員 19 名）を開催し、年間事業を計画及び実施することにより、絆運動の推進を図った。

○ 絆ポスターの募集

家族・地域の絆推進運動の啓発及び PR に活用して運動の一層の推進を図るため、市内の高校の美術部に絆ポスターの募集を行ったが、作品の応募に至らなかった。

○ 図書館における PR

各図書館において、絆に関係する図書の紹介等のコーナーを一定期間設置し、絆運動の周知 PR を行った。

○ 啓発用マスクの配布による PR

各種団体の会議やイベント等の際に、絆運動を啓発するマスク 350 枚を配布した。

○ 基本行動の実施

市や市民団体等が主催する事業において、基本行動（「絆」マーク、「絆」文言、「絆」冠の活用等）の実施を促進し、絆運動の市民等への周知を図った。

(1)「絆」マークの活用事例　107 件（令和 3 年 1 月～12 月）
(2)「絆」冠の活用事例　6 件（同上）
(3) ポスター・標語作品の活用事例　5 件（同上）

○ アンケート調査

本運動がどの程度浸透しているか、アンケート調査を行った。

・調査は、公共施設利用者、市内公立小中学生、自治協力団体の会長・区長等のほか、審議会や役員会等の会議参加者を対象に行った。
・市内公立小中学生については、小学 2 年生、5 年生及び中学 2 年生の児童生徒に対し行った。

【対象】市内公立小学校 22 校児童　1,510 名、中学校 8 校生徒　816 名、一般　422 名
【設問】「あなたは、絆マークを見たことがありますか？」について、「ある」と回答した割合

（単位：%）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
98.00	96.6	96.3	94.5	91.3

事業名	居住ＵＩＪターン促進事業		
担当課	まちづくり課	総合振興計画コード	5213-01
款 02	総務費	当初予算額	1,499,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	1,499,000円
目 07	企画費	決算額	816,020円

事業の目的	事業の概要
「絆でつくる緑あふれる安心安全・元気な田園都市　加須」の実現を目指し、居住ＵＩＪターンに取り組み、市外からの移住や市内に住む親族との同居・近居を促進・支援して定住人口を確保する。 また、親族との同居・近居は、親族間での生活支援等（子育て・介護・経済）が可能となることから、相互の安心・安全な生活の確保と本市の活性化を実現する。	市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする者を定住コンシェルジュがサポートし、住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除、引越費用の一部助成、加須産米の贈呈、移住に関するオンライン相談、移住体験見学会を行い移住・定住を促進する。

事業の実績・成果

１ 定住コンシェルジュを配置し市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする者に対して、適切なアドバイスを行った。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受付件数（件）	123	122	132	134	82

２ 住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除を行った。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象件数（件）	54	56	43	41	44
手数料免除金額（円）	788,920	839,000	657,700	623,040	728,620

３ 市内に自己用住宅を取得して転入する中学生以下の子と同居する親子に引越し費用の一部助成を行った。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
助成件数（件）	58	63	46	47	45
助成金額（円）	514,000	546,000	445,000	566,000	439,000

４ 市内に転入する中学生以下の子と同居する親子に、中学生以下の子１人につき２ｋｇの加須産米引換券の贈呈を行った。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
贈呈件数（世帯）	298	306	315	296	257
贈呈量（kg）	850	906	940	870	738
引換量（kg）	714	620	572	590	534
決算（円）	283,780	258,400	241,080	248,240	215,320

５ 居住ＵＩＪターンを促進するため、ＰＲ用リーフレットを改訂した。　1,000部作成

事業名	コミュニティバス運行事業		
担当課	政策調整課	総合振興計画コード	5241-01
款 02	総務費	当初予算額	98,506,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	102,808,010円
目 07	企画費	決算額	95,416,780円
事業の目的	高齢者等、交通弱者の病院・公共施設等への移動手段を確保し、公共交通の維持・充実を図るため、コミュニティバスを運行する。（実施主体：加須市コミュニティバス円滑運行協議会）	事業の概要	市民等との協働により策定した「地域公共交通総合連携計画」に基づき、市全域（栗橋駅西口を含む）を運行エリアとして、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの3つの運行方式によるコミュニティバスを運行するとともに、より市民に利用しやすいコミュニティバスとなるよう随時運行改善を実施する。

事業の実績・成果

病院・公共施設等への移動手段の確保や、公共交通不便地域の解消を図るため、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの3つの運行方式でコミュニティバス「かぞ絆号」を運行した。

令和4年6月の済生会加須病院開院を見据えて、令和4年1月にシャトルバスのルートを変更し、デマンド型乗合タクシーを2台増車した。

○コミュニティバス「かぞ絆号」の1日平均利用者数　（単位：人）

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
デマンド型乗合タクシー	北エリア	8.5	7.8	6.4	6.3
	中エリア	64.3	61.8	47.1	54.9
	南エリア	43.4	42.3	31.3	34.3
	小計	116.2	111.9	84.7	95.5
シャトルバス	新古河駅西口発	9.6	8.7	6.3	6.0
	プラザきさい発（※）	7.8	7.9	4.9	5.2
	小計	17.5	16.6	11.2	11.2
循環バス	西循環	17.2	16.8	10.1	15.1
	東循環	56.2	55.9	44.2	49.2
	小計	73.3	72.7	54.3	64.3
合計		207.0	201.2	150.2	171.0

端数処理の都合により合計が一致しない箇所がある。

（※）シャトルバスのプラザきさい発は、令和4年1月から加須駅南口発

事 業 名		路線バス・タクシー維持促進事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	5242-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	10,210,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	10,210,000 円
目	07	企画費	決 算 額	10,195,647 円
事業の目的	市民が安全、便利、快適に移動できるよう民間路線バス・タクシーの維持・継続を図る。		事業の概要	民間路線バス、タクシーの維持・継続に向けて事業者等との協議を実施する。 路線バス東鷲宮ー豊野コミセン線、東武鷲宮駅までの乗入れを実施し、新たな需要の創出を図り、路線の継続に向けた支援を実施する。

事業の実績・成果

民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）について、補助金を交付し、路線の維持・充実を図った。

○民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）への補助及び路線の充実
・朝日自動車株式会社が運行する路線バス「東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線」について、運行費用の一部について、補助を実施し、路線の継続を図った。
・前年度の要望に基づき、令和３年７月１日から東武伊勢崎線鷲宮駅東口への乗入れを開始した。

（年間延べ利用者数）　（単位：人）

令和２年度	令和３年度	増減数
205,198	162,142	▲43,056

事 業 名		鉄道輸送力増強等促進事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	5243-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	75,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	75,000 円
目	07	企画費	決 算 額	19,000 円
事業の目的	市民が安全、便利、快適に移動できるよう、鉄道の維持・充実を図るため、鉄道の輸送力増強等を促進する。		事業の概要	東武伊勢崎線・日光線輸送力増強等、久喜駅での伊勢崎線と東北本線との相互直通運転、地下鉄7 号線延伸、東北新幹線久喜駅設置など、鉄道の輸送力増強等に関する要望活動及び交通施策の調査・研究を行う。

事業の実績・成果

交通政策関連協議会等に参画し、要望活動を実施した。

○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和3年10月　県交通政策課取りまとめ）

○東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会での要望活動
・令和3年11月1日　東武鉄道株式会社に対して「東武伊勢崎線輸送力改善に関する陳情書」を書面にて提出した。

○地下鉄7号線建設誘致期成同盟会での要望活動
・令和3年11月19日　埼玉県知事及び埼玉県議会議長並びに関係する県議会議員に対して「埼玉高速鉄道線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を書面にて提出した。
・令和4年3月17日　国土交通大臣をはじめとする政務三役及び関係する国会議員に対して「埼玉高速鉄道線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を書面にて提出した。

○東北新幹線久喜駅設置促進期成同盟会での要望活動
・令和3年11月9日　東日本旅客鉄道株式会社大宮支社及び埼玉県に対して「東北新幹線久喜駅設置に関する陳情書」を書面にて提出した。

事 業 名		栗橋駅橋上駅舎起債償還事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	5243-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,391,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	2,948,000 円
目	07	企画費	決 算 額	2,947,908 円
事業の目的	公共交通の維持・充実を図るため、平成 12 年の栗橋駅西口開設に伴い、自由通路、西口駅前広場を整備した際に締結した協定書に基づき、旧栗橋町が起債した公債費の精算を行う。		事業の概要	栗橋駅の自由通路、駅前広場の整備に伴い、旧栗橋町が起債した公債費のうち、旧大利根町が負担すべき償還金に相当する額（50%）を久喜市に負担金として支払う。

事業の実績・成果

栗橋駅西口の開設に伴う自由通路及び西口駅前広場整備に係る負担金を協定書に基づき久喜市に支払った。

○負担金支払い期間　　平成 12 年度から令和 3 年度までの 22 年間

○直近 5 年間の負担金支払い状況　　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
負担金支出額	20,182,881	20,182,881	20,182,881	8,169,473	2,947,908

事 業 名		マイナンバー活用事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	5251-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	7,207,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	8,136,408 円
目	07	企画費	決 算 額	8,136,220 円
事業の目的	市民の利便性の向上と行政の効率化を図るため、マイナンバー制度を活用する。	事業の概要	申請時等の事務手続きの簡素化のため、申請時等の添付書類の削減を図るとともに、マイナンバーカードの機能拡充のため、カードの空き領域等を使用した情報の搭載を検討する。	

事業の実績・成果

1　マイナンバーカードの機能拡充の推進

【マイナンバーカードの活用が可能な行政サービス】

・平成29年3月住民票の写し、印鑑登録証明書等のコンビニ交付を開始
・平成29年11月マイナポータルに係る子育てワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始
・令和元年11月マイナポータルに係る介護ワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始
・令和2年3月図書館の貸出カードへ公的個人認証（JPKI）シリアル方式を導入
・令和3年10月マイナンバーカードの健康保険証利用の本格運用開始

2　特定個人情報保護評価の再実施

住民情報システムの入替及び新型コロナウイルスワクチン接種の開始に伴い、評価の再実施を行った（重点項目評価書3事務、基礎項目評価書14事務）。

3　特定個人情報保護評価書の見直し

公表している評価書の記載事項を実態に照らして、必要な修正を行った（基礎項目評価書3事務）。

4　マイナポイント事業の推進

マイナンバーカードを活用した消費活性化策である国のマイナポイント事業について、令和2年度から引き続き、本庁舎及び各総合支所に支援窓口を設置し、マイナンバーカード取得者に対して、マイナポイントの申込支援を行うとともに、ホームページをはじめとする各種の広報媒体を通じ、市民に対して事業内容の説明・周知を行った。

(1)マイナポイント第１弾

①マイナンバーカード新規取得者等（最大5,000円相当のポイント付与）

・ 実施期間：令和２年９月１日から令和３年12月31日まで
・ ポイント申込の対象となるマイナンバーカードの申請期限は、令和３年４月30日まで
・ マイナポイント第１弾に係る申込支援件数　7,068件

(2)マイナポイント第２弾

①マイナンバーカード新規取得者等（最大5,000円相当のポイント付与）

・ 実施期間：令和４年１月１日から令和５年２月28日まで
・ ポイント申込の対象となるマイナンバーカードの申請期限は、令和４年９月30日まで
・ マイナポイント第２弾に係る申込支援件数　523件（令和４年３月31日現在）

②健康保険証利用登録（7,500円相当のポイント付与）

・ 実施期間：令和４年６月30日から令和５年２月28日まで

③公金受取口座登録（7,500円相当のポイント付与）

・ 実施期間：令和４年６月30日から令和５年２月28日まで

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">総合振興計画進行管理事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">政策調整課</td><td>総合振興計画コード</td><td>5311-02</td></tr>
<tr><td>款</td><td>02</td><td colspan="2">総務費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>132,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td colspan="2">総務管理費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>52,833 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>07</td><td colspan="2">企画費</td><td>決 算 額</td><td>41,500 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「絆でつくる　緑あふれる　安心安全・元気な田園都市加須」を実現するため、総合振興計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む。）の進捗を管理する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">各施策の実現に向け、各事業及び KPI の進捗状況を把握し、助言・指導等を行う。
第 2 次総合振興計画
・計画期間（令和 3 年度～令和 12 年度）
・前期基本計画（令和 3 年度～令和 7 年度）</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">「加須市総合振興計画及び加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇話会」において、最終年度の総合評価を実施し、まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含した第 2 次加須市総合振興計画（計画期間：令和 3 年度～令和 12 年度）の取組につなげた。
・第 1 次加須市総合振興計画（平成 23 年度～令和 2 年度）の最終年度の総合評価
「順調に推進できた」と評価した割合　81.7%
・加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年度～令和 2 年度）の総合評価
「順調に推進できた」と評価した割合　87.3%</td></tr>
</table>

事 業 名		行政経営プラン進行管理事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	5311-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	54,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	54,000 円
目	07	企画費	決 算 額	42,000 円
事業の目的	「市民との協働による未来につなげる自治体経営」を実現するため、「第３次加須市行政経営プラン」に定める事項を着実に実行する。		事業の概要	取組状況を定期的に把握し、進捗を的確に管理するため、加須市行政経営本部会議において協議を行うとともに、加須市行政経営懇話会に報告し、意見及び助言等を受け、様々な視点からの評価や見直しを行う。 計画期間（令和３年度～令和７年度）

事業の実績・成果

１　行政経営プランの取組結果

「市民との協働による真に自立した自治体経営」の実現を目指し、第２次加須市行政経営プラン（計画期間：平成28年度から令和２年度まで（計画期間：５年間））に掲げる取組項目の全117項目について、令和２年度の取組結果を加須市行政経営本部会議及び加須市行政経営懇話会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。

令和２年度については、再掲等７項目及び新型コロナウイルス感染症による影響を受けたことにより正しい評価ができなかった25項目を除いた85項目中、65項目（76.5%）が「目標を達成・概ね達成」と評価された（下表参照）。

［令和２年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）］

区　分	取組項目数	割　合
1　目標を達成	38（42）	44.7%（37.5%）
2　概ね達成	27（46）	31.8%（41.1%）
3　やや遅れている	11（15）	12.9%（13.4%）
4　大幅に遅れている	9（ 9）	10.6%（8.0%）

※（　）内：令和元年度取組結果（第２次加須市行政経営プランでの取組結果）

２　加須市行政経営本部会議の開催

令和３年７月に本部会議を開催し、行政経営プランの各取組の進捗状況を確認するとともに、取組を実施するに当たり、生じた課題等について議論し解決を図った。

３　加須市行政経営懇話会の開催

令和３年８月に懇話会を開催し、市民の立場と経営の視点から、行政経営プラン取組結果等について意見や提言をいただいた。

４　取組結果等の公表

令和２年度における取組結果等について、広報かぞ（12月号N0.141）及びホームページにて公表した。

事 業 名		行財政改革推進事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	5311-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	115,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	115,000 円
目	07	企画費	決 算 額	92,928 円
事業の目的	市民に質の高い行政サービスを提供していくため、持続可能で安定的な行財政基盤を確立する。		事業の概要	効果的で効率的な自治体運営を推進するため、すべての事務事業について加須やぐるまマネジメントサイクルによる行政評価を行い、不断の改善と見直しを進めるとともに、資産の有効活用などによる財源の確保、サービスと負担の適正化などを推進する。

事業の実績・成果

1　有料広告の取組

民間企業等との協働により、市の新たな財源の確保や歳出削減、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図ることを目的に、有料広告の取組を実施した。

令和３年度に広告料収入又は無償提供があったものは、5 件の媒体で、収入額及び削減額の合計は、2,037 千円であった。

（1）広告料収入を得たもの

No.	名　称	収入額	備　考
1	市ＨＰバナー広告	540,000 円	・7/15 枠掲載（月額 10,000 円/1 枠）
2	循環バス車内広告	36,000 円	・3/5 枠掲載（月額 1,000 円/1 枠） ・収入の 1/2 を手数料として車両所有事業者へ支払う。（18,000 円）
3	広告付受付番号自動発券機システム	456,000 円	・本庁舎及び各総合支所に設置する行政情報・広告放映モニターで広告放映し、広告料の一部を納入
合　計		1,032,000 円	

（2）現物の無償提供を受けたものと削減効果額

No.	名　称	削減効果額	備　考
1	市民課等窓口用封筒	265,056 円	・角２窓なし封筒 14,000 枚・角６窓なし封筒 74,000 枚
2	広告付受付番号自動発券機システム	740,000 円	・受付番号自動発券機を無償提供
合　計		1,005,056 円	

2　令和３年度 若手職員及び女性職員によるプロジェクトチームの取組

・目　的 ： 若手職員や女性職員の育成及び組織の活性化

・構成員 ： 男性３名、女性３名、合計６名

・研究テーマ：「新しい時代に対応した安心安全の加須市へ」

加須市の動向として安心安全な生活への関心が高まっていることから、様々な世代やライフスタイルに合わせた取組のほか、ICT などのデジタル技術を活用した「安心安全なまちづくり」を目指す提案を行い、5 本の提案が事業化された。

3　職員提案制度に基づく事務改善事例の活用

本市の市政に関する改善を行うことを奨励し、もって職員の意欲の向上及び考える職員の育成並びに組織の活性化を図ることを目的として、毎年、各課が所掌する事務又は事業で、効果的に見直した事務改善の事例を改善事例集として取りまとめた。

・改善報告数：78 件(全 56 課所室)

また、他課から報告された事務改善事例を自課の事務改善へ取り入れることにより、全庁的に改善効果を高める取組を行った。

・改善報告事例　活用済（一部活用を含む）：101 事務

4　行政手続等における押印の見直し

市民の負担軽減と利便性の向上を図るため、行政手続等における押印の見直しを引き続き進めた。

・押印を廃止した行政手続等の例

出生届、死亡届、身体障害者手帳交付等申請書、埋立て等許可申請書　など

・行政手続等における押印の見直し結果

		総　数（①+②）			①　市の規定に基づくもの			②　国、県等の規定に基づくもの		
			廃止	継続		廃止	継続		廃止	継続
市民向け行政手続	押印有申請書等の数	1,765	1,397	368	1,397	1,073	324	368	324	44
	割合（%）	100%	79%	21%	79%	77%	23%	21%	88%	12%
市役所内部手続	押印有申請書等の数	427	368	59	248	197	51	179	171	8
	割合（%）	100%	86%	14%	58%	79%	21%	42%	96%	4%
合　計	押印有申請書等の数	2,192	1,765	427	1,645	1,270	375	547	495	52
	割合（%）	100%	81%	19%	75%	77%	23%	25%	90%	10%

事業名	分権推進事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	5311-07
款	02	総務費	当初予算額	3,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	3,000円
目	07	企画費	決算額	0円
事業の目的	計画的な行政運営を推進するため、本市が地域の実情に即した行政を展開できるよう、地方分権を推進する。	事業の概要	県と移譲を受ける事務について調整する。	

事業の実績・成果

埼玉県権限移譲方針に基づき、移譲対象事務に関し、県との調整を行った。

○移譲事務の状況　（単位：事務）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全体の移譲対象事務数	176	176	175	164	164
本市への移譲対象事務数	112	112	112	110	110
移譲済み事務数	83	84	84	84	84
受入率（%）	74.1	75.0	75.0	76.4	76.4

事業名	個人版ふるさと納税促進事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	5311-17
款	02	総務費	当初予算額	17,847,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	24,655,967円
目	07	企画費	決算額	23,197,134円
事業の目的	計画的な財政運営を推進するため、加須市を愛し、応援しようとする個人または団体から広く寄附金を募り、歳入の確保を図るとともに、寄附者の加須市に対する思いを具現化する。	事業の概要	ホームページ等を活用し、ふるさと納税制度（ふるさとづくり寄附金）のＰＲを実施する。 また、一定額以上の寄附者に対し、返礼品を贈呈する。 寄附金を基金に積み立て、各種事業の財源とする。	

事業の実績・成果

ふるさと納税（ふるさとづくり寄附金）で加須市に貢献したい、応援したいという個人や団体から広く寄附金を募った。市ホームページ及びにふるさと納税ポータルサイトへの掲載を行った。一般社団法人埼玉レディースベースボールに事務の一部を委託した。

令和３年５月に、新たに「楽天ふるさと納税」への掲載を開始した。

○寄附金の実績

	令和元年度		令和２年度		令和３年度	
個人	419件	17,598,844円	1,227件	25,826,683円	2,844件	43,747,776円
団体	10件	856,676円	10件	2,026,553円	8件	3,308,285円
合計	429件	18,455,520円	1,237件	27,853,236円	2,852件	47,056,061円

○ふるさと納税に要した経費等　（単位:円）

歳入	ふるさと納税のうち個人分（A）	43,747,776
歳出	報償品費（送料含む）	14,488,167
	手数料、消耗品費、委託費、印刷製本費、郵便料	8,708,967
	合計（B）	23,197,134
費用負担割合（B/A）		53.0%

※募集に係る費用以外も含む。

○ふるさと納税の寄附金の内訳

寄附金の内訳	件数	金額
豊かな自然と快適な環境のまちづくりに関する事業	661件	9,417,000円
芸術文化の振興に関する事業	64件	983,000円
健康づくりの推進に関する事業	141件	3,602,747円
まちおこしに関する事業	126件	1,842,538円
スポーツの振興に関する事業	80件	1,851,000円
地域における保健福祉活動を推進する安全なまちづくりに関する事業	157件	2,271,776円
教育が充実した豊かなまちづくりに関する事業	535件	9,858,000円
地域医療体制の確保に関する事業	395件	5,319,000円
特に使途を希望しない	693件	11,911,000円
合計	2,852件	47,056,061円

事 業 名		企業版ふるさと納税促進事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	5311-18
款	02	総務費	当 初 予 算 額	75,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	489,950 円
目	07	企画費	決 算 額	486,950 円

事業の目的	加須市を本拠地として活動する「埼玉西武ライオンズ・レディース」の運営法人である「一般社団法人埼玉レディースベースボール」と相互に連携協力しながら、女子野球の普及・発展とともに、女子野球を基軸としたスポーツによる地域活性化の推進を図る。	事業の概要	・女子野球を基軸とした地域おこしの仕組みづくり ・加須市をあげて埼玉西武ライオンズ・レディースを応援する気運醸成の仕掛けづくり ・企業版ふるさと納税を活用した女子野球の振興策の実施

事業の実績・成果

「埼玉西武ライオンズ・レディース」の運営法人である「一般社団法人埼玉レディースベースボール」との連携協定に基づき、女子野球を基軸としたスポーツによる地域活性化の推進を図るため、令和3年度から企業版ふるさと納税制度の活用を開始した。

令和3年4月12日、企業版ふるさと納税寄附金の受領事務等の手続き方法を定めるため、「加須市企業版ふるさと納税実施要綱」を策定した。

令和3年4月27日から、寄附企業の新規開拓の営業活動等を一般社団法人埼玉レディースベースボールに委託し、寄附金の確保を図った。

○加須市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）
・計画期間：令和3年4月1日から令和7年3月31日まで
・令和3年3月31日に内閣府から認定を受けた。

○企業版ふるさと納税の寄附金の内訳

寄附金の内訳	件数	金額
女子野球でつながる“ひと”も“まち”も元気プロジェクト	5件	4,100,000円
安心安全でいきいきと暮らせるまちづくり事業	0件	0円
魅力と活力を生む産業のまちづくり事業	0件	0円
未来へつなぐ人を育むまちづくり事業	0件	0円
豊かな自然と快適な環境のまちづくり事業	0件	0円
協働による持続可能なまちづくり事業	0件	0円
合計	5件	4,100,000円

事 業 名		水と緑と文化のまちづくり基金事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	5311-19
款	02	総務費	当 初 予 算 額	8,547,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	21,823,000 円
目	07	企画費	決 算 額	21,798,153 円
事業の目的	加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を本市のまちづくりに要する経費の財源として基金に積み立て活用を図る。	事業の概要	加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を基金に積み立て、適正な管理及び活用を図る。	

事業の実績・成果

基金運用から生じた利益（利子）及び寄附金について、基金へ積み立てた。

芸術文化の振興のため、斎藤与里絵画修復（1,716,000円）と、健康づくりの推進のため、新型コロナウイルス感染症PCR検査代（331,000円）に基金を活用した。

令和4年4月1日から、「加須市水と緑と文化のまちづくり基金条例」を一部改正し、基金を財源として実施する事業に「子育て支援に関する事業」と「地域医療の充実に関する事業」を追加した。

【基金残高（令和4年3月末）】　（単位：円）

		令和３年度
前年度末高		98,618,503
積立額		21,798,153
	（内 利子）	1,868
	（内 寄附金）	21,796,285
取崩額		2,047,000
年度末残高		118,369,656

事 業 名		政策調整管理事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	5311-26
款	02	総務費		当 初 予 算 額	811,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	726,200 円
目	07	企画費		決 算 額	683,485 円
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像を実現するため、行政施策の総合調整等を実施する。		事業の概要	行政施策の企画、調査・研究、総合調整を行う。	

事業の実績・成果

○政策会議：18 回実施(14 件)

○国・県への要望状況(市長会)

	国への要望（毎年2月頃）	県への要望（毎年7月頃）
平成29年度	○幼児教育･保育の無償化に対する財源措置と市町村の意見聴取について	①国民健康保険に係る財政基盤の充実強化について ②地域医療体制の確保・充実について ③介護保険事業運営（第７期以降）の財源となる公費負担割合の引き上げ等について
平成30年度	○中川上流地区の国営による排水対策事業の整備促進について	①一級河川青毛堀川及び一級河川中川の早期河川整備について ②国民健康保険に係る財政基盤の充実強化について ③障害児（者）生活サポート事業の県補助の拡充について
令和元年度	○利根川及び渡良瀬川の整備促進について	①利根保健医療圏における周産期医療施設等整備の充実について ②農業振興地域整備計画の変更の要件緩和について ③一般国道125号バイパスの早期整備（４車線化）と主要県道の整備について
令和2年度	○都市計画法改正に伴う開発許可制度の見直しについて	①介護人材の確保・定着について ②利根川新橋の整備について ③農業振興地域整備計画の変更の要件緩和について
令和3年度	○普通交付税における地域デジタル社会推進費に係る地方交付税措置について	①一級中川、一級河川青毛堀川及び稲荷木落排水路の整備促進について ②介護保険の調整交付金の交付割合を介護給付費の5%とすることについて ③利根川新橋の建設について

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">公共施設等総合管理計画進行管理事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">政策調整課</td><td>総合振興計画コード</td><td>5314-02</td></tr>
<tr><td>款</td><td>02</td><td colspan="2">総務費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>62,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td colspan="2">総務管理費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>62,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>07</td><td colspan="2">企画費</td><td>決 算 額</td><td>52,800 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">市民サービスの向上と安定的な財政運営を図りながら、公共施設等の総合的な管理を推進する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">加須市公共施設等総合管理計画に定める基本方針に基づき、庁内検討組織（公共施設等総合管理計画推進本部及び分科会）において、今後の行政サービスのあり方と各施設のあり方を一体的に検討する。
計画期間：令和 4 年度～令和 37 年度</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">公共施設の庁内検討組織（公共施設等総合管理計画推進本部及び分科会）において、今後の施設のあり方を検討した。</td></tr>
</table>

事業名	広域行政推進事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	5315-01
款	02	総務費	当初予算額	0円
項	01	総務管理費	最終予算額	81,100円
目	07	企画費	決算額	81,100円
事業の目的	広域行政を推進するため、時代のニーズに応じた広域行政の可能性や効果について検討し、推進する。	事業の概要	関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会に参画し、公共施設の相互利用等を推進する。 また、三県境の利用促進や新橋建設促進に向けた自治体間連携など、新たな広域的な取組を推進する。	

事業の実績・成果

広域的な取組に参画し、公共施設の相互利用等、広域行政の推進を図った。

○北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会
・公共施設の相互利用：構成市（加須市、行田市、羽生市）の体育施設、図書館等
・広報紙への共同掲載：各市で開催されるイベント情報の提供

○関東どまんなかサミット会議
・令和3年10月22日　関東どまんなかサミット会議を開催（会場：栃木県小山市）
・公共施設の相互利用：構成市町（加須市、茨城県古河市、栃木県栃木市、小山市、野木町、群馬県板倉町）の体育施設、図書館等
・広報紙への共同掲載：各市町で開催されるイベント情報の提供

○久喜市
・公共施設の相互利用：加須市・久喜市の体育施設、図書館等

○三県境の利用促進に係る取組
埼玉県加須市、栃木県栃木市、群馬県板倉町が平成29年5月19日付けで締結した「三県境整備等に関する覚書」に基づき、2市1町が共同し、三県境のＰＲ及び観光資源としての推進を図るためのイベント等を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし。
三県境プレートの盗難に伴う防犯カメラ設置負担金を支出した。

≪三県境プレート盗難に伴う再設置≫
再設置式：令和3年10月29日(金)
・三県境杭に新たなプレートを再設置
・加須市長、栃木市長、板倉町長の連盟により関連企業へ感謝状を贈呈

≪防犯カメラの設置≫
三県境プレートの盗難に伴い、2市1町で費用負担をし、三県境へ防犯カメラを設置
総費用：222,200円
負担金：加須市 81,100円、栃木市：98,500円、板倉町：42,600円

≪三県境フェアーの開催≫
新型コロナウイルス感染症まん延防止措置適用のため中止（実施予定日：令和4年3月）

≪三県境ＰＲ≫
・パンフレット配布：市内公共施設にて三県境をＰＲ
・報道機関への情報提供：三県境ＰＲ、プレート盗難及び再設置

事業名	公平委員会運営事業			
担当課	公平委員会		総合振興計画コード	5312-05
款	02	総務費	当初予算額	400,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	400,000円
目	08	公平委員会費	決算額	211,484円
事業の目的	地方公務員法に基づき職員の勤務条件に関する措置の要求及び不利益処分に関する審査請求の審査を行う。		事業の概要	地方公務員法に基づき、職員の給与、勤務時間等の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し必要な措置をとり、また、不利益な処分の審査請求に対する裁決をする。その他、措置要求又は審査請求に至らない軽微な苦情処理を行う。 全国公平委員会連合会、同関東支部及び埼玉県公平委員会連合会との連絡調整を行い、同総会・研究会に出席する。

事業の実績・成果

公平委員会業務を円滑に実施したほか、研修会を開催したことにより委員及び職員の更なる知識の習得が図られた。

1　公平委員会運営状況
- 公平委員会の開催：2回（職員の苦情相談及び処分状況等についての報告等）
- 職員の苦情相談：なし
- 勤務条件に関する措置要求：なし
- 不利益処分に関する審査請求：なし

2　加須市公平委員会研修会
開催日：令和3年12月22日（水）　13時30分～15時00分
会　場：加須市役所4階　本会議場
講　師：加須市公平委員会事務職員
「職員の苦情相談対応について」
対象者：加須市公平委員会委員・事務職員
広域利根斎場組合公平委員会委員・事務職員
埼玉東部消防組合公平委員会委員・事務職員
社会福祉法人加須市社会福祉法人協議会職員
公益社団法人加須市シルバー人材センター職員
参加者数：18人
新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小し関係団体のみで実施

事 業 名		自治協力団体活動促進事業		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	5131-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	128,705,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	128,705,000 円
目	09	自治振興費	決 算 額	124,611,937 円
事業の目的	市民と行政の協働によりまちづくりを進めていくため、協働のパートナーである自治協力団体（自治会・町内会・区）の運営の円滑化を図り、地域の自治を促進する。		事業の概要	・自治協力団体及び自治協力団体間の連絡調整機関である自治協力団体連合会の機能を強化する。 ・各自治協力団体の運営基盤を強化する。

事業の実績・成果

○自治協力団体間の連絡調整機関の支援

自治協力団体（自治会・区等）間の連絡調整機関である加須市自治協力団体連合会及び各支部の運営を支援した。

1　自治協力団体連合会への助成

各自治協力団体間の連絡調整機関としての連合会へ運営費を助成することにより、円滑な運営が図られた。

［自治協力団体連合会への補助金交付状況］　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

2　自治協力団体代表者（会長・区長等）研修事業への助成

連合会が実施している自治協力団体代表者研修の参加費の一部を助成することとしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、全体研修及び各支部研修は中止となった。

(1)　連合会全体研修

［連合会の自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況］　（単位：人、円）

		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
参加人数	交付額	129	112,875	136	146,880	128	109,952	実施なし	実施なし

(2)　連合会各支部研修（3,000円/人）

［自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況］　（単位：人、円）

		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度
参加人数	交付額	129	387,000	138	414,000	130	390,000	実施なし	実施なし

［令和3年度各支部の参加人数］

各支部が研修事業を実施していないため0人

○自治協力団体の支援

1　自治協力団体運営への助成

各自治協力団体へ世帯数等の算出根拠に基づいた補助金を交付することにより、団体運営の円滑化が図られた。

［自治協力団体への補助金交付状況］　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付額	106,698,560	106,847,640	106,649,680	106,898,440	106,951,760

２　自治協力団体集会施設整備事業への助成

自治協力団体が運営する集会所の修繕費等の一部補助を行うことにより、集会施設の適正な維持管理が図られた。

■新築整備事業・・・新築：補助率 7/10・800 万円限度

［自治協力団体集会施設整備事業（新築整備）への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
件数	交付額	0	0	0	0	0	0	1	8,000,000	0	0

■修繕、附帯施設整備・・・修繕：補助率 1/2・100 万円限度、附帯施設：補助率 1/2・50 万円限度

［自治協力団体集会施設整備事業（修繕、附帯施設整備）への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
件数	交付額	40	8,621,000	30	3,740,000	31	6,340,000	30	4,620,000	23	6,186,000

３　自治協力団体集会施設運営への助成

自治協力団体の運営する集会所の運営費の一部補助を行うことにより、集会施設の円滑な運営管理が図られた。

自治会単位：補助率 7/10・7 万円限度、連絡班単位：補助率 7/10・3 万 5,000 円限度

［自治協力団体集会施設運営への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
件数	交付額	236	8,663,000	236	8,881,000	236	9,033,000	235	9,031,000	235	7,918,000

４　自治協力団体集会施設敷地等借上への助成

自治協力団体の運営する集会所の敷地借上料の補助を行うことにより、集会施設の円滑な維持管理が図られた。

［自治協力団体集会施設敷地等借上への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
件数	交付額	55	2,313,177	55	2,315,677	55	2,315,677	55	2,218,677	55	2,218,677

○その他（市政に関する情報提供・自治協力団体要望受付等）

自治協力団体を支援し、連絡調整を密にすることにより、市政運営への協力等が得られた。

事 業 名		コミュニティ推進事業		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	5133-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	8,815,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	8,815,000 円
目	09	自治振興費	決 算 額	8,292,367 円
事業の目的	協働によるまちづくりを推進するため、地域コミュニティの活性化を図る。		事業の概要	・地域コミュニティづくりの推進を目的とする市コミュニティ協議会への助成を行う。 ・(一財) 自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」の財政措置を行う。 ・市内で均衡あるコミュニティづくりの推進を図る。

事業の実績・成果

○コミュニティ助成事業

コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報を目的とした (一財) 自治総合センターコミュニティ助成金を活用し、地域コミュニティ活動団体に補助を行うことにより、コミュニティ活動の充実を図った。

(単位：円)

地 域	団体名	助成金額	概 要
加須	加須市大越第一区	2,500,000	・神輿の修繕
加須	加須市中央二丁目町内会	2,500,000	・夏祭り用山車、神輿修繕 ・夏祭り用品購入 (半天、締太鼓、飾紐、駒札)
加須	加須市睦町町内会	1,300,000	・睦町町内会館備品の購入 (エアコン、冷蔵庫) ・体育祭用横断幕

○加須市コミュニティ協議会への助成

市コミュニティ協議会並びに各地域コミュニティ協議会に補助を行うことにより、コミュニティ活動事業の推進を図った。

(単位：円)

地 域	名 称	補助金額	概 要
全体	加須市コミュニティ協議会	400,000	広報紙の作成・発行、家族・地域の絆推進運動への協力
加須	加須地域コミュニティづくり推進協議会	525,000	コミュニティ助成事業、家族・地域の絆推進運動への協力、コミュニティ活動支援
騎西	騎西地域コミュニティ協議会	202,331	花いっぱい運動、コミ協備品の貸出し
北川辺	北川辺地域コミュニティ協議会	349,556	美化推進運動、花いっぱい運動、リサイクル運動の推進
大利根	大利根地域コミュニティ協議会	505,480	各地区コミュニティ協議会への助成
合 計		1,982,367	

※各協議会のコミュニティ活動事業が異なるため、地域ごとに掲載
※各協議会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、一部事業が実施できなかったため補助額を精算した。

事 業 名		市民まつり開催事業		
担 当 課		観光振興課	総合振興計画コード	5133-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	12,270,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	12,270,000 円
目	09	自治振興費	決 算 額	0 円
事業の目的	多くの市民参加による、市民の手づくりイベントとして市民まつりを開催し、コミュニティーの醸成を図り、ふるさとづくりを推進する。	事業の概要	4 つの各地域市民まつりを開催する。また、各地域、各種団体の相互交流を図るための催し物を実施する。	

事業の実績・成果

各地域市民まつりの代表者会議を開催し、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ中止となった。

開催日　令和3年6月24日
（代表者4人）

事 業 名		行政デジタル化推進事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	5251-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,324,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	2,324,000 円
目	10	電算管理費	決 算 額	1,477,791 円
事業の目的	デジタル技術を活用することで行政手続などのオンライン化や業務の効率化を図り、市民が便利さを実感できる身近な市役所づくりを推進する。	事業の概要	・電子申請システムにより、行政手続等のオンライン化を推進する。 ・AI、RPA の導入により、効率的な業務遂行体制を整備する。	

事業の実績・成果

1　電子申請・届出サービスの提供（委託料等　298,591 円）

市民の利便性向上を図るため、申請や届出等の一部の手続きがインターネットで行える「電子申請・届出サービス」を、埼玉県内市町村が共同により提供している。

市のイベントや講習会への参加申込み等手続のオンライン化を推進するとともに、利用拡大に向けて、広報紙、ホームページ等により周知を図った。

・電子申請対象手続数：　68 件

《主な手続き》

粗大ごみ収集の申込、水道使用開始届、犬の登録申請・死亡届、講習会・セミナー申込

2　議事録作成支援システムの運用（保守料　506,000 円）

加須市行政経営プランの取組項目である「議事録などの公表の推進」による市政の透明性の確保と速やかな議事録の公表、加えて業務の効率化による職員の負担軽減を図るため、音声認識による議事録作成支援システムを運用した。

・システム利用件数：　90 件

・システム効果

令和 3 年度中に開催した審議会等における会議録等の公表実績が、令和 2 年度と比較して 2.5 ポイント上昇した。

【取組項目：議事録などの公表の推進】

指標（単位）	会議終了後 20 日以内に議事録を公表した実施率		
年　度	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
目　標	75%	80%	95%
実　績	60.9%	96.2%	98.7%

3　AI-OCR、RPA の活用（利用料　673,200 円）

（AI-OCR：印刷された文字や手書き文字を読みとり、テキストデータへと変換する技術。
R P A：定型業務を機械に自動実行させる技術。）

・「がん検診結果入力」「口座振替依頼書内容入力」「アンケート結果入力」の業務に活用した。

・AI-OCR、RPA に係る理解醸成を図るため、職員（情報化責任者）を対象に説明会を開催した。

事 業 名	マイナンバー制度システム運用事業			
担 当 課	業務改善課		総合振興計画コード	5251-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	9,078,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	8,148,592 円
目	10	電算管理費	決 算 額	7,102,200 円
事業の目的	社会保障や税制度の効率性を高め、住民にとって利便性の高い公平･公正な社会を実現するための基盤である「マイナンバー制度」を円滑に運営する。	事業の概要	情報提供ネットワークシステムを介した情報連携を円滑かつ継続的に行うため、必要に応じて関係システムに対する連携データレイアウト改版作業等を実施する。	

事業の実績・成果

1　関係システムの整備

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に対応するため、関係システムの整備を実施し、平成29年11月13日より情報連携を開始している。

・特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機設置等関連事務委任交付金
（自治体中間サーバ・プラットフォームASPサービスに係る負担金）　5,285,000円

令和3年6月の情報提供ネットワークシステムにおける「特定個人情報データ標準レイアウト」の改版に対応するため、運営主体が示す改版仕様を踏まえた住民情報システムの改修及び自治体中間サーバの次期システム更改に伴う移行対応を実施した。

・特定個人情報データ標準レイアウト改版に要する経費　1,500,400円
（対象業務：個人住民税、国民健康保険税、児童手当、児童扶養手当、子育て支援）

・自治体中間サーバ次期システム移行に要する経費　316,800円

事 業 名		情報化管理事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	5312-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	446,700,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	446,700,000 円
目	10	電算管理費	決 算 額	419,972,212 円
事業の目的	安心で快適な市民サービスを安定的に提供していくため、信頼性の高い情報基盤を実現する。		事業の概要	・住民情報システム及び庁内ネットワーク等について、稼働監視やメンテナンス等の適正な運用管理を行う。 ・国の示す「情報システム強靭性向上モデル」を基準とした情報セキュリティ対策を確実に実施する。 ・教育委員会の指導方針に基づき、学校 ICT 業務の運用支援を行う。

事業の実績・成果

1　住民情報システム運用管理

市民に関する情報（住民記録、各種税、福祉等）を総合的かつ一元的に管理し、窓口サービスや行政事務を行うための基盤である「住民情報システム」の円滑な運用を行った。

(1) システム構成：クラウド型

(2) 住民情報システム取扱業務： 25 業務

1	住民記録	2	印鑑登録	3	住登外・宛名管理
4	個人住民税	5	住民税申告支援	6	法人住民税
7	固定資産税	8	軽自動車税	9	収納・滞納管理
10	国民健康保険税	11	国民健康保険資格管理	12	国民年金
13	後期高齢者医療	14	子ども子育て支援	15	学童保育
16	児童手当	17	児童扶養手当	18	遺児手当
19	乳幼児医療	20	ひとり親家庭等医療	21	重度心身障害者医療
22	障害者福祉	23	就学管理(学齢簿)	24	就学援助
25	選挙管理				

(3) 接続拠点： 16 拠点

1	総合支所（3 箇所）	2	市民ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ(10 箇所)	3	保健ｾﾝﾀｰ（1 箇所）
4	環境浄化ｾﾝﾀｰ	5	上水道管理ｾﾝﾀｰ		

(4) 運用管理費　111,438,139 円

〔 委託料　47,196,385 円、使用料等　64,241,754 円 〕

2　住民情報システム再整備

契約期間の満了に伴い、運用管理コストの削減、堅牢なデータセンター管理によるセキュリティの向上、災害時における業務継続性の強化などの観点から、新システムをクラウド型による構成とし、令和４年１月から運用を開始した。

〔 システム構築等委託　73,811,100 円、データ切出し委託　10,736,000 円 〕

3　情報ネットワーク運用管理

各種の情報システムの動作基盤である「マイナンバー利用事務系」「ＬＧＷＡＮ接続系」「インターネット接続系」の三系統のネットワークについて、円滑な運用を行った。

(1) 構成機器

■マイナンバー利用事務系

サーバ: 6 台、パソコン: 242 台、プリンタ: 42 台

■ＬＧＷＡＮ接続系

サーバ: 29 台、パソコン: 820 台、プリンタ: 128 台

■インターネット接続系

サーバ: 12 台、プリンタ: 30 台

(2) 主な機能

■マイナンバー利用事務系

1	住民情報	2	家屋評価	3	健康管理
4	生活保護	5	農地台帳管理		

■ＬＧＷＡＮ接続系

1	ファイル共有	2	ＬＧＷＡＮメール	3	グループウェア
4	財務会計	5	コンテンツ管理	6	人事給与
7	例規・法令検索				

■インターネット接続系

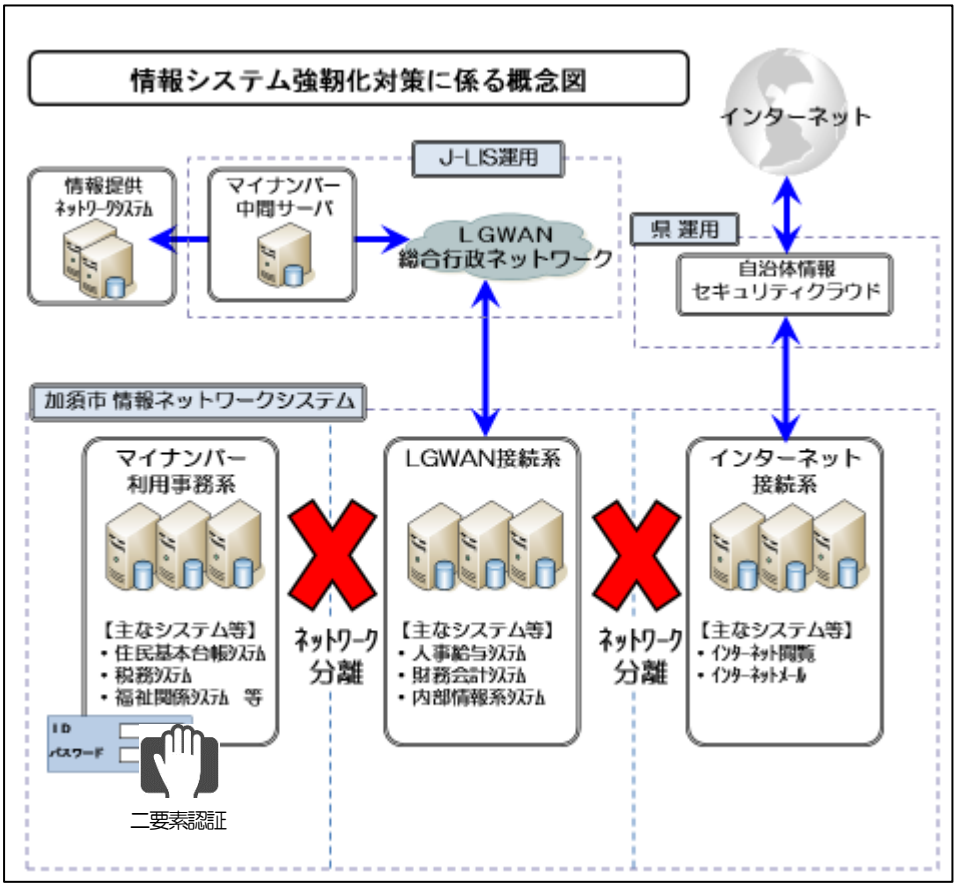
1	インターネット閲覧	2	インターネットメール	3	メール無害化
4	ファイル交換	5	電子申請		

(3) 運用管理費　183,114,787 円

〔 委託料　48,740,815 円、借上料　134,373,972 円 〕

4　情報セキュリティ対策

平成 29 年 6 月に完了した情報システム強靭化対策を踏まえ、人的及び技術的セキュリティ対策の実施により、本市の保有する情報資産の適正な管理を行った。



(1) 人的セキュリティ

・情報セキュリティ研修の実施

情報セキュリティ対策としてｅラーニング研修を実施し、300 名受講した。

(2) 技術的セキュリティ

・コンピュータウイルス検出件数：　5 件（年間）

埼玉県情報セキュリティクラウドを介したインターネット利用を行うことにより、コンピュータウイルス等外部からの脅威に対する低減を図っている。

年　度	検出件数
平成 29 年度	124
平成 30 年度	38
令和元年度	36
令和 2 年度	33
令和 3 年度	5

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		人権施策実施計画進行管理事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2511-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	137,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	137,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	51,400 円
事業の目的	「加須市人権施策実施計画」に基づき、各種人権関連施策を総合的・計画的に推進することにより、「差別や偏見のない人権尊重社会の実現」を目指す。		事業の概要	関係課や人権施策推進審議会等と連携して、「加須市人権施策実施計画」の進行状況の確認・精査を行う。 【計画期間】平成 30 年度～令和 4 年度

事業の実績・成果

○第 2 次加須市人権施策実施計画に基づく各種事業の進行管理

第 2 次加須市人権施策実施計画の実効性を確保していくため、人権施策推進審議会を開催し、各種施策の事業実施状況について進行管理を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	議事内容	出席人数
令和 3 年 7 月 27 日 加須市役所	・第 2 次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の令和 2 年度事業実施状況について	15 名

◇各種施策の令和 2 年度実施状況

基本目標	事業数	取組に対する評価（%）					
		1	2	3	4	5	6
あらゆる場や対象をとらえた人権教育・人権啓発の推進	30	12 事業	3 事業	2 事業	0 事業	0 事業	13 事業
		70.6%	17.6%	11.8%	0%	0%	
相談・支援の推進	38	20 事業	5 事業	2 事業	1 事業	0 事業	10 事業
		71.4%	17.9%	7.1%	3.6%	0%	
市民、ＮＰＯ、企業等と協働した地域づくり	10	7 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	3 事業
		100%	0%	0%	0%	0%	
その他	4	3 事業	1 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業
		75.0%	25.0%	0%	0%	0%	
合 計	82	42 事業	9 事業	4 事業	1 事業	0 事業	26 事業
		75.0%	16.1%	7.1%	1.8%	0%	

※令和 2 年度評価基準（各事業の評価の割合については、コロナによる影響を除く）

1 …目標を達成（実績値が目標値の 100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
2 …概ね達成（実績値が目標値の 80%以上に達した）
3 …やや遅れている（実績値が目標値の 80%未満となった）
4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の 50%未満となった）
5 …未着手（何らかの理由により、事業に着手できなかった）
6 …コロナによる影響（新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業）

事業名	人権推進事業			
担当課	人権・男女共同参画課		総合振興計画コード	2511-03
款	02	総務費	当初予算額	10,097,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	10,097,000円
目	11	人権推進費	決算額	7,279,295円
事業の目的	市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。	事業の概要	人権問題講演会、人権問題指導者研修会等の研修機会を設けるとともに、人権週間や市民まつり等の機会に人権啓発活動を実施する。さらに同和問題相談員の設置、関係機関・関係部署等と連携した同和問題・女性や子ども・高齢者・障がい者などの人権に係わる相談会などを実施する。 また、申請書等における性別記載についての配慮を引き続き行う。	

事業の実績・成果

○人権研修会及び人権講演会等の開催（共催：生涯学習課・産業振興課）

新型コロナウイルス感染症の影響により、書面送付による研修を行い、同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、参加者の各人権課題の理解と認識を深めることに貢献した。

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者数	1,927	1,731	1,650	312	1,050

○人権擁護委員による人権相談事業等（共催：市民相談室・いきいき健康長寿課）

年間を通し、月1回、人権擁護委員による人権問題の解消に向けた相談会を計画し、そのうち8回、女性や子ども、高齢者、障がい者、外国人等に関する市民相談を行うことができた。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により4回は相談会を開催することができなかったため、ホームページや人権啓発展において、人権擁護委員による人権相談事業についての周知を行った。

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数	1	0	0	0	0

○同和問題相談員による相談事業

年間を通し、同和問題相談員による市民の同和問題に関する相談や、地域住民の生活相談に対応し、必要に応じて関係行政機関と連携を保ちながら助言や指導を行い、市民との信頼関係を築くとともに、生活環境の向上、市民の自立意識の醸成に貢献した。

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数	71	79	111	86	70

○同和問題に取り組む民間運動団体への補助金交付

同和問題解消を目指す民間運動団体4団体に対し、補助金の交付を行い、同和問題の早期解決を目指す人権教育・啓発事業を官民が連携して行い、差別意識の解消や人権尊重意識の高揚に資することができた。

また、補助金額については、運動団体の活動内容を精査し見直しを行っており、令和3年度は、対前年度比2.3%の削減となった。

◇「同和問題に取り組む民間運動団体」への補助金交付状況　（単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
部落解放同盟埼玉県連合会 加須支部	1,873	1,809	1,747	1,687	1,668
部落解放同盟埼玉県連合会 騎西支部	581	538	496	462	425
部落解放同盟埼玉県連合会 大利根支部	411	366	329	305	294
北埼・埼葛「同和対策」運動連合会 加須市協議会	1,248	1,199	1,116	1,062	1,048
合　　計	4,113	3,912	3,688	3,516	3,435

○北埼玉地区人権フェスティバルの開催（共催：羽生市・行田市）

加須市・羽生市・行田市の3市共催で、加須市を会場として「第18回北埼玉地区人権フェスティバル」を実施し、北埼玉地域住民の人権意識、人権感覚の高揚に資することができた。

開 催 日　令和3年11月13日（土）
場　　所　加須文化・学習センター「パストラルかぞ」
参加人数　700人
開催内容　オープニングセレモニー（福島県双葉町 標葉せんだん太鼓保存会の演奏）
加須市立騎西保育所園児（動画出演）によるテーマソングの継承
3市の児童・生徒による人権作文の発表
人権講演会　講師：紺野美沙子さん（女優）、中村由利子さん（ピアニスト）
各種人権啓発作品等の展示（10万羽の人権折り鶴「未来へ」、北埼玉地区3市の児童・生徒が作製した人権ポスター・人権標語、北埼玉地区3市の児童が育成した人権の花、集会所・隣保館作品、人権啓発マンガパネル、双葉町のあゆみパネル等）

オープニングセレモニー

人権講演会

○「人権啓発リーフレット」の作成・配布

様々な人権課題、市内小・中学生による人権啓発ポスター及び人権標語の入賞作品を掲載したリーフレットを作成し、ホームページに掲載するとともに、市内各公共施設等に配架し、人権に関する意識の高揚を図った。

○新型コロナウイルス感染症に起因する差別防止のための人権啓発品の作成

新型コロナウイルス感染症に起因する不当な人権侵害を防止するメッセージを入れた除菌ウェットティッシュを作成し、市内各小・中学校での配布や、公共施設への配架を通し、人権に関する意識の啓発を図った。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		人権推進事業【繰越明許】		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2511-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	605,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	605,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	604,989 円
事業の目的	市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。	事業の概要	人権問題講演会、人権問題指導者研修会等の研修機会を設けるとともに、人権週間や市民まつり等の機会に人権啓発活動を実施する。さらに同和問題相談員の設置、人権擁護委員等と連携した同和問題・女性や子ども・高齢者・障がい者などの人権に係わる相談会の開催などを行う。	

事業の実績・成果

○新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		田ケ谷総合センター管理運営事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2511-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	6,431,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	6,431,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	5,775,126 円
事業の目的	田ケ谷総合センターを誰もが安心して、安全に利用できるよう管理するとともに、設置目的である人権問題の解決と住民の教養の向上、健康の増進及び地域の交流を促進する。		事業の概要	センターの適正な維持管理として、センターの設備や躯体等の保守点検業務をはじめ、修繕・清掃・夜間管理等の業務委託を行う。 また、ソフト事業として教養文化講座や、人権啓発展等を行う。

事業の実績・成果

○施設の維持管理

田ケ谷総合センターを市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

・職員の配置（嘱託館長１名・会計年度任用職員２名）
・各種点検の実施（防火対象物、消防用設備、自家用電気工作物保安管理、建築設備、自動ドア等）
・管理業務の委託（夜間等管理業務、清掃業務、樹木剪定業務）
・備品購入（図書 24 冊）
・修繕（事務室内照明器具）
・工事（給湯器取り付け工事、教養娯楽室空調機改修工事）

○教養文化講座・子ども映画会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小もしくは中止としたものもあったが、感染対策に配慮した上で教養文化講座を開催し、地域の文化力の向上や地域交流の促進、差別意識の解消に資することができた。（※子ども映画会については開催中止）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
開催回数（回）	77	76	75	中止	28
参加人数（人）	1,264	1,056	1,026	中止	249

○血圧計の設置

平成 29 年度まで、健康づくり推進課との共催により、「ふれあい事業」として、月１回の健康相談及び血圧測定を実施していたが、平成 30 年度に血圧計を設置し、随時の血圧測定を可能にした。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
利用人数（人）	147	124	107	40	28

※平成 30 年度以降の数値は、血圧計利用者数（平成 30 年７月 26 日に設置）

○田ケ谷総合センターの来館者数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
来館者数（人）	15,697	15,705	14,558	3,666	5,835

※来館者数のうち、会議室等利用者の集計方法：利用実人数

事 業 名		加須市住宅新築資金等貸付事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2512-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	2,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	840 円
事業の目的	旧特別措置法のもと、平成８年度まで、対象地区の住民で、住宅の新築若しくは不良住宅の改修又は住宅の用に供する土地の取得をする者に対し、必要な資金の貸付を行い、同和地区の環境の整備改善を図るとともに公共の福祉に寄与した。	事業の概要	住宅新築資金等貸付金の債務者からの貸付金の収納事務を行う。 現在は貸付業務は廃止され、貸付金の徴収業務を実施している。	

事業の実績・成果

○旧同和対策事業特別措置法等に基づく住宅新築資金等貸付金の債務者に対し、貸付金の収納業務を行い、下記のとおり収納することができた。

◇未償還貸付金の状況（令和３年度末現在）

未償還金額（円）	件数（件）	人数（人）
28,788,012	12	10

◇収納状況（令和３年度末現在）

種別		調定額(円)	収納額(円)	不能欠損額(円)	未収額(円)	収納率(%)
内訳	元金	47,769,252	979,864	20,676,445	26,112,943	2.1
	利子	8,484,058	95,136	5,713,853	2,675,069	1.1
合計		56,253,310	1,075,000	26,390,298	28,788,012	1.9

事業名	環境基本計画進行管理事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4111-02
款	02	総務費	当初予算額	115,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	115,000円
目	12	公害対策費	決算額	47,200円
事業の目的	豊かな自然と快適な環境のまちづくりを推進するため、加須市環境基本計画に掲げた施策を計画的に推進する。	事業の概要	環境審議会での助言・提言等を踏まえ、環境施策に係る報告書の「加須市の環境」を発行し、進行管理を行う。また、報告書を市民に公表し、意見を環境行政に反映させる。 ・計画期間：R3年度～R12年度	

事業の実績・成果

○加須市環境基本計画に基づく進行管理

加須市環境基本計画及び環境関連計画に基づき、環境関連施策の進捗状況の把握、点検・評価を行い、令和2年度の施策事業実績をまとめ、環境審議会に報告した。

環境審議会での助言・提言等を踏まえ、「加須市の環境 令和3年度版（令和2年度実績）」の発行・公表及び施策事業の適切な運用を図った。

・環境審議会（設置根拠：加須市環境基本条例第22条）

委員数　15人

開催日　第1回加須市環境審議会　令和3年8月6日（金）

事業名	環境学習推進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4111-03
款	02	総務費	当初予算額	147,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	147,000円
目	12	公害対策費	決算額	0円
事業の目的	市民及び事業者全てのエコライフの実現を図るため、環境に配慮したライフスタイルへの転換や環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう推進する。	事業の概要	広報紙やホームページ等を活用した環境情報の提供や環境フォーラム、水辺環境の利活用を図る自然観察会を開催する。	

事業の実績・成果

1　環境フォーラムの開催

市民等の環境問題への理解を深め、環境に配慮したライフスタイルへの転換や、環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう環境情報を提供する機会や場の提供・充実を図るため、例年、環境フォーラムを開催しているが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

2　自然観察会の開催

例年、浮野の里を「環境学習の場」と位置づけ、埼玉県環境アドバイザーの協力のもと、小学生と保護者を対象に自然観察会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

自然観察会は中止となったが、市職員のみで生物基礎調査を実施し、生物多様性かぞ戦略の基礎データを収集した。

事 業 名		「加須市の環境」発行事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4112-07
款	02	総務費	当 初 予 算 額	22,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	22,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	22,000 円
事業の目的	環境行政への関心を深めてもらうとともに、市民・事業者との協働による環境への取組を促進するため、環境関連施策の実績を公表する。	事業の概要	「加須市の環境」を発行し、市民・事業者に周知する。	

事業の実績・成果

○ 「加須市の環境」の編集・発行

令和２年度における環境基本計画及び環境関連計画に掲げる施策の実績をまとめた「加須市の環境 令和３年度版（令和２年度実績）」を発行・公表し、事業の点検・評価に活用した。

1 内 容 総括
環境の保全及び創造に関し講じた施策の概要及び実績・成果
環境関連計画の概要と成果
資料

2 発 行 令和３年９月

3 部 数 110 部

事業名	生物多様性推進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4211-03
款	02	総務費	当初予算額	82,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	82,000円
目	12	公害対策費	決算額	30,000円

事業の目的	点在する貴重な水辺環境を保全するため、多様な生物が生息できる水の郷を創造する。	事業の概要	自然観察会等を通した、生物多様性の重要性についての意識啓発を行う。 コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムやラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加による、県域を越えた市町村間の交流や意見交換を行う。

事業の実績・成果

1　生物基礎調査兼自然観察会の開催

貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里（加須地域）」「風の里公園（騎西地域）」「オニバス自生地（北川辺地域）」「お花が池（大利根地域）」にて、自然観察会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、大利根地域のみ開催となった。

【加須地域】

・浮野の里昆虫観察会及び水生生物観察会　　新型コロナウイルスの影響により中止

【騎西地域】

・風の里公園自然観察会　　新型コロナウイルスの影響により中止

【北川辺地域】

・オニバス自生地自然観察会　　新型コロナウイルスの影響により中止

【大利根地域】

・お花が池自然観察会　　令和3年6月24日　参加者31人

2　「かぞ生きもノート」の実施

いきものログを活用した、市民参加型・加須市の生きものの記録「かぞ生きもノート」を継続実施。ホームページ上に、登録用QRコードを表示し、参加啓発を行った。

3　「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」　運営負担金　10,000円

・コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムに参画した。

・渡良瀬遊水地第2調節地内で令和3年3月29日に誕生したコウノトリのヒナ2匹の愛称が、5月22日に開催された命名式で決定した。

「りょう」（オス）、「のぞみ」（メス）

4　「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」　運営負担金　20,000円

渡良瀬遊水地の関係市町（栃木市、小山市、野木町、古河市、板倉町）と連携し、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議で運営しているホームページにて、渡良瀬遊水地のイベント情報や保全活動等のPRページを掲載し、周知を図った。

事 業 名		鳥獣対策推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4211-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	4,204,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	4,204,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	4,129,848 円
事業の目的	鳥獣による生活環境や農林水産業、生態系への被害を防止するため、鳥獣の保護及び狩猟、管理の適正化を図る。		事業の概要	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく有害鳥獣捕獲許可等の事務や、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく特定外来生物であるアライグマの捕獲を実施する。

事業の実績・成果

1　アライグマの防除対策
・アライグマ捕獲器 1 基の購入
・アライグマの被害防止のため、捕獲器によりアライグマ 214 頭を捕獲した。
（加須地域：113 頭、騎西地域：34 頭、北川辺地域：11 頭、大利根地域：56 頭）
・捕獲後の対応　　個体検査を実施し、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づき県へ報告した。

2　令和 3 年度加須市有害鳥獣駆除補助金　80,000 円
加須猟友会による有害鳥獣の駆除
(1) 駆除実施日　令和 3 年 11 月 23 日、12 月 5 日、令和 4 年 1 月 23 日、2 月 6 日、合計 4 日間
(2) 捕 獲 内 訳　カラス 29 羽、ムクドリ 81 羽、キジバト 66 羽、ヒヨドリ 62 羽
(3) 捕 獲 場 所　特定猟具使用禁止区域（銃）を除く加須市内全域

3　クビアカツヤカミキリの防除対策
・クビアカツヤカミキリによる被害が確認できた樹木への薬剤の注入及び成虫の捕殺を行った。
・広報紙等により市民への情報提供を行った。

事 業 名		屋敷林等保全事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4213-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,119,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,119,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	934,645 円
事業の目的	豊かな自然環境の保全のため、市内に残る貴重な屋敷林や樹木の保全・保護を図る。		事業の概要	市内に点在する貴重な屋敷林や樹木を指定し、奨励金（樹林 10 円/㎡、樹木 3,000 円/本）を交付することで、貴重な緑の保全を図る。また、指定屋敷林の募集を継続して行い、保全樹林面積の増加を図る。

事業の実績・成果

1　指定及び奨励金交付

市内の屋敷林等の身近な緑を末永く保全するため、市内に点在する貴重な屋敷林・樹林や樹木の中で要件を満たすものを保存樹林等として指定し、管理者に 1 ㎡当たり 10 円又は 1 本当たり 3,000 円の奨励金を交付した。

【屋敷林等保全奨励金】　934,645 円

(1) 奨励金交付箇所：92 箇所（樹林 25 箇所 89,644.5 ㎡、樹木 67 本）

2　指定屋敷林等の指定状況

(1) 保存樹林　（単位：箇所）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
指定箇所	28	28	26	26	25

(2) 保存樹木　（単位：本）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
指定本数	75	74	75	76	76

事 業 名		省資源・省エネルギー促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4311-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	41,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	41,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	29,005 円
事業の目的	地球温暖化を防止するため、市・市民・事業者の各主体が省資源・省エネルギーを推進する。		事業の概要	節電社会の構築に向け市・市民・事業者が一体となった節電行動を推進するため、エコライフDAYチェックシート・節電コンテスト・グリーン購入等の意識啓発及び実践のための取組みを実施する。

事業の実績・成果

1　エコライフＤＡＹ2021 の実施

家庭からの二酸化炭素排出削減を目的とした、エコライフＤＡＹチェックシートを夏・冬と 2 回実施し、エコライフへの意識の向上と取組の促進を図った。

	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)
夏	12,604	10,000	11,680	9,336	12,182	10,017	7,796	5,354	8,053	6,472
冬	13,758	13,271	9,801	8,440	10,088	8,883	11,654	9,642	8,644	7,052
計	26,362	23,271	21,481	17,776	22,270	18,900	19,450	14,996	16,697	13,524
対前年増減率(%)	▲4.0	▲21.8	▲18.5	▲23.6	3.7	6.3	▲12.7	▲20.7	▲14,2	▲9.8

2　節電川柳（コンテスト）の開催　　6,500 円

加須市節電行動プランに基づき、節電社会の構築に向けた啓発として「節電川柳」を実施。優秀な作品 5 点を選出し、賞状と記念品を贈呈した。

(1) 応募者　37 作品

事業名	環境にやさしい自動車利用促進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4313-01
款	02	総務費	当初予算額	867,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	867,000円
目	12	公害対策費	決算額	688,989円
事業の目的	化石燃料の使用量や排出ガスの削減を図り、低炭素社会を実現するため、電気自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進する。	事業の概要	電気自動車用充電設備の利用促進を図るとともに電気自動車等のエコカーの普及を促進する。また、アイドリングストップ、エコドライブ、カーシェアリングの普及啓発を進める。	

事業の実績・成果

1　電気自動車急速充電器

(1) 設置施設

ア　加須市役所南側駐車場（平成24年3月30日供用開始）
　　利用時間：8時30分～17時15分（土、日、祝日、年末年始を除く）

イ　道の駅童謡のふる里おおとね（平成26年3月30日供用開始）
　　利用時間：9時30分～17時（第1・第3水、年始を除く）

(2) 電気自動車急速充電器の利用状況　（単位:回）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加須市役所南側駐車場	0	3	4	32	32
道の駅童謡のふる里おおとね	10	15	12	14	12
合　計	10	18	16	46	44

※平成28年4月1日から、使用料　500円/回（1回30分以内）
　（加須市電気自動車充電設備の利用に関する条例）

※加須市役所本庁舎受変電設備等改修及び設備等建設工事に伴い、令和3年9月13日から令和4年2月27日までの間、電気自動車急速充電器（加須市役所南側駐車場）の利用を中止。

事業名	グリーンカーテン促進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4315-02
款	02	総務費	当初予算額	11,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	11,000円
目	12	公害対策費	決算額	7,000円
事業の目的	消費電力の削減を図るため、夏のエアコン等の使用を抑制する。	事業の概要	市民の節電意識を高めCO2を削減するため、グリーンカーテンコンテストを開催し、市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行う。	

事業の実績・成果

1　夏のエアコン等の使用を抑制するため、グリーンカーテンの設置を促進し、節電への意識啓発を図る。

2　市民の節電意識を高めるとともに、CO2を削減するため、グリーンカーテンコンテストを開催し、市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行う。
　優秀な作品5点を選出し、賞状と記念品を贈呈する。

3　グリーンカーテンコンテスト応募数　（単位：件）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
25	38	24	18	13

事業名	浄化槽転換促進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4423-01
款	02	総務費	当初予算額	43,705,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	43,705,000円
目	12	公害対策費	決算額	25,961,000円
事業の目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	事業の概要	合併処理浄化槽への転換を促進するため、転換を実施する者に補助金を交付する。 また、合併処理浄化槽への転換について普及啓発を実施する。	

事業の実績・成果

1　合併処理浄化槽設置整備補助金

河川等の水質浄化を図り、より良い環境づくりを目指して、単独処理浄化槽又は汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する市民に対して補助金を交付した。（補助金の対象となる区域は、加須市生活排水処理施設整備計画における浄化槽整備区域である。）

(1) 補助金交付額　25,936,000円

内訳

・合併処理浄化槽への転換に伴う設置費補助　19,796,000円（48基分）

（単位：基）

年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
施工業者／人槽	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者
5人槽	3	13	1	5	0	15
7人槽	8	16	7	7	6	26
10人槽	1	3	0	0	0	1

・汲み取り方式の便槽または単独処理浄化槽の処分費補助　2,300,000円（46基分）

・合併処理浄化槽への配管費補助　3,840,000円（48基分）

(2) 人槽別補助金額　（単位：円）

	設置費		処分費	配管費
施工業者／人槽	市内業者	市外業者		
5人槽	362,000	352,000	50,000	80,000
7人槽	444,000	434,000		
10人槽	578,000	568,000		

※処分費、配管費は、要した費用と比較して少ない方を交付額とする。

(3) 合併処理浄化槽設置補助基数　（単位：基）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
44	79	44	20	48

2　浄化槽等の設置基数の状況（令和3年度末）　（単位：基）

区域／排水処理	浄化槽整備区域	公共下水道整備区域	流域下水道整備区域	農業集落排水整備区域	市内全域
合併処理浄化槽	8,181	259	3,455	406	12,301
単独処理浄化槽	6,232	1,968	2,162	870	11,232
汲み取り便槽	1,314	977	163	489	2,943
計	15,727	3,204	5,780	1,765	26,476

※浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽普及率　令和3年度末：52.02%（令和2年度末：50.5%）

事 業 名		水質浄化促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4424-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	386,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	386,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	89,512 円
事業の目的	きれいな水の再生のため、市内の公共用水域の水質改善を図る。		事業の概要	河川浄化対策協議会や市民との協働による河川の浄化活動・清掃活動を支援し市民による浄化活動を促進する。 さらに、河川浄化の啓発活動を実施するとともに、冬期試験通水を実施する。

事業の実績・成果

1　加須市河川浄化対策協議会加須支部補助金　3,512 円

(1) 加須地域内 8 河川等の水質簡易測定及び清掃の実施

（午の堀川、中川、新槐堀川、会の川、六郷堀、青毛堀川、五ヶ村落、南方用水）

例年、夏季と冬季に水質簡易測定及び清掃を実施しているが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした。

(2) 会の川清掃活動

例年、10 月に会の川清掃活動を実施しているが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした。

(3) 協議会だよりの発行

例年、年に 2 回協議会だよりを発行しているが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため協議会としての活動がなかったため発行しなかった。

2　加須市大利根地域河川浄化対策協議会補助金　20,000 円

(1) 大利根地域一斉清掃　令和 3 年 12 月 19 日(日)

夏季の一斉清掃については、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした。

3　利根大堰左岸に係る冬期通水推進連絡会負担金　66,000 円

利根大堰左岸に係る幹線水路に冬期通水を行うことにより農業用水の高度利用と水辺空間及び多面的機能の向上を図った。

4　冬期試験通水

(1) 通水期間　令和 3 年 10 月 20 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

(2) 利根合口農業水利協議会及び関係市町、土地改良区で利根大堰に係わる冬期試験通水要望活動を行った。

5　冬期試験通水に係る水質測定

市内を流れる南方用水路、会の川等の各水路に通水を行い、水質測定を実施した。

・測定結果(河川ごとの平均値)

河川名	測定項目	通水前（夏）	通水後（冬）
南方用水路	BOD (mg/ℓ)	2.0	9.0
会の川	BOD (mg/ℓ)	4.8	7.7
四ヶ村用水	BOD (mg/ℓ)	0.7	3.7
新川用水	BOD (mg/ℓ)	0.6	3.2
島中領用水路	BOD (mg/ℓ)	1.1	2.6

※環境基準は 5mg/ℓ以下

事業名	公害未然防止事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4431-01
款	02	総務費	当初予算額	1,369,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,369,000円
目	12	公害対策費	決算額	1,104,140円

事業の目的	市民が良好な生活環境のもとで、健康で快適に暮らすことができるまちづくりを推進する。	事業の概要	市民からの大気汚染（野外焼却）、水質汚濁、騒音、振動、悪臭等の苦情への対応や防止対策の助言、指導を行う。 また、工場や事業所からの騒音・振動等特定施設の届出等の受理や騒音・振動規制の指導助言を行うとともに、野外焼却の禁止など市民への意識啓発を実施する。

事業の実績・成果

○苦情への対応

市民等から公害苦情の相談があった場合、 現場に急行し、苦情相談者から発生時期（時間帯）や発生場所、原因者、被害の程度、要望等を聴取・調査した上で、原因究明のため現地確認や発生原因者からの事情聴取を行い、解決策として公害防止、改善対策を検討し、発生原因者へ解決に向けた助言や指導を行うとともに苦情相談者へ対応に係る説明を実施した。

【苦情件数の推移】

（単位：件）

	大気汚染 ( )内、野焼き件数	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	合計
平成28年度	38(38)	9	18	2	7	74
平成29年度	45(41)	11	16	2	9	83
平成30年度	23(23)	9	20	1	10	63
令和元年度	26(25)	7	22	2	14	71
令和2年度	44(44)	6	17	2	10	79
令和3年度	15(15)	4	23	1	16	59

事業名	監視測定事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4432-01
款	02	総務費	当初予算額	4,515,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	4,515,000円
目	12	公害対策費	決算額	4,279,000円
事業の目的	市民が良好な生活環境のもとで健康で快適に暮らすことのできるまちづくりを推進するため、定点及び周期的な環境測定を実施する。	事業の概要	大気中のダイオキシン類や二酸化窒素、二酸化硫黄、河川等の水質、自動車交通騒音測定等の環境測定を継続的に実施するとともに測定結果を市民に公表する。 また、光化学スモッグ注意報の発令・解除情報及びPM2.5の注意喚起情報の提供を行う。	

事業の実績・成果

1　河川等水質検査業務

委託費：1,430,000円

・市内河川等のうち、50地点の水質検査を夏期（10月）、冬期（2月）に実施した。

【測定結果】　単位：mg/ℓ（pH除く）

	pH（水素イオン濃度）		SS（浮遊物質量）		BOD（生物化学的酸素要求量）	
	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期
最小値	6.9	6.8	2	1	0.6	1.4
最大値	9.7	8.8	170	82	6.3	30
基準超過地点数	4	5	4	3	1	23

コイ、フナが生息できる「きれいな川」はBOD5 mg/ℓ以下である。

加須市の北川辺地域を除く河川は、中川の水質環境基準のC類型を参照し、基準値はpH：6.5～8.5、SS：50 mg/ℓ以下、BOD：5 mg/ℓ以下に、北川辺地域の河川は、渡良瀬川の水質環境基準のB類型を参照し、基準値はpH：6.5～8.5、SS：25 mg/ℓ以下、BOD：3mg/ℓ以下、大腸菌群数：5,000MPN/100mℓ以下にしている。

2　ダイオキシン類環境測定業務

委託費：2,420,000円

【大気中のダイオキシン類濃度測定結果】　（単位：pg-TEQ/m^3）

測定地点	ダイオキシン類濃度		
	夏季（8/6～8/13）	冬季（1/5～1/12）	平均
消防団第8分団（下樋遣川）	0.0087	0.029	0.019
騎西総合支所（騎西）	0.0110	0.028	0.020
北川辺分署（麦倉）	0.0083	0.031	0.020
大利根総合支所（北下新井）	0.0110	0.033	0.022

大気環境基準は、年平均0.6pg-TEQ/m^3である。

3　大気測定業務

委託費：429,000 円

・6 月から 3 月にかけて測定を実施し、1 地点につき 1 箇月ごとに 8 回試料採取した。

(1) 大気中の二酸化硫黄濃度測定結果　（単位：ppm）

測　定　地　点	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
三俣小学校（北小浜）	0.0009	0.0010	0.0010	0.0009	0.0010
騎西小学校（騎西）	0.0010	0.0009	0.0009	0.0009	0.0008
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.0023	0.0030	0.0029	0.0017	0.0018
大利根総合支所（北下新井）	0.0012	0.0010	0.0011	0.0009	0.0011

数値は、1 時間平均値。

二酸化硫黄環境基準は、1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。

(2) 大気中の二酸化窒素濃度測定結果　（単位：ppm）

測　定　地　点	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
三俣小学校（北小浜）	0.0059	0.0043	0.0037	0.0034	0.0037
騎西小学校（騎西）	0.0057	0.0052	0.0049	0.0052	0.0048
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.0170	0.0190	0.0190	0.0140	0.0140
大利根総合支所（北下新井）	0.0061	0.0055	0.0054	0.0055	0.0052

数値は、1 時間平均値。

二酸化窒素環境基準は、1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。

4　自動車交通騒音測定業務　（単位：dB(A)）

測定地点	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
県道加須幸手線（睦町）	64.8 61.6	62.1 59.1	69.1 63.8	71.7 66.1	65.2 64.6
東北縦貫自動車道（下谷）	67.5 65.6	65.9 63.6	66.0 63.2	67.0 64.4	66.6 64.6
県道加須停車場線（中央二丁目）	59.7 52.2	60.1 51.7	60.2 51.9	58.8 49.2	57.7 46.7
一般国道 122 号（下崎）	74.5 72.5	74.2 71.7	75.5 73.7	72.8 73.9	73.1 70.6
県道佐野古河線（小野袋）	63.6 63.2	66.1 63.8	67.2 65.3	66.1 64.6	66.5 64.1
県道羽生栗橋線（北下新井）	69.4 66.8	69.1 65.4	69.8 64.8	70.6 64.7	69.3 64.8

上段は昼間（6 時～22 時）平均、下段は夜間（22 時～6 時）平均。

道路に面する地域に係る環境基準は、昼間は 70dB 以下、夜間は 65dB 以下である。

道路管理者又は関係行政機関の長に意見を述べることができる要請限度は、昼間は 75dB、夜間は 65dB である。

5　光化学スモッグ等に関する情報の提供

・光化学スモッグ注意報等の発令時に、防災行政無線等により市内全域に注意喚起した。

（令和 3 年度　光化学スモッグ予報 1 件、光化学スモッグ注意報 0 件）

・埼玉県内の PM2.5 の測定値を市のホームページにより情報提供を行った。

（令和 3 年度　PM2.5 注意喚起 0 件）

事業名	放射能測定事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4432-02
款	02	総務費	当初予算額	1,447,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,447,000円
目	12	公害対策費	決算額	1,280,400円

事業の目的	東京電力福島第一原子力発電所での事故の発生に伴い放出された放射性物質について適切な対応を図ることで市民の安心、安全の確保を図る。また、万が一の有事の際の環境的視点からも重要なデータとなることから測定を実施する。	事業の概要	定期的な空間放射線量の測定及び市民からの申請による放射線量の出張測定を実施し、その結果を公表する。

事業の実績・成果

1　空間放射線量の定点測定

・測定期間　令和3年4月1日～令和4年3月31日まで：月曜日の午前9時

・測定箇所　加須小学校、大越小学校、騎西中学校、北川辺中学校、大利根中学校

・測定器　　Ｍｒ．Ｇａｍｍａ A2700

・測定結果

測定箇所	最低値	最高値
加須小学校	0.036μSv/h	0.058μSv/h
大越小学校	0.027μSv/h	0.046μSv/h
騎西中学校	0.030μSv/h	0.040μSv/h
北川辺中学校	0.024μSv/h	0.046μSv/h
大利根中学校	0.036μSv/h	0.059μSv/h

2　「周辺より高線量を示すおそれのある箇所」の測定

学校や子どもが利用する主な施設の局所的に放射線量が高いと思われる箇所の空間放射線量の測定を実施した。

・測定箇所　　すべての小中学校・幼稚園、市立保育所、児童館など及び主な都市公園の合計73施設

・測定期間及び測定箇所、測定結果

測定回数	測定期間	測定箇所	最低値	最高値
第34回測定	令和3年9月6日～9月17日	378	0.020μSv/h	0.095μSv/h
第35回測定	令和4年2月21日～28日	70	0.017μSv/h	0.078μSv/h

※震災から10年が経過したことを踏まえ、第35回測定より放射能測定の対象施設及び測定回数の見直しを行った。

3　職員による出張測定（空間放射線量測定）

・実績（令和3年度の実施なし）

4　焼却灰等の放射能測定の実施：1,280,400円

加須及び大利根クリーンセンターにおいて、放射性ヨウ素及び放射性セシウムの濃度測定を焼却灰（主灰）を年2回、飛灰等を年12回実施した結果、放射性ヨウ素については不検出、放射性セシウムについては基準値（8,000Bq/kg）超過はなかった。

5　広報活動

・市ホームページ、広報紙で測定結果を公表した。

事 業 名		環境保全推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4433-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	66,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	66,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	47,870 円
事業の目的	豊かな自然と良好な生活環境を将来にわたり確保する。		事業の概要	環境保全条例に基づく土地の埋め立ての規制・指導や空き地の雑草などの適正管理の指導を実施する。 既存の残土の堆積地や新たな違法、無許可埋立ての防止を図るため、関係機関と連携したパトロールを実施する。 環境配慮事業者への指導や協定の締結を行う。

事業の実績・成果

1　巡回パトロールの実施

環境保全のため、不法投棄及び違反埋立ての監視を目的とした県との合同パトロールを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

2　空き地の雑草等の適正管理の指導件数

雑草の繁茂等、適正管理の成されていない空き地の所有者に対し、改善するよう文書指導等を行い、空き地の適正管理を図った。

（単位：件）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
84	116	75	106	120

3　埼玉県緑化推進委員会会費　30,000 円

県土の緑化運動及び緑の募金を推進することにより、国土の緑化及び国際的な緑化に寄与することを目的としている法人で本市が正会員になっている。

4　環境配慮事業の協定締結

敷地面積 3,000 ㎡以上　建築面積 1,000 ㎡以上の製造業、加工修理業に係る工場の新設

実績

1 社（藤の台工業団地地区計画区域内）

事業名	ムクドリ対策事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4433-05
款	02	総務費	当初予算額	37,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	37,000円
目	12	公害対策費	決算額	2,332円
事業の目的	良好な生活環境を確保するため、ムクドリ被害の抑制・軽減を図る。	事業の概要	ムクドリが嫌がる音声を飛来する群れやねぐらに向けて流したり、拍子木等による追い払いやムクドリの糞で汚れた道路の清掃を地元自治協力団体との協働により実施する。	

事業の実績・成果

1　ムクドリの鳴き声による騒音対策

(1) 実施日等
令和3年7月12日（月）～7月13日（火）
参加延べ人数58人
(2) 実施場所
花崎駅北口周辺
(3) 実施内容
ディストレスコール（ムクドリが嫌がるとされている鳴き声）を拡声器で流しながらの巡回（公用車）や拍子木打ち鳴らしによる追払い
(4) 協力団体等
自治協力団体（花崎北第一区町内会、花崎北第二区町内会、花崎北第三区町内会、ライオンズガーデン花崎町内会）及び関係課（まちづくり課、道路課）

2　ムクドリの糞害対策（花崎駅北口周辺）

例年、花崎駅北口ロータリー周辺の糞害対策として、歩道等の路面清掃を地元自治協力団体と協働し、高圧洗浄機やデッキブラシにより実施しているが、令和2年度に引き続き令和3年度も台風・秋雨による降雨の影響と、ムクドリの撤退時期が重なり、汚れが目立たなかったため、現場確認及び自治協力団体との協議により中止した。

3　次年度以降の対策

全国的に抜本的な対処法が確立していないため、令和4年度以降についても、地元自治協力団体と協議のうえ、引き続き追払い等を実施する方針で決定した。

事 業 名		交通安全計画進行管理事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1321-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	256,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	256,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	56,600 円
事業の目的	本市における交通安全に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図るため、交通安全対策基本法に基づく加須市交通安全計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市交通安全対策協議会を開催し、交通安全対策の推進体制の強化を図るとともに、交通安全計画の進行を管理する。 計画期間：令和３年度～令和７年度

事業の実績・成果

第２次交通安全計画に係る令和２年度の各取組の実績確認（照会）を行うとともに、交通安全計画庁内推進委員会及び交通安全対策協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行った。

また、交通安全対策協議会において各季の交通安全運動等に係る実施要綱（案）及び実施計画書（案）の協議を行った。

〇交通安全計画庁内推進委員会

開　催　日　令和３年７月 29 日（書面会議）

〇交通安全対策協議会

第１回

開　催　日　令和３年７月２日（書面協議）

内　　容　・夏の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

第２回

開　催　日　令和３年９月 13 日（書面協議）

内　　容　・秋の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

・交通安全計画の令和２年度取組結果について

第３回

開　催　日　令和３年 11 月 11 日

出席委員数　11 名

内　　容　・冬の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

・交通安全計画の令和２年度取組結果について

第４回

開　催　日　令和４年３月 16 日

出席委員数　７名

内　　容　・春の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

事 業 名		交通安全団体活動支援事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1321-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	25,035,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	25,035,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	19,994,368 円
事業の目的	市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活を送れるようにするため、交通安全活動を行う団体を支援する。	事業の概要	・交通指導員協議会、交通安全母の会、交通安全協会等の円滑な活動を支援するため、補助金を交付するほか、交通指導員の報酬等の支給及び制服の貸与をする。	

事業の実績・成果

1　加須市交通指導員協議会の活動内容

市民が安全で安心して生活できるようにするために、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、朝の学童指導をはじめ、薄暮時街頭指導のほか、市のイベントや交通安全キャンペーン、子ども自転車運転免許事業への協力など、交通道徳の普及・高揚・啓発に努めた。

(1)朝の学童指導及び薄暮時街頭指導
(2)子ども自転車運転免許事業への協力
(3)交通指導員委嘱式及び新任者研修
(4)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加　　ほか

2　加須市交通安全母の会の活動内容

交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」をモットーに、子どもと高齢者の交通事故を防止するための各種交通安全啓発事業を実施し、交通事故のない、明るく住み良い地域社会づくりに寄与した。

(1)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加
(2)広報紙「加須市交通安全母の会だより」を発行
(3)各支部での交通安全啓発活動の実施
　・小学校新入学児童に啓発品を配布（全支部）
　・歩道橋に横断幕を設置し車両運転者への啓発を実施（騎西支部）
(4) 子ども自転車運転免許事業への協力

3　加須交通安全協会の活動内容

交通道徳の普及高揚と交通事故の防止を目的に、広報活動や啓発活動、道路反射鏡の点検及び清掃活動、交通関係功労者・団体・優良運転者の表彰、埼玉県交通安全協会の交通安全活動に関する協力、子ども自転車運転免許事業への協力等を行った。

4　交通安全団体への補助

交通安全団体に対して補助金を交付し、交通道徳の普及・高揚・啓発を促進することにより、市内の交通安全を図った。

・加須市交通指導員協議会補助金　　625,000 円
・加須市交通安全母の会補助金　　959,000 円
・加須交通安全協会補助金　　2,249,000 円

事業名	交通安全啓発事業			
担当課	交通防犯課		総合振興計画コード	1321-04
款	02	総務費	当初予算額	1,453,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,453,000円
目	13	交通安全対策費	決算額	1,167,930円
事業の目的	市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	事業の概要	・各種交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加･実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。	

事業の実績・成果

1　加須市内の交通事故年別推移

	人身事故			物損事故
	件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)	件数(件)
平成29年	416	4	531	2,230
平成30年	376	8	431	2,257
令和元年	300	5	359	2,308
令和2年	240	2	305	2,045
令和3年	264	2	339	2,013

加須警察署調べ（捜査状況等により数値の変動あり）

2　子ども自転車運転免許事業の実施

加須警察署や教育委員会、市内交通関係団体等と連携・協力し、市立各小学校4年生を対象に、安全講習、学科試験、実技試験を実施した。この事業により、交通ルールをはじめ、自転車の安全な乗り方などを指導し、子どもの自転車の交通事故防止を図った。

3　中学生交通安全講習会の実施

中学生自らが自転車に乗る際の交通ルールの習得を行うことによって、自転車乗車等に対する安全意識やマナーを学び、交通安全意識を高め、交通事故に遭わない、起こさないように心掛けてもらうことを目的に、市立各中学校1年生を対象とした交通安全講習会を実施した。

4　参加・実践型高齢者交通安全教室

令和3年度に予定していた交通安全教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

本来であれば、埼北自動車学校及び加須警察署、あいおいニッセイ同和損保の協力・指導のもと、参加・実践型の高齢者交通安全教室を年4回開催し、加須市内の老人クラブ会員、シルバー人材センター会員、一般公募からの参加者が、加齢に伴う反射能力、身体能力の認識の衰えを確認することにより、高齢者の交通事故防止を図る予定であった。

5　各種交通安全啓発活動

春、秋の全国交通安全運動及び夏、冬の交通事故防止運動等で、交通安全を呼びかける啓発品を配布し、交通事故防止を促した。

交通弱者である子どもや高齢者の交通事故防止を図るため、新入学児童に交通安全教育教本を配布し、また、敬老会の記念品に同封して高齢者交通安全啓発チラシを配布したほか、老人クラブのグラウンド・ゴルフ大会においてもチラシを配布した。

6　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		交通安全施設整備事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1322-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	30,859,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	30,859,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	25,598,099 円

事業の目的	市民が交通事故に遭わないようにするため、交通安全施設の整備を図る。 また、交通事故の防止を図るため、緊急に通行の安全を確保する必要性の高い危険箇所について緊急対策としての局部的かつ応急的な工事を実施する。	事業の概要	・自治協力団体の要望等があった箇所について市基準に基づき道路反射鏡や路面標示等の交通安全施設工事を実施する。また施設の修繕、維持管理を実施する。 ・事故多発箇所及び死亡事故発生箇所については、警察、行田県土、庁内関係各課で構成されている加須市道路交通環境安全推進連絡会議に諮り、交通安全対策を実施する。

事業の実績・成果

交通安全上危険な箇所や交通事故多発地点について交通安全施設等(道路反射鏡、路面標示、道路照明灯)を整備することにより、交通安全の注意を喚起し、交通事故防止を図った。

1　道路反射鏡新設
　29 基、　5,011,600 円
2　道路反射鏡修繕
　61 基、　6,549,400 円
3　路面表示等設置
　45 箇所、7,221,500 円
4　道路照明灯修繕
　31 基、　902,000 円

【交通安全施設の整備状況】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
道路反射鏡新設（基）	22	19	23	17	29
道路反射鏡修繕（基）	55	85	107	83	61
路面標示等設置（箇所）	39	41	53	34	45
道路照明灯修繕（基）	32	57	57	61	31

○加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金　734,650 円
補助対象団体　加須交通安全協会（年 3 回実施）
趣　　旨　市内に設置された道路反射鏡を常に良好な状態に保つことにより、市内の交通安全を図るため、道路反射鏡の点検及び清掃活動を行う加須交通安全協会に対し、加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金交付要綱に基づき活動費補助金を交付。

事 業 名		放置自転車対策事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1322-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,330,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,330,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	1,135,291 円
事業の目的	通行の安全と良好な生活環境を保持するため、加須駅、花崎駅、柳生駅、新古河駅周辺の自転車放置整理区域内における放置自転車の対策を行う。		事業の概要	・自転車放置整理区域内の放置自転車の監視、指導、整理及び引渡し業務の委託を行う。 ・放置自転車の撤去、運搬、処分業務の委託を行う。 ・花崎駅北口西有料自転車駐車場運営業務を行う。（月：1,200 円、2 段ラック式：374 台） ・自転車駐車場の指導、整理業務の委託を行う。

事業の実績・成果

歩行者の安全な通行の確保と良好な生活環境の保持を図った。

1　放置自転車監視・指導・整理・引渡し業務委託（加須駅・花崎駅）　739,252 円
（毎週月、水、金曜日、午前 7 時～8 時、4 名立哨）

2　放置自転車撤去・移送業務委託（加須駅・花崎駅）　9,801円
（一斉撤去　4 回・27 台、臨時撤去 0 台）

3　花崎駅北口西自転車駐車場（有料）監視・指導・整理業務委託　140,507円
（毎週月、水、金曜日、午前 7 時～8 時、1 名立哨）

4　放置自転車売却処分　売却処分 44 台　売却代金　484 円

5　有料自転車駐車場利用状況　利用者 206 人　使用料　2,004,000 円

6　放置自転車監視・指導業務委託（柳生駅）　112,147円
（月～金曜日 午前 7 時～8 時、土曜日 午前 8 時～9 時、1 名立哨）

【放置自転車撤去・処分台数の推移】　（単位：台）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
撤 去 台 数	186	259	74	55	27
売却処分台数	108	161	138	80	44

【花崎駅北口西自転車駐車場（有料）の利用状況】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
使用料（円）	2,667,600	2,410,800	2,415,600	1,923,600	2,004,000
利用者数（人）	261	250	245	199	206

事業名		交通遺児支援事業		
担当課		子育て支援課	総合振興計画コード	2113-12
款	02	総務費	当初予算額	219,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	219,000円
目	13	交通安全対策費	決算額	121,753円

事業の目的	交通遺児を扶養している方の経済的な支援を行い、交通遺児世帯の生活の安定を図る。 ※交通遺児 交通事故により死亡又は重い障害が残った父若しくは母又はこれに準ずる者に養育されている市内小・中学校に在学する者	事業の概要	交通遺児を扶養している方からの申請により、図書カードを支給する。 ・対象者調査（小中学校へ依頼） ・支給時期：12月 ・支給額：小学生 10,000円、 中学生 20,000円 ・支給方法：郵送（配達証明） ・基準日：9月1日

事業の実績・成果

交通遺児対象者を把握するため、市内小中学校へ調査を依頼し、対象者に加須市交通遺児支援基金を活用して図書カードを支給した。これにより、交通遺児の健全な育成と交通遺児を扶養する方の経済的な支援を行った。

1　事業内容

(1) 支援金（図書カード）

・小学生　10,000円分/1人

・中学生　20,000円分/1人

2　交通遺児人数及び支給額の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生（人）	5	3	0	2	1
中学生（人）	2	4	7	5	4
支給額（円） （図書カード）	90,000	110,000	140,000	120,000	90,000

事業名	消費者自立・支援事業			
担当課		市民相談室	総合振興計画コード	1174-01
款	02	総務費	当初予算額	5,231,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	5,231,000円
目	14	市民生活費	決算額	3,858,865円

事業の目的	消費者の権利の尊重及びその自立の支援を推進し、安全で安心した消費生活の確保及び向上を図る。	事業の概要	消費生活センターに専門職である消費生活相談員を配置し、消費生活トラブル等の相談を市民から受け、助言やあっせんを行うとともに、消費者の自立を支援する。なお、本庁舎へ相談に来られない方には、予約制により、相談員が総合支所へ出張する体制を整えている。 また、消費者団体くらしの会の自主的な消費者活動を支援する。

事業の実績・成果

1　消費生活講座等

新型コロナウイルス感染症の影響により、消費者団体との共催による消費生活講座等を実施できなかった。

・消費者団体「加須市くらしの会」への補助金

消費生活の改善・向上を図るとともに、生産者・販売者・消費者相互の意思疎通を図り、地域社会の円滑な発展に資するため、268,000円を交付し、消費生活に対する意識向上に繋がった。

会員数：213人

2　消費者被害を未然に防ぐ啓発活動

消費者被害を広く市民に周知し、悪質商法等の被害を未然に防ぐ啓発に努めた。

・市広報紙等に事例及び対策を掲載
・敬老会対象者への啓発チラシ配布
・新型コロナウイルス感染防止のため、加須市在住の埼玉県消費者被害防止サポーターとの協働による啓発活動を中止

消費者被害防止啓発クリアホルダー	88,000円
消費者被害防止啓発リーフレット	90,200円
消費者被害防止啓発ウェットティッシュ	171,600円
消費者被害防止啓発ポケットティッシュ	140,800円

3　加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議

高齢者、障がい者及び認知症等により判断能力が不十分となった方の消費者被害を防止するため、加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を活用し、関係機関との連携により消費者被害救済に努めた。

4　消費生活相談

本庁舎では月曜日から金曜日に、また、各総合支所では事前予約により、消費生活相談員が市民の様々な消費生活に係る相談を受け、適切な助言及びあっせん等を行い、消費者の悩みや不安解消に努めた。

・消費生活相談員報酬　2,443,660円

消費生活相談の取引形態別相談件数　（単位：件）

区　　分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
苦情相談件数	店舗購入	141	144	163	105	60
	訪問販売	61	60	88	71	71
	マルチ販売	2	9	3	2	4
	電話勧誘販売	32	39	43	32	31
	通信販売	127	145	167	217	125
	ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞｵﾌﾟｼｮﾝ	12	1	7	7	1
	訪問購入	2	1	5	4	6
	その他無店舗販売	3	4	4	1	1
	不明無関係	147	416	240	153	132
小　計		527	819	720	592	431
問い合わせ件数		14	24	16	61	49
合　計		541	843	736	653	480

5　消費生活相談弁護士

消費生活相談員が法律等の改正や相談内容の複雑化等に対処するため、月1回、弁護士からの助言を受け、相談への適切な助言及びあっせんを行った。

・弁護士謝金　　360,000円

消費生活相談弁護士への相談件数　（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数	49	59	58	70	59

事 業 名		消費者教育推進事業		
担 当 課		市民相談室	総合振興計画コード	1174-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	300,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	300,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	0 円
事業の目的	消費者が自らの利益の擁護及び増進のため、自主的かつ合理的に行動することができるよう、その自立を支援するため消費生活に関する教育を行う。		事業の概要	市立全中学校８校で小学６年生と当該保護者及び中学３年生を対象とした消費者教育、高齢者を対象とした講座、高齢者を見守る民生委員及び高齢者相談センター職員等を対象とした消費生活レベルアップ講座を実施する。

事業の実績・成果

１　若年者対象消費生活講座

・　新型コロナウイルス感染防止のため、市立中学校８校の３年生を対象とした消費生活講座を中止したが、啓発品を配付して、消費者トラブルの未然防止を図るとともに消費者問題に対する意識の醸成を図ることができた。

・　市立中学校８校の入学説明会において、小学６年生及び当該保護者を対象に啓発品を配付し、消費者トラブルの未然防止を図るとともに消費者問題に対する意識の醸成を図ることができた。

２　民生委員・児童委員及びケアマネ―ジャー等対象消費生活講座開催

高齢者を見守る民生委員・児童委員及びケアマネ―ジャー等を対象とし、消費生活相談員が講師を務め、高齢者に多い消費者トラブルの事例や見守るポイントなどの講話を行い、消費者トラブルの未然防止や消費者問題に対する関心を高めることができた。

参加人数：民生委員・児童委員　54 人
　　ケアマネ―ジャー等　41 人

３　高齢者対象消費生活講座

新型コロナウイルス感染防止のため、高齢者対象消費生活講座を中止した。

事 業 名		防犯のまちづくり推進計画策定事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1311-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	138,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	138,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	27,000 円

事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく安全で安心して生活を送ることができる犯罪のない地域社会を実現するため、防犯のまちづくり推進計画を策定する。	事業の概要	防犯のまちづくりを推進するために必要な施策を総合的かつ計画的に実施するために、「防犯のまちづくり推進協議会」を開催し、推進体制の整備を図るとともに、第3次推進計画（令和4年度から令和8年度まで5か年）の策定を行う。

事業の実績・成果

加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進条例第9条に基づき、平成29年11月に策定した第2次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画（平成29年度から令和3年度まで）が計画期間満了となることから、これまでの取組結果や市を取り巻く状況などを踏まえ、次期5年間の第3次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画を策定した。

○みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画期間
- 第1次計画　平成24年度から平成28年度まで
- 第2次計画　平成29年度から令和3年度まで
- 第3次計画　令和4年度から令和8年度まで

○主な策定経過

令和3年9月28日	防犯のまちづくり推進計画庁内推進委員会
令和3年10月25日	第1回防犯のまちづくり推進協議会
令和4年1月17日～1月28日	パブリックコメント実施
令和4年2月15日～2月25日	防犯のまちづくり推進協議会委員への意見照会
令和4年3月15日	第2回防犯のまちづくり推進協議会
令和4年3月23日	「第3次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画」策定

事 業 名		防犯のまちづくり推進計画進行管理事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1311-02
款	02	総務費	当　初　予　算　額	69,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	69,000 円
目	14	市民生活費	決　　算　　額	27,000 円
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく安全で安心して生活を送ることができる犯罪のない地域社会を実現するため、防犯のまちづくり推進計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会を開催し、推進体制の強化を図るとともに、計画の進行管理を行う。 第2次計画期間：平成29年度～令和3年度

事業の実績・成果

第2次みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画に係る令和2年度の各取組の実績確認（照会）を行うとともに、みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画庁内推進委員会及びみんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行ったほか、第3次みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画策定のための協議などを行った。

○みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画庁内推進委員会

開　催　日　令和3年9月28日
内　　容　・第2次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の取組結果について
　　・第3次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の策定等について

○みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会

第1回
開　催　日　令和3年10月25日
出席委員数　12名
内　　容　・第2次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の取組結果について
　　・防犯に係る現状と課題の整理について

第2回
開　催　日　令和4年3月15日
出席委員数　12名
内　　容　・第3次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画（案）について

事業名	防犯啓発事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	1311-03
款 02	総務費	当初予算額	5,196,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	5,196,000円
目 14	市民生活費	決算額	5,190,000円

事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、「自分たちの地域は自分たちで守る」という防犯意識を高揚する。	事業の概要	・犯罪発生状況や防犯情報等をホームページや広報紙に掲載するとともに、防災行政無線での呼びかけ、さらに「かぞホッとメール」にて配信し、防犯意識の高揚を図る。 ・暴力団排除条例に基づいて、啓発活動を行う。 ・加須市地域安全・暴力排除推進大会を開催する。

事業の実績・成果

1　加須市内の犯罪発生件数の推移　（単位：件）

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
刑法犯総数	678	744	614	556	616
侵入盗計	105	98	61	84	89
街頭犯罪計	189	243	153	126	169

※侵入盗：空き巣・忍び込み・事務所荒しなど
※街頭犯罪：自転車盗・車上狙い・ひったくり・自販機ねらいなど

2　防犯情報の提供
・毎月、広報紙及びホームページに犯罪発生件数と犯罪の防止方法等を掲載
・「かぞホッとメール」及び防災行政無線による犯罪及び防犯に関する情報の提供

3　加須市防犯協会・加須市暴力排除推進協議会への補助
地域防犯活動を効果的に推進するとともに、全市民の防犯思想の高揚を図り、もって犯罪のない明るい社会の構築に寄与することを目的とする加須市防犯協会と、徹底した暴力排除活動を展開し、暴力のない明るく住みよいまちづくりを推進することを目的とする加須市暴力排除推進協議会へ補助金を交付し、市民の防犯意識の高揚に努めた。
・加須市防犯協会補助金　4,852,000円
・加須市暴力排除推進協議会補助金　338,000円

4　加須市地域安全・暴力排除推進大会の開催
令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年12月7日に加須市地域安全・暴力排除推進大会は開催せず、表彰式のみの開催とした。本大会では、例年、パストラルかぞ小ホールにおいて、加須市の地域安全活動に貢献された方々の各種表彰や、埼玉県警察防犯指導班「ひまわり」による防犯教室を開催している。
暴力排除ポスターカレンダーを3,100部作成し、市内公共施設、加須市商工会や自治協力団体等に配布し、啓発を行った。

事 業 名		自主防犯活動組織育成・支援事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1312-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	678,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	678,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	454,463 円

事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、防犯組織の体制を整備する。	事業の概要	・地域防犯力を強化するため、自主防犯組織の結成及び活動を支援する。 ・自主防犯組織への支援として、補助金を交付する。（設立:上限 50,000 円、ﾊﾟﾄﾛｰﾙ経費：1 年目 2/3・上限 30,000 円、2 年目以降 1/2・上限 15,000 円）

事業の実績・成果

1　自主防犯組織設立の促進

新たに自主防犯組織の設立について検討している自治協力団体に対して、随時アドバイス等を行い、組織の増加に努めた。

○ 令和 3 年度 新規設立団体数：6 団体

・土手自主防災防犯会（令和 3 年 4 月 1 日設立）
・睦町自主防災防犯会（令和 3 年 4 月 3 日設立）
・大室区自主防災防犯会（令和 3 年 5 月 1 日設立）
・杓子木自主防災防犯会（令和 3 年 5 月 1 日設立）
・馬内第二区自主防災防犯会（令和 3 年 5 月 23 日設立）
・南篠崎自主防災防犯会（令和 3 年 6 月 19 日設立）

○自主防犯組織数の推移　（単位：団体）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
組織数	131	134	137	139	145

2　自主防犯組織活動費補助金の交付

自主防犯組織に対して補助金を交付し、地域における自主防犯意識の向上や組織活動の活性化を促進した。

○令和 3 年度 補助金交付団体数：24 団体
○令和 3 年度 補助金交付金額：408,125 円

事業名	かぞホッとメール配信事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	1312-05
款 02	総務費	当初予算額	1,945,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	1,945,000円
目 14	市民生活費	決算額	1,943,700円
事業の目的	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して行政情報の提供を行い、市民との情報の共有化を図る。	事業の概要	安全安心情報、子育て情報、イベント情報、就業支援情報、幼稚園・小・中学校・保育園からの情報、職員の緊急招集等のメール配信を行う。 また、登録者数の拡大のため、市HPや広報紙に利用案内を掲載するとともに、市転入者にチラシを配布する。

事業の実績・成果

子どもたちをはじめ、市民の皆さんが犯罪に巻き込まれない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、登録者の携帯電話やパソコンに、電子メールにて安全安心情報(犯罪情報など)を配信し、子どもたちを犯罪から守る、犯罪対策などとして実施した。また、子育て情報・イベント情報・就業支援情報を各担当課からそれぞれ配信した。

さらに、広報紙に年3回、かぞホッとメールの広報記事を掲載し、登録者の拡大に努めた。

○メール配信サービス事業の登録者数・情報配信数

【メール配信サービス事業の登録者数】 (単位:人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
安全安心情報	5,609	5,847	6,954	7,722	7,544
子育て情報	2,085	2,252	2,362	2,577	2,709
イベント情報	1,962	2,086	2,216	2,315	2,374
就業支援情報	638	659	700	739	765
職員緊急招集	689	703	679	669	749
小学校(幼稚園含)	9,031	9,238	9,231	9,411	9,426
中学校	3,555	3,901	3,924	4,318	3,872
保育所	329	338	420	577	613
延べ登録者数	23,898	25,024	26,486	28,328	28,052
実登録者数	14,279	15,090	16,208	17,891	17,979

【メール配信サービス事業の情報配信数】 (単位:件)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
安全安心情報	235	342	284	350	297
子育て情報	458	482	487	119	171
イベント情報	31	47	66	0	2
就業支援情報	12	18	9	9	10
合計数	736	889	846	478	480

事業名	防犯施設維持管理事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	1313-01
款 02	総務費	当初予算額	68,343,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	70,750,000円
目 14	市民生活費	決算額	57,889,212円
事業の目的	防犯環境の向上を図るため、犯罪が発生しにくい環境づくりを進める。	事業の概要	・防犯上必要な箇所に順次、環境負荷の少ないLED防犯灯を設置する。 ・LED防犯灯の修繕、維持管理を実施する。 ・防犯カメラの設置及び維持管理 ・防犯カメラ設置費補助事業の実施

事業の実績・成果

自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置、騎西地域の防犯灯の LED 灯具への交換修繕、及び既設防犯灯の適切な維持管理を実施した。

1　防犯灯新設
・自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置
203 基、 4,106,903 円

2　防犯灯修繕
（1）騎西地域の防犯灯の LED 灯具への交換（令和元年度から令和 3 年度までの 3 か年計画）
430 基、10,884,500 円
（2）既設防犯灯の維持管理（故障等対応）
124 基、 4,714,737 円

【防犯灯の整備状況】　（単位：基）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
防犯灯新設	79	72	117	54	203
防犯灯修繕	2,181	1,954	685	952	554

3　交通防犯施設（防犯灯・道路照明灯・道路反射鏡）管理システム
（5 年長期継続契約　令和 2 年 2 月～）
（1）交通防犯施設管理システム保守管理委託　550,000 円
（2）交通防犯施設管理システム賃貸借　534,600 円

4　電気料　36,827,846 円

【電気料の推移】　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
電気料金	40,105,776	40,192,175	36,791,643	33,426,953	36,827,846

【繰越明許　令和３年度から令和４年度へ繰り越す理由】
令和３年度元和小学校通学路再編成に伴う防犯灯新設工事【１２補】（繰越明許額　367,000 円）
防犯灯については、大利根総合支所農政建設課が発注した道路築造工事完了後に新設する電柱に共架して設置するが、当該道路築造工事の年度内完了が見込めないため繰り越した。

事 業 名		空家等対策計画進行管理事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1314-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	101,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	101,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	37,800 円
事業の目的	本市が取り組むべき空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家等対策計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市空家等対策協議会を開催し、空家等対策の推進体制の強化を図るとともに、計画の進行管理を行う。 計画期間：令和３年度～令和７年度

事業の実績・成果

第２次空家等対策計画に基づき、空家等対策に対する基本方針等の取組を推進していくため、空家等対策協議会を開催し、進捗状況の報告等を行った。

○空家等対策協議会

開 催 日　令和４年３月 11 日
出席委員数　12 名
内　　容　・空家等実態調査結果の概要（報告）
　　・第２次加須市空家等対策計画の取組状況について

事 業 名		空家等実態調査把握事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1314-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	774,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	774,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	684,200 円
事業の目的	実効性のある空家対策の推進を行うため、市内に存在する空家等について把握し、最新の空家等の情報を管理する。		事業の概要	・空家等の実態調査を行い、空家の状況を把握する。 ・使用状況や意向確認をするためのアンケート調査を実施する。 ・空家データベースによる情報の一元管理を行う。

事業の実績・成果

令和３年５月　令和２年 12 月１日を基準日として行った空家等実態調査（第６回）で、新たな空家等の可能性がある家屋（77 戸）のうち、賃貸・売却用の物件や既に利活用されていたもの等（６戸）を除く、71 戸の所有者等に対して、利用状況や今後の利活用の意向等を確認するためのアンケートを行った。

令和３年 12 月　自治協力団体と連携し、令和３年 12 月１日を基準日として市内全域の空家等実態調査（第７回）を実施した。
※令和３年８月～10 月　「問題なし」空家について、空家の状況や管理状態などの確認をシルバー人材センターへ業務委託

アンケート及び実態調査の結果を反映した令和３年 12 月１日時点での空家等の数は 799 戸（前年調査比△45 戸）であった。

通　　年　空家等管理システムに登載された空家等情報の更新等

事 業 名		空家等解消対策事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1314-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	355,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	355,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	2,676 円
事業の目的	周囲への生活環境に悪影響を及ぼす管理不全な空家や活用可能でありながら放置されている空家を解消する。		事業の概要	・特定空家等に対する行政指導等を実施する。 ・管理不全な空家等の所有者に対する適正管理指導を実施する。 ・空家バンク等による空家の活用促進を図る。

事業の実績・成果

令和３年５月　適切な相続対策の必要性など、空家の発生予防のための相続おしかけ講座が行われた。（大越公民館ふれあいセミナー　参加者 24 名）

令和３年6･7月　令和２年 12 月１日を基準日として行った空家等実態調査（第６回）における「問題あり」空家（特定空家等含む）63 戸のうち、改善されたものや個別対応しているもの等を除く 46 戸及び早期対応等が必要な「やや問題あり」空家等 34 戸に対し、時期も踏まえて指導書（特定空家等）及び適正管理のお願い（特定空家等を除く）の文書を一斉送付（一部訪問等）した。
※なお、送付にあたっては、平成 28 年４月にシルバー人材センターと締結した協定に基づき、シルバーふるさと空き家管理のチラシのほか、管理・活用のためのリーフレットや空家バンクの案内、啓発チラシ等を同封した。

→ 令和４年３月までに取壊しも含め改善等が行われた空家が 16 戸あった。

通　　年
・空家に関する情報や制度などの周知・啓発
・周辺住民や空家等所有者等からの相談等の対応
・空家バンクの運用〈登録等の状況〉
通算物件登録数 10 件（前年度比＋3）、通算利用登録数 31 件（前年度比＋9）
令和３年度　成約件数３件（前年度比±0）、相談件数 28 件
・空家バンク以外による利活用等の状況
所有者等から売却・賃貸等したいとの相談を受け、関係団体と連携して対応した 25 件のうち、令和４年３月までに５件が利活用等されたほか、進行中のものが７件あった。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】
・空家等対策において協定を締結している「公益社団法人全日本不動産協会埼玉県本部県北支部」と連携し実施している各分野の専門家に無料で相談できる相談会
・各地域のまつり会場での空家相談等

事 業 名		交通災害共済事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	1324-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	812,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	812,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	630,323 円
事業の目的	埼玉県総合事務組合が運営する市町村交通災害共済を活用し、交通事故により災害を受けた方又はその遺族を救済する。	事業の概要	・埼玉県市町村総合事務組合による交通災害共済への加入を促進する。 ・交通事故で災害を受けた加入者又はその遺族に対し共済見舞金を支給する。	

事業の実績・成果

交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故により災害を受けた方を救済するため、自治協力団体の協力を得て、交通災害共済への加入を促進した。

また、日常生活に困窮している方の経済的負担の軽減を図るため、交通災害共済加入費の一部を助成した。

1　加入者数（加入費：一般：900 円／1 人・中学生以下：500 円／1 人※令和元年度から一律 500 円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
件数（人）	12,617	11,590	12,706	13,077	9,073
加入率（%）	11.1	10.24	11.3	11.6	8.1

2　見舞金支払状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
件数（人）	78	64	91	51	73
金額（円）	6,027,000	4,399,000	5,846,000	2,984,000	6,697,000

3　日常生活に困窮している方に対する助成状況（助成額　300 円／1 人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
件数（人）	105	47	101	97	81
金額（円）	31,500	14,100	30,300	29,100	24,300

4　自治協力団体加入取りまとめの報償金（報償金額　30 円／1 人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
件数（人）	10,153	9,031	9,695	10,229	―
金額（円）	304,590	270,930	290,850	306,870	―

令和３年度加入分から、自治協力団体加入取りまとめを廃止したことにより、報償金の支払いなし。

事業名	市民相談事業				
担当課		市民相談室		総合振興計画コード	2512-01
款	02	総務費		当初予算額	3,492,000円
項	01	総務管理費		最終予算額	3,492,000円
目	14	市民生活費		決算額	3,435,549円
事業の目的	市民が抱える様々な問題について解決を図り、安心して生活が送れるよう支援する。		事業の概要	市民相談は本庁舎で毎日、合同相談は市民プラザかぞで月１回、弁護士法律相談は本庁舎で月２回、各総合支所で各々月１回開催する。	

事業の実績・成果

1　市民相談

本庁舎では月曜日から金曜日に、家庭や日常生活上における心配ごとやトラブル等に関する相談や行政への相談等を受け、助言や情報提供等を行い、市民の悩み解消と諸問題の早期解決に努めた。

市民相談の相談項目別件数　（単位：件）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
行政への要望・照会等	33	21	22	33	38
土地・建物（借地・売買）	29	25	25	21	12
金銭貸借・保証	5	6	6	1	1
交通事故	6	3	1	3	1
離婚・婚約不履行	7	14	8	14	8
相続・贈与・遺言	31	43	30	16	28
家庭問題	31	59	27	38	20
近隣関係	32	36	29	27	29
労働	10	18	13	5	1
その他	92	103	73	61	66
合計	276	328	234	219	204

2　弁護士法律相談

身近なところで法律相談が受けられるよう、予約制で無料の弁護士法律相談を、本庁舎においては月２回、騎西・北川辺・大利根総合支所においては各々月１回開催し、適切な助言等を行った。また、予約については、庁内ネットワークにより情報の共有を図り、本庁舎・各総合支所のいずれからでも予約を可能としている。

・弁護士謝金　3,330,000 円　（内訳）　1,800,000 円　本庁舎
540,000 円　騎西総合支所
450,000 円　北川辺総合支所
540,000 円　大利根総合支所

弁護士法律相談の相談項目別件数　（単位：件）

区　　分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
不動産	38	43	35	39	49
借地借家	17	14	19	16	16
金銭貸借	17	28	32	26	29
損害賠償	14	19	15	8	21
交通事故	18	7	8	8	9
供　託	0	0	0	0	0
商　事	1	1	0	1	4
離　婚	66	59	67	69	59
相　続	102	90	100	95	82
贈　与	4	1	1	1	0
遺　言	5	7	2	4	3
家庭問題	21	29	19	26	27
行政･労働･公害･刑事	24	19	13	18	11
その他	65	75	93	78	70
合　計	392	392	404	389	380

３　合同相談

行政相談委員、司法書士、税理士、不動産相談員、行政書士の協力により、市民プラザかぞにおいて、月１回無料合同相談所を開設し、問題の解決に向けた適切な助言等を行った。また、人権相談（人権・男女共同参画課）及び公認心理師による「こころの相談」（いきいき健康長寿課）も併せて実施。

新型コロナウイルス感染防止のため、令和３年８月、令和３年９月、令和４年２月及び令和４年３月は中止し、令和３年６月は時間を短縮して実施した。

・合同相談会場（市民プラザ）借上料　　19,800 円

合同相談の相談項目別件数　　（単位：件）

区　　分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
行政相談	5	3	3	2	0
不動産	36	45	42	15	21
税	14	25	30	20	20
近隣問題	6	2	1	1	1
離婚等	1	0	4	1	2
相続登記等	45	60	78	25	30
家庭問題	19	5	2	0	0
こころ	15	9	11	5	7
その他	16	37	12	6	7
合　　計	157	186	183	75	88

※人権擁護委員・同和問題相談員及び公認心理師（または臨床心理士）の相談件数も含む。

事 業 名		コミュニティセンター管理運営事業		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	5133-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	58,686,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	74,795,000 円
目	15	コミュニティセンター費	決 算 額	56,492,370 円
事業の目的	地域で集えるコミュニティ活動の拠点として、多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。	事業の概要	・市内全13コミュニティセンター（加須、不動岡、三俣、川口、花崎、南篠崎、騎西、種足、鴻茎、高柳、北川辺、原道、豊野）の適正な管理運営を行う。 ・各施設の貸出業務を行う。	

事業の実績・成果

地域のコミュニティ活動の推進を図るため、様々な活動に利用できるよう各コミュニティセンターの適切な管理・運営を行った。

1　コミュニティセンター別管理運営経費　（単位：円）

	合計	光熱水費	修繕料	手数料	委託料	その他（消耗品費、燃料費等）
加　須	2,500,391	651,510	0	299,960	987,470	561,451
不動岡	3,761,779	2,001,155	175,150	547,460	737,660	300,354
三　俣	5,775,917	72,194	0	2,264,598	2,831,444	607,681
川　口	2,860,009	1,046,490	314,545	405,260	908,490	185,224
花　崎	5,914,045	1,864,537	1,688,500	479,490	1,501,170	380,348
南篠崎	4,547,619	1,327,974	466,455	289,960	2,261,490	201,740
騎　西	2,677,757	0	221,650	0	2,445,832	10,275
種　足	215,448	125,600	30,250	15,400	0	44,198
鴻　茎	441,838	314,100	0	16,500	0	111,238
高　柳	835,619	450,979	0	154,100	132,000	98,540
原　道	4,209,313	1,159,162	2,191,198	239,750	391,559	227,644
豊　野	3,663,500	817,182	207,570	817,980	1,744,700	76,068
合　計	37,403,235	9,830,883	5,295,318	5,530,458	13,941,815	2,804,761

2　主な経費の内訳

・修繕費　主な内訳

不動岡…　175,150 円（受水槽ＦＭバルブ交換修繕、自動ドア錠前動作点検・分解修繕他）
川口…　314,545 円（和室畳修繕、浄化槽水中ポンプ交換他）
花崎…　1,688,500 円（空調室外機圧縮機修繕、異形透明ガラス交換修繕他）
南篠崎…　466,455 円（地下タンク廃止工事、水道設備修繕他）
各公民館…　712,800 円（施設名称変更に伴う施設看板掛替工事）
騎西…　221,650 円（東側出入口扉フロアヒンジ修繕）
種足…　30,250 円（雨戸修繕）
原道…　2,191,198 円（空調修繕、アルミサッシ引き違い用巻きゴム交換他）
豊野…　207,570 円（トイレ自動水栓修繕、ドア修繕他）

・備品購入費　主な内訳

加須…　29,040 円（業務用掃除機）
原道…　3,300 円（フライパン）
豊野…　3,300 円（フライパン）

3　利用者数・実稼働率の推移

（上段：利用者数（単位：人）／　下段：実稼働率（単位：%））

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加　須	13,553	13,991	12,879	5,678	7,332
	30.5	32.1	28.6	21.1	23.4
不動岡	30,631	31,268	29,151	17,865	21,694
	53.1	49.8	49.8	37.4	37.9
三　俣	16,885	17,774	15,073	6,244	7,689
	40.3	42.8	40.9	28.2	30.0
川　口	21,987	19,385	17,373	7,169	9,792
	63.3	62.7	65.9	43.1	44.7
花　崎	35,298	35,129	41,308	16,303	27,870
	54.0	53.6	57.7	41.8	40.8
南篠崎	21,818	18,325	17,863	9,163	11,307
	15.1	13.5	13.6	10.4	11.7
騎　西	11,010	16,564	16,628	8,637	8,878
	1,227				
	13.0	24.3	21.4	31.5	33.9
	21.7				
種　足	1,840	1,137	1,199	171	695
	3.6	4.9	4.0	1.1	3.7
鴻　茎	5,296	3,539	2,458	1,350	1,669
	21.7	16.0	16.2	12.8	13.7
高　柳	9,599	6,125	5,206	2,315	2,735
	23.7	17.2	20.3	15.0	15.9
北川辺	―	―	―	―	1,637
	―	―	―	―	31.4
原　道	15,554	17,886	14,853	8,132	9,152
	27.7	50.7	46.0	41.9	23.9
豊　野	12,021	11,472	10,981	2,843	3,384
	12.6	21.0	22.1	6.7	8.4

＊騎西コミセン…平成29年度：上段は旧騎西コミセン（～2/28）下段は新騎西コミセン（3/1～）
＊北川辺コミセン…令和4年2月1日開館
＊実稼働率…年間総利用件数を、開館日数に部屋数と利用区分数3を掛けた数値で、除した割合。
【算出例】加須コミセン：年間総利用件数1,133件÷ 延開館日数3,528日＝0.3211≒32.1%

4　繰越明許　令和3年度から令和4年度へ繰り越す理由

・豊野コミュニティセンター　階段昇降機更新工事　12,100,000円
ロシアのウクライナ軍事侵攻の影響による航空貨物状況の悪化により製品輸送が困難となったため

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ　感染予防】を実施した（別冊参照）

事 業 名		コミュニティセンター管理運営事業【繰越明許】		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	5133-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	770,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	770,000 円
目	15	コミュニティセンター費	決 算 額	748,000 円
事業の目的	地域で集えるコミュニティ活動の拠点として、多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。		事業の概要	・市内全 13 コミュニティセンター（加須、不動岡、三俣、川口、花崎、南篠崎、騎西、種足、鴻茎、高柳、北川辺、原道、豊野）の適正な管理運営を行う。 ・各施設の貸出業務を行う。

事業の実績・成果

三俣コミュニティセンターインターロッキング舗装修繕工事（繰越明許額 770,000 円）

三俣コミュニティセンター敷地内のインターロッキング舗装に沈下が生じ、沈下しにくい建物の基礎部分と、それ以外の部分とに段差が生じてしまったため、施設利用者の通行の安全確保のため、インターロッキング舗装に生じている段差を解消する修繕工事を行った。

事 業 名		（仮称）北川辺コミュニティセンター整備事業		
担 当 課		地域振興課（北川辺）	総合振興計画コード	5133-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	0 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	14,746,000 円
目	15	コミュニティセンター費	決 算 額	12,041,384 円
事業の目的	地域コミュニティ活動を推進するため、拠点施設として多くの市民が利用できるよう、施設の整備を行なう。	事業の概要	北川辺公民館等整備構想に基づき（仮称）北川辺コミュニティセンターを整備する。	

事業の実績・成果

1　コミュニティ活動や地域活動の活性化を目指すため、当該コミュニティセンターの施設運営に必要な備品（会議テーブル、椅子、カーテン等）購入等を行った。

（1）予算の概要【6 月補正】
①補正費目：工事請負費、備品購入費
②整備内容：○(仮称)北川辺コミュニティセンター電話交換設備及びネットワークサービス工事
・北川辺公民館の電話番号を引き継ぎ、コミュニティセンターへ電話線工事を実施
・パソコンサークルが利用するインターネット回線(Wi-Fi)工事の実施
○(仮称)北川辺コミュニティセンター備品購入等
・会議テーブル、イス、カーテン、キャビネット、プロジェクター、スクリーン等

（2）主な備品購入費等

①(仮称)北川辺コミュニティセンター備品購入	9,704 千円
②(仮称)北川辺コミュニティセンター室内装飾品購入	1,179 千円
③(仮称)北川辺コミュニティセンター電話交換設備及びネットワークサービス工事	289 千円
合　　計	11,172 千円

2　本市の総合振興計画で「地域で集えるコミュニティ活動の拠点」としてコミュニティセンター化を進めることが掲げられている中で、まず令和 4 年 2 月に先行して「(仮称) 北川辺コミュニティセンター」が開所されるため、必要な光熱水費等を計上し、各種の市民活動の利用に支障のないように備えた。

・予算の概要【12 月補正】
①補正費目：報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
②内　　容：○会計年度任用職員報酬(2 ヶ月分)及び通勤手当(2 ヶ月分)
○電気料(2 ヶ月分)、水道料(2 ヶ月分)
○電話料(2 ヶ月分)、手数料(ピアノ調律)、火災保険料
○夜間管理業務委託料(2 ヶ月分)
○清掃用具借上料(2 ヶ月分)

事 業 名		（仮称）北川辺コミュニティセンター整備事業【繰越明許】		
担 当 課		地域振興課（北川辺）	総合振興計画コード	5133-06
款	02	総務費	当　初　予　算　額	290,085,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	290,085,000 円
目	15	コミュニティセンター費	決　　算　　額	239,011,191 円
事業の目的	地域コミュニティ活動を推進するため、拠点施設として多くの市民が利用できるよう、施設の整備を行なう。	事業の概要	北川辺公民館等整備構想に基づき（仮称）北川辺コミュニティセンターを整備する。	

事業の実績・成果

【繰越明許】令和２年度から令和３年度へ繰り越した理由

（仮称）北川辺コミュニティセンター整備事業（繰越明許額：11,867,000 円）

（仮称）北川辺コミュニティセンターの方向性について、外部委員会である北川辺公民館等整備構想策定懇話会での合意を受け、整備設計が令和２年９月補正予算議決され、設計業務を進めてきたが、年度内の業務完了が見込めないことから繰越明許をした。

１　設計委託（基本設計、実施設計、建築確認手続き等）11,680 千円
２　諸手数料　（建築確認等手数料）187 千円

【（仮称）北川辺コミュニティセンター整備】

北川辺中学校の一部を活用した複合施設として、多様な世代やニーズに応える新たな地域コミュニティ活動の拠点として（仮称）北川辺コミュニティセンターを整備し、令和４年２月１日に開所し、２日から利用を開始した。

１　整備概要

（１）概要（事業年度：令和２年度繰越明許→令和３年度執行）

① 工事名称：（仮称）北川辺コミュニティセンター整備工事
② 工事場所：加須市麦倉 3705 番地１外　地内
③ 敷地面積：46,161 ㎡（北川辺中学校）
④ 建物概要：校舎棟改修工事　RC 造３階建全 9,972.06 ㎡のうち延床面積 852.83 ㎡
（増築 48.79 ㎡、改修 804.04 ㎡）
⑤ 駐車場概要：コミセン専用駐車場　15 台　思いやり駐車場　１台　中学校共用駐車場　42 台
⑥ 工事概要：北川辺中学校一部スペースをコミュニティセンターへの用途変更に伴い、建築基準法をはじめとした各種関係法令に適合するための内外装工事
⑦ 工　　期：令和３年６月 24 日から令和３年 12 月 24 日まで

（２）工事費

①	（仮称）北川辺コミュニティセンター整備工事	139,713 千円
②	（仮称）北川辺コミュニティセンター整備電気設備工事	40,539 千円
③	（仮称）北川辺コミュニティセンター整備機械設備工事	38,483 千円
④	（仮称）北川辺コミュニティセンター整備工事監理等業務委託	9,321 千円
	合　　計	228,056 千円

２　施設の主な機能

（1 階）事務スペース、キッズスペース、多機能トイレ
（2 階）活動室 1～6、バリアフリー法適合施設、車いす利用者用昇降機設置　Wi-Fi 設備（2 階）

３　竣工式　（新型コロナ禍のため規模を縮小して開催）

・日時等　令和４年２月１日（火）　午前 10 時から　加須市立北川辺コミュニティセンター
・内　容　テープカット、式典、施設内覧
・参加者　13 名（市長、議長、教育長、北川辺地域選出議員、北川辺中学校校長　ほか ）

事 業 名		市民総合会館管理運営事業			
担 当 課		市民協働推進課		総合振興計画コード	5133-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	97,567,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	104,487,000 円
目	16	市民総合会館費		決 算 額	99,172,343 円
事業の目的	市民活動及び生涯学習活動などのコミュニティ活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。		事業の概要	・多くの市民が安全安心に施設を利用できるよう、適正な管理運営を行う。 ・施設の貸出業務を行う。	

事業の実績・成果

市民相互の交流、市民活動及び学習活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう適切な施設の管理運営を行った。

■ 利用者数等の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数（人）	194,304	198,684	178,822	67,716	98,155
うち市民交流プラザ利用者数	130,147	136,055	120,508	38,396	52,277
利用件数（件）	10,203	10,457	9,614	5,469	6,867
実稼働率（%）	46.1	47.2	42.9	29.34	31.07
使用料（円）	9,727,650	9,298,000	8,002,600	4,505,850	7,814,050

■新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ 感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		市民総合会館管理運営事業【繰越明許】			
担 当 課		市民協働推進課		総合振興計画コード	5133-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	4,730,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	4,730,000 円
目	16	市民総合会館費		決 算 額	4,730,000 円
事業の目的	市民活動及び生涯学習活動などのコミュニティ活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。		事業の概要	・多くの市民が安全安心に施設を利用できるよう、適正な管理運営を行う。 ・施設の貸出業務を行う。	

事業の実績・成果

空調設備圧縮機（コンプレッサー）交換工事（繰越明許額4,730,000円）
市民総合会館の冷暖房を稼働させる設備の部品（コンプレッサー）が故障したことにより、今後、冷暖房機能不全が見込まれることから、利用者が快適に施設を利用できるよう修繕工事を実施した。

事 業 名		市民平和祭開催事業			
担 当 課		観光振興課		総合振興計画コード	3311-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	27,618,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	27,618,000 円
目	17	諸費		決 算 額	712,000 円
事業の目的	平和の尊さを再認識し、市民の平和意識の高揚を図るとともに、観光資源を活用し、交流人口の拡大に努め、地域の活性化を図る。		事業の概要	安全で安心できる平和な暮らしを願う「加須市民平和祭」を開催し、そのメインイベントとして「世界一のジャンボこいのぼり（全長 100m、重さ 330kg）の遊泳」を実施する。	

事業の実績・成果

加須市民平和祭実施委員会部会長会議を２回開催し、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ中止となった。

開催日　令和３年１月 19 日、令和３年２月 18 日
（部会長 10 人）

事業名	県収入証紙等売捌事業		
担当課	会計課	総合振興計画コード	5252-07
款 02	総務費	当初予算額	35,245,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	35,245,000円
目 17	諸費	決算額	22,919,083円
事業の目的	市民の利便性の向上を図るため、パスポートの申請等に必要な県収入証紙の売り捌き、郵便切手類・収入印紙の販売を行う。	事業の概要	会計課・各総合支所の窓口で県収入証紙・郵便切手類・収入印紙の販売を行う。 県収入証紙：1円、5円、10円、20円、50円、100円、200円、300円、400円、500円、600円、700円、800円、900円、1千円、2千円、5千円、1万円　はがき：63円、126円 切手：2円、10円、50円、63円、84円、94円、100円、120円 収入印紙：100円、200円、500円、2千円、4千円、5千円、1万円

事業の実績・成果

1　埼玉県収入証紙

市民等による申請や手数料納付に数量、券種不足により支障を来すことがないよう適切な管理を行った。

（1）年度別実績

【売捌手数料（歳入）】　530,497円

【売捌金額（歳入）】　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
売捌金額	11,465,310	10,948,030	12,780,950	16,297,700	18,814,590

【買受金額（歳出）】　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
買受金額	10,773,259	10,842,742	15,088,429	31,079,186	19,117,503

（2）令和3年度末在庫数

	1円	5円	10円	20円	50円	100円	200円	300円	400円
枚数（枚）	29	17	571	483	849	1,207	1,367	690	736
金額（円）	29	85	5,710	9,660	42,450	120,700	273,400	207,000	294,400
	500円	600円	700円	800円	900円	1千円	2千円	5千円	1万円
枚数（枚）	843	702	820	694	637	927	2,354	802	1,154
金額（円）	421,500	421,200	574,000	555,200	573,300	927,000	4,708,000	4,010,000	11,540,000
							合計	24,683,634円	

２　郵便切手類

郵便切手類の販売に当たっては、数量、券種不足により支障を来すことがないよう適正な管理運営を行った。

（１）年度別実績

【販売手数料（歳入）】　188,119 円

【販売金額（歳入）】　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
印　紙	25,316,100	26,849,200	27,854,300	3,488,700	4,029,300
切　手	108,370	143,170	165,843	150,391	337,463
はがき	81,680	137,392	146,734	131,922	139,293
合　計	25,506,150	27,129,762	28,166,877	3,771,013	4,506,056

【買受金額（歳出）】　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
印　紙	27,990,000	26,371,000	24,310,000	11,915,000	3,340,000
切　手	89,876	140,094	161,270	357,400	322,980
はがき	84,974	136,586	148,777	136,080	138,600
合　計	28,164,850	26,647,680	24,620,047	12,408,480	3,801,580

（２）令和 3 年度末在庫数

・収入印紙

	100 円	200 円	500 円	2,000 円
枚数（枚）	546	584	576	372
金額（円）	54,600	116,800	288,000	744,000
	4,000 円	5,000 円	10,000 円	合　計
枚数（枚）	701	407	455	3,641
金額（円）	2,804,000	2,035,000	4,550,000	10,592,400

・切　手

	2 円	10 円	50 円	63 円	84 円
枚数（枚）	918	589	15	503	1,295
金額（円）	1,836	5,890	750	31,689	108,780
	94 円	100 円	120 円	合　計	
枚数（枚）	348	393	182	4,243	
金額（円）	32,712	39,300	21,840	242,797	

・はがき

	63 円	126 円	合　計
枚数（枚）	56	18	74
金額（円）	3,528	2,268	5,796

事 業 名		固定資産評価審査委員会運営事業		
担 当 課		固定資産評価審査委員会	総合振興計画コード	5312-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	271,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	271,000 円
目	01	税務総務費	決 算 額	12,660 円
事業の目的	地方税法に基づき、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に対する審査申出の審査を行う。		事業の概要	地方税法に基づき、３人の委員で構成される委員会で、主に固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服審査の申出を受け、調査その他事実審査を行い、決定する。 行田市、羽生市固定資産評価審査委員会との研究会を開催する。

事業の実績・成果

令和３年度は、新たな審査申出はなかった。

行政不服審査法施行令の一部改正を踏まえ、行政手続きにおける押印の見直しについて、加須市固定資産評価審査委員会条例及び加須市固定資産評価審査委員会規程の一部改正を行い、審査申出関係書類に係る押印の廃止を行った。

・令和３年度審査申出件数：０件
・過年度継続審査件数：０件
・固定資産評価審査委員会の開催：１回（書面開催）
・行田市及び羽生市固定資産評価審査委員会と合同開催の研究会への参加
（新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催）

事 業 名		市県民税賦課事業		
担 当 課		税務課	総合振興計画コード	5311-12
款	02	総務費	当 初 予 算 額	49,423,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	49,460,000 円
目	02	賦課徴収費	決 算 額	39,846,562 円
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、納税者等からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。		事業の概要	個人及び法人の課税客体を適切に把握し、公平かつ適正な賦課決定を行う。 また、未申告者の申告を促すとともに、扶養の確認等を行い、課税の公平性を確保する。

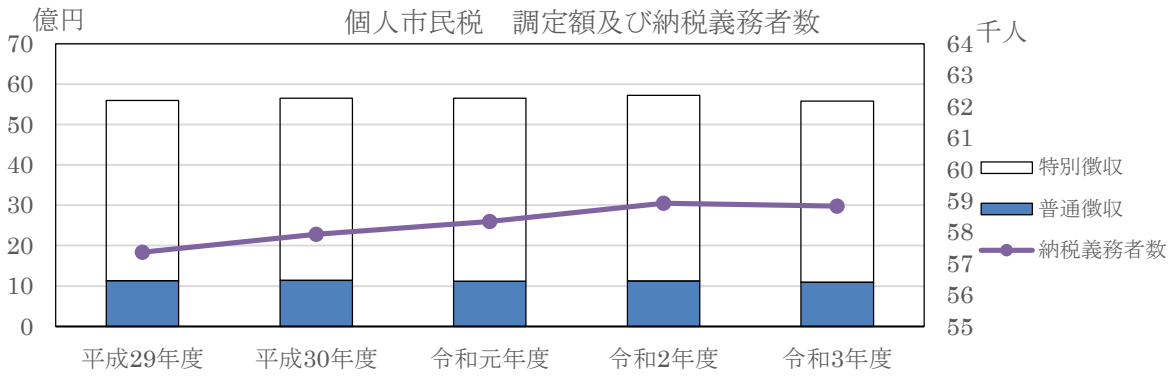
事業の実績・成果

個人及び法人市民税の申告書等に基づき、適正な課税を行った。

確定申告受付会場における混雑緩和のため、住民税の申告書に返信用封筒を同封し、郵送による申告書の提出をお願いした。

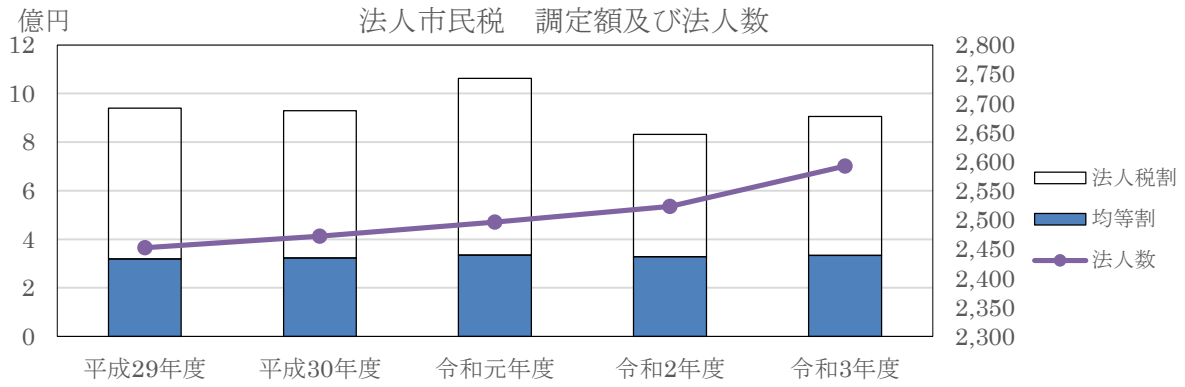
1　個人市民税　調定額及び納税義務者数　（単位：円、人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
普通徴収	1,133,031,936	1,142,077,503	1,115,441,683	1,122,810,810	1,093,149,604
特別徴収	4,463,178,738	4,510,626,905	4,534,676,122	4,601,287,274	4,484,809,119
合計	5,596,210,674	5,652,704,408	5,650,117,805	5,724,098,084	5,577,958,723
納税義務者数	57,361	57,938	58,346	58,927	58,828



2　法人市民税　調定額及び法人数　（単位：円、法人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
均等割	319,570,800	322,828,600	335,503,600	328,940,700	333,625,500
法人税割	619,655,000	606,802,800	726,525,400	503,101,700	571,559,500
合計	939,225,800	929,631,400	1,062,029,000	832,042,400	905,185,000
法人数	2,452	2,472	2,496	2,523	2,592



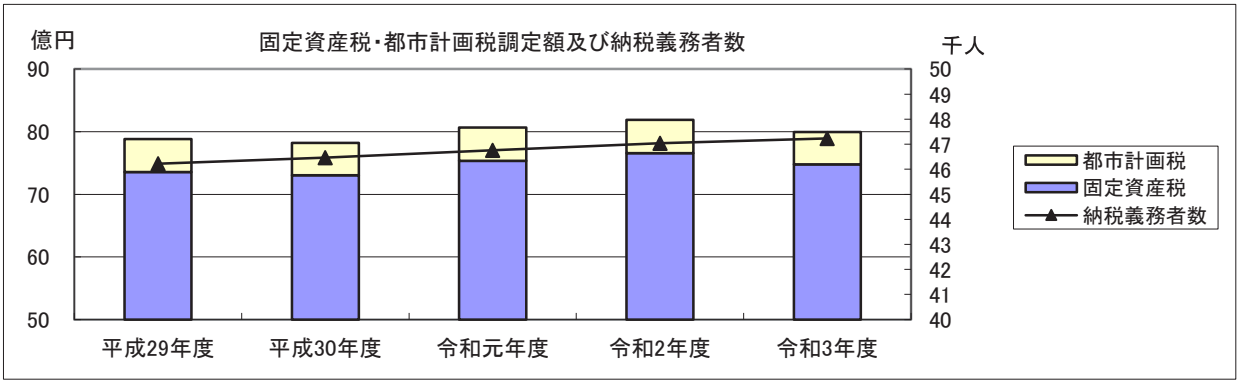
事業名	固定資産税賦課事業		
担当課	税務課	総合振興計画コード	5311-13
款 02	総務費	当初予算額	87,773,000円
項 02	徴税費	最終予算額	88,158,000円
目 02	賦課徴収費	決算額	47,871,969円
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努め、適正で公平な評価を行うとともに、関係法令に基づき、賦課・決定を行い、税収の確保を図る。	事業の概要	賦課期日（1月1日）現在における固定資産に対し、固定資産評価基準に基づき、適正に評価を行い、所有者に固定資産税・都市計画税を賦課する。

事業の実績・成果

土地及び家屋の現況調査を実施し、適正な評価及び課税を実施した。

1　固定資産税・都市計画税の調定額及び納税義務者数　（単位：円、人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固定資産税	7,354,869,400	7,302,127,800	7,534,995,200	7,657,519,900	7,480,285,000
都市計画税	528,073,900	521,035,700	532,073,700	532,532,700	513,748,100
合計	7,882,943,300	7,823,163,500	8,067,068,900	8,190,052,600	7,994,033,100
納税義務者数	46,221	46,468	46,760	47,039	47,226



2　土地（宅地）の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
評価額（百万円）	347,968	354,245	354,657	354,985	367,950
総筆数（筆）	82,220	83,323	84,425	85,487	87,052
総地積（千㎡）	24,673	24,878	25,067	25,237	25,671
平均価格（円／㎡）	14,103	14,239	14,148	14,066	14,333

3　家屋の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
評価額（百万円）	265,458	259,411	272,365	277,039	269,694
総数（棟）	63,343	63,630	63,900	64,189	64,435
うち、木造（棟）	52,404	52,605	52,797	52,997	53,117
うち、木造以外（棟）	10,939	11,025	11,103	11,192	11,318

4　固定資産管理システムの構築

従来の地図情報システムの契約満了に伴い、画地計算機能やデータ連携等を大幅に機能追加した固定資産管理システムを構築した。

事業名	軽自動車税賦課事業		
担当課	税務課	総合振興計画コード	5311-14
款 02	総務費	当初予算額	5,462,000円
項 02	徴税費	最終予算額	5,462,000円
目 02	賦課徴収費	決算額	4,866,899円
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努めるとともに、関係法令に基づき賦課を行い、税収の確保を図る。 また、こいのぼりナンバーの普及により、加須市のＰＲに資する。	事業の概要	原付、小型特殊自動車のナンバー登録及び廃車を行い、４輪等の軽自動車と併せて、軽自動車税の賦課決定を行う。 また、市のＰＲのため、こいのぼりナンバーの普及促進を図る。

事業の実績・成果

窓口で受け付ける原動機付自転車や小型特殊の軽自動車税申告書及び廃車申告書並びに市町村軽自動車税事務協議会からのデータに基づき、適正な課税を行った。

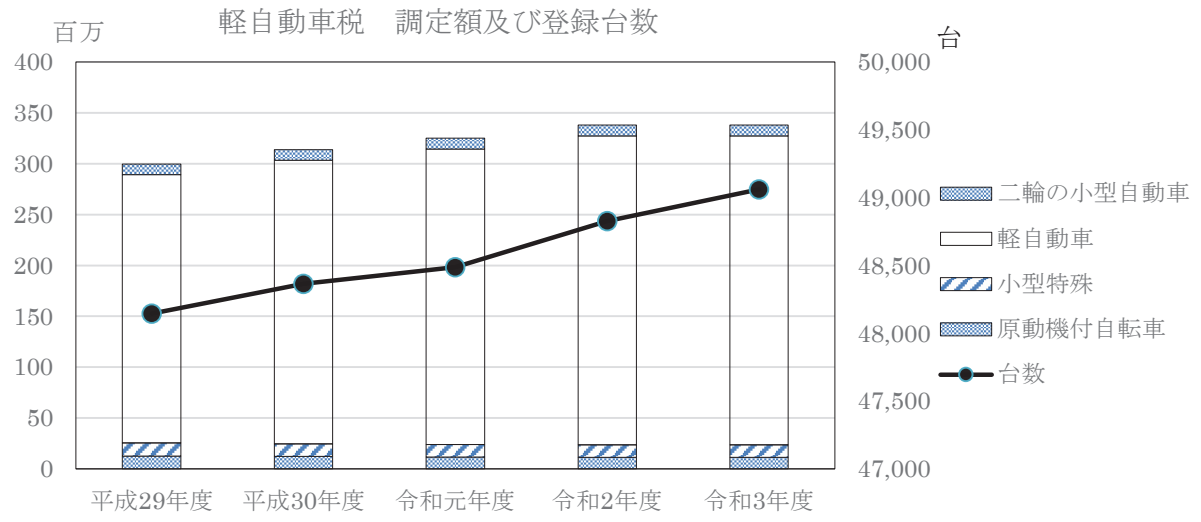
また、広報紙、ホームページへの掲載及び販売店等へのポスター配布により、こいのぼりナンバーの普及に努めた。

１　軽自動車税（種別割）　登録台数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
原動機付自転車	6,081	5,815	5,605	5,433	5,349
小型特殊	4,757	4,662	4,585	4,521	4,431
軽自動車	35,583	36,163	36,535	37,071	37,404
二輪の小型自動車	1,723	1,725	1,761	1,802	1,877
合計	48,144	48,365	48,486	48,827	49,061

２　軽自動車税（種別割）　調定額

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
原動機付自転車	12,653,800	12,113,300	11,709,300	11,389,300	11,236,500
小型特殊	12,617,300	12,389,300	12,187,000	12,040,400	11,848,900
軽自動車	263,970,300	278,855,400	290,607,200	303,989,700	315,109,200
二輪の小型自動車	10,338,000	10,350,000	10,566,000	10,812,000	11,262,000
合計	299,579,400	313,708,000	325,069,500	338,231,400	349,456,600



３　こいのぼりナンバーの交付枚数

令和3年度の交付枚数　603枚（このうち旧型ナンバーからの無料交換 12枚）

【導入（平成23年4月）から令和4年3月末までの交付枚数 10,071枚】

事業名	税務管理事業		
担当課	税務課	総合振興計画コード	5311-15
款 02	総務費	当初予算額	60,614,000円
項 02	徴税費	最終予算額	60,614,000円
目 02	賦課徴収費	決算額	53,758,147円

事業の目的	事業の概要
地方税法及び関係法令に基づく、適正、公正かつ迅速な窓口業務を行うことにより、市民サービスの向上を図る。 また、計画的な財政運営を図るため、納税者からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。	過年度申告等に基づき、市税の還付を行う。また、各種税証明の交付や市たばこ税賦課決定、税務協力団体との連携及び支援を行う。 ○各種税証明の交付 ・本庁 ・各総合支所 ・日曜窓口 ・市民サービスセンター ・コンビニエンスストア(コンビニ交付)

事業の実績・成果

1　各種税証明について、本庁舎、各総合支所、10ヶ所の市民サービスセンターにおける交付により、住民サービスの向上が図られた。

（1）証明書等交付枚数　(単位：枚)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
交付枚数	35,697	35,001	24,159	22,117	26,258

（2）上記（1）のうち、本庁舎及び各総合支所における日曜日の証明書等交付枚数　(単位：枚)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
交付枚数	2,129	1,647	1,275	1,117	1,743

（3）上記（1）のうち、市民サービスセンターの証明書等交付枚数　(単位：枚)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
交付枚数	781	611	445	323	384

2　地方税法に基づく過年度の税の減額更正等に対し、速やかに還付処理をすることにより適正な税の執行が図られた。　(単位：円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
返還金	52,305,904	51,352,769	56,152,394	85,981,325	50,086,103
還付加算金	2,059,600	417,400	1,005,300	1,596,700	431,400

3　市たばこ税　調定額及び課税標準本数　(単位：円、本)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
調定額	743,439,085	736,477,011	732,015,355	735,247,792	778,857,423
課税標準本数	143,574,648	136,511,369	129,259,394	131,832,772	129,920,730

4　税務協力団体

(1) 目的及び成果

団　体　名	目　　的	成　　果
青色申告会	青色申告制度の趣旨徹底と資質向上を図るとともに、円滑な税務行政を推進する。	税法講習会、確定申告や年末調整の指導会等を行うことにより、会員の税知識の更なる普及と円滑な税行政の推進が図られた。
(社) 行田法人会	法人の税務知識の向上を図り、円滑な税務行政を推進する。	決算期別ごとの説明会等を行い、市内法人の税務知識の普及、納税意識の向上が図られた。
農業青色申告会	青色申告制度の趣旨徹底と資質向上を図るとともに、円滑な税務行政を推進する。	減価償却資産のシステム管理、確定申告及び農業経営などの講習会を行い、円滑な税務行政に寄与できた。

(2) 補助金額の推移　　(単位：円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
青色申告会		145,000	145,000	145,000	145,000	145,000
(社)行田法人会加須支部		500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
農業青色申告会	全　　域	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	加須地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	騎西地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	北川辺地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	大利根地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000

※農業青色申告会については地域ごとに存在しているため、地域別内訳を記載。

事業名	収納事業			
担当課	収納課		総合振興計画コード	5311-16
款	02	総務費	当初予算額	15,319,000円
項	02	徴税費	最終予算額	15,319,000円
目	02	賦課徴収費	決算額	11,936,380円
事業の目的	将来にわたって持続可能な自立した自治体運営を確立するため、市税等の市民負担の公平性及び自主財源の確保を図る。		事業の概要	・納期限、納税緩和措置、口座振替及びコンビニ納付の周知徹底を図る。 ・納付や納税相談の機会を充実する。 ・督促状に加えて、電話・文書・臨宅等による効果的な納税催告を行う。 ・財産調査に基づき滞納処分または納税緩和を適正かつ積極的に行う。 ・各種料金等を含めた債権管理の適正化を図る。

事業の実績・成果

市税及び国民健康保険税について、広報紙やホームページ、納税ポスター等による納期限の周知及び口座振替促進強化月間の設定やコンビニ納付の利用案内などにより、納期内納付の促進を図った。

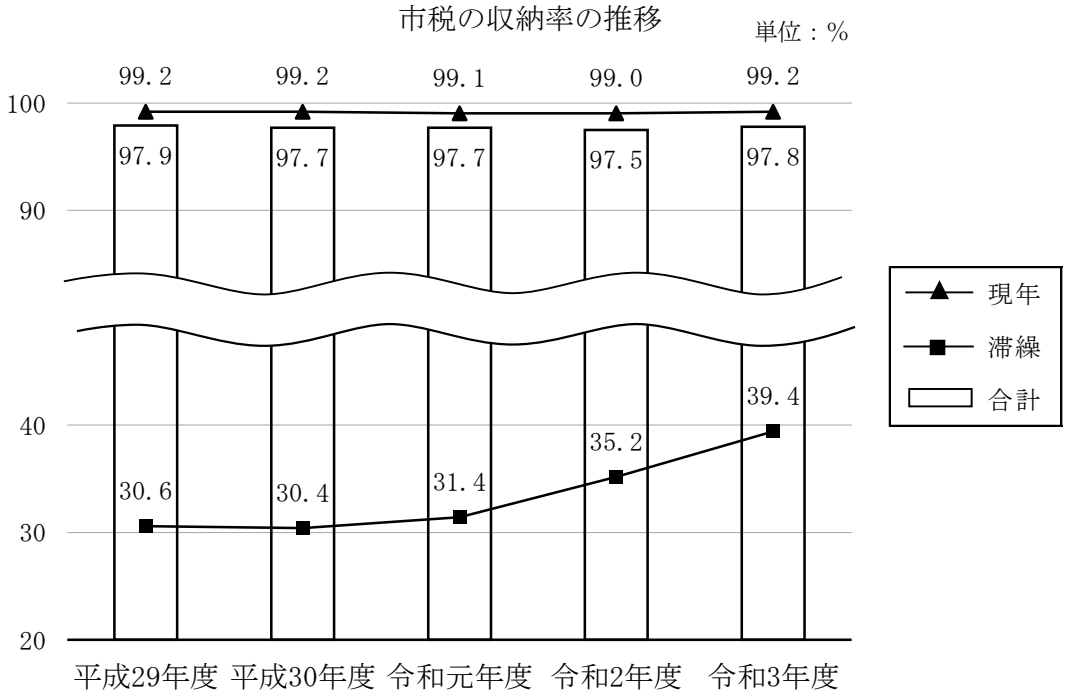
滞納者には、督促状に加え、早い段階から電話や文書、臨宅等による効果的な納税催告を行うとともに、日曜日の納税相談窓口を活用して早期納付を促した。

また、滞納者の財産調査を徹底し、納付資力がありながら納付しない場合は、止むを得ず差押を執行する一方、納付意識はあるが納付資力がない場合は、徴収猶予や減免、滞納処分の執行停止などの納税緩和措置を適切に講じ、税負担の公平性及び自主財源の確保に努めた。

市税の収納率　（単位：%）

年度／項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
現年	99.2	99.2	99.1	99.0	99.2
滞繰	30.6	30.4	31.4	35.2	39.4
合計	97.9	97.7	97.7	97.5	97.8

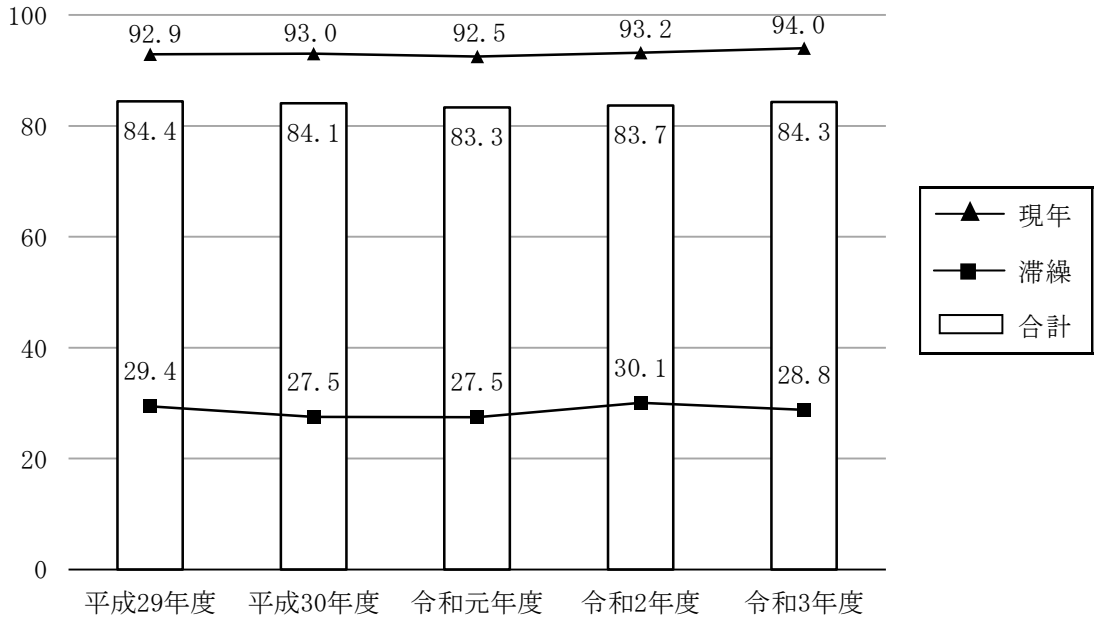
※市税：市民税、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、市たばこ税



国民健康保険税の収納率　　（単位：%）

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
現年	92.9	93.0	92.5	93.2	94.0
滞繰	29.4	27.5	27.5	30.1	28.8
合計	84.4	84.1	83.3	83.7	84.3

国民健康保険税の収納率の推移　　単位：%



事 業 名	マイナンバーカード交付等事業			
担 当 課	市民課		総合振興計画コード	5251-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	116,786,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	116,842,046 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	54,493,662 円
事業の目的	社会保障・税番号制度の実施に伴い、より多くの市民に制度の趣旨を理解してもらうとともに、マイナンバーカードを交付することにより、各種手続き等に係る市民負担の軽減を図る。	事業の概要	マイナンバーの付番・通知及び希望者からの申請によるマイナンバーカードの交付に関する事務を行う。	

事業の実績・成果

マイナンバーカード交付臨時窓口を本庁舎の１０２会議室に設置する等、交付体制の拡充を行った。

また、発行から５回目の誕生日を迎えた方に対して、マイナンバーカードの再発行及び電子証明書の更新を行った。

マイナンバーカードの交付の事前予約制や受付・交付窓口の分担、日曜窓口での交付（第1第2第4土曜日の翌日の日曜日）、木曜夜間での交付（第1第3第5木曜日 17:00～19:00）等により、マイナンバーカードの交付に努めた。

1　マイナンバーカード納品・交付状況

地方公共団体情報システム機構からのマイナンバーカード納品状況　（単位：枚）

	本 庁 舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
平成27年度	4,674	1,312	900	961	7,847
平成28年度	1,957	530	241	426	3,154
平成29年度	1,326	356	195	271	2,148
平成30年度	1,227	291	151	228	1,897
令和元年度	1,788	450	197	313	2,748
令和2年度	8,946	1,845	840	1,766	13,397
令和3年度	7,383	2,306	1,225	1,436	12,350
合　計	27,301	7,090	3,749	5,401	43,541

※年度末納品カード枚数43,541枚は、令和4年4月1日現在人口比38.6%

マイナンバーカード交付状況　（単位：枚）

	本 庁 舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
平成27年度	976	399	466	421	2,262
平成28年度	4,189	1,104	503	671	6,467
平成29年度	1,507	475	235	352	2,569
平成30年度	1,282	325	161	268	2,036
令和元年度	1,571	404	173	262	2,410
令和2年度	7,054	1,539	776	1,488	10,857
令和3年度	8,292	2,266	1,158	1,615	13,331
合　計	24,871	6,512	3,472	5,077	39,932

※年度末カード交付枚数39,932枚は、令和4年4月1日現在人口比35.4%

事 業 名		市民サービスセンター事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	5252-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	3,571,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	3,571,000 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	3,561,414 円

事業の目的	高齢化の現状や今後さらに進展する高齢化社会を踏まえ、市民が自転車や徒歩でも容易に行ける地域の身近なコミュニティセンター等で行政窓口サービスを提供し、利便性の向上を図る。	事業の概要	10 箇所のコミュニティセンター等に開設した市民サービスセンター、本庁窓口（市民課・税務課）及び各総合支所（市民福祉健康課）との連携を図りながら、住民票の写しや市税証明書等の交付業務を行う。

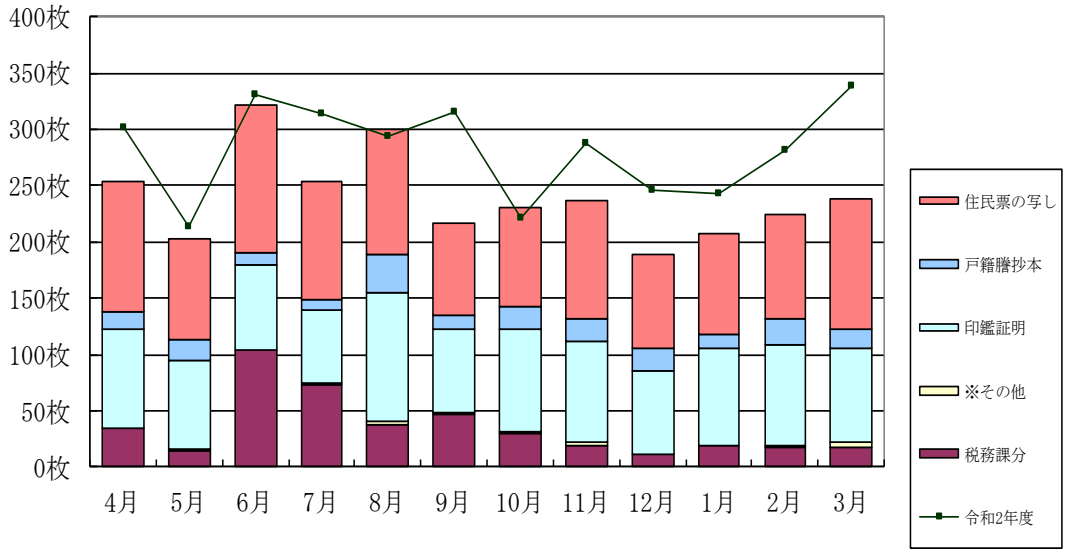
事業の実績・成果

加須地域内すべての公民館及び田ケ谷総合センターに開設した市民サービスセンターで証明書交付を行い、市民サービスの向上及び利便性が図られた。

〇市民サービスセンター

- 開設日（加須地域のサービスセンター）：火曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日 午前 8 時 30 分～午後 5 時
- 開設日（田ケ谷サービスセンター）：水曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日 午前 8 時 30 分～午後 5 時
- 業務内容：住民票の写し、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書、市税の証明（税務課）等の交付
- 設置場所：加須公民館、不動岡公民館、三俣公民館、礼羽公民館、大桑公民館、水深公民館、樋遣川公民館、志多見公民館、大越公民館、田ケ谷総合センター

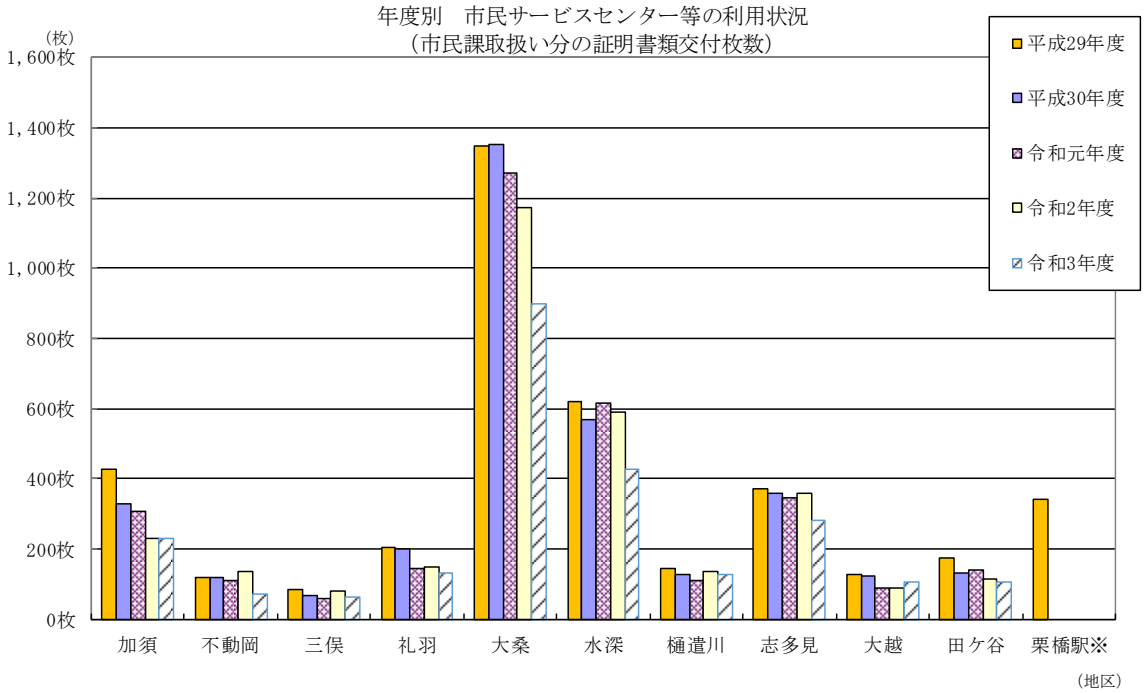
市民サービスセンターの利用状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）
（戸籍謄抄本等の証明書交付枚数）



（単位：枚）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住民票の写し	116	89	130	104	111	82	88	105	83	89	92	116	1,205
戸籍謄抄本	16	19	11	9	34	13	20	20	20	13	23	18	216
印鑑証明	88	79	76	65	114	74	91	90	75	85	89	82	1,008
※その他	0	1	0	2	3	1	1	2	0	0	3	5	18
税務課分	34	15	104	73	38	47	30	20	11	20	17	18	427
合 計	254	203	321	253	300	217	230	237	189	207	224	239	2,874
令和2年度	302	214	330	314	294	315	222	287	246	243	281	339	3,387

※その他･･･戸籍の附票、住民票記載事項証明



（単位：枚）

	加須	不動岡	三俣	礼羽	大桑	水深	樋遣川	志多見	大越	田ケ谷	栗橋駅※	合計
平成29年度	428	118	85	204	1,349	622	147	373	127	177	340	3,970
平成30年度	328	118	68	201	1,351	567	129	360	125	134	－	3,381
令和元年度	306	111	61	143	1,270	617	110	348	91	140	－	3,197
令和2年度	231	138	82	150	1,175	591	135	358	89	115	－	3,064
令和3年度	231	71	63	131	899	428	127	282	107	108	－	2,447

※栗橋駅構内市民サービスコーナーは、平成30年3月30日終了

事 業 名		戸籍住民基本台帳事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	5252-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	22,847,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	32,768,564 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	22,816,257 円

事業の目的	市民の社会活動全般の基礎となる居住関係や身分関係等を公証するための自治事務・法定受託事務（住民基本台帳・印鑑登録・戸籍）を中心とした諸業務を適切かつ総合的・円滑に行う。	事業の概要	各種電算処理システムの管理を行い、申請による証明書発行事務、届出の受付審査及び住民基本台帳、戸籍等の記載や適正な管理を行う。

事業の実績・成果

1　戸籍・住民基本台帳業務やその他関連する各種業務の正確かつ適正な事務処理を行い、市民への行政窓口サービスを行った。

・戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等各種諸証明書類の交付申請受付・交付業務

令和3年度　戸籍住民基本台帳手数料　（単位：円）

項目	本 庁 舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
臨時運行許可	508,500	194,250	72,750	267,000	1,042,500
戸籍謄抄本等	9,382,600	2,093,500	1,331,000	1,936,250	14,743,350
住民票の写し等	5,206,650	870,900	502,500	770,700	7,350,750
印鑑証明書等	3,147,650	722,500	404,200	559,300	4,833,650
マイナンバーカード再発行	17,600	1,600	0	1,600	20,800
合　計	18,263,000	3,882,750	2,310,450	3,534,850	27,991,050

※市民サービスセンター及びコンビニ交付を本庁舎に含む

戸籍謄抄本・住民票の写し等交付枚数（年度別）　（単位：枚）

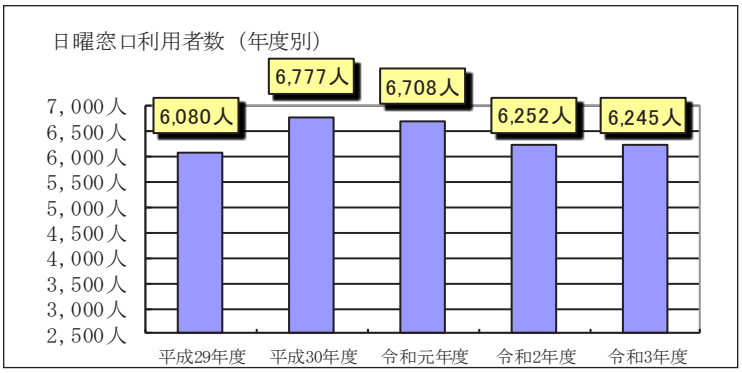
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
交付枚数	125,917	124,651	121,034	117,858	114,299

2　都合により平日に来庁できない市民に対して、日曜日に証明書等の発行窓口を開設し、利便性の向上を図った。（本庁は平成17年度から、各総合支所は、平成22年3月28日から本格運用）

(1) 開設日：毎週日曜日（年末年始除く）午前8時30分～午後5時

(2) 業務内容：戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の交付、印鑑登録業務、戸籍届出書の預かり業務

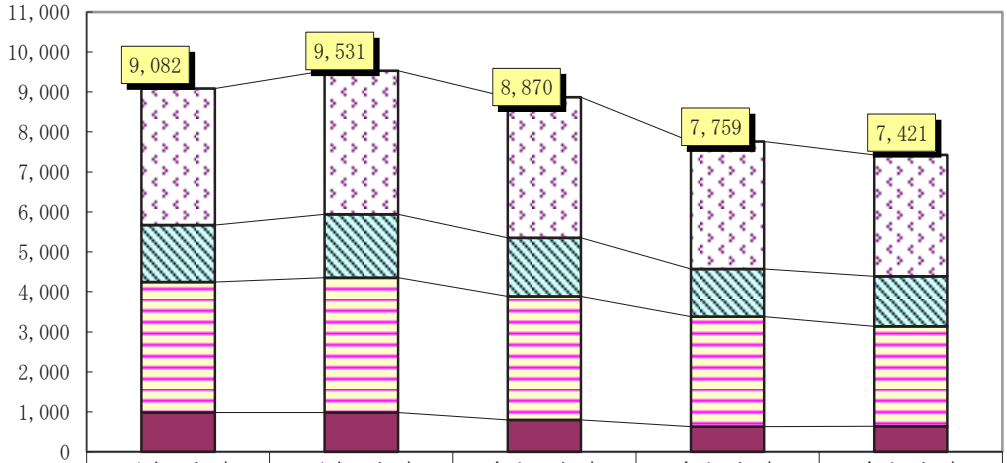
3　デジタル手続法による住民基本台帳法等の一部改正に伴い、マイナンバーカードの公的個人認証を利用し、戸籍の附票を基盤とすることで、将来的（令和5年度以降）に国外転出者への多様なサービスを実現するため、住民基本台帳ネットワークシステムにおける戸籍システムとの双方向通信を可能とする改修を行った。



（単位：日）

	開庁日数
平成29年度	49
平成30年度	52
令和元年度	51
令和2年度	51
令和3年度	51

日曜窓口利用状況（年度別）
※戸籍謄抄本等の発行枚数　（単位：枚）



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
住民票の写し	3,414	3,589	3,519	3,185	3,033
戸籍謄抄本等	1,425	1,586	1,465	1,190	1,245
印鑑証明書	3,259	3,375	3,089	2,755	2,506
その他 ※	984	981	797	629	637
合計	9,082	9,531	8,870	7,759	7,421

※その他…戸籍の附票、住民票記載事項証明等

【繰越明許　令和３年度から令和４年度へ繰り越す理由】

・転出・転入手続きのワンストップ化対応委託　（繰越明許額　6,930,000 円）

マイナンバーカード所有者が、マイナポータルから転出届・転入予約を行うため、住民基本台帳システムの改修を進めてきたが、同改修に係る改造仕様書について、国から確定版が発出されておらず、年度内の事業完了が困難となったため繰り越した。

事業名	戸籍住民基本台帳事業【繰越明許】			
担当課	市民課		総合振興計画コード	5252-02
款	02	総務費	当初予算額	6,424,000円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	6,424,000円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決算額	6,424,000円
事業の目的	社会のデジタル化への対応のため、国外転出者に関する手続きのオンライン化を推進する。	事業の概要	戸籍法一部改正による戸籍情報システム機器改修及びデジタル手続法による戸籍情報システム機器改修を行う。	

事業の実績・成果

戸籍法・デジタル手続法改正による戸籍情報システム機器改修

・戸籍法の一部改正による戸籍情報システム機器改修　1,496,000円

・デジタル手続法による戸籍情報システム機器改修　4,928,000円

事業名	旅券発給事業				
担当課	市民課		総合振興計画コード		5252-03
款	02	総務費	当初予算額		3,973,000円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額		3,973,000円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決算額		1,945,094円
事業の目的	一般旅券の申請受理等を本市で行うことにより、市民の利便性の向上を図る。		事業の概要	埼玉県と連携し、一般旅券の申請（記載事項変更・増補を含む）受理及び発給を行う。	

事業の実績・成果

権限移譲により平成24年6月1日から本庁舎市民課窓口において旅券発給事務を開始

1　申請　　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　午前9時～午後4時30分
　　交付　　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　午前9時～午後4時30分
　　日曜日　午前9時～午後4時30分

2　市民課窓口における一般旅券申請件数　（単位:件）

	10年	5年	訂正	増補	記載事項変更	合計
平成29年度	1,153	1,027	0	7	39	2,226
平成30年度	1,256	1,055	0	3	42	2,356
令和元年度	1,298	1,048	0	1	30	2,377
令和2年度	147	56	0	2	5	210
令和3年度	187	59	0	0	4	250

3　市民課窓口における一般旅券交付件数　（単位:件）

	月曜日～金曜日	日曜日	合計
平成29年度	1,636	594	2,230
平成30年度	1,724	626	2,350
令和元年度	1,781	637	2,418
令和2年度	194	43	237
令和3年度	200	45	245

（参考）県パスポートセンターにおける一般旅券申請件数　上段：申請件数（件）　下段：構成比率（%）

期間＼申請場所	市民課窓口	県パスポートセンター					合計
		大宮	川越	春日部	熊谷市	川口市	
平成30年1月～12月	2,286	201	2	43	12	7	2,551
	89.61	7.88	0.07	1.69	0.47	0.28	100.00
平成31年1月～令和元年12月	2,566	232	6	50	6	0	2,860
	89.72	8.11	0.21	1.75	0.21	0	100.00
令和2年1月～12月	605	59	1	22	0	1	688
	87.94	8.58	0.14	3.20	0	0.14	100.00
令和3年1月～12月	227	18	0	5	0	0	250
	90.80	7.20	0	2.00	0	0	100.00

事 業 名		住民票等コンビニ交付事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	5252-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	9,300,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	9,526,980 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	9,498,959 円

事業の目的	市民の身近な場所で、休日や時間外にも証明書を取得できる利便性の高いコンビニ交付サービスを実施することにより、市民サービスの向上を図る。	事業の概要	マイナンバーカードを利用して、各種証明書をコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末から交付する。 証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、所得・課税（非課税）証明書）１枚当たり交付手数料　各150 円 ※窓口及びコンビニは同額

事業の実績・成果

住民票等のコンビニ交付の周知を図るため、推進チラシ及びポスターを作成し、チラシの全戸配布や本庁舎及び各総合支所窓口における配布、各公共施設への設置、コンビニエンスストアへのポスター掲示、行政モニター放映、広報紙・ホームページへの掲載等を行った。

また、コンビニ交付サービスの利用促進を図るために作成したキオスク端末の操作手順書を、マイナンバーカード交付時に配布した。

コンビニ交付証明書交付状況　（単位：枚）

	住民票	印鑑証明	税証明	合計
平成 28 年度	52	55	7	114
平成 29 年度	746	753	96	1,595
平成 30 年度	1,250	1,208	126	2,584
令和元年度	1,854	1,645	178	3,677
令和 2 年度	2,901	2,437	345	5,683
令和 3 年度	4,845	3,715	607	9,167
合計	11,648	9,813	1,359	22,820

※平成 29 年 3 月 1 日からコンビニ交付サービスの運用開始

事 業 名		選挙管理委員会運営事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	5131-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,308,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	2,308,000 円
目	01	選挙管理委員会費	決 算 額	2,047,531 円

事業の目的	政治への市民参加の主たる制度である「選挙」を管理する選挙管理委員会の適正な運営を図る。	事業の概要	選挙管理委員会は、４人の委員により構成される機関であり、次の事務を行う。 ・各選挙の管理及び執行 ・選挙人名簿等の調製 ・選挙についての啓発宣伝等 ・全国団体等の会議・研究会等への参加 ・その他選挙に関連する事務

事業の実績・成果

選挙人名簿の定時登録（定時、選挙時）や裁判員候補者予定者等の名簿の調製のほか、各種選挙（衆議院総選挙・市長選挙・市議会議員補欠選挙）を適正に管理執行するため、選挙管理委員会を合計 10 回開催した。

○選挙人名簿登録者の推移（各年度９月定時登録数）　（単位：人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
男	47,970	47,787	47,646	47,545	47,398
女	48,008	47,818	47,741	47,624	47,474
合計	95,978	95,605	95,387	95,169	94,872

事業名	選挙啓発事業		
担当課	選挙管理委員会	総合振興計画コード	5131-09
款 02	総務費	当初予算額	294,000円
項 04	選挙費	最終予算額	294,000円
目 02	選挙啓発費	決算額	188,075円

事業の目的	事業の概要
明るくきれいで正しい選挙が行われるようにするため、あらゆる機会を通して有権者の選挙に関する意識の向上を図る。	・小中学生（一部高校生も含む）からポスター、標語及び書道コンクールへの作品を募集し、その作品展示等を行う。 ・学校に対して選挙備品（投票箱・記載台）の貸出しを実施する。 ・「新有権者の証」の送付 ・選挙出前講座(講義･模擬投票)の実施 ・選挙啓発冊子等を成人式において配布する。

事業の実績・成果

1　明るい選挙啓発コンクールの実施

これからの未来を担う小･中学生の選挙に対する関心を高めるとともに、有権者に対する明るい選挙の推進を図るため、教育委員会と連携して、全国規模の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」への参加のほか、加須市独自の「標語コンクール」及び「書道コンクール」を行った。なお、令和3年度の「標語コンクール」は、より多くの生徒に参加していただけるよう、市内の高等学校にも参加を依頼して実施した。

令和3年度コンクールの優秀作品展示会は､新型コロナウイルス感染症の影響により規模及び期間を縮小して実施した。

○コンクールの応募状況　（単位：作品数）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ポスター	511	284	259	103	158
標語	3,475	2,169	2,280	2,023	2,212
書道	915	1,419	941	845	635
合計	4,901	3,872	3,480	2,971	3,005

○優秀作品展示

展示期間	展示会場	展示物
1月21日(金)～1月28日(金)	加須市役所 1階市民ギャラリー	ポスター・標語 書道

※本庁舎閉館の土曜日を除く。

2　選挙出前講座の実施

「加須市選挙出前講座実施要綱」等に基づき、市内の中学校、高等学校、特別支援学校、大学及び障害者福祉サービス事業所を対象として、選挙に関する講座や模擬投票などを実施した。

○選挙出前講座実施状況

開催日	学校名等	受講者数(人)
1月28日(金)	騎西特別支援学校	86※
3月14日(月)	花咲徳栄高等学校（1学年）	562※

※　新型コロナウイルス感染症の予防のため、従来と形式を変更して実施した。

3　「新有権者の証」の送付

18歳を迎え選挙人名簿に登録された方を対象に、選挙人名簿に登録されたことをお知らせするとともに、選挙への関心を持っていただくことを目的に「新有権者の証」を送付した。

○令和3年度新有権者の証発送人数　1,018人

事 業 名		市長選挙執行事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	5131-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	3,545,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	6,118,000 円
目	03	市長選挙費	決 算 額	4,236,385 円
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、市長選挙に関する事務の適正な執行を図る。		事業の概要	入場券の作成・発送、ポスター掲示場の設置、選挙事務従事者の配置、期日前投票・当日投票・開票事務等選挙に関する一連の事務を行う。 任期満了日：令和4年4月24日

事業の実績・成果

1　令和4年4月17日執行の加須市長選挙を適正に管理執行するため、投票管理者等の選任、公営ポスター掲示場、立候補予定者説明会（2人出席）及び立候補届出書類事前審査（2人実施）等の事前準備を行った。

〇主な支出額
- 選挙公営物資関係…276,760円
- 投票用紙等諸用紙関係…627,543円
- 投票区臨時書記手当…1,140,800円
- 新型コロナウイルス感染症対策…1,348,641円

2　新型コロナウイルス感染症への対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名	衆議院議員総選挙執行事業			
担当課	選挙管理委員会		総合振興計画コード	5131-06
款	02	総務費	当初予算額	59,826,000円
項	04	選挙費	最終予算額	59,826,000円
目	04	衆議院議員総選挙費	決算額	52,866,877円
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、衆議院総選挙に関する事務の適正な執行を図る。	事業の概要	入場券の作成・発送、ポスター掲示場の設置、選挙事務従事者の配置、期日前投票・当日投票・開票事務等選挙に関する一連の事務を行う。 解散日：令和3年10月14日	

事業の実績・成果

1　令和3年10月31日執行の第49回衆議院議員総選挙及び第25回最高裁判所裁判官国民審査について、適正に管理執行した。

投票事務及び開票事務は、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら適正に行った。

なお、当該事業費は、埼玉県から交付される執行委託費で全て賄うことができた。

○投票状況（小選挙区選出）

	（前回）平成29年	令和3年
当日有権者数（人）	95,744	94,611
投票者数（人）	48,546	50,278
投票率（%）	50.70	53.14

○開票時間

	（前回）平成29年	令和3年
小選挙区選出（分）	145	195
比例代表選出（分）	146	225
国民審査（分）	182	198

○執行経費

	（前回）平成29年	令和3年
事業費決算額（円）	42,204,318	52,866,877

2　新型コロナウイルス感染症への対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		市議会議員補欠選挙執行事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	5131-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,661,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	1,661,000 円
目	05	市議会議員補欠選挙費	決 算 額	931,697 円
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、市議会議員補欠選挙に関する事務の適正な執行を図る。		事業の概要	入場券の作成・発送、ポスター掲示場の設置、選挙事務従事者の配置、期日前投票・当日投票・開票事務等選挙に関する一連の事務を行う。 議員定数のうち、1 人の欠員により市長選挙と同時執行

事業の実績・成果

令和 4 年 4 月 17 日執行の加須市議会議員補欠選挙を適正に管理執行するため、投票管理者等の選任、公営ポスター掲示場、立候補予定者説明会（5 人出席）及び立候補届出書類事前審査（1 人実施）等の事前準備を行った。

○主な支出額

・選挙公営物資関係…196,680 円
・投票用紙等諸用紙関係…553,300 円

事業名	統計管理事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	5312-10
款	02	総務費	当初予算額	67,000円
項	05	統計調査費	最終予算額	67,000円
目	01	統計調査総務費	決算額	15,558円
事業の目的	適正な行政サービスを実現するため、国や地方自治体における政策決定の基礎資料となる統計調査を実施する。	事業の概要	統計に係る各種行事に参加するとともに、統計調査員の確保等に取り組む。 また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOKかぞ」を発行する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていた全ての会議、研修会等が書面開催となったが、構成市町との情報交換を行い、令和3年度に実施した各種統計調査の円滑な実施に努めた。

また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOKかぞ」を発行した。

○統計研究会北部ブロック研究会

会議名	年月日	場所
第1回研究会	－	中止のため書面開催
第2回研究会	－	中止のため書面開催

○埼玉県連合会役員会

会議名	年月日	場所
役員会	－	中止のため書面開催

○埼玉県連合会定例研究会

会議名	年月日	場所
定例研究会	－	中止のため書面開催

○県民手帳販売数

（単位：冊）

年度	販売冊数	納品冊数
平成29年度	454	490
平成30年度	417	460
令和元年度	418	425
令和2年度	383	425
令和3年度	369	425

○令和2年度版統計書「DATABOOKかぞ」の発行（令和3年12月発行）

事 業 名		学校基本調査事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	99111-00
款	02	総務費		当 初 予 算 額	30,000 円
項	05	統計調査費		最 終 予 算 額	30,000 円
目	02	統計調査費		決 算 額	23,318 円
事業の目的	学校に対する基本的事項について調査し、学校教育行政上の基礎資料を得る。		事業の概要	市内小中学校他について、学校教育課で調査し、回答する。 調査期日：毎年５月１日	

事業の実績・成果

文部科学省所管の基幹統計調査である学校基本調査を実施した。

【調査目的】
学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにする。（教育委員会による調査）

【基 準 日】
毎年５月１日現在

【主な利用例】
・学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料
・県及び市町村に交付する地方交付税算定の基礎資料

【主な内容】
〇対　　象　　市内の幼稚園、小学校及び中学校
〇調査内容　　学校数、在学者数、教職員数、
　　学校建物・土地面積、卒業後の状況等

事 業 名		経済センサス調査事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	99111-00
款	02	総務費		当 初 予 算 額	6,195,000 円
項	05	統計調査費		最 終 予 算 額	6,195,000 円
目	02	統計調査費		決 算 額	4,071,168 円
事業の目的	我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。		事業の概要	調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行う。	

事業の実績・成果

令和３年度の活動調査を円滑に行うための調査区の管理、郵送提出用封筒や事前依頼ハガキの作成等を実施した。

【調査目的】
国内の全産業分野における事業所の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。

【基 準 日】
・活動調査　令和３年６月１日現在
・乙 調 査　毎年６月１日現在　※令和２年から毎年実施に変更

【主な利用例】
・公正な行政運営を行うための利用
　地方消費税、中小企業振興のための補助金の分配等　等
・国民や企業の活動を支えるための利用
　県民経済計算、市民経済計算や地域産業関連表の基礎資料・地域の経済活動に関する一次統計の整備

【主な内容】
○対　　象
　活動調査　調査時において、我が国全ての民営事業所及び企業（国及び地方公共団体の事業所、大使館等の外国公務に属する事業所及び農林業家を除く。）
　乙 調 査　国及び地方公共団体の事業所

○調査内容　名称、所在地、開設時期、従業者数、売上（収入）金額等

【令和３年度事務】
・調査区の管理、乙調査の実施
・経済センサス活動調査の実施
　○本調査　・調査員及び指導員事務説明会の開催
　　・調査員による調査票配布
　　・調査票の郵送提出分の受領
　　・調査員、事業所からの問合せ対応
　　・調査票の郵送提出分の内容審査
　　・調査票等の県進達

○新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		工業統計調査事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	99111-00
款	02	総務費		当 初 予 算 額	39,000 円
項	05	統計調査費		最 終 予 算 額	39,000 円
目	02	統計調査費		決 算 額	0 円
事業の目的	製造業を営む事業所の分布状況や活動実態を調査し、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的とする。		事業の概要	調査員が調査票を配布する。	

事業の実績・成果

経済センサス－活動調査の実施により休止。
令和４年度からは経済構造実態調査として国直轄調査に移行。

事 業 名		監査委員運営事業			
担 当 課		監査委員		総合振興計画コード	5312-04
款	02	総務費		当 初 予 算 額	1,879,000 円
項	06	監査委員費		最 終 予 算 額	1,879,000 円
目	01	監査委員費		決 算 額	1,442,630 円
事業の目的	地方自治法に基づき、市の財務に係る事務の執行等について監査等を実施し、その結果を公表することで民主的かつ効率的な行政執行を確保し、もって住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与する。		事業の概要	定期監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、基金の運用状況審査、健全化判断比率等審査の実施。 また、全国、関東、県都市監査委員会及び県東部都市監査委員会との連絡調整を行い、同総会・研修会に参加する。	

事業の実績・成果

関係法令、加須市監査基準及び監査計画に基づき、各種監査等を実施し、その適法性、効率性、妥当性、有効性等の検証を行った。また、その結果を市議会及び市長等に報告し、併せて市ホームページ等を通して公表した。

1　監査等実施一覧

種類		対象等	実施日数(日)
例月出納検査		一般会計、特別会計、企業会計等	12
決算審査		一般会計、特別会計、企業会計等	17
財政健全化等審査		一般会計、特別会計、企業会計等	1
定期監査	各部署	各部署で所管する補助金交付等の事務について確認を実施	1
	小・中学校	不動岡小、三俣小、礼羽小、北川辺東小、原道小、元和小、昭和中、北川辺中	7
財政援助団体等監査		加須市明るい社会づくりの会、加須市商工会、加須市物産観光協会、株式会社かぞ農業公社、社会福祉法人加須市社会福祉協議会、道の駅かぞわたらせ（ウム・ヴェルト株式会社）、 道の駅童謡のふる里おおとね（株式会社米米倶楽部）、童謡のふる里おおとねハンドベルリンガーズ、加須市スポーツ協会	3

事 業 名		国民健康保険組合支援事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	1111-30
款	03	民生費	当 初 予 算 額	610,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	610,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	593,500 円
事業の目的	埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合組合員の病気を予防するため、両組合を支援し、国民皆保険制度の維持に努める。		事業の概要	埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合に対し、運営費及び事業費の一部を助成する。 ・助成額　組合員一人当たり２５０円

事業の実績・成果

埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合が実施する健康保持、増進事業について、事業費の一部を助成し、健康づくりを支援した。

加入者数（4 月 1 日現在）　（単位：人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部	1,715	1,659	1,660	1,635	1,691
建設埼玉北埼地区本部	695	684	665	685	683
計	2,410	2,343	2,325	2,320	2,374

補助金交付額　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部	428,750	414,750	415,000	408,750	422,750
建設埼玉北埼地区本部	173,750	171,000	166,250	171,250	170,750
計	602,500	585,750	581,250	580,000	593,500

事 業 名		国民健康保険事業特別会計繰出事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	1134-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,326,999,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,326,999,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,053,292,605 円

事業の目的	国民健康保険の健全運営を図るため、被保険者の保険給付と負担とのバランスを確保しながら、特定健康診査の実施、生活習慣病予防等の保健事業を実施することにより、医療に頼らない健康な身体づくりを推進し、医療費の抑制に努める。	事業の概要	一般会計からの繰出金をもって国民健康保険事業の収支の均衡を図る。

事業の実績・成果

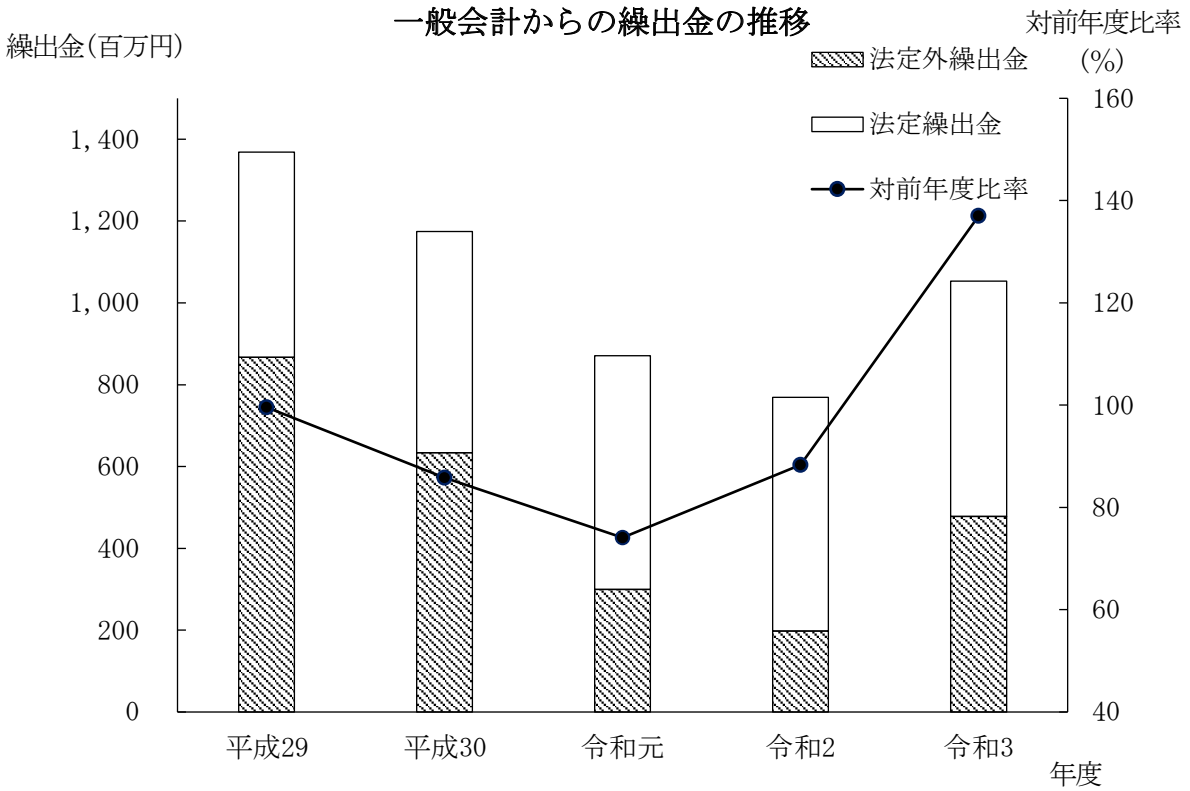
国民健康保険加入者の一人当たり医療費は、長寿化や医療技術の高度化等により増加傾向にある。

このため、複数年を見込んだ医療費の見通しなどが困難なため、医療費等の給付と税負担との関係を毎年度検証しながら、国保税を改正することとしている。

一般会計からの繰出金については、令和3年度は、対前年度284,222千円、37.0%の増となった。

一般会計からの繰出金の推移 （単位：千円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
繰 出 金 額	1,368,876	1,174,438	870,654	769,071	1,053,293
うち法定外繰出金	867,282	633,484	299,660	198,000	478,000
対前年度比率(%)	99.6	85.8	74.1	88.3	137.0



事業名	地域福祉計画策定事業		
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1161-01
款 03	民生費	当初予算額	4,064,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	4,064,000円
目 01	社会福祉総務費	決算額	30,000円
事業の目的	市民、市、民間事業者等がそれぞれの立場で、地域の福祉分野で果たす役割を明確化し、地域福祉推進に向けた方向性を示す計画を策定する。	事業の概要	平成28年度に市と社会福祉協議会が策定した「加須市地域福祉計画(第2次)・地域福祉活動計画」(H29-R3)を踏まえつつ、社会情勢や求められる福祉事業等を勘案しながら、総合振興計画に基づき次期計画(R4-R8)を策定する。 (計画のポイント) 地域共生社会の実現に向け、様々な分野等をつなぐ横断的・重層的支援体制を構築する。

事業の実績・成果

令和4年度から令和8年度までを計画期間とする「加須市地域福祉計画（第3次）・地域福祉活動計画（第2次)」を策定するため事務を行った。

加須市地域福祉計画(第3次)・地域福祉活動計画(第2次)の策定について意見交換を行うため、加須市地域福祉計画推進等懇話会を開催した。

○開催日　　令和3年11月4日（木）

○地域福祉計画推進等懇話会の構成員（計14名、当日12名出席）

高齢者施設関係者（多賀谷寿光園施設長）
障害者施設関係者（あけぼの園所長）
加須市自治協力団体連合会副会長
かぞ地域女性会連合会会計
加須地区保護司会会長
加須医師会会長
学識経験者（社会福祉士養成課程講師・精神保健福祉士養成課程講師）
児童施設関係者（社会福祉法人愛の泉）
加須市社会福祉協議会副会長
加須市民生委員・児童委員協議会会長
加須市老人クラブ連合会会長
埼玉県加須保健所所長
久喜人権擁護委員協議会加須部会部会長
加須市ＰＴＡ連合会会計幹事

○議題等

加須市地域福祉計画(第3次)・地域福祉活動計画(第2次)の策定について

【繰越明許　令和3年度から令和4年度へ繰り越す理由】

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定業務委託（繰越明許額　3,960,000円）

計画策定の事務を行ったが、年度内に事業が完了できなかったため令和3年度から令和4年度に繰り越した。

事 業 名		地域福祉計画進行管理事業			
担 当 課		地域福祉課		総合振興計画コード	1161-02
款	03	民生費		当 初 予 算 額	47,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	47,000 円
目	01	社会福祉総務費		決 算 額	36,000 円
事業の目的	市民、市、民間事業者等がそれぞれの立場で、地域の福祉分野で果たす役割を明確化し、地域福祉推進に向けた方向性を示す計画の進行管理を行う。		事業の概要	「加須市地域福祉計画(第２次)・地域福祉活動計画」の進行状況を管理する。 また、地域福祉計画推進等懇話会を開催し、懇話会委員に報告する。 計画期間：H29～R3	

事業の実績・成果

加須市地域福祉計画推進等懇話会を開催し、関係各課が行っている福祉関連事業の進捗状況を報告し、「加須市地域福祉計画(第２次)・地域福祉活動計画」の進行管理について、書面による協議を行った。

○開催日（書面協議）　　令和３年９月 30 日（木）
○地域福祉計画推進等懇話会の構成員（計 14 名）

高齢者施設関係者（多賀谷寿光園施設長）
障害者施設関係者（あけぼの園所長）
加須市自治協力団体連合会副会長
かぞ地域女性会連合会会計
加須地区保護司会会長
加須医師会会長
学識経験者（社会福祉士養成課程講師・精神保健福祉士養成課程講師）
児童施設関係者（社会福祉法人愛の泉）
加須市社会福祉協議会副会長
加須市民生委員・児童委員協議会会長
加須市老人クラブ連合会会長
埼玉県加須保健所所長
久喜人権擁護委員協議会加須部会部会長
加須市ＰＴＡ連合会会計幹事

○議題等
①加須市地域福祉計画の進捗状況について
②今後の進行管理について

事 業 名		社会福祉管理事業			
担 当 課		地域福祉課		総合振興計画コード	1161-06
款	03	民生費		当 初 予 算 額	481,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	481,000 円
目	01	社会福祉総務費		決 算 額	378,296 円
事業の目的	社会福祉関係事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。		事業の概要	地域福祉課及び総合支所市民福祉健康課（福祉健康担当）の経常的な管理費を支出する。	

事業の実績・成果

社会福祉関係事業を円滑に実施するための諸費用について支出した。

事業名	戦没者遺族支援事業			
担当課		地域福祉課	総合振興計画コード	1161-07
款	03	民生費	当初予算額	520,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	520,000円
目	01	社会福祉総務費	決算額	520,000円
事業の目的	戦没者や遺族の苦しみ悲しみを忘れることなく、恒久平和を市民とともに願う。		事業の概要	加須市遺族連合会の活動推進のために活動費を助成する。 また、市民とともに戦没者の冥福を祈り、恒久平和を願うため、戦没者追悼式を3年ごとに開催する。 このほか、5年に一度、戦没者等の遺族への特別弔慰金交付事務を行う。

事業の実績・成果

1　加須市遺族連合会への補助

加須市遺族連合会の活動推進を図るため補助金を交付し、全国・埼玉県戦没者追悼式参列、英霊顕彰事業参加、地区慰霊祭開催等に充てられた。

（1）補助金額の推移　（単位：円）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
520,000	966,800	520,000	520,000	520,000

（2）会員数　538人（令和4年3月31日現在）

2　第11回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金交付事務

（1）支給対象者

戦没者等の死亡当時の遺族で、優先順位の高い遺族1名（令和2年4月1日（基準日）において、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方がいない場合）

（2）受付件数（令和4年3月31日現在）　【請求期限】令和5年3月31日　（単位：件）

	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合計
受付件数 （令和3年度の受付件数）	371 (29)	139 (4)	59 (0)	84 (1)	653 (34)

※内、第10回時の請求件数：612件

（3）国債受領件数（令和4年3月31日現在）　628件

※市が国債を受領した後、請求者に交付

※加須市戦没者追悼式

3年ごとに開催、次回は令和4年度予定。

事業名	更生保護活動支援事業			
担当課	地域福祉課		総合振興計画コード	1161-09
款	03	民生費	当初予算額	1,180,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,180,000円
目	01	社会福祉総務費	決算額	880,000円
事業の目的	更生保護団体等の活動を支援し、犯罪や非行のない明るい地域社会を目指す。	事業の概要	更生保護観察協会への負担金を通して、保護司会及び更生保護女性会へ活動費を助成し、各更生保護団体等の活動を支援する。	

事業の実績・成果

更生保護観察協会への負担金を通し、犯罪や地域における更生保護活動を支援した。

○更生保護活動団体

・加須地区保護司会(令和4年3月31日現在　33人：定数37人)　　助成金　1,020,000円

・加須地区更生保護女性会(令和4年3月31日現在　会員237人)　　助成金　　62,000円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護司会活動が制限されたことにより、実施することができなかった事業（研修視察費等）の不用額について市へ返還をした。　返還額　300,000円

○社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動（主唱：法務省）で、加須地区保護司会及び加須地区更生保護女性会が実施委員会を組織し、7月の強調月間に合わせてキャンペーン等を実施し、更生保護の趣旨普及に努める活動を行っている。

・街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とし、非接触型の形式とした。啓発グッズとチラシを公共施設等に配備し啓発活動を行った。また、教育委員会（各中学校）と協力しながら、人生の節目となる中学3年生を対象に啓発グッズ・資料等を配布した。今後も継続的に犯罪防止・非行防止の意識高揚を図っていく。

・映画と音楽の集い

中学3年生とその保護者を中心に、非行防止について考えるきっかけとして実施しており、内容を刷新する方向で検討してきたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止となった。

・社会を明るくする運動参加者数　　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年・3年度
街頭キャンペーン	87	118	108	109	—
映画と音楽の集い	206	253	214	272	—

○更生保護サポートセンター　（平成31年2月22日　開所）

・運営日：毎週　月曜日・金曜日（休館日は除く）、第1、第3日曜日
午前10時から午後4時まで

・場　所：市民プラザかぞ　1階　ボランティア室

・内　容：「更生保護サポートセンター」は、保護司・保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら地域で更生保護活動を行うための拠点として開所。罪を犯した人や非行少年等の立ち直りを助ける保護司の処遇活動に対する支援や、地域や関係機関等と連携をして更生保護活動を行う場として活用している。

・主な活動内容（令和3年度）　※令和3年度の開所日数51日間

活動内容	回数
保護観察者等との面接	4回
さいたま保護観察所主任保護観察官との処遇協議	4回
自主研修・情報交換・事務処理等	33回
その他	20回

事業名	社会福祉協議会助成事業		
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1162-01
款 03	民生費	当初予算額	140,224,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	180,560,000円
目 01	社会福祉総務費	決算額	121,691,000円
事業の目的	市民参加による地域福祉活動、社会福祉に関する情報の提供、福祉教育やボランティア活動の振興等を推進する。	事業の概要	高齢者や障がい者の在宅支援、ボランティアセンターの運営、福祉教育の支援、小地域福祉活動など多岐の福祉サービス事業を展開し、地域福祉を推進する中心的な役割を担っている社会福祉協議会を支援する。

事業の実績・成果

地域福祉活動の中心的な役割を担い、各種の地域福祉活動を行う社会福祉協議会の活動を支援し、もって加須市の地域福祉の充実を図るため、補助金を交付した。

1　人件費補助

社会福祉協議会の法人運営事業に要する人件費（時間外勤務手当を除く）を補助

◆補助金額　117,691,000円（補助対象人件費執行済額　118,494,051円）

◆補助対象職員数　（単位：人）

	常務理事兼事務局長	支所長（再任用・嘱託）	正職員	会計年度職員	計
本所・加須支所	1	0	8	3	12
騎西支所	0	1	1	2	4
北川辺支所	0	1	1	3	5
大利根支所	0	1	1	4	6
計	1	3	11	12	27

2　事務費補助

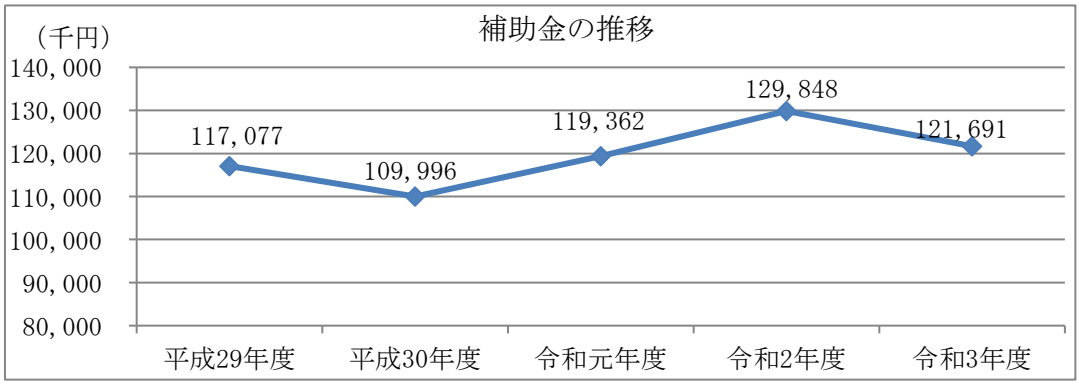
事務所の維持費及び事務局活動における事務費の1/2（上限400万円）を補助

◆補助金額　4,000,000円（補助対象事務費支出済額　8,335,124円）

◆補助対象経費　事務所維持にかかる消耗品費、光熱水費、通信運搬費、賃借料等

3　補助金総額の推移　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額	117,077,000	109,996,000	119,362,000	129,848,000	121,691,000



【繰越明許　令和3年度から令和4年度へ繰り越す理由】

社会福祉協議会の本所移転を支援するため補助金を増額し、令和4年度に繰り越した。

◆繰越明許額　40,336,000円（うち改修工事費　36,000,000円）

◆令和4年度予定　本所移転に係る改修工事を実施し、令和4年11月に移転予定。

事 業 名		民生委員・児童委員活動推進事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	1162-02
款	03	民生費	当　初　予　算　額	26,959,000 円
項	01	社会福祉費	最　終　予　算　額	26,959,000 円
目	01	社会福祉総務費	決　　算　　額	26,623,978 円
事業の目的	民生委員・児童委員活動により、地域福祉の充実を図る。	事業の概要	民生委員・児童委員の行う調査、要援護者等への相談支援活動が円滑に行えるよう支援する。	

事業の実績・成果

子どもから高齢者まで、日常の生活や様々な福祉に関する相談や行政機関の業務などへの協力。

1　民生委員・児童委員数　232 名（主任児童委員を含む）（4 名欠員）※R4.3.31 現在
　単位民児協数　12 地区
　専門部会　7 部会（生活福祉、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、広報、男女共同参画推進、総務）

2　分野別相談・支援件数
（1）高齢者に関すること　1,862 件
（2）障がい者に関すること　35 件
（3）子どもに関すること　376 件
（4）その他　359 件
合計 2,632 件（活動日数 27,152 日）

3　高齢者世帯訪問　延 46,474 回訪問

4　各種研修への参加、共同募金、ひとり暮らし高齢者地域交流事業、敬老会、歳末たすけあい運動等の各種行事に対する参加協力、ボランティア活動、学校や地域行事への参加協力など

事 業 名		地域福祉基金活用事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	1162-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,912,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,912,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,906,654 円
事業の目的	在宅福祉の推進等、地域における保健福祉活動の推進および地域事業の適正な運営を図る。	事業の概要	地域福祉基金の運用果実を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会等)が行う地域福祉活動の支援(補助)に充てる。	

事業の実績・成果

「地域福祉基金」の運用から生じた収益（利子）を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会)へ助成した。助成を受けた社会福祉協議会が民生委員によるひとり暮らし高齢者見守り事業等を支援した。

●助成額の推移　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
助成額	1,997,000	1,994,000	1,908,000	1,926,000	1,906,654

※助成額は、地域福祉基金の積立預金の利率により変動

◆加須市社会福祉協議会の事業概要

1　ひとり暮らし高齢者見守り事業

65 歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯において見守りの必要度基準を満たした方を対象に見守りと乳酸飲料の配達を兼ねて業者が週 1 回訪問した。

延訪問回数　加須地域 13,874 回、騎西地域 1,354 回、北川辺地域 780 回、大利根地域 738 回

2　ボランティア保険加入促進事業

登録ボランティア等の活動中の事故等を補償するため、活動保険への加入の促進を行った。

【通年】・年間保険料　1 口　A350 円・天災A500 円

・加入者総数　1,883 人（うち、事業対象加入者 581 人）

3　ひとり親子のつどい事業

新型コロナウイルス感染予防のため市内の屋外レジャー施設で実施した。

・実施日　12 月 5 日（日）・参加者数　31 人(10 家族)

4　親子ふれあい事業

子どものすこやかな成長と良好な親子関係の構築を図るため事業として、1 月 1 6 日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染急拡大の時期だったため、急遽中止とした。

5　障がい児者のつどい事業

バスハイク事業については、3 月 13 日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染急拡大の時期だったため、中止とした。朗読会＆交流会は新型コロナウイルス感染予防の対策をおこない実施した。

朗読会＆交流会　・実施日　11 月 25 日（木）　・参加者数　16 人

6　社会福祉推進大会開催事業

例年多くの市民が参加する式典を 3 月 5 日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染急拡大の時期のため、式典を中止し大会の冊子を作成し、関係機関等に配布をした。〔配布部数 614 部〕

7　新型コロナウイルス感染症に係る対応【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名	地域福祉基金積立事業				
担当課		地域福祉課		総合振興計画コード	1162-04
款	03	民生費		当初予算額	700,000円
項	01	社会福祉費		最終予算額	2,500,000円
目	01	社会福祉総務費		決算額	2,271,776円
事業の目的	地域における保健福祉活動の推進を図る。		事業の概要	福祉のための寄附金の積立の歳入及び地域福祉基金への歳出を行う。	

事業の実績・成果

「地域福祉基金」の管理を行い、社会福祉のために寄附された寄附金の積み立てを行った。

1　寄附金額の推移（積立額）　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
寄付金額（円）	584,377	464,753	660,627	10,627,683	2,271,776
件数（件）	14	23	36	52	157

2　基金残高

（1）現　　金

97,426,190円（令和4年3月31日現在）

（2）債権額面

200,000,000円（北海道平成25年度第13回公募公債（10年）平成25年12月27日購入）
100,000,000円（福島県平成 27年度第 1回公募公債（10年）平成27年11月27日購入）
100,000,000円（東日本高速道路株式会社第91回社債（10年）令和4年1月31日購入）

3　地域福祉基金利子積立て

地域福祉基金利子は、原則、地域福祉基金活用事業の財源としている。

事業名	社会福祉法人指導監査等事務事業			
担当課	地域福祉課		総合振興計画コード	1164-02
款	03	民生費	当初予算額	65,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	65,000円
目	01	社会福祉総務費	決算額	10,096円
事業の目的	健全な福祉サービスを確保し、もってすべての市民が豊かに生活できる地域福祉の推進に資する。	事業の概要	社会福祉法人の設立認可・定款変更認可・指導監査・現況報告書等の受付・現況報告書や財務諸表の公開などを行う。	

事業の実績・成果

社会福祉法人の定款変更の認可や現況報告書の受付、指導監査等を行った。

○ 定款変更認可件数 (単位：件)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
定款変更認可件数	5	4	10	4	0

○ 指導監査実施件数 (単位：件)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
児童養護施設	1	1	0	1	0
保育所	3	3	2	4	4
障害者福祉施設	1	0	3	0	0
老人福祉施設	2	0	0	2	0
社会福祉協議会	1	0	0	1	0
計	8	4	5	8	4

※ 令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、指導監査の実施に際し、対象法人施設の利用者と接触を避け、職員との接触も最小限に留める等の対策及び指導の簡素化を図った。

事 業 名		指定介護保険サービス事業所指定・指導監査等事務事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	1164-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	43,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	43,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	15,418 円
事業の目的	適切かつ良好な介護保険サービスを確保し、もって長寿社会を支えるための高齢者支援の推進に資する。	事業の概要	指定介護保険サービス（地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス、居宅介護支援、介護予防支援）事業所に係る指定、各種届出の受付を行うとともに、指導監査を実施し、運営状況の確認を行う。	

事業の実績・成果

指定介護保険サービス事業所に係る指定、各種届出の受付、指導監査等を行った。

○ 指定、各種届出受理件数 （単位：件）

	新規指定	指定更新	廃止・休止	再開	変更
居宅介護支援事業所	2	2	3	0	47
介護予防支援事業所	0	0	0	0	6
地域密着型サービス事業所	5	4	3	0	63
介護予防･生活支援サービス事業所	3	14	5	1	75
計	10	20	11	1	191

※ 年度内に申請書及び届出書を受理した件数

○ 年度末現在指定事業所数 （単位：件）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
居宅介護支援事業所		28	27	28	27
介護予防支援事業所		1	6	6	6
地域密着型サービス事業所		49	42	45	48
	（市内事業所）	(25)	(24)	(25)	(27)
	（市外事業所）	(24)	(18)	(20)	(21)
介護予防･生活支援サービス事業所		78	82	84	85
	（市内事業所）	(45)	(44)	(46)	(45)
	（市外事業所）	(33)	(38)	(38)	(40)
計		156	157	163	166

○ 指導監査実施件数 （単位：件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
居宅介護支援事業所	4	4	3	4
介護予防支援事業所	0	0	0	0
地域密着型サービス事業所	7	4	5	4
介護予防･生活支援サービス事業所	4	8	0	0
計	15	16	8	8

※ 平成30年度から事業開始

※ 介護予防・生活支援サービス事業所への指導監査は、従来から県との同行で実施していたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の予防対策のため県との同行は中止となり、県が単独で指導監査を実施したため実施件数が0となった。

※ 令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、指導監査の実施に際し、対象施設の利用者と接触を避け、職員との接触も最小限に留める等の対策及び指導の簡素化を図った。

事 業 名		生活困窮者自立相談支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1172-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,836,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	11,948,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	11,887,337 円
事業の目的	・生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、就労、福祉、住まいの確保等、包括的に支援し、自立促進を図る。	事業の概要	・生活困窮者に対し、面談や訪問を行っているほか、支援プランを作成し、適切なサービスにつなげるなどして自立した生活が送れるよう支援する。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

（1）新規面接相談件数

	平成元年度	令和２年度	令和３年度
新規面接相談件数	145 件	534 件	416 件

（2）相談内容（多い項目）

① 収入・生活費（家計）について
② 病気・健康・障害について
③ 家賃・ローンについて
④ 仕事探し・就職について

（3）面接相談後の支援状況

面接相談後の支援状況内訳	平成元年度	令和２年度	令和３年度
支援プランを作成し、支援した件数	20 件	14 件	11 件
支援プランを作成せず短期間で支援した件数	42 件	110 件	68 件
相談面接のみ（助言、他制度へのつなぎ等で終了）	83 件	410 件	337 件

（4）支援終結件数（生活困窮課題が解決した件数）

支援終結件数内訳	令和元年度	令和２年度	令和３年度
支援プラン作成後、支援終結した件数	14 件	11 件	3 件
支援プランを作成せず短期間で支援し終結した件数	42 件	110 件	68 件

（5）支援終結理由（多い項目）

支援終結理由内訳	令和元年度	令和２年度	令和３年度
他制度の利用提案	26 件	53 件	43 件
就労につながった	15 件	49 件	20 件
生活保護を申請	15 件	19 件	8 件

2　事業の成果

生活保護に至る前の困窮者に対し、就労支援、家計相談、関係機関との調整等など包括的に支援し、課題が複雑化・深刻化する前に自立の促進を図ることができた。

なお、令和３年度の相談件数は、令和２年度と比較して減少したものの新型コロナウイルス感染症の影響により、高い水準にある。

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		生活困窮者住居確保給付事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1172-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	9,720,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	10,486,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	8,319,425 円
事業の目的	・経済的に困窮し、住居を失った又は失うおそれのある方に対し、住居及び就労機会の確保を目的に家賃相当額を支援する。	事業の概要	・離職や廃業又は休業等により収入が減少し、住居を失った又は失うおそれのある方に対し、住居確保給付金を原則 3 か月間（一定の条件により 3 か月間の延長及び再延長が可能）支給し、就労支援を実施する。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
申請件数（件）	4	61	26
決定件数（件）	4	61	26
廃止件数（件）	2	37	12
支給額（円）	816,000	12,299,300	7,553,900

2　事業の成果

就職活動を支えるため家賃相当額を有期で給付し、就職につなげることができた。

なお、令和２年度から新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、支給対象者を拡大し、さらに支給期間を延長したことから利用者が急増した。

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		生活困窮者学習支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1172-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,999,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	5,999,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	5,998,300 円
事業の目的	・貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。	事業の概要	・生活保護受給世帯の中学生、高校生全学年及び就学援助受給世帯の中学 3 年生を対象に学習支援等を実施する。 ・定員 24 名。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

参加者内訳	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
中　学　生	27 人 中学 2 年生:1 人 中学 3 年生:26 人 生活保護世帯 4 人、 就学援助世帯 23 人	27 人 中学 1 年生:3 人 中学 2 年生:2 人 中学 3 年生:22 人 生活保護世帯 6 人、 就学援助世帯 21 人	29 人 中学 1 年生:1 人 中学 2 年生:1 人 中学 3 年生:27 人 生活保護世帯 4 人、 就学援助世帯 25 人
高　校　生	2 人 高校 1 年生:1 人 高校 3 年生:1 人	2 人 高校 2 年生:1 人 高校 3 年生:1 人	1 人 高校 3 年生:1 人

進　路	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
中学卒業後の進路	高校進学 26 人	高校進学 22 人	高校進学 26 人
高校３年生の人数、進路	1 人 大学進学　1 人	1 人 就職　1 人	1 人 就職活動中　1 人

2　事業の効果

生活困窮世帯の中学 3 年生に対し、学習支援教室、進路相談、居場所の提供を実施し、進学に興味を持ち、将来への自立を促すための事業展開により、高校進学合格率 96%と高水準にあり、「貧困の連鎖」の防止に取り組むことができた。

また、令和元年度から生活保護世帯に限り、中学 1 年生及び 2 年生までに対象を拡大し、早期に支援する事で将来像を確立し、自立への取り組みを強化した。

事 業 名		中国残留邦人等支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1173-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	9,505,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	10,169,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	5,272,215 円
事業の目的	中国残留邦人等の老後の生活の安定を図る。		事業の概要	永住帰国した中国残留邦人等で一定の要件を満たす者に対して、安定した生活が送れるよう、生活支援給付、住宅支援給付、医療支援給付等の支援を実施する。 なお、中国残留邦人等の置かれている事情に鑑み、懇切丁寧に実施する。

事業の実績・成果

○扶助費　4,398,705 円
　生活支援給付金　1,766,615 円（ 3/ 4　国庫負担金）
　住宅支援給付金　517,200 円（ 3/ 4　国庫負担金）
　医療支援給付金　2,068,890 円（ 3/ 4　国庫負担金）
　活動支援費　46,000 円（10/10　国庫負担金）

事業費の推移　（単位：円、世帯）

	管理費	扶助費	精算に伴う返還金	計	歳入対象	対象世帯数
平成 28 年度	501,528	5,852,880	270,000	6,624,408	4,515,490	2
平成 29 年度	477,278	5,499,076	377,000	6,353,354	4,238,387	2
平成 30 年度	1,219,959	6,026,147	644,000	7,890,106	4,619,610	2
令和元年度	472,420	5,615,944	230,000	6,318,364	4,311,620	2
令和２年度	483,719	4,899,226	56,000	5,438,945	3,674,419	2
令和３年度	473,510	4,398,705	400,000	5,272,215	3,310,528	2

事 業 名		行旅病人及び行旅死亡人取扱事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1173-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	283,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	283,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	250,500 円
事業の目的	人権及び人としての尊厳を確保する。		事業の概要	旅行中に病気等で加須市内で倒れ、入院治療を要する状態に陥ったが療養の方法がなく、かつ、救護者のない者の救護や、旅行中に加須市内で死亡し引取者のない者（身元不明者を含む。）の葬祭等を実施する。

事業の実績・成果

加須市管内において行旅死亡人の取り扱いが発生し、公告等の手続き及び葬祭を執り行った。

〇行旅死亡人取扱費用

葬祭費用　250,500 円

遺留金（葬祭費充当）　0 円

※令和４年３月の発生案件であり、官報掲載時期により費用は令和４年度予算にて対応。

〇行旅病人・行旅死亡人の取扱状況　（単位：件）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
行 旅 病 人	0	0	0	0	0
行旅死亡人	0	1	0	2	1

事 業 名		新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1172-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	23,088,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	8,904,081 円
事業の目的	・コロナ禍における生活困窮者の就労自立を支援するため、自立支援金を支給する。		事業の概要	・総合支援資金の借入額が限度額に達するなどにより、貸付を利用できない世帯に対し、自立支援金を原則３か月（一定の条件により３か月の再支給が可能）支給し、就労支援を実施する。

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1172-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,260,469,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	788,695,960 円
事業の目的	・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々が速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯（プッシュ型）及び家計急変世帯（申請型）に対して、１世帯当たり１０万円の現金を支給する。		事業の概要	基 準 日　令和３年１２月１０日 給 付 額　１世帯１０万円 対　　象　①令和３年度住民税非課税世帯 ②家計急変世帯 申請期限　令和４年９月３０日

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

【繰越明許　令和３年度から令和４年度へ繰り越す理由】
（繰越明許額　468,912,950 円）
年度を跨いで住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金を支給するため繰り越しを行った。

事 業 名		あけぼの園管理運営事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	1152-07
款	03	民生費		当 初 予 算 額	5,866,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	18,447,000 円
目	02	障害者福祉費		決 算 額	3,360,570 円
事業の目的	障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。		事業の概要	在宅障がい者に対し通所により生産活動等の機会を提供するとともに、就労指導、生活指導等を行い自立および社会参加を促すため、あけぼの園の管理運営を行う。 ・指定管理者 加須市社会福祉協議会 ・指定管理期間 平成29～令和3年度	

事業の実績・成果

あけぼの園の適正かつ効率的な運営のため､指定管理者として加須市社会福祉協議会に管理運営を委託（平成29年度～令和3年度）するとともに、入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。

また、施設修繕として、高圧ケーブル及び高圧気中開閉器修繕工事等を行った。

・令和4年3月現在の入所者数39名（生活介護21名、就労継続支援Ｂ型18名）
・あけぼの園への入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。
　開催回数 3回、委員謝金　6,700円×3回＝20,100円
・指定管理者候補者選定委員会謝金　6,000円
・あけぼの園指定管理委託料　972,000円
・施設修繕　1,606,000円

【繰越明許　令和3年度から令和4年度へ繰り越す理由】
空調機更新工事費（繰越明許額　12,320,000円）
補正の時期及び修繕の内容から、年度内の完了が困難と思われたため繰り越した。

事 業 名		あけぼの園管理運営事業【繰越明許】			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	1152-07
款	03	民生費		当 初 予 算 額	7,495,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	7,495,000 円
目	02	障害者福祉費		決 算 額	7,260,133 円
事業の目的	障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。		事業の概要	在宅障がい者に対し通所により生産活動等の機会を提供するとともに、就労指導、生活指導等を行い自立および社会参加を促すため、あけぼの園の管理運営を行う。 ・指定管理者 加須市社会福祉協議会 ・指定管理期間 平成29～令和3年度	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名	障害（児）者生活サポート事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-11
款 03	民生費	当初予算額	28,030,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	28,030,000円
目 02	障害者福祉費	決算額	20,489,775円
事業の目的	障がい（児）者の日常生活への支援及び介護者の負担軽減を図る。	事業の概要	障がい者およびその家族の介護依頼に対してサービスを提供する民間サービス団体の運営に要する経費を補助する。 ・1時間当り利用者負担額　H28年度まで500円、H29年度650円、H30年度850円、R1年度以降950円（障がい児は生計中心者の所得税額により減免あり） ・民間サービス団体への運営経費補助　1時間当り2,850円と自己負担額の差額

事業の実績・成果

障がい（児）者やその家族の多様化するニーズに応えるため、身近な場所で迅速・柔軟なサービスを提供する民間団体に運営費を補助し、福祉の向上及び介護者の負担軽減を図った。

サービス内容は、一時預かり、送迎サービス、外出援助、派遣による介護サービス等。

1　福祉有償運送運営協議会負担金　30,000円

2　利用状況の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録者数（人）	897	919	963	1,000	944
利用者数（人）	409	432	417	359	372
利用件数（件）	13,507	12,676	12,629	10,221	11,791
利用時間数（時間）	13,688	12,336	11,678	8,396	10,145
運営補助額（千円）	31,576	26,239	23,628	18,974	20,460

事 業 名		心身障害者生活ホーム事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-12
款	03	民生費	当 初 予 算 額	902,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	902,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	901,550 円
事業の目的	心身障がい者に生活ホームを利用させることで社会的自立の助長を図る。		事業の概要	市内に住所を有し、自立した生活を望みながらも家庭環境または住宅事情等の理由により、社会的自立が阻害されている身体障がい者または知的障がい者に対して、住宅を提供するとともに、夜間を中心に生活面の指導・援助を行う。 ・施設には、運営費を補助する。 ・運営費補助単価…日額2,470 円

事業の実績・成果

心身障がい者が自立した生活をするための生活ホームの運営費等を補助し、心身障がい者の社会的自立の助長を図った。

事業運営費補助額1人 1日2,470 円

（単位：人、円）

施設名	利用者実人数	月当たり延利用者数	事業運営費補助
生活ホーム小川（市外）	1	12	901,550

事業運営費補助額の推移

（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助額	5,475,100	5,475,100	929,640	901,550	901,550

※補助を行っていた2か所の生活ホームのうち1か所が平成30年度をもって閉所となり、障がい者グループホームに移行した。

事 業 名		重度心身障害者医療費支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-18
款	03	民生費	当 初 予 算 額	217,250,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	217,250,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	178,600,526 円
事業の目的	重度心身障がい者（児）やその家庭の経済的負担を軽減し、重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図る。	事業の概要	対象者から請求される医療保険制度の一部負担金および入院食事療養費標準負担額（中学校 3 年生まで）を助成する。 〇受給資格者　・身体障害者手帳 1 級～3 級所持者・療育手帳マル A、A、B 所持者・精神障害者手帳 1 級所持者・65 歳以上で後期高齢者医療制度の障害認定に該当する者（65 歳以上で新たに上記障害になった場合、平成 27 年 1 月から対象外） ※平成 31 年 1 月から所得制限導入	

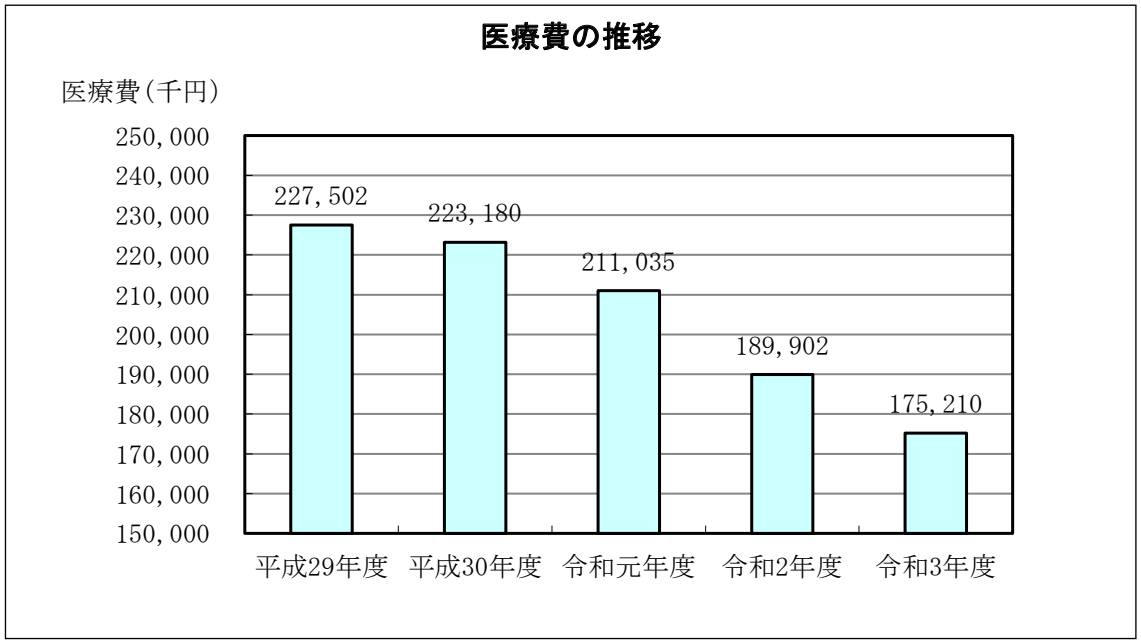
事業の実績・成果

重度心身障がい者（児）に医療費一部負担金等を助成することにより、重度心身障がい者（児）の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図った。

令和 4 年 3 月現在の受給者数　2,338 人

医療費の推移　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
医療費	227,501,693	223,179,501	211,034,125	189,901,923	175,209,325



事 業 名		在宅障害者おむつ支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-19
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,000,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	4,000,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	3,959,312 円
事業の目的	在宅の重度心身障がい者及び介護者の経済的負担の軽減を図るとともに障がい者への福祉の充実を図る。		事業の概要	委託業者が対象者宅へ紙おむつを配布。1 ヵ月あたり 6,300 円が限度額。 対象は、総合支援法の日常生活用具の紙おむつの対象とならない者で、下肢又は体幹 1、2 級、療育手帳マル A、A の者。（入院中・入所中・介護保険対象者・住民税課税者・新規で 65 歳以上を除く）

事業の実績・成果

在宅の重度心身障がい者（児）に対し、紙おむつを給付することにより、本人及び介護者の経済的負担の軽減と福祉の増進を図った。

支給対象者　　64 人
延べ支給件数　666 件

事業費の推移　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
金 額	3,153,377	3,518,670	3,608,466	3,725,342	3,959,312

事 業 名		特別障害者手当等支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	66,958,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	66,958,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	57,581,240 円

事業の目的	重度障がい（児）者の介護者等の経済的・精神的負担の軽減を図る。	事業の概要	・特別障害者手当 月額27,350 円…20 歳以上で身体または精神の重度の障害で常時特別の介護を要する者 ・障害児福祉手当 月額14,880 円…20 歳未満で身体 1 級の一部と 2 級の一部、知的マル A 相当、精神や血液疾患等で他の障害と同程度の者 ・経過的福祉手当 月額 14,880 円…制度改正前(S61.4)20 歳以上の福祉手当受給者で特障手当、障害年金の非受給者

事業の実績・成果

○心身に著しく重度の障害があるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする者であって施設に入所されていない等の条件を満たす者に対して、手当を支給することにより、介護等の精神的・経済的負担の軽減を図った。

なお、支給は 3 ヶ月毎に行った。

（令和 4 年 3 月 31 日現在受給資格者数 特別障害者手当 150 人、障害児福祉手当 51 人、福祉手当 1 人）

支払月	5 月期	8 月期	11 月期	2 月期	合計
金額（円）	14,459,860	14,549,560	14,251,120	14,320,700	57,581,240
延人数（人）	598	599	589	592	2,378

※4 月期に 5 月・6 月分の随時払い。（延人数：随時 2 人）

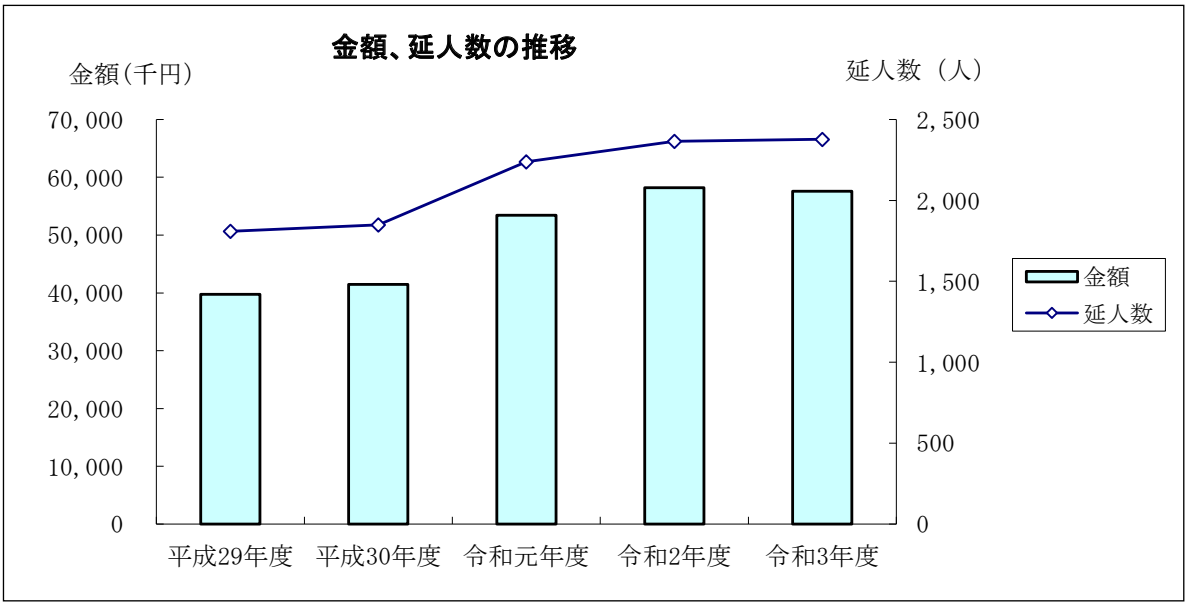
※8 月期に 5 月・6 月分・8 月分の随時払い、7 月分返還金を含む。（延人数：随時 3 人・返還 1 人）

※11 月期に 11 月・12 月の随時払い、8 月分・9 月分月・10 月分返還金を含む。（延人数：随時 4 人・返還 3 人）

※2 月期に 11 月・12 月の随時払いを含む。（延人数：随時 5 人）

金額、延人数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
金額（円）	39,750,010	41,444,610	53,405,890	58,218,430	57,581,240
延人数（人）	1,809	1,848	2,238	2,366	2,378



事業名	在宅重度心身障害者手当支給事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-21
款 03	民生費	当初予算額	60,171,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	60,171,000円
目 02	障害者福祉費	決算額	51,761,179円
事業の目的	在宅の重度心身障害者の経済的、精神的負担の軽減を図る。	事業の概要	身障手帳1、2級・療育手帳マルA、A所持者・精神手帳1級所持者または超重症心身障害児で市町村民税非課税の者（施設入所者、特別障害者手当等受給者、65歳以上の新規手帳取得者は除く）に対し、手当を支給する。 ・20歳以上　月額5,000円 ・20歳未満　月額7,000円 ※20歳未満の2,000円増額分については、市独自で上乗せしている。

事業の実績・成果

加須市在宅重度心身障害者手当支給条例に基づき、在宅重度心身障がい者（児）に在宅重度心身障害者手当を支給することにより、障がい者（児）の経済的、精神的負担の軽減を図った。

年2回（9月、3月）支給した。
在宅重度心身障害者手当（令和4年3月支給　20歳未満　64人、20歳以上　794人）

支払月	9月期	3月期	合計
金額（円）	25,951,000	25,659,000	51,610,000
延人数（人）	5,048	4,991	10,039

金額・延人数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額（円）	60,833,000	59,405,000	55,847,000	53,534,000	51,610,000
延人数（人）	11,831	11,442	11,114	10,398	10,039

事業名	重度視覚障害者介助手当支給事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-22
款 03	民生費	当初予算額	960,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	960,000円
目 02	障害者福祉費	決算額	936,000円
事業の目的	介助者に対し経済的負担や精神的負担の軽減を図る。	事業の概要	身体障害者手帳1、2級の在宅の視覚障がい者と同居し生活を共にしている介助者に、年額12,000円を支給する。

事業の実績・成果

在宅の重度視覚障がい者の日常生活における介助者に対し、介助手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図った。

支給額　年額　12,000円

支給額、支給者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支給額（円）	876,000	840,000	852,000	924,000	936,000
支給者数（人）	73	70	71	77	78

事 業 名		在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1153-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,640,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,640,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	1,650,000 円
事業の目的	医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担の軽減を図る。		事業の概要	短期入所事業や日中一時支援事業で対象障がい児を受け入れる事業者に対し、予算の範囲内において助成金を交付する。 ・短期入所事業：超重症心身障がい児 1 人につき 1 日当たり　20,000 円、重症心身障がい児 1 人につき 1 日当たり　10,000 円 ・日中一時支援事業：重症心身障害児 1 人につき 1 日当たり　20,000 円

事業の実績・成果

医療的ケアを必要とする在宅重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担を軽減するために、短期入所事業や日中一時支援事業で対象児を受けいれた事業所に対して助成金を交付。

令和元年度から超重症心身障がい児から、重症心身障がい児へ対象が拡大された。

【利用延べ人数】　（単位：人）

	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
短期入所事業	0	198	191	165
日中一時支援事業	0	0	0	0

事 業 名		身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1154-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	272,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	272,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	46,000 円
事業の目的	身体障害者等の機能低下予防を図るとともに、視覚障害者の就業及び経済的自立を推進する。		事業の概要	保険適用外のはり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給する。 ・身体障害者手帳の所持者で肢体障害 1 級～6 級該当者 ・介護認定者で要支援１以上の方 ※入院中や施設入所中の方は対象外

事業の実績・成果

身体障害者等の機能低下予防と、視覚障害者の就業支援・経済的自立支援のため、はり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給した。

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
申請者数（人）	20	44	60
交付枚数（枚）	30	74	113
利用枚数（枚）	10	19	23

※令和元年度事業開始

事業名	障害者福祉団体支援事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	1155-02
款 03	民生費	当初予算額	647,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	647,000円
目 02	障害者福祉費	決算額	561,000円
事業の目的	各障害者福祉団体の助成を図り、社会福祉活動の推進、福祉の増進を図る。	事業の概要	各障害者福祉団体活動推進のために活動費を助成する。 【助成団体】 身体障害者福祉会（加須・大利根）、視力障害者福祉協会加須支部、手をつなぐ親の会（加須）、聴覚障害者協会

事業の実績・成果

障害者福祉関係団体の活動の推進、福祉の増進を図るため、関係団体へ活動費の補助を行った。

補助金額の推移　（単位：千円）

団体名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加須市身体障害者福祉会	280	280	280	280	280
北川辺身体障害者福祉会	45.6	45.6	－	－	－
大利根身体障害者福祉会	186	186	186	67	186
加須市肢体不自由児者父母の会	120	120	－	－	－
埼玉県視力障害者福祉協会	40	40	40	0	0
加須手をつなぐ親の会	55	55	55	55	55
加須市聴覚障害者協会	40	40	40	40	40
合計	766.6	766.6	601.0	441.7	561.0

※北川辺身体障害者福祉会は、令和2年度末に解散
※加須市肢体不自由児者父母の会は、令和元年度から事業縮小により、「補助金交付要綱」を廃止
※埼玉県視力障害者福祉協会加須支部は、令和2年度から補助金申請なし

（単位：円）

団体名	助成金額	会員数・実施事業
加須市身体障害者福祉会	280,000	会員108人、役員会実施、支部長会議、正副会長会議、グラウンドゴルフ大会
大利根身体障害者福祉会	186,000	会員19人、重度会員慰問、友愛訪問
埼玉県視力障害者福祉協会加須支部	0	会員6人、本部総会、支部長会議 新型コロナによる活動自粛のため市補助金の申請をしなかった。
加須手をつなぐ親の会	55,000	会員16人、定例会の開催、勉強会の開催
加須市聴覚障害者協会	40,000	会員24人、各種手話講座へ講師派遣、手話通訳者派遣事業運営委員会参加

事 業 名		重度身体障害者居宅改善整備事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1156-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	360,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	360,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	重度身体障がい者の居宅の一部を障害に応じて使いやすく改造することで、重度身体障がい者の日常生活における利便を図る。	事業の概要	重度の身体障がい者が日常生活において直接利用する浴室、洗面所、庭など屋内外の改造整備費に対して補助金を交付する。 ・一般世帯限度額…24 万円 ・生活保護世帯限度額…36 万円	

事業の実績・成果

重度身体障がい者の家庭内での自立を促進するため、申請により居宅改善整備費を助成する。
令和 3 年度は、申請なし。

重度身体障害者居宅改善整備事業利用状況の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者数（人）	1	0	0	0	0
補助金額（円）	240,000	0	0	0	0

事 業 名		障がい者福祉管理事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	1156-02
款	03	民生費		当 初 予 算 額	4,310,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	4,310,000 円
目	02	障害者福祉費		決 算 額	3,650,332 円
事業の目的	障害福祉関連事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。		事業の概要	障がい者福祉に係る情報を適切に処理し、各事業の円滑かつ効果的な実施を図る。 障がい者福祉課及び総合支所市民福祉健康課（障害福祉担当）の経常的な管理費を支出する。	

事業の実績・成果

障害福祉関連事業を円滑に実施するための、各総合支所市民福祉健康課も含め諸費用について支出した。

事 業 名		障害者計画及び障害福祉計画進行管理事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	1151-02
款	03	民生費		当 初 予 算 額	96,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	96,000 円
目	03	自立支援給付費		決 算 額	27,000 円
事業の目的	お互いに尊重し合い自分らしく輝けるまちを目指す		事業の概要	障がい者施策推進懇話会にて、計画の進行管理を行う。	

事業の実績・成果

○障がい者施策推進懇話会

障害者計画及び障害福祉計画（第5期）、障害児福祉計画（第1期）（平成30年度～令和2年度）の進捗状況について説明・報告した。

令和３年８月 12 日開催、出席者　11 名（うち謝金対象者９名）

懇話会委員謝金　27,000 円

事 業 名		障がい者訪問サービス事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	256,080,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	256,190,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	244,455,777 円
事業の目的	障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者訪問サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者（児）の福祉の増進を図る。	事業の概要	・障害者総合支援法に基づく「居宅介護」、「重度訪問介護」、「同行援護」「行動援護」及び「重度障害者等包括支援」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。	

事業の実績・成果

障害施策を3障害（身体・知的・精神）一元化し、障がい者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営めるよう、その者の状況や置かれている環境に応じて必要なサービスを支援した。

1　介護給付費　　244,346,770 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
居宅介護	1,371	130,997,711
重度訪問介護	26	14,310,611
行動援護	1,047	98,001,410
同行援護	23	1,037,038

2　県返還金　　109,007 円

事 業 名		障がい者日中活動サービス事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,343,724,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,310,559,401 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	1,288,616,562 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者日中活動系サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。		事業の概要	障害者総合支援法に基づく、「生活介護」、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」、「宿泊型自立訓練」、「就労移行支援」、「就労継続支援（A型・B型）」、「就労定着支援」、「療養介護」及び「短期入所（福祉型・医療型）」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。

事業の実績・成果

障がい者（身体・知的・精神）が日中活動できる場を提供し、創作活動・生産活動の機会の提供及び就労に必要な知識・能力の向上等の必要な支援を行った。

1　介護給付費・訓練等給付費　　1,279,447,536 円

区　　分		延件数（件）	金額（円）
介護給付費		3,596	893,887,823
	療養介護	120	33,339,240
	生活介護	3,314	839,949,321
	短期入所	162	20,599,262
訓練等給付費		3,040	385,559,713
	宿泊型自立訓練	2	204,629
	自立生活援助	15	389,948
	自立訓練（機能訓練）	0	0
	自立訓練（生活訓練）	34	3,852,103
	就労移行支援	348	59,033,175
	就労継続支援A型	354	49,678,359
	就労継続支援B型	2,227	270,642,575
	就労定着支援	60	1,758,924

2　療養介護医療費　　9,169,026 円（111 件）

事 業 名		障がい者居住サービス事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	566,170,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	577,677,180 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	577,150,133 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。	事業の概要	施設に入所する障がい者や共同生活を営むのに支障のない障がい者につき、主として夜間において共同生活を営むべき住居において相談、入浴、排せつまたは食事の介護その他の日常生活上の援助を行う。	

事業の実績・成果

主として夜間に障害者支援施設及び共同生活援助（グループホーム）において入浴や食事等の日常生活上の支援を行った。

1　補助金

・共同生活援助等事業費補助金　0 円

共同生活援助（グループホーム）への運営費に対し、補助金を交付することにより福祉の向上を図るものであるが、申請・該当がなかった。

2　介護給付費・訓練等給付費　　577,150,133 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
介護給付費	1,387	194,653,847
施設入所支援	1,387	194,653,847
訓練等給付費	1,844	382,496,286
共同生活援助	1,844	382,496,286

事 業 名		障がい者相談管理事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	35,497,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	41,673,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	31,081,889 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等に係る相談支援や給付費等の適正な管理を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。		事業の概要	障害者総合支援法に基づく「計画相談支援」、「地域移行支援・地域定着支援」のサービスの提供を行う。また、障害福祉サービス等に係る審査支払を行う。

事業の実績・成果

○障害福祉サービスを受給する際に、心身の状況、環境、サービス利用の意向等から利用するサービス種類と内容を勘案した計画相談を実施し、計画内容が適切かを確認するモニタリングを行い実態に沿ったサービスの支給を行った。
○事業所からの障害福祉サービスの請求内容及び療養介護医療費の審査を埼玉県国保連合会へ委託し、適正な支払い事務を行った。
○同一世帯に障害福祉サービス等の利用者が複数いる場合等については、世帯の負担を軽減する観点から償還払い方式により対象となる世帯の利用者負担の軽減を行った。

1　審査支払手数料　　2,002,464 円

区　　分	件数（件）	金額（円）
障害福祉サービス等	12,527	1,503,240
障害児給付費等	4,107	492,840
療養介護医療費		6,384

2　計画相談支援給付費　　1,609 件　　23,390,739 円

3　高額福祉サービス費　　79 件　　563,287 円

事業名	補装具費支給事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-13
款 03	民生費	当初予算額	21,252,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	21,252,000円
目 03	自立支援給付費	決算額	14,754,239円
事業の目的	身体障がい（児）者の失われた身体機能を補完又は代替する用具を支給することで、身体障がい（児）者の社会生活や日常生活の能率向上を図る。	事業の概要	身体障がい者（児）や難病患者が補装具を購入・修理する、または貸与を受ける際の費用を助成する。 自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。 身体障害者手帳非対象の18歳未満の軽中度難聴児の補聴器購入の自己負担は、基準額の3分の1。

事業の実績・成果

○身体障がい者(児)や難病患者に対し、補装具の購入・修理費等を助成し、家庭内及び社会復帰の促進を図った（自己負担額は基準額の原則1割。対象者、基準額、耐用年数等の基準がある）

用具別内訳

	購入		修理	
	決定件数（件）	助成金額（円）	決定件数（件）	助成金額（円）
義肢	2	519,107	8	1,629,242
装具	36	2,392,045	10	129,201
座位保持装置	6	2,464,857	2	38,574
視覚障害者安全つえ	1	5,760	0	0
義眼・眼鏡	4	123,916	0	0
補聴器	28	1,844,349	16	275,393
車椅子	13	2,832,776	20	1,309,832
電動車椅子	0	0	3	121,712
その他	1	661,885	2	235,290
合計	91	10,844,695	61	3,739,244

補装具費支給費（扶助費）の推移　（単位:円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
扶助費	16,627,342	20,031,409	18,959,450	11,886,124	14,583,939

○18歳未満の軽度・中等度の難聴児に対し、社会生活や日常生活の能率向上を図ることを目的に補聴器の購入の際に助成を行った（助成額は基準額の3分の2、基準額・耐用年数等の基準がある）

・支給件数　2件

難聴児補聴器購入助成費の推移　（単位:円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
助成費	146,000	73,000	221,000	296,000	148,000

事 業 名		北埼玉地区障害支援区分審査会共同設置事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-16
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,921,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,921,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	1,755,400 円
事業の目的	障がい者の支援の度合いに応じたサービスが利用できるように審査会を経ることで基準の透明化・明確化を図る。		事業の概要	・介護給付を新規申請する者等の障害支援区分の審査を行う。 ・審査会は共同設置（行田市・加須市・羽生市）とする。 ・加須市が事務局である。 ・審査会委員は合計 15 人。

事業の実績・成果

障害者総合支援法第 15 条の規定により審査会の設置が義務付けられたが、北埼玉地区 3 市で北埼玉地区障害支援区分審査会を共同設置し審査を行うことにより、単独で設置するよりも経費の削減が図れるとともに、公平性も保つことができている。

事務局　　加須市
審査会開催回数　26 回（うち、新型コロナ感染症予防のため「書面審査」10 回）
審査件数　617 件（うち加須市分 264 件）

各市負担金割合
負担金は、人口割、身障・療育・精神手帳所持者割、判定者数割の合計で算出した。

（単位：円）

市　名	負担金額
行 田 市	566,556
加 須 市	786,858
羽 生 市	401,986
合　　計	1,755,400

審査会開催回数・件数、事業額の推移

	平成29年度	平成30度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
審査会開催回数（回）	24	26	24	24	26
審 査 件 数 （ 件 ）	431	636	479	454	617
事 業 額 （ 円 ）	1,601,360	1,704,960	1,589,360	1,533,920	1,755,400

※　新型コロナウイルス感染症の感染予防のため 10 回を書面審査とした。

事 業 名		自立支援医療費支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-17
款	03	民生費	当 初 予 算 額	155,594,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	171,125,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	138,207,098 円
事業の目的	身体上の障害を軽減したり、機能を回復することができるような医療にかかる医療費を助成することで、身体障がい者（児）の社会生活や日常生活の能率向上を図る。		事業の概要	日常生活能力や機能を回復・改善するための医療を受ける際の費用を一部助成する。自己負担は医療費の 1 割、所得により自己負担上限額あり。18 歳以上の身体障害者手帳所持者を対象とする更生医療、18 歳未満の身体に障害のある児童を対象とする育成医療に分類。

事業の実績・成果

○身体障がい者(児)に対し、必要な医療費を助成し、職業その他日常生活の能率向上及び自立した社会復帰の促進を図った。

（支給認定件数）更生医療　110 件（レセプト数　1,327 件）
育成医療　65 件（レセプト数　182 件）

事業費の推移　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
更生医療	122,650,563	124,741,232	132,152,771	125,495,785	119,259,588
育成医療	4,218,664	3,571,064	2,856,005	1,787,597	3,342,302
合　計	126,869,227	128,312,296	135,008,776	127,283,382	122,601,890

○国返還金　10,256,692 円
県返還金　5,273,155 円

事 業 名		障がい児発達支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1153-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	301,525,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	358,541,419 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	358,008,209 円
事業の目的	障がい児が日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要なサービスに係る給付、その他の支援を行い、障がい児の福祉の増進を図る。		事業の概要	障がい種別（身体障害・知的障害・精神障害）にかかわらず、障がい児が必要とするサービスを利用できるよう、個々の障がいの程度や社会活動、養育環境など、勘案すべき事項を踏まえ、個別に支給決定を行う。

事業の実績・成果

障がい児（18 歳未満）に対し、必要なサービスの実態を把握するための障害児相談支援を行い、現状に合わせたサービスを提供し生活能力向上のための訓練や社会との交流促進の支援を行った。

1　障害児通所給付費　　345,793,677 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
児童発達支援	1,007	111,918,303
放課後デイサービス	2,441	231,666,309
保育所等訪問支援	14	168,525
里親委託児童に係る障害児通所給付措置	12	2,040,540

2　障害児相談支援給付費　　11,595,483 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
障害児相談支援	665	11,595,483

3　高額福祉サービス費等　　619,049 円

区　　分	件数（件）	金額（円）
障害児通所給付費等	80	619,049

事 業 名		障がい者理解促進事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1151-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,158,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,158,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	886,300 円
事業の目的	障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し合う機運の醸成を図る。		事業の概要	障がい者や障害の特性への理解を深めるために、鳥取県等が推進する「あいサポート運動」を中心に研修会開催、ハンドブック作成など周知啓発を実施する。

事業の実績・成果

○鳥取県と連携協定を締結
　障がい者や障害の特性への理解を深めるため「あいサポート運動」を実施するにあたり、加須市と鳥取県において、あいサポート運動を連携して推進することについて協定を締結（令和3年11月15日）した。※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面郵送による契約締結

○あいサポート運動を推進するため、職員や民生委員を対象に研修を実施した。
　会場借上料金　800円
　※市民向けの研修は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。

○あいサポート運動ハンドブック、
　あいサポート運動ハンドブック（キッズ）作成　478,500円

○あいサポートバッジ購入　　220,000円

○あいサポーターストラップ購入　187,000円

事 業 名		障がい者成年後見制度利用支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1151-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,268,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,268,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	244,000 円
事業の目的	知的障がい者や精神障がい者本人の財産管理、悪徳商法からの被害等を防止する。		事業の概要	身寄りがなく、申立てをする人はいない知的障がい者、精神障がい者の方の保護を図るため、市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始で審判の申立てを行う。65歳以上は高齢介護課で対応。報酬助成額は月額28,000円（施設に入所等をしている場合には月額18,000円）。

事業の実績・成果

　令和3年度は市長申立ての利用はなかった。

　市長申立て件数　0件
　成年後見人への報酬助成件数　1件　244,000円

・事業実施　　（単位：件）

	平成29度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
申立て件数	0	0	0	0	0

事 業 名		訪問入浴サービス事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	7,456,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	7,456,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	5,450,000 円
事業の目的	身体障がい者に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供することで、重度身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。		事業の概要	身体障がい者の居宅を訪問し、浴槽を自宅に持ち込んで行われる入浴の介護。 ・対象者 介護保険による訪問入浴を受けることができない在宅の身体障害者。 ※原則、月2回を限度とするが、ガイドライン（事務処理要領）により月3回以上利用の例外もある。 ・利用者負担なし。

事業の実績・成果

障害者総合支援法に基づき、入浴が困難な在宅の身体障がい者（児）に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供する事業を実施することにより、身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図り、地域における身体障がい者の生活を支援した。

事業費等の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数（人）	6	7	7	6	7
委託料（円）	4,437,500	5,030,000	5,288,750	5,233,750	5,450,000

事 業 名		日中一時支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,336,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,336,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	17,496 円
事業の目的	障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることにより、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図る。		事業の概要	障がい者等からの申請に基づき、心身等の状態が支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択し、希望事業所がサービスの提供を行う。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者。

事業の実績・成果

障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図り、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図った。

登録事業所数　29事業所
利用者数　　1人

事業費等の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（円）	2,654,599	1,018,966	928,220	53,240	17,496
延べ利用回数（回）	692	256	237	16	2
延べ利用時間（時間）	4,188	1,685	1,541	84	9

事 業 名		地域活動支援センター事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-09
款	03	民生費	当 初 予 算 額	12,140,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	12,140,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	8,742,650 円
事業の目的	障がい者等の地域生活支援の促進を図る。		事業の概要	地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センターの活動を支援する。 対象者：身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

事業の実績・成果

障がい者の社会復帰の促進を図るため、地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センター等に運営費等を補助した。

このことにより、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図ることができた。

〇補助金　NPO 法人地域活動支援センターこすもす　8,000,000 円
〇委託料　地域活動支援センターふれあい（古河市）　742,650 円
　　地域活動支援センターみどりの家　夢（古河市）　0 円

こすもす

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用者総数（人）	30	33	29	22	25
市内利用者数（人）	19	21	17	11	14
補助金（円）	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000

ふれあい

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
市内利用者数（人）	4	5	5	5	3
委託料（円）	1,023,000	1,026,300	1,452,900	1,216,650	742,650

みどりの家

				令和 2 年度	令和 3 年度
市内利用者数（人）				1	0
委託料（円）				29,600	0

事 業 名		移動支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	39,000,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	39,000,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	21,752,318 円
事業の目的	障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すとともに、福祉の増進を図る。		事業の概要	障がい者等からの申請に基づき、支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択しサービスの提供を受ける。 対象となる外出は、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等社会参加のための外出に限る。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者および難病患者。

事業の実績・成果

屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会生活の促進を図った。

登録事業所数　42 事業所
利用者数　　68 人

事業費等の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
事業費（円）	35,922,332	32,440,932	27,418,439	22,912,009	21,752,318
延べ利用回数（回）	5,002	4,716	3,619	3,138	2,994
延べ利用時間（時間）	14,048	12,550	10,587	8,384	8,005

事業名	障害（児）者日常生活用具給付等事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-14
款 03	民生費	当初予算額	23,991,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	23,991,000円
目 04	地域生活支援費	決算額	21,484,872円
事業の目的	障がい（児）者等に対して職業その他日常生活の能率向上を図る。	事業の概要	在宅障がい者・児、小児慢性特定疾病児童に対して、視覚障害者用時計・移動用リフト・ストマ用装具等の給付等を行う。 自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。

事業の実績・成果

在宅障がい（児）者に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより日常生活の便宜を図った。個人負担額は原則1割で、対象者、基準額、耐用年数等の基準がある。

日常生活用具別内訳

	延件数（件）	公費負担額（円）	内容
介護・訓練支援用具	10	837,100	特殊寝台等
自立生活支援用具	13	679,736	入浴補助用具等
在宅療養等支援用具	3	163,560	電気式たん吸引器等
情報・意思疎通支援用具	8	794,753	人工咽頭等
排泄管理支援事業	346	18,183,079	蓄便・蓄尿袋等
小児慢性特定疾病分	2	83,090	紫外線カットクリーム等
合計	382	20,741,318	

住宅改修　5件　743,554円

日常生活用具給付費等の推移　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額	21,759,661	21,786,478	22,897,418	19,889,131	21,484,872

事 業 名		障害者相談支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1152-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,072,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	11,072,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	11,071,639 円
事業の目的	在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピュアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。		事業の概要	・委託　行田市、羽生市との共同設置による北埼玉障がい者生活支援センターが一般的な相談に対応。 ・計画相談　指定をうけた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応。 ・一般相談　指定をうけた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応。 ・身体障害者相談員及び知的障害者相談員を各 5 名委嘱。

事業の実績・成果

○北埼玉障がい者生活支援センターを北埼玉地区 3 市（加須市、行田市、羽生市）で共同設置し、羽生市の社会福祉法人へ委託し運営している。相談ケースに応じた支援を個々に行い、障がい者の自立や社会参加の促進を図った。（委託先　社会福祉法人 幸生会（羽生市）、社会福祉法人 共愛会（羽生市））

相談支援を利用している障がい者等の人数　（単位：人）

	幸生会	共愛会
身体障がい者	36	1
知的障がい者	2	53
精神障がい者	1	101
その他	0	2
合　計	39	157

相談件数（支援方法別）　（単位：件）

	幸生会	共愛会
訪　問	201	396
来　所	3	63
電　話	276	170
同　行	12	100
合　計	492	729

委託料内訳　（単位：円）

	人口割	手帳所持者割	相談件数割	合　計
幸生会	2,602,392	1,304,050	1,064,355	4,970,797
共愛会	2,903,352	1,454,860	1,537,630	5,895,842
合　計	5,505,744	2,758,910	2,601,985	10,866,639

負担金（委託料）の推移　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
加須市	9,859,812	9,960,594	10,637,872	10,891,778	10,866,639

○身体障害者相談員及び知的障害者相談員による相談会を行った。

謝金　200,000 円

・身体障害者相談員　20,000 円×5 名＝100,000 円

・知的障害者相談員　20,000 円×5 名＝100,000 円

事業名	障害者就労支援事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	1154-01
款 03	民生費	当初予算額	3,197,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	3,197,000円
目 04	地域生活支援費	決算額	3,124,638円
事業の目的	障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。	事業の概要	［北埼玉障がい者就労支援センター］ 障害者の就労に関する相談支援等を、加須市、羽生市、行田市との共同設置により社会福祉法人共愛会へ委託する。 ［就職支度金］ 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金36,000円を支給し、社会復帰の促進を図る。

事業の実績・成果

○北埼玉障がい者就労支援センター

委託料　2,692,638円

平成22年8月から、北埼玉地区（行田市・加須市・羽生市）の共同設置により、羽生市内の施設へ委託し運営している。

登録により、就労準備支援、職場開拓・就職支援、職場定着支援、離職時支援、生活支援を実施した。

委託先　　社会福祉法人 共愛会
登録者数　　268人
年間就労者数　18人

利用者人数・年間就労者数・支援件数の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者人数（人）		85	82	73	70	81
年間就労者数（人）		39	26	26	11	18
支援件数（件）	就労準備支援（件）	45	54	45	38	34
	職場開拓、就職支援（件）	49	62	49	64	57
	職場定着支援（件）	152	146	152	129	155
	離職時支援（件）	12	15	12	19	15
	生活支援（件）	53	61	53	72	83

○就職支度金支給

施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図った。

対象者数　12人　　432,000円（36,000円×12人）

事 業 名		障害者スポーツ交流事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1155-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	239,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	239,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	69,000 円
事業の目的	障害（児）者及び介護者をはじめとして、スポーツを通して交流を図る。		事業の概要	加須市民体育館内において各障害者団体および介護者を中心としてミニ運動会を開催する。 ・パン食い競争ほか軽度な競技を中心に個人種目および団体対抗種目を実施する。 ・競技の進行等を団体の役員にも協力依頼する。 市民による障がい者スポーツ振興・普及の取組みを支援する。

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、障害者スポーツ交流大会は中止とした。

一般社団法人 埼玉県障害者スポーツ協会 令和3年度会員会費　69,000 円

事 業 名		障害者コミュニケーション支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	1155-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	6,060,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	6,060,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	4,407,446 円
事業の目的	聴覚、音声機能、視覚等の障がいのため、意思疎通を図ることに支障のある障がい者に対し、意思疎通の円滑化を図り、社会参加を推進する。		事業の概要	聴覚障がい者のコミュニケーション支援・情報保障のため、手話通訳者等を派遣する。 登録手話通訳者認定試験の実施。 また、手話通訳者等を養成するため、養成講座等を開催する。

事業の実績・成果

聴覚障がい者等の依頼を受け、市の登録手話通訳者を派遣することにより、障がい者の意思疎通の円滑化と社会参加の促進を図った。社会福祉協議会に手話奉仕員養成講座を、聴覚障害者協会に手話フォローアップ講座をそれぞれ委託した。登録手話通訳者の増員を目的にした手話通訳者養成講座は、新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置に伴う中断を経て実施した。

・（福）埼玉聴覚障害者福祉会（埼玉聴覚障害者情報センター）による派遣（60 件）　573,000 円
・市登録通訳者派遣（85 件）　759,532 円
・派遣体制　登録手話通訳者 7 名、専任手話通訳者 1 名
・手話奉仕員養成講座（全 51 回）　1,191,200 円
・手話フォローアップ講座（全 14 回）　264,000 円
・運営委員会、認定試験審査会の開催回数　5 回

手話講習会受講者数内訳　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
手話奉仕員養成講座 入門課程　全22回	22	21	27	16	9
手話奉仕員養成講座 基礎課程　全30回	11	18	11	15	9
手話講習会 レベルアップ課程全20回	13	―	―	―	―
手話フォローアップ講座 全20回	―	―	15	8	8

※令和 2 年度の基礎課程及びフォローアップ講座は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（令和 3 年 1 月 7 日発出）のため回数を削減。
※令和 3 年度の入門課程及びフォローアップ講座は、新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置（埼玉県令和 4 年 1 月 21 日発出）のため回数を削減。

手話通訳者利用内容内訳　（単位：件）

利 用 内 容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
打合せ・手続き	24	49	35	74	63
式典・イベント・講演	36	24	31	4	27
病 院 診 察	264	247	293	253	276
学 校 関 係	60	45	24	10	14
面 接 、 相 談	20	16	15	4	25
そ の 他	26	50	50	38	39
合 計	430	431	448	383	444

※平成 28 年 9 月より専任手話通訳者による市直営の派遣を開始。

事 業 名		社会参加促進事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	1155-04
款	03	民生費		当　初　予　算　額	10,680,000 円
項	01	社会福祉費		最　終　予　算　額	10,680,000 円
目	04	地域生活支援費		決　　算　　額	8,321,983 円
事業の目的	障がい者の経済的負担の軽減と社会参加等の促進を図る。		事業の概要	・障がい者自動車運転免許取得費補助…12 万円を限度 ・身体障がい者自動車改造費補助…10 万円を限度 ・自動車燃料費助成…月額 1,000 円（上限） ・福祉タクシー利用料助成…年間 30 枚又は 36 枚 ・ファクシミリ利用料助成…月額 1,000 円（上限）	

事業の実績・成果

障がい者が在宅においてできる限り自立した生活を行い、積極的に社会参加ができるよう日常生活の利便性の経済的負担の軽減を図るため、各種援護を行った。

障がい者の社会参加を促進するため、申請により運転免許の取得、自動車改造費等を助成する。

・障害者自動車運転免許取得費補助（限度額　120,000 円）　4 件　448,000 円
・身体障害者自動車改造費補助（限度額　100,000 円）　4 件　400,000 円
・自動車燃料費助成（月 1,000 円上限）　4,207,550 円（延べ 1,623 名）
・福祉タクシー利用料助成（手数料・利用券印刷代含）　3,078,590 円（延べ 4,125 件）
・ファクシミリ利用料助成（月 1,000 円上限）　187,843 円（延べ　37 件）

事業費の推移　（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
事業費合計	11,175,440	10,966,129	9,864,589	8,434,332	8,321,983
障害者自動車運転免許取得費補助金	240,000	480,000	720,000	240,000	448,000
身体障害者自動車改造費補助金	700,000	300,000	382,000	214,740	400,000

事 業 名		外国人高齢者福祉手当支給事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	1142-33
款	03	民生費	当 初 予 算 額	120,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	120,000 円
目	05	国民年金費	決 算 額	120,000 円
事業の目的	元気な高齢者を支援するため、昭和５７年以前の年金制度における国籍要件により、国民年金に加入できなかった外国人高齢者の福祉の増進を図る。	事業の概要	日本国籍を有しない者で、かつ大正15年(1926年)4月1日以前に生まれた者に対し、福祉手当(１人当たり月額10,000円)を支給する。	

事業の実績・成果

支給対象者を的確に把握し、支給した。

対象者　　外国人高齢者　1人
支給額　　10,000円×1人×12月＝120,000円
支給日　　上半期9月、下半期3月

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支給人数（人）	1	1	1	1	1
金額（円）	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

事 業 名		国民年金事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	1171-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,586,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,861,000 円
目	05	国民年金費	決 算 額	2,573,064 円
事業の目的	国民年金の身近な窓口として、市民の老齢、障害、死亡に関して必要な給付を行い、健全な国民生活の維持・向上を図る。		事業の概要	国民年金の加入・喪失・保険料免除関係、老齢福祉年金、障害者年金等給付関係業務（年金事務所への送達含む）や年金相談、年金の普及啓発を行う。 ・令和３年度保険料月額 16,610 円

事業の実績・成果

国民年金にかかる各種届出書や給付請求書等の受付において、内容の確認や必要書類の点検を十分に行い、遅滞なく年金事務所へ進達した。

進達件数 （単位：件）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
資格関係	6,453	5,630	5,348	4,931	5,327
給付関係	887	776	797	649	701

＜市内被保険者数等＞

第１号被保険者数 （単位：人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
被保険者数	13,080	12,513	12,185	12,067	11,863

保険料免除等件数 （単位：件）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
法定免除	874	881	907	911	941
申請免除	1,909	1,745	1,873	1,976	1,977
学生納付特例	1,471	1,460	1,392	1,336	1,310
納付猶予	659	652	662	657	637
計	4,913	4,738	4,834	4,880	4,865

事 業 名	後期高齢者医療広域連合負担事業			
担 当 課	国保年金課		総合振興計画コード	1135-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,013,116,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,013,116,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	1,009,863,547 円
事業の目的	国民皆保険を堅持し、将来にわたり安定的で持続可能なものとしていくため、後期高齢者医療制度の健全な運営を図る。	事業の概要	広域連合運営に係る経費を各市町村が広域連合規約の規定に基づき、人件費、光熱水費等の①共通経費分や、②医療給付費に要する経費対象額の1/12 相当額を負担する。	

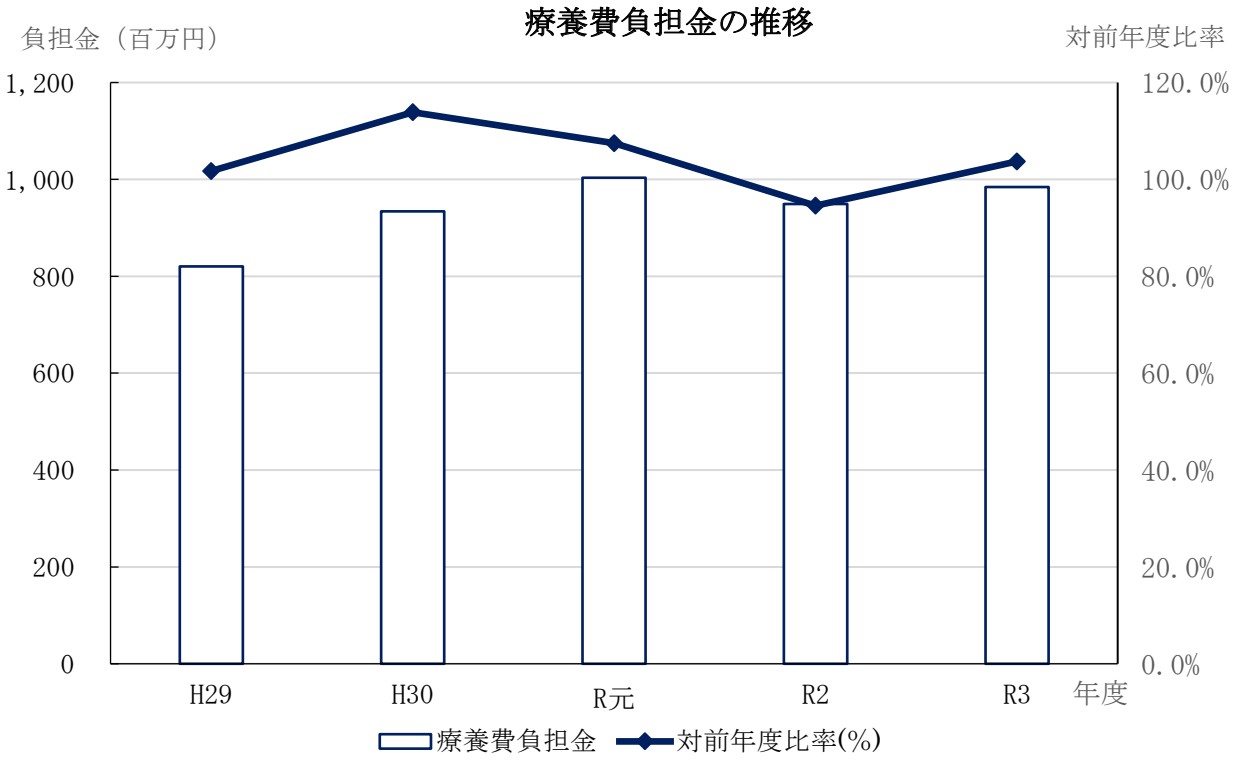
事業の実績・成果

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、医療給付に要する経費を負担した。
療養給付費負担金　984,072,644 円

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、広域連合の共通経費を構成市町村で負担した。
埼玉県後期高齢者医療広域連合市町村負担金
① 均等割　共通経費総額の 10%を構成市町村で除して算出
② 人口割　共通経費総額の 45%に構成市町村の令和 3 年 3 月 31 日現在の総人口に占める各市町村の割合を乗じて算出
③ 高齢者人口割　共通経費総額の 45%に構成市町村の令和 3 年 3 月 31 日現在の満 75 歳以上人口に占める各市町村の割合を乗じて算出
共通経費負担金　25,790,903 円

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
療養給付費負担金	820,074	933,736	1,003,621	949,094	984,073
市町村負担金（共通経費）	25,234	31,827	22,761	25,315	25,791



事 業 名		後期高齢者医療特別会計繰出事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	1135-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	280,481,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	280,481,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	258,770,501 円
事業の目的	高齢期における適切な医療の確保を図るため、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図る。	事業の概要	低所得者等の保険料負担軽減分（７割・５割・２割）や一般事務費、健康増進事業費等について一般会計から繰り出しを行う。	

事業の実績・成果

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合の条例の定めにより、所得の少ない者について、保険料の均等割額(41,700 円)の軽減賦課に基づき減額した額を基礎として負担した。

・埼玉県後期高齢者医療基盤安定事業負担金　242,704,604 円

県負担分(3/4)　182,028,453 円

市負担分(1/4)　60,676,151 円

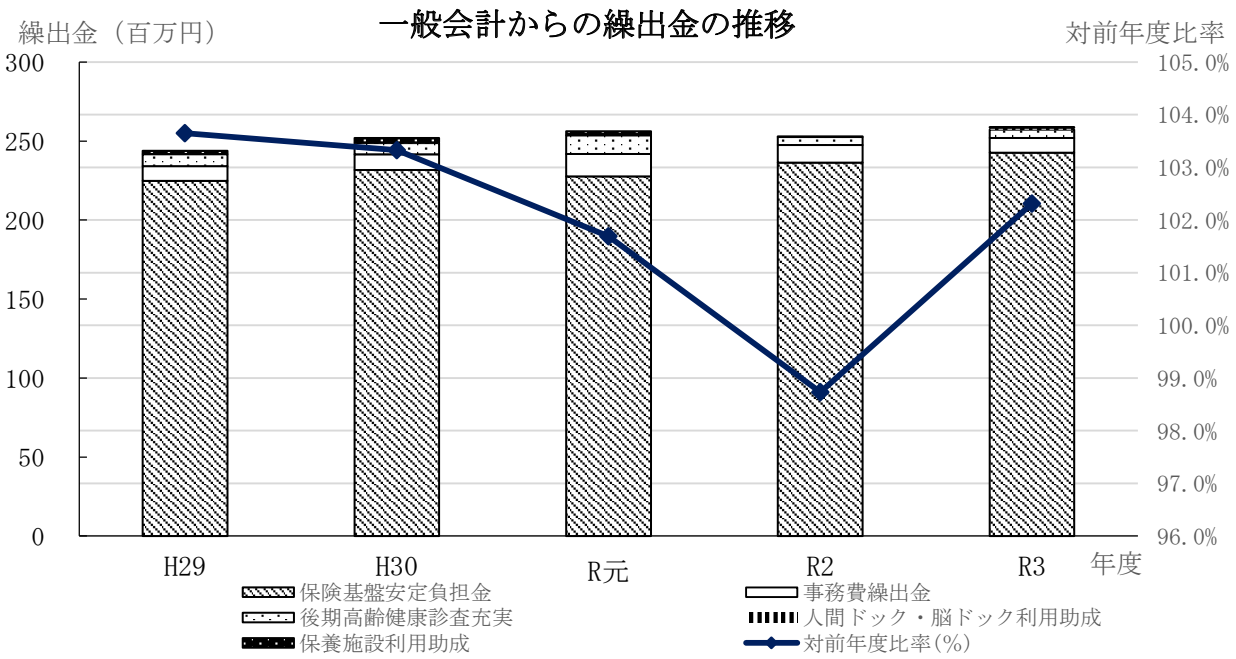
低所得者軽減分（法 99①関係）

	対象被保険者数（人）	１人当たり軽減額(年間)（円）	軽減額総計（円）
２割軽減	1,715	8,340	13,815,210
５割軽減	1,820	20,850	36,635,152
７割軽減	6,787	29,190	191,036,268
合計	10,322	－	241,486,630

被扶養者軽減分（法 99②関係）

	対象被保険者数（人）	１人当たり軽減額(年間)（円）	軽減額総計（円）
５割軽減	77	20,850	1,217,974

○ 後期高齢者医療特別会計に対し、繰り出した。



事 業 名		老人クラブ支援事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1141-23
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,844,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	5,844,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	5,660,000 円
事業の目的	健康づくり・介護予防活動、友愛活動及び社会活動への積極的な参画を通じて、明るい長寿社会づくりに資する。	事業の概要	老人クラブ連合会におけるグラウンド・ゴルフ大会、交通安全教室、研修会、文化創作展等の開催支援、地域内での社会奉仕活動等を支援する。	

事業の実績・成果

・高齢者を主体とする地域における自主的な組織である老人クラブに対し、生きがいと健康づくりの支援を行った。なお、令和３年度においては、検温や消毒、マスク着用など基本的な感染症対策を徹底するとともに、多くの参加者が集う一部のイベントを午前・午後の二部制にする、あるいは、参加者の動線を工夫し密状態を避けるなど新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じ、事業を実施した。

【老人クラブ数など】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
クラブ数	94	93	93	92	91
会員数（人）	3,921	3,798	3,748	3,547	3,478
補助金交付額（円）	5,844,000	5,798,000	5,702,200	5,625,317	5,660,000

＜加須市老人クラブ連合会の主な活動＞

総会、グラウンド・ゴルフ大会（年１回）、日帰り研修、「加須市老連だより」年２回発行、県主催行事への参加

＜地域ごとの活動＞

・加　須…総会、グラウンド・ゴルフ大会（年１回）、ワナゲ大会（年２回）、文化創作展、高齢者交通安全教室、県外研修、埼玉県老人クラブ連合会主催イベントへの参加、市主催行事への参加
・騎　西…総会、グラウンド・ゴルフ大会、県外研修、高齢者交通安全教室、市主催行事への参加
・北川辺…総会、花のボランティア、ワナゲ大会、県外研修、市主催行事への参加、雑巾寄付事業
・大利根…総会、県外研修、グラウンド・ゴルフ大会、友愛訪問、高齢者交通安全教室、市主催行事への参加

令和３年度は、一部の活動が新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止、あるいは縮小開催となった。（総会、県外研修　など）

事 業 名	ひとり暮らし高齢者地域交流助成事業			
担 当 課	高齢介護課		総合振興計画コード	1141-26
款	03	民生費	当 初 予 算 額	400,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	400,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	11,764 円
事業の目的	ひとり暮らし高齢者の見守りや仲間づくり、生きがいづくりを促進し、要介護状態になることを予防する。	事業の概要	社会福祉協議会に対し、ひとり暮らし高齢者地域交流事業を推進するための補助金を交付する。	

事業の実績・成果

社会福祉協議会が実施する「ひとり暮らし高齢者地域交流事業」の推進を図るため、社会福祉協議会に対し、補助金を交付し、地域交流を通じた高齢者の仲間づくりや生きがいづくりを推進した。

内　　容　　ひとり暮らし高齢者を対象としたふれあい会食会の開催等
実　　施　　各地域・支部社協

【利用状況】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
実施回数（回）	99	100	84	0	1
参加延数（人）	2,035	1,994	1,676	0	30

※社会福祉協議会に対し、事業費の一部を補助
※平成 24 年度から新規事業として実施
※平成 28 年度からは、会食会のほか、付随する交流事業を含む。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度は事業が中止、令和 3 年度は 1 回のみの実施となった。

事業名	高齢者福祉管理事業				
担当課		高齢介護課		総合振興計画コード	1142-01
款	03	民生費		当初予算額	2,906,000円
項	01	社会福祉費		最終予算額	2,906,000円
目	06	老人福祉費		決算額	2,090,112円
事業の目的	高齢者福祉事務を執行し、高齢者に対する支援を行う。		事業の概要	社会福祉主事資格の取得の促進、社会福祉法人への市有地等貸付け、車両の管理、支援が必要な高齢者の情報収集などを行う。	

事業の実績・成果

・高齢者福祉事務を適切に執行し、諸経費を支出した。

【高齢者福祉管理費年度別実績】 (単位：円)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1,606,563	3,038,380	1,745,563	10,677,017	2,090,112

・民生委員の訪問調査によって、ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者のみの世帯の状況を把握し、その結果データを台帳に入力・管理することで、緊急時の連絡体制の確保など高齢者支援の基本情報として活用することができた。

また、災害時要援護者台帳との連携を進め、災害時に支援が必要な高齢者の把握ができるようにした。

調査方法　民生委員による訪問調査
調査結果　65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯　4,117世帯（令和4年3月31日時点）
　　65歳以上のみの高齢者世帯　4,369世帯（令和4年3月31日時点）
台帳活用　市が実施する福祉事業、社会福祉協議会や高齢者相談センターが実施する事業の基本情報として活用
台帳更新　随時、調査結果を入力し台帳を更新

ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯数 (単位：世帯)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ひとり暮らし高齢者世帯	3,178	3,357	3,547	3,899	4,117
高齢者のみの世帯	3,704	3,856	3,948	4,092	4,369
合計世帯数	6,882	7,213	7,495	7,991	8,486

※世帯数は、民生委員の訪問調査により把握した数
※令和元年度は、3年に一度の全対象者調査

事 業 名		ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	10,800,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	10,800,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	10,590,000 円
事業の目的	介護される人が尊厳をもって自立した日常生活を送ることができるよう、在宅で介護を行う家族介護者を支援する。		事業の概要	要介護 4 又は 5 の認定を受け、在宅でねたきりの高齢者を介護する家族介護者に対し、ねたきり老人等居宅介護者慰労金を支給する。

事業の実績・成果

在宅の要介護高齢者を介護している家族等に対し、慰労金を支給することによって、介護者の負担の軽減を図ることができた。

【年度別・介護度別支給状況】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
延人数（人）	要介護 4　327	要介護 4　321	要介護 4　280	要介護 4　322	要介護 4　344
	要介護 5　196	要介護 5　202	要介護 5　201	要介護 5　202	要介護 5　191
支給額（円）	10,230,000	10,335,000	9,545,000	10,625,000	10,590,000

※令和元年度から事業を一般会計に移行して実施

事 業 名		家族介護用品支給事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,493,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	3,493,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	2,882,379 円
事業の目的	介護される人が尊厳をもって自立した日常生活を送ることができるよう、在宅で介護を行う家族介護者を支援する。		事業の概要	在宅で要介護状態となっている高齢者を常時介護している介護者に対し、紙おむつ等の介護用品を支給する。

事業の実績・成果

在宅で、要介護状態になっている高齢者（ねたきり又は認知症などで常時おむつを使用している非課税世帯の人）を常時介護している家族に、介護用品を支給することにより、本人及び介護している家族の精神的・経済的負担の軽減を図ることができた。

【年度別支給状況】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数（件）	65	49	43	46	52
利用実績（円）	3,422,193	2,823,220	2,550,471	2,709,287	2,882,379

※各年度 3 月 31 日現在の件数

※令和 3 年度から事業を一般会計に移行して実施

事 業 名		緊急通報システム整備事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,252,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	4,252,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	2,554,552 円
事業の目的	緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の緊急事態における高齢者の不安を解消し、もって高齢者福祉の向上を図る。		事業の概要	ひとり暮らし高齢者等が緊急時において、救急車を呼ぶことができる装置及びペンダントを貸与し、定期的な安否確認と 24 時間 365 日対応の健康相談により利用者を見守る。

事業の実績・成果

65 歳以上のひとり暮らし高齢者等で身体上慢性的な疾患により常時注意を要する方に、緊急通知を受信する機器を貸与することで、緊急事態における不安を解消した。

【事業内容】
機器の設置・撤去工事、機器点検訪問
電話健康相談、電話による定期的な安否確認、緊急時の救急搬送要請

【貸与機器】
緊急通報用電話機、携帯用無線発信機（ペンダント）

【緊急通報システム利用件数及び設置台数】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
緊急出場件数	35	27	30	31	16
搬送件数	31	22	21	17	12
電話健康相談※	40	122	103	51	188
設置台数	143	144	151	136	132
うち新規設置台数	24	25	28	21	17

※電話健康相談については、平成 26 年 1 月から開始

事 業 名		配食サービス事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-24
款	03	民生費	当 初 予 算 額	14,032,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	14,032,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	13,981,480 円
事業の目的	ひとり暮らし高齢者等の見守り及び栄養面における在宅生活の自立を支援し、要介護状態への進行を防止する。		事業の概要	在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等に属する人のうち調理することが困難な人に対し、委託により栄養バランスのとれた食事を提供する（週に3回まで）。費用は1食880円（自己負担：300円、市負担：580円）

事業の実績・成果

配食サービスの提供によって、在宅のひとり暮らし高齢者等の栄養状態の維持・改善とともに見守りの役割を果たすことができた。

【対象者】

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する方で、調理を行うことが困難な方

【事業内容】

昼食時に、栄養バランスを考慮して調理された食事を居宅に配達する。
また、食事の配達時に安否の確認を行い、異常がある場合は速やかに関係機関への連絡等を行う。
なお、食事の配達は、1日1食、1週間に3回まで、月曜日から金曜日までの昼食とする。

【実施状況】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用人数（人）	216	206	195	213	233
利用実績（円）	12,822,700	12,502,600	13,226,320	12,946,180	13,981,480

※各年度3月31日現在の人数
※平成27年度から一般会計に移行

事 業 名		生活管理指導短期入所事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-25
款	03	民生費	当 初 予 算 額	945,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	945,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	674,800 円
事業の目的	基本的生活習慣等が欠如している高齢者等を短期間入所させ、生活習慣等の指導及び支援を行うことにより、当該高齢者等の体調の調整を図るとともに、要介護状態への進行を予防する。		事業の概要	養護老人ホーム又は特別養護老人ホームに短期間入所させ、生活習慣等の指導及び支援を行う。 入所期間：原則 7 日以内 対象者：65 歳以上 利用者負担：1 日あたり 2,200 円（生活保護世帯は負担なし） 市負担：1 日あたり 4,500 円（生活保護世帯の利用は 1 日あたり 6,700 円）

事業の実績・成果

高齢者が、基本的生活習慣等が欠如している場合や緊急的に保護を要する状態にある場合等に、高齢者相談センターと連携して当該高齢者等を短期入所施設に入所させ、福祉の向上を図ることができた。

【年度別実績】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用人数（人）	9	6	8	6	9
利用日数（日）	191	80	66	97	148
利用実績（円）	859,500	461,200	410,600	436,500	674,800

※令和 3 年度から事業を一般会計に移行して実施

事 業 名		養護老人ホーム入所事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-26
款	03	民生費	当 初 予 算 額	65,418,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	65,418,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	48,242,342 円
事業の目的	住居の確保を通じ、高齢者の更なる福祉の充実を図る。	事業の概要	65 歳以上の人で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な人を養護老人ホームに入所措置する。	

事業の実績・成果

入所判定委員会を経て、居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホーム等へ入所させ、生活の安定を図った。

【老人ホーム入所判定委員会開催及び新規入所数】 (単位：回、人)

老人ホーム入所判定委員会		老人ホーム（養護・特養）新規入所者数
開催回数	期　日	
2	令和 3 年 9 月 10 日	1 (北川辺 1)
	令和 4 年 3 月 28 日	2 (加須 1、騎西 1)

※養護者による虐待により、生命又は身体に重大な危険が生じているおそれがあると認められる高齢者を一時的に保護する場合は、入所判定委員会の開催を待つことなく入所措置を行うことができる。

※令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、書面により会議を開催した。

【養護老人ホーム等入所状況】 令和 4 年 3 月 31 日現在 (単位：人)

あいせんハイム	偕楽荘	熊谷ホーム	みずほの里	合計
13	2	4	1	20

【老人ホーム入所事業費】 (単位：円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
委託料	61,736,900	58,642,771	62,398,154	53,089,351	48,242,342

事 業 名		敬老祝金支給事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-28
款	03	民生費	当 初 予 算 額	47,282,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	45,787,769 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	45,576,400 円
事業の目的	高齢者に対して長寿の祝福と敬老の意を表すとともに、所在を確認する。		事業の概要	・8 月 1 日時点で市内に 1 年以上居住し、年度内に 77 歳・88 歳・99 歳・100 歳を迎える人に敬老祝金を贈呈（併せて所在確認を実施）する。 【贈呈額】 77 歳：20,000 円　88 歳：30,000 円 99 歳：50,000 円 100 歳：50,000 円

事業の実績・成果

市内に居住する高齢者に対し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福するため、敬老祝金を贈呈した。

対 象 者　基準日の 8 月 1 日現在において次のいずれにも該当する方
・本市に引き続き 1 年以上居住し、住民基本台帳に記録されている方
・基準日の属する年の 4 月 1 日からその翌年の 3 月 31 日までにおいて、年齢が満 77 歳、満 88 歳、満 99 歳又は満 100 歳となる方

祝 金 額　満 77 歳　20,000 円×1,239 人＝24,780,000 円
満 88 歳　30,000 円×　574 人＝17,220,000 円
満 99 歳　50,000 円×　43 人＝ 2,150,000 円
満 100 歳　50,000 円×　28 人＝ 1,400,000 円　　贈呈総額　45,550,000 円

贈呈方法　民生委員や市職員が対象者本人へ直接手渡し

【敬老祝金贈呈者数及び祝金額】

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
贈呈（人）	満 77 歳	1,109	1,211	1,249	1,342	1,239
	満 88 歳	456	490	492	593	574
	満 99 歳	37	39	39	35	43
	満 100 歳	18	29	24	35	28
	合　計	1,620	1,769	1,804	2,005	1,884
決算（円）		47,730,000	52,120,000	52,730,000	59,990,000	45,550,000

事 業 名		敬老会助成事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-29
款	03	民生費	当 初 予 算 額	8,047,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	8,047,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	5,053,337 円
事業の目的	高齢者の長寿を祝い、高齢者の生きがいの醸成を図る。		事業の概要	敬老会を主催する社会福祉協議会に補助金を交付し、各地域における敬老会の開催を支援する。

事業の実績・成果

社会福祉協議会が主催する敬老会の事業費の一部を補助し、加須市敬老会事業の推進を図った。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため式典を中止し、対象者へ祝状及び記念品等の配布のみを行った。

補助金交付額　　5,053,337 円（運営費）

【敬老会対象者数及び寿賀表彰者数】　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者（75歳以上）	14,387	14,994	15,441	15,608	16,356
米寿（88歳）	456	490	492	593	574
白寿（99歳）	37	39	39	35	43

事業名	金婚祝賀事業			
担当課	高齢介護課		総合振興計画コード	1142-30
款	03	民生費	当初予算額	881,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	881,000円
目	06	老人福祉費	決算額	570,063円
事業の目的	市民の郷土への愛着と高齢者福祉への関心を高める。	事業の概要	・金婚（婚姻50周年）に際し、市長の祝状及び額を贈呈する。 ・寿賀（100歳、99歳、88歳）に際し、市長の祝状と額又は筒を贈呈する。	

事業の実績・成果

市民の金婚及び寿賀の慶事に対し、市が祝意を表することにより、市民の郷土への愛着が高まり、市民と行政による協働のまちづくりの推進が図られた。

1　金婚に対し、市長の祝状及び額を贈った。【高齢介護課及び各総合支所市民福祉健康課】

・贈呈者数：75組

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
贈呈（組）	107	83	85	59	75
決算（円）	204,050	172,162	196,548	121,710	180,109

2　寿賀に対し、市長の祝状及び筒又は額を贈った。【高齢介護課及び各総合支所市民福祉健康課】

・贈呈者数　100歳：28人、99歳：43人、88歳：574人

年度			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
贈呈（人）	100歳	男	3	4	7	4	3
		女	15	25	17	31	25
		計	18	29	24	35	28
	99歳	男	7	14	4	4	7
		女	30	26	35	31	36
		計	37	40	39	35	43
	88歳	男	164	173	154	191	197
		女	292	318	338	402	377
		計	456	491	492	593	574
決算（円）			294,489	329,462	279,606	354,384	389,954

事 業 名		社会福祉法人による介護保険低所得者対策事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-31
款	03	民生費	当 初 予 算 額	371,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	371,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	低所得者の介護保険サービスの利用促進を図る。		事業の概要	社会福祉法人等が対象者に対して利用者負担の1/4（老齢福祉年金受給者は1/2、生活保護受給者は居住費のみ全額）の軽減を行い、利用者負担を軽減した総額のうち、本来受領すべき利用者負担収入の 1%を超えた部分の 1/2 を上限として、市が社会福祉法人に助成する。

事業の実績・成果

本事業は、生計困難者に対して介護保険サービスの利用者負担を軽減している社会福祉法人等に助成するものであるが、要件に該当する法人等がなかった。

・社会福祉法人等利用者負担軽減対象者　4 人（うち介護保険サービス利用者　4 人）
・利用者負担軽減対象者の利用実績を有する社会福祉法人　3 施設
・施設への助成額　0 円
（対象者に対する軽減額が、施設が本来受領すべき利用者負担収入額の 1 %未満のため）

【事業実績】

区　分	平成 29 年度	平成 30 年度	平成元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用人数（人）	5	4	5	5	4
予算額（円）	371,000	371,000	371,000	371,000	371,000
決算額（円）	0	0	0	0	0

事 業 名		介護サービス利用者負担助成事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1142-32
款	03	民生費	当 初 予 算 額	29,000,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	30,494,231 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	30,494,231 円
事業の目的	要介護又は要支援の認定を受け、在宅介護サービスを利用している低所得者に対し、利用者負担額の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。		事業の概要	市民税非課税世帯の在宅介護サービス利用者が申請することにより、自己負担額の一部(25%)を助成する。

事業の実績・成果

新規対象者及び未申請者宛に毎月勧奨通知を送付し、事業の周知に努めた。その結果、申請件数は増加するなど、低所得者の経済的負担を軽減するとともに、在宅での介護サービスを普及することができた。

【介護サービス利用者負担助成利用状況】

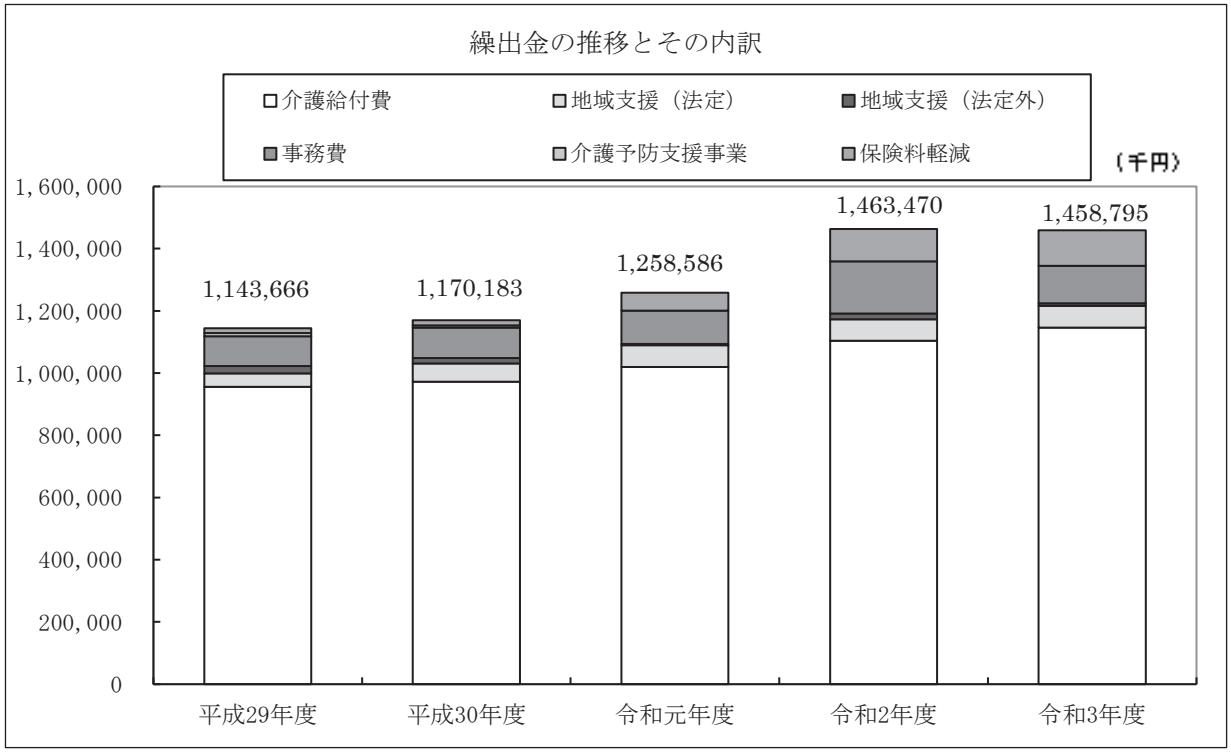
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
対象件数（件）	11,675	11,981	12,741	13,692	14,435
申請件数(件)	11,176	11,645	12,410	13,251	14,094
助成額(円)	25,407,549	25,376,904	26,838,768	29,102,570	30,494,231

事 業 名		介護保険事業特別会計繰出事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1145-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,458,437,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,458,795,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	1,458,794,689 円
事業の目的	高齢者の自立支援の理念に基づき、介護保険事業の健全かつ円滑な運営を行う。		事業の概要	介護保険法に基づき、介護保険給付費、地域支援事業費にかかる費用及び介護保険運営上の事務経費を負担する。

事業の実績・成果

(単位：円)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
繰出金合計	1,143,666,397	1,170,183,460	1,258,585,870	1,463,469,780	1,458,794,689
実質繰出額	1,086,419,143	1,122,925,547	1,213,614,912	1,360,436,384	1,372,403,320
一般会計への返還金	57,247,254	47,257,913	44,970,958	103,033,396	86,391,369



事業名	介護施設整備促進事業			
担当課	高齢介護課		総合振興計画コード	1144-04
款	03	民生費	当初予算額	0円
項	01	社会福祉費	最終予算額	10,642,000円
目	06	老人福祉費	決算額	10,638,000円
事業の目的	介護を必要とする高齢者が、必要な介護サービスを利用できるよう、安全で安心できる介護サービス提供基盤を整備する。	事業の概要	・介護サービス事業所等の設置に関する相談に対応する。 ・介護施設の整備に対し、要綱に基づき補助金を交付する。	

事業の実績・成果

災害への備えとして、非常用自家発電設備を整備しようとする市内の介護施設に対し、国の補助制度を活用して市が補助金を交付することにより、当該介護施設における災害対策の強化を図ることができた。

【補助金の内訳】

補助事業者等	補助事業の内容	補助金交付額
有限会社フクシ グループホーム藤の里 （認知症高齢者グループホーム）	非常用自家発電設備の整備	5,609,000円
有限会社フクシ グループホーム藤の里大越 （認知症高齢者グループホーム）		5,029,000円

※補助金は、いずれも全額国庫補助を活用

事 業 名		老人福祉センター管理運営事業		
担 当 課		高齢介護課	総合振興計画コード	1141-24
款	03	民生費	当 初 予 算 額	28,224,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	28,224,000 円
目	07	老人福祉センター費	決 算 額	17,362,322 円
事業の目的	高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的とする。	事業の概要	指定管理者への委託により大利根総合福祉会館を管理運営する。 また、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、居場所づくりの拠点として、衛生的な公衆浴場としての機能とレクリエーション機能を持った、安全かつ交流が図れる環境を確保する。	

事業の実績・成果

・これまで、高齢者が地域の仲間と共に健康で明るい生活を楽しむための場として、様々なイベントを開催してきたが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点と施設の老朽化から老人福祉センター不老荘については年間を通じて休館とし、大利根総合福祉会館については令和4年1月12日から令和4年2月17日の期間を除き休館とした。

また、各老人福祉センターの施設や設備の老朽化が進んでいることから、騎西、北川辺地域においては令和2年度に、加須地域においては令和3年度に既存の老人福祉センターを廃止した。

なお、老人福祉センターが担っていた高齢者の健康増進と集いの場の役割は、市内各所のコミュニティセンターや健康福祉センターなど他公共施設へ移管した。

【老人福祉センター利用者】 （単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
老人福祉センター不老荘	23,361 (36)	23,093 (51)	20,470 (61)	休館	休館
騎西老人福祉センター	6,257 (85)	8,967 (120)	8,007 (98)		廃止
北川辺老人福祉センター	5,388 (13)	4,919 (9)	4,765 (15)		
大利根総合福祉会館	34,928 (10,417)	37,992 (11,612)	32,530 (10,477)		379 (75)
合　計	69,934 (10,551)	74,971 (11,792)	65,772 (10,651)		379 (75)

※（　）の数字は、うち市外利用者の数

・施設維持や廃館のために必要な修繕・工事を実施した。

（加須：直営）

男子浴室水栓漏水修繕	21,560 円
防犯灯取付交換修繕	17,600 円
機械警備設備撤去	22,440 円
高架水槽撤去・処分工事	212,300 円
重油タンク廃止工事	302,500 円

（大利根：指定管理）

大利根総合福祉会館指定管理委託　14,400,000 円

事業名	ファミリーサポートセンター事業		
担当課	子育て支援課	総合振興計画コード	2114-08
款 03	民生費	当初予算額	6,252,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	6,252,000円
目 08	男女共同参画費	決算額	5,594,251円
事業の目的	子どもの健やかな成長と女性の社会参画を支援するため、きめ細かい育児サポートを行い、仕事と育児を両立できる環境を整備する。同時にコミュニティー活動等への積極的な参加を促進する。	事業の概要	育児支援が行える市民（協力会員）と、育児支援を必要とする市民（利用会員）で会員組織化し、市が運営するかぞファミリーサポートセンターにおいてコーディネーターが調整のうえ、相互援助活動を行う。

事業の実績・成果

○かぞファミリー・サポート・センターの運営

育児の支援を受けたい方（利用会員）と育児の援助に協力できる方（協力会員）とで組織化しており、相互援助活動することにより仕事と家庭の両立を支援し安心して働ける環境づくりを行った。また、公共施設へのポスターの掲示や市報かぞで協力会員の募集を行い会員確保に努めた。

◇会員数の推移　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用会員	334	272	256	264	226
協力会員	138	124	135	133	139
両方会員	39	30	23	22	12
合　計	511	426	414	419	377

◇利用件数の推移　（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用件数合計	4,781	5,383	4,962	3,763	4,358

○会員養成講習会の実施

救命救急講習や研修を実施することで、会員のスキルアップに努めた。

【救命救急講習】

日時　令和3年11月20日（土）午前9時00分～12時00分

場所　埼玉県東部消防組合加須消防署

参加者　2名

【加須市民生委員・児童委員協議会児童福祉部会及びかぞファミリー・サポート・センター合同研修】

日時　令和3年11月15日（月）午前10時00分～11時30分

場所　パストラルかぞ　小ホール

参加者　36名（うち、会員は5名）

○会報「ふぁみさぽ通信」の発行

令和3年5月、令和2年度の活動内容、感染症予防について全会員に配布した。

令和3年10月、会員養成講習会の案内、補償保険の情報について全会員に配布した。

令和4年1月、会員養成講習会の報告、令和3年度上半期の活動内容について全会員に配布した。

○「かぞファミリー・サポート・センターだより」の発行

ファミリー・サポート・センター事業の周知及び会員募集のため、令和4年4月1日に全戸配布した。

事 業 名	ひととき託児事業		
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	2114-09
款 03	民生費	当 初 予 算 額	1,107,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,107,000 円
目 08	男女共同参画費	決 算 額	50,000 円

事業の目的	子育て中の女性など、市民の社会参加促進を図るとともに、市民のボランティア意識の高揚を図る。	事業の概要	市が主催する講演会・セミナー等に、子育て中の市民が参加する間、事前登録された市民ボランティアが託児を行う。 対象年齢は 2 歳から就学前の児童で、託児時間は概ね 2 時間までとしている。 ボランティアは公募し講習会修了後、登録。活動 1 回に対し、1,500 円の謝金を支払う有償ボランティアである。

事業の実績・成果

市が主催またはこれに準ずる講演会・講座等に市民が参加する際に、登録している市民ボランティアが託児を行い、子育て中の女性の積極的な社会参加の支援とボランティアの活動への意識高揚を図った。また、預かる児童の状況に応じて、ボランティアの派遣人数を実施要綱で定めている配置基準より増やし安心・安全な託児に努め、事業を計画していたが、令和 3 年度も市主催のイベントが中止となったことや新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、ボランティア活動は休止した。

◇ひととき託児ボランティア活動の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
託児児童数(人)	1,088	1,209	1163	0	0
ボランティア派遣数(人)	601	624	598	0	0
活動件数（件）	201	201	174	0	0

事 業 名		男女共同参画基本計画策定事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2521-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	772,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	772,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	686,840 円

事業の目的	男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮し、家庭や地域、職場や学校等社会のあらゆる分野において対等に参画し、共に責任を担う社会を実現する。	事業の概要	本プランの計画期間は平成24年度から令和3年度の10年間である。 本プランの上位計画である「加須市総合振興計画」との整合を図るとともに、社会情勢の変化や計画の進捗状況等を踏まえて、中間年に見直しを行う。 新たに、計画期間を令和4年度から令和12年度の9年間とする第2次加須市男女共同参画基本計画「加須市男女共同参画プラン」を策定する。

事業の実績・成果

加須市のこれまでの男女共同参画推進に係る取組の成果や課題の分析を行うとともに、社会情勢の変化等による新たな課題に男女共同参画の視点から対応するため、国・県の動向を踏まえ、新たに第2次加須市男女共同参画基本計画「加須市男女共同参画プラン」（計画期間：令和4年度～令和12年度）を策定した。

○実施体系

◇基本理念

男女（みんな）が認め合い　誰もが活躍できる住みよいまち

◇基本目標

Ⅰ　社会全体における男女共同参画の推進
Ⅱ　家庭における男女共同参画の推進
Ⅲ　地域における男女共同参画の推進
Ⅳ　働く場における男女共同参画の推進
Ⅴ　教育の場における男女共同参画の推進

・基本目標Ⅰ　基本方針2は、「第2次加須市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する基本計画」として位置付けた。
・基本目標Ⅳは、第2次加須市女性活躍推進計画として位置付けた。
・すべての施策にＳＤＧｓの国際目標を関連付けて、本計画とＳＤＧｓを一体的に推進するものとした。

○策定までの経過

令和3年 7月29日　第1回加須市男女共同参画審議会
令和3年 8月31日　第1回加須市男女共同参画庁内推進会議
令和3年10月 5日　第1回政策会議
令和3年11月 1日　第2回加須市男女共同参画庁内推進会議
令和3年12月 2日　第2回政策会議
令和3年12月 7日　第2回加須市男女共同参画審議会
令和3年12月13日　諮問
令和3年12月14日～令和4年1月4日　パブリックコメント
令和4年 1月21日　第3回加須市男女共同参画審議会
　　答申
令和4年 1月26日　策定

事 業 名		男女共同参画基本計画進行管理事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2521-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	70,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	70,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	51,400 円

事業の目的	男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮し、家庭や地域、職場や学校等社会のあらゆる分野において対等に参画し、共に責任を担う社会を実現する。	事業の概要	第2次加須市男女共同参画基本計画の各種施策の適切な進行管理を行う。(計画期間：令和4年度～令和12年度) 加須市男女共同参画プランの各種施策の進捗状況を調査し、審議会に報告し公表する。(計画期間：平成24年～令和3年度)

事業の実績・成果

○男女共同参画基本計画に基づく各種事業の進行管理

加須市男女共同参画基本計画の進捗状況を把握するため、関係各課に施策の達成状況調査を行った。定期的に進行管理を行うことで、各課に対し計画の推進を促した。

「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果の概要について、加須市男女共同参画審議会へ報告を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	内 容	出席人数
令和3年7月29 日(木) 本庁舎 5階505 会議室	・令和2年度「加須市男女共同参画プラン」の事業実績と評価について ・「男女共同参画に関する市民意識調査」の実施結果報告について ・第2次加須市男女共同参画基本計画策定について	14 人

◇「加須市男女共同参画プラン」令和2年度進捗状況調査結果一覧

基本目標	事業数	取組に対する評価（%）					
		1	2	3	4	5	6
社会全体における男女共同参画の推進	25	8事業	2事業	2事業	0事業	0事業	13事業
		66.6%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	
家庭における男女共同参画の推進	11	3事業	1事業	0事業	0事業	0事業	7事業
		75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地域における男女共同参画の推進	15	4事業	2事業	3事業	2事業	0事業	4事業
		36.3%	18.2%	27.3%	18.2%	0.0%	
働く場における男女共同参画の推進	14	8事業	0事業	2事業	0事業	0事業	4事業
		80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
教育の場における男女共同参画の推進	7	2事業	0事業	0事業	0事業	0事業	5事業
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合 計	72	25事業	5事業	7事業	2事業	0事業	33事業
		64.1%	12.8%	18.0%	5.1%	0.0%	

※令和2年度評価基準（各事業の評価の割合については、コロナによる影響を除く）

1 …目標を達成（実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
2 …概ね達成（実績値が目標値の80%以上に達した）
3 …やや遅れている（実績値が目標値の80%未満となった）
4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の50%未満となった）
5 …未着手（何らかの理由により、事業の着手ができなかった）
6 …コロナによる影響（新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業）

事 業 名		男女共同参画推進事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2521-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,237,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,237,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	917,663 円
事業の目的	男女共同参画社会の実現を図るため、積極的な啓発活動や各種相談事業等を充実させ、男女共同参画社会の形成を図る。		事業の概要	男女共同参画市民企画委員と協働し、さまざまな啓発事業を実施する。 また、女性センターでの相談員による各種相談事業の充実を図る。

事業の実績・成果

○相談事業

くらしの中で起こるさまざまな出来事で悩んでいる女性のために、面接相談を実施した。

◇相談数の推移 (単位:人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
女性のための相談室 (相談者数)	25	20	23	20	18

○男女の平等感の意識について

「家庭」「教育」「職場」「政治」「地域活動」の場、「社会通念や風潮」及び「法律や制度の上」では各設問において「平等と感じている」と回答した結果の平均は以下のとおりである。

(単位:%)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
平等意識	32.4	31.9	29.3	29.4	31.3

※男女共同参画セミナー等の参加者を対象にアンケート実施

○各種審議会等における女性委員の割合

女性委員の登用を促進するとともに、女性委員が不在の審議会等の解消に努めている。

令和 4 年 3 月 31 日現在、女性委員のいる審議会は、32 審議会、うち 13 の審議会等において女性委員の登用率が 30%を超えている。

○男女共同参画市民企画委員会との協働

行政と市民との協働により男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関する講演会、セミナー、フォーラムなど、事業の企画立案から運営までを手がける「男女共同参画市民企画委員会」を運営した。令和 3 年度は委員 16 名により組織し、事業部、広報部、研修部の 3 部会に分れて活動した。基本的に毎月第 3 水曜日に定例会を開催し、その他必要に応じて各部会を開催し事業を推進した。

◇男女共同参画情報紙「ぱれっと vol.22・23」の発行

男女共同参画市民企画委員会広報部が中心となり、企画から取材、編集までを手がけ、情報紙を発行し、市内全戸（約 39,000 戸）に配布した。

「ぱれっと vol.22」 ・令和 2 年 11 月に実施した男女共同参画に関する市民意識調査結果（抜粋）
・手と手「ワーク・ライフ・バランスを目指して」
・男女共同参画セミナーのお知らせ ・男女共同参画パネル展

「ぱれっと vol.23」 ・日本女性会議 2021 in 甲府
・男女共同参画セミナー（クリスマスコンサート）
・男女共同参画推進事業所表彰
・手と手「いきいき元気をお手伝い」
・ちょっと気になる男女共同参画 ・困ったときの相談窓口

◇男女共同参画週間記念講演会の開催

例年、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念に関する理解を深めるための「男女共同参画週間」に併せ、男女共同参画推進のための施策を広く市民へ啓発することを目的として、記念講演会を実施しているが、令和３年度については新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となった。

◇男女共同参画パネル展示

男女共同参画週間に併せて、令和３年６月 16 日（水）から、市民プラザかぞ エントランスホールにて、令和２年度の男女共同参画推進事業に関するパネル展示を行った。

◇男女共同参画セミナーの開催

	開催日・場所	内　容	講　師	参加者数
1	令和３年 12 月４日（土） 市民プラザかぞ ３階多目的ホール	コンサート 「クリスマスコンサート」	箏奏者 加須市観光大使 大川　義秋　氏	88 人

◇「みんなでフォーラム in かぞ」の開催

例年、男女共同参画市民企画委員会事業部が中心となり、企画から実施まで手がけ、「みんなでフォーラム in かぞ」を開催しているが、令和３年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会等を中止し、男女共同参画推進事業所表彰のみ実施した。

日　　時　令和４年１月 24 日（月）13:00～

場　　所　本庁舎 ３階 庁議室

表彰事業所（2 事業所）　沼口米菓株式会社、社会福祉法人さきたま会みずほの里

◇男女共同参画週間記念講演会・セミナー・フォーラム参加者数の推移

（単位:人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
男女共同参画週間記念講演会	140	95	138	－	－
男女共同参画セミナー	133	150	200	11	88
みんなでフォーラム in かぞ	161	184	166	－	－

◇加須市大利根男女共同参画連絡協議会への支援

補助金交付額　（単位:円）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

会員数　（単位:人）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
640	618	710	672	567

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名	ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）等相談事業		
担当課	人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2521-04
款 03	民生費	当初予算額	492,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	492,000円
目 08	男女共同参画費	決算額	489,684円
事業の目的	配偶者等男女間の暴力を防止・廃絶するため、男女が共に自立し、対等なパートナーとして生活できる社会を構築する。	事業の概要	女性センターでの相談員による、女性ホットライン（電話相談）で、子育ての悩み・家庭不和・就業支援など、女性に係る各種相談に対し、的確な支援対応に努める。また、市においてＤＶネットワーク会議を開催し、関係各課・機関との情報の共有を図る。 さらに、第２次ＤＶ防止基本計画を踏まえ、市民からの相談や援助要請などに迅速に対応する。

事業の実績・成果

○相談事業

配偶者等からの暴力（以下ＤＶという）等に対する電話相談事業の充実を図り、関係機関との連携により相談者への的確な支援を行うことにより、ＤＶ被害の防止、抑制に努めた。

◇相談件数の推移　（単位:件）

女性ホットライン（電話）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
	202	199	186	199	172

※電話相談172件中ＤＶ相談８件

※毎週月曜日　9：00～16：00（年末年始を除く）

女性相談員による相談業務（令和３年度実施日数51日）

◇一時保護施設入所件数の推移　（単位:件）

一時保護施設入所数	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
	0	1	1	1	0

◇ＤＶネットワーク会議

ＤＶ被害者に関する情報を関係機関及び関係各課に提供・共有化を図り、個別の事案に対しての的確な支援方法及び連携関係を構築するための会議を実施した。

１　日　　時　令和３年４月23日（金）9：00～
　　場　　所　本庁舎５階 505会議室
　　関係課等　市民相談室・市民課・子育て支援課・こども保育課・地域福祉課・生活福祉課・障がい者福祉課・高齢介護課・いきいき健康長寿課・騎西総合支所地域振興課・騎西総合支所市民福祉健康課・北川辺総合支所地域振興課・北川辺総合支所市民福祉健康課・大利根総合支所地域振興課・大利根総合支所市民福祉健康課・学校教育課
　　内　　容　①ＤＶ被害者支援に必要な共通確認事項について
　　②令和２年度加須市におけるＤＶ被害者支援の状況について
　　③意見交換

２　日　　時　令和４年３月18日（金）10：30～
　　場　　所　本庁舎５階 505会議室
　　関係課等　加須警察署生活安全課、関係課（同上）
　　内　　容　①令和３年度の加須市におけるＤＶ被害者支援の状況について
　　②警察署におけるＤＶ相談対応の流れについて
　　③住民基本台帳事務における支援措置について

事業名	女性人材育成事業		
担当課	人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2523-01
款 03	民生費	当初予算額	1,749,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	1,749,000円
目 08	男女共同参画費	決算額	1,725,000円
事業の目的	女性の社会参画を促すため、リーダーの資質を備えた人材の発掘及び能力向上を図り、よりよいまちづくりを目的とした女性団体の活発な活動を支援する。	事業の概要	各女性団体間の連携や会員の男女共同参画に対する意識を高めるために、合同研修会の開催などを通じて地域における女性人材の育成を促進する。

事業の実績・成果

○女性リーダー研修会

本市における男女共同参画の推進にあたり、女性団体の指導的な役割を担う人材の主体的な活動が必要であるため、関係者の資質の向上を図ることを目的として、女性リーダー研修会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

（当初予定）

日　時　　令和４年２月３日（木）10：30～
場　所　　市民プラザかぞ ５階 女性・青年センター活動室
講　師　　高倉　恵子氏
テーマ　　傾聴力スキルアップ研修

○女性団体補助金交付

各女性団体に対し積極的な地域活動の支援と男女共同参画行政への協力を図るため、補助金を交付し、事業推進を支援した。

１　かぞ地域女性会連合会・各地区女性会

部会活動(健康推進部・環境部・福祉部等)、広報紙の発行、地域活動・行事(快適かぞ市民活動等)、全地婦連や県婦連の会議・研修会などの活動を実施した。その他、行事への参加（市民平和祭、体育祭等）の活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

２　加須市騎西女性団体連絡協議会

地域活動・行事への参加(銀杏祭)、視察研修会の開催などの活動を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

３　加須市北川辺女性団体連絡協議会

地域活動（中学校等への植栽プランターの寄贈等）の実施や、防災出前講座を開催した。その他、行事への参加、視察研修開催などの活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

４　加須市大利根連合婦人会・各地区女性会

研修会、講座（防災頭巾作り）の開催、広報紙の発行などの活動を実施した。その他、地域活動・行事(市民まつり等)の参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

（単位:円）

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補助金交付額	全域		1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000
	加須地域	かぞ地域女性会連合会	805,000	805,000	805,000	805,000	805,000
		各地区女性会(6地区)	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000
	騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	241,000	241,000	241,000	241,000	241,000
	北川辺地域	加須市北川辺女性団体連絡協議会	213,000	213,000	213,000	213,000	213,000
	大利根地域	加須市大利根連合婦人会	274,000	274,000	274,000	274,000	274,000
		各地区女性会（2地区）	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000

（単位：人）

				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
会員数	全域			1,564	1,546	1,546	1,516	1,423
		加須地域	かぞ地域女性会連合会	504	491	479	462	453
		騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	291	285	268	267	232
		北川辺地域	加須市北川辺女性団体連絡協議会	146	147	156	144	136
		大利根地域	加須市大利根連合婦人会	623	623	623	643	602

○加須市女性団体合同研修会

市内各女性団体間の連携・協働体制の強化や、会員の男女共同参画に対する意識の向上を図ることを目的として、加須市女性団体合同研修会を開催した。

日　時　　令和3年11月18日（木）13:30～
場　所　　市民プラザかぞ 3階 多目的ホール
講　師　　株式会社ＴＡＰ＆ＳＡＰ　代表取締役 井原　愛子　氏

○加須市女性人材リスト

審議会等委員の選任の際、積極的に女性の登用を行えるよう女性人材リストの充実、活用を図ることを目的とし、人材リスト登録者を増やすため情報収集を行うとともに、女性人材リスト活用の推進に努めた。

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録者数	71	61	62	55	55

事業名		女性センター等運営事業		
担当課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2523-02
款	03	民生費	当初予算額	461,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	461,000円
目	08	男女共同参画費	決算額	407,781円
事業の目的	男女共同参画社会の実現を目指し、市民団体並びに相談者等の方々の利便を高めるため、男女共同参画社会推進のための拠点施設である女性センターを適切に運営する。		事業の概要	女性センター談話室、青年センター談話室、印刷室、ロッカー等の適切な管理運営を行う。

事業の実績・成果

女性センター等管理運営事業

女性団体やボランティア団体が活動するスペースの提供や印刷室の管理運営を行い、各グループの自主的な活動を支援した。

◇女性センター各利用数の推移

女性センター利用数		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	女性センター談話室(人)	1,513	1,697	1,390	479	742
	青年センター談話室(人)	2,824	2,864	3,317	1,023	1,741
	コピー(枚)	9,470	8,954	6,927	2,417	3,457
	リソグラフ(件)	540	374	382	186	279

○託児室のおむつ交換台購入

託児室のおむつ交換台が破損したため1台購入

事 業 名		ワーク・ライフ・バランス推進事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	2524-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	24,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	24,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	14,075 円

事業の目的	働く人が意欲を持って仕事に取り組むことができ、かつ家庭や地域においても役割と責任を果たすことができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のとれる男女共同参画社会の構築を目指す。	事業の概要	男女ともに仕事や子育てなど自らの希望する生活バランスが得られるよう、「男女共同参画推進事業所表彰」の周知などを通じて意識改革に向けた取組を行う。

事業の実績・成果

○市内商工業者対象チラシ配布

勤労者の労働と家庭生活の両立のため、雇用者側の理解や職場環境を向上させるための啓発を行った。

・商工会会員事業所　2,300 社
・商工会未加入事業所　1,100 社

○男女共同参画推進事業所表彰

令和 4 年 1 月 24 日（月）開催の、男女共同参画推進事業所表彰表彰式において、2 事業所を表彰し、男女共同参画情報紙「ぱれっと」に掲載のうえ全戸配布することにより、市民や他の事業所の「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」について意識啓発を図った。

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
表彰事業所	件数(件)	2	3	2	3	2
	表彰事業所名	ウム・ヴェルト㈱ こうの経営グループ	ブリヂストン BRM（株） Step up consulting（株） 介護老人保健施設 虹の園	ﾀﾞｲｴｰｳｴﾝﾀｰﾌﾟﾗｲｽﾞ㈱ ㈱ハマ電子	(株)大橋製作所 ラビエスト(株) 日本カードプロダクツ(株)	沼口米菓(株) (福)さきたま会　みずほの里

事 業 名		子ども・子育て支援計画進行管理事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2111-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	204,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	204,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	0 円

事業の目的	子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども及びその保護者に必要な子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うために策定した、第２期子ども・子育て支援計画を着実に実行することにより、「子育てするなら加須」と言えるような子育て支援のまちを実現する。	事業の概要	各年度の実施状況を把握、点検し、子ども・子育て会議において報告のうえ、市民に公表する。 ・計画期間：令和２年度～令和６年度

事業の実績・成果

第２期加須市子ども・子育て支援計画（令和２年度～令和６年度）における、令和２年度の実施状況を関係各課へ照会し取りまとめたところ、目標を達成及び概ね達成したのは全事業の９２％であった（実施状況等は以下のとおり）。この実施状況を加須市子ども・子育て会議に報告し、併せて市のホームページで公表した。

・加須市子ども・子育て会議　第１回会議（書面）（決議日：令和３年１０月４日）

令和２年度　第２期加須市子ども・子育て支援計画の施策の進捗状況評価一覧表

（上段は再掲を含む取組数）（単位：件）

基本目標	取組数	取組に対する評価数（%）					
		1	2	3	4	5	6
1　子育て家庭への人的・経済的支援	114	59（60%）	32（33%）	7（7%）	0（−%）	0（−%）	16
	（うち再掲47）	（うち再掲29）	（うち再掲13）	（うち再掲2）			（うち再掲3）
2　親と子の健康づくり	33	15（54%）	7（25%）	5（18%）	1（3%）	0（−%）	5
	（うち再掲13）	（うち再掲5）	（うち再掲6）	（うち再掲2）			
3　ワーク・ライフ・バランスの子育て支援	47	30（67%）	11（24%）	4（9%）	0（−%）	0（−%）	2
	（うち再掲21）	（うち再掲14）	（うち再掲5）	（うち再掲1）			（うち再掲1）
4　教育環境の充実	68	18（44%）	22（54%）	1（2%）	0（−%）	0（−%）	27
	（うち再掲20）	（うち再掲7）	（うち再掲6）				（うち再掲7）
5　安全で安心な生活環境の充実	34	15（58%）	8（31%）	3（11%）	0（−%）	0（−%）	8
	（うち再掲7）	（うち再掲1）	（うち再掲2）				（うち再掲4）
6　子どもの貧困対策の推進	45	30（77%）	8（21%）	1（2%）	0（−%）	0（−%）	6
	（うち再掲41）	（うち再掲28）	（うち再掲8）				（うち再掲5）
合　計	341	167（60%）	88（32%）	21（7%）	1（1%）	0（−%）	64
再掲を除く合計	192	83（56%）	48（32%）	16（11%）	1（1%）	0（−%）	44

※各基本目標の総取組数から評価６の取組数を差し引いた上で、評価数（%）を算出した。

※令和２年度評価基準
１… 目標を達成（事業実施による効果が表れた。【実績値が１００％以上】）
２… 概ね達成（事業実施による効果が概ね表れた。【実績値が８０％以上】）
３… やや遅れている（事業実施による効果が小さかった。【実績値が８０％未満】）
４… 大幅に遅れている（事業実施による効果が表れなかった。【実績値が５０％未満】）
５… 未着手（事業の着手が出来なかった。）
６… コロナによる影響（上記３～５までの評価をした事業であって、コロナの影響を受けた。）

事 業 名		家庭児童相談事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2111-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,303,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,320,332 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	4,167,174 円
事業の目的	家庭での子どもに関するさまざまな問題に、専門の相談員を配置し、児童の福祉の向上を図る。	事業の概要	・家庭における児童の福祉に関する相談指導業務。 ・すくすく子育て相談室で 3 名の児童相談員が、家庭における児童の養育に関し、相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図る。月曜日～金曜日 9 時～16 時まで。	

事業の実績・成果

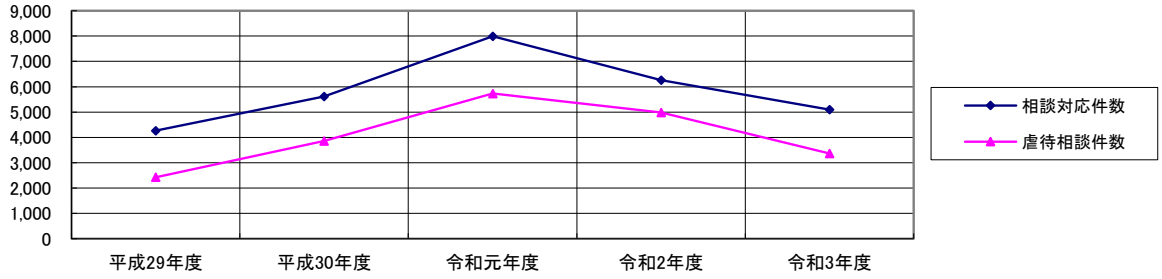
相談員 3 人体制で、家庭における児童養育等に関する相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図った。相談員の家庭訪問等による児童や家族の支援を継続した。

・家庭児童相談員　3 人（交代で週 3 日勤務）

・開設日・時間　　月～金曜日、午前 9 時～12 時、午後 1 時～4 時

相談内容・延べ件数の推移　（単位：件）

	性格・生活習慣等	知能言語	学校生活等			非行	家族関係		環境福祉	障害	その他	計
			人間関係	登校拒否	その他		虐待	その他				
平成 29 年度	21	0	0	28	2	0	2,425	1,639	64	0	88	4,267
平成 30 年度	1	0	0	23	0	2	3,857	1,409	261	48	15	5,616
令和 元年度	0	0	0	12	0	0	5,734	2,033	151	18	45	7,993
令和 2 年度	0	0	0	18	0	0	4,982	1,193	61	11	0	6,265
令和 3 年度	0		0	0	0	0	3,359	1,408	275	19	30	5,091



令和 3 年度の相談対応件数及び虐待相談件数は減少しているが、継続的に支援を必要とする家庭が年々増加し、問題が複雑化しているため、複数の関係機関と連携する必要があり日々対応を行っている。

新型コロナウイルス感染拡大防止予防のため実務者会議は 3 回中止になったが個別ケース検討会議（随時）を開催し、各関係機関と適切な対応を図るための情報交換を行った。家庭訪問や面接等も行い、児童の安全の確認や保護者の養育相談等を積極的に行っている。

事 業 名		子育て総合相談事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2111-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	6,477,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	6,477,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	6,139,812 円
事業の目的	安心して子どもを産み育てられるよう、保護者の身近な場所で、子育ての相談や助言、情報提供、関係機関との連携により、妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談支援を行う。		事業の概要	すくすく子育て相談室において、妊産婦と乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や関係機関との連絡調整を行い、母子保健と子育て支援との一体的な提供を通じて包括的な支援を行う。

事業の実績・成果

平成30年4月、加須版ネウボラとなる子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の2つの機能を併せ持つ「すくすく子育て相談室」を開設し、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行った。

1　すくすく子育て相談室の概要

(1)子育て世代包括支援センター

○母子保健コーディネーター3名（会計年度任用職員：保健師、助産師）

母子健康手帳の交付時に全ての妊婦に対して面談を行い、支援が必要な家庭と判断した場合には、妊娠・出産・育児に関する「支援プラン」を作成し、情報提供やアドバイスを行うほか、関係機関と連携し、その家庭の状況に適したサービスを提供して支援を行った。

○子育てコンシェルジュ1名（再任用職員：保育士）

子育てに関する様々な福祉サービスの情報を提供し、サービスを利用する場合は関係機関の申請につなげるなど、きめ細やかな相談支援を行った。

(2)子ども家庭総合支援拠点

○家庭児童相談員（子ども家庭支援員）3名（会計年度任用職員：教員免許、保育士免許所有者）

○虐待対応専門員2名（正職員：社会福祉士）

児童及び妊産婦等を対象に支援や保護が必要な子どもなどへの支援や児童相談所との連携を行い専門的な相談に応じ、家庭訪問等による継続的な支援業務を行った。

2　相談実績

(1)子育て世代包括支援センター（妊娠・出産・子育ての相談）：延べ相談件数　2,069件

主な内訳：母子健康手帳について　518件（うち支援プラン作成79件、15.3%）

予防接種について　510件

その他（健診案内等）　1,041件

(2)子ども家庭総合支援拠点（児童虐待等の相談）：延べ相談件数　5,091件

主な内訳：児童虐待関係　3,359件

その他（養育に欠ける問題等）　1,732件

(3)オンライン相談：0件

令和2年度より感染防止に配慮してオンラインを活用した相談業務を開始し、相談支援体制の強化とその他支援サービスとの連携を図った。

来所や面談による相談では、体調不良やウイルス感染等のリスクを伴うため、電話やメールの他、感染防止に配慮した相談支援体制が求められており、オンラインを活用した相談事業を実施するための環境を整備し、相談支援体制の強化とその他支援サービスとの連携を行う。

事業名	子育てワクワク情報提供事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2111-11
款	03	民生費	当初予算額	3,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	3,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	0円
事業の目的	各事業情報を集約して、市ホームページ等を活用し、情報提供し、子育てを支援する。	事業の概要	・市ホームページの子育てイベントカレンダー、かぞホッとメール配信サービス、窓口でのわかりやすい各種パンフレットの配置等を活用した事業の周知を行う。 ・子育てガイドブックを配布し子育て情報を広く周知する。 ・子育て支援に関するパネル展示する。	

事業の実績・成果

〇かぞホッとメール（子育て情報メール）の配信

登録者に対し、子育てイベント情報・子どもの健康に関する情報・医療機関情報等の即時性の高い情報を配信した。

メール配信登録者数　2,719人　メール配信件数　161回

〇親子ふれあい事業への参加

子育て中の皆さんに向けた情報発信の一環として、地域で展開中の子育て支援の取組みや加須市のサービスをＰＲするため、関係団体にパネル作成を依頼し、情報展示や子育て支援関連チラシの配布を行った。

事業名	子育て支援管理事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2111-12
款	03	民生費	当初予算額	104,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	104,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	68,004円
事業の目的	子育て支援事業を適正、効果的に実施する。	事業の概要	子育て支援事業にかかる管理運営経費	

事業の実績・成果

経常経費の効率的、効果的な支出を行った。

消耗品費：68,004円

事業名	産後支援ヘルパー派遣事業				
担当課		子育て支援課		総合振興計画コード	2112-01
款	03	民生費		当初予算額	390,000円
項	02	児童福祉費		最終予算額	476,708円
目	01	児童福祉総務費		決算額	476,708円
事業の目的	核家族化や子育ての孤立化が進行する中、産後支援ヘルパーを派遣し、出産後間もない産婦に対し、安心した環境で子育てができるよう支援する。		事業の概要	出産後、家事援助が受けられない者に対し、緊急時を含め社会福祉協議会との調整をし、1日1回（30回を限度）、午前9時から午後5時までの2時間の間、食事の世話、衣類の洗濯、住まい等の清掃、買い物、沐浴の補助等の支援をする。	

事業の実績・成果

出産後、家族等から家事援助等が受けられず、日常生活を営むのに支障がある家庭に対して、ホームヘルパーを派遣し、家事援助による子育て支援を行った。すくすく子育て相談室、加須保健センター、市民課、各総合支所市民福祉健康課で事業のチラシを配布し周知を図ることで申請数は前年度より増加した。令和3年度も新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施した。

委託先：（社）加須市社会福祉協議会

派遣世帯数・事業委託費の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
派遣世帯数（世帯）	7	11	5	6	10
派遣日数（日）	78	167	39	68	121
派遣時間（時間）	123	284	62	112	165
事業委託費（円）	183,410	573,316	128,492	91,378	340,610

事業名	産後サポート事業				
担当課		子育て支援課		総合振興計画コード	2112-02
款	03	民生費		当初予算額	101,000円
項	02	児童福祉費		最終予算額	101,000円
目	01	児童福祉総務費		決算額	93,500円
事業の目的	子育てに関する不安や悩みに対して、専門職が不安や悩みに傾聴し、寄り添いの相談支援を行うことにより、産婦が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるよう支援する。		事業の概要	産後の不安や負担軽減のため、集団来所による市が運営するHappyママくらぶ（産後をサポートする教室）を月1回行う。	

事業の実績・成果

乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことにより、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、子どもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

1　Happyママくらぶ ～産後をサポートする教室～
生後1年未満の母子を対象に、母子のケアおよび育児の学習会を集団で行う
一組5回まで利用可
新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数（回）	12	12	12	9	11
参加延人数（人）	177	299	160	39	104

事業名	産後ケア事業			
担当課		子育て支援課	総合振興計画コード	2112-03
款	03	民生費	当初予算額	889,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	972,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	505,894円
事業の目的	子育てに関する不安や悩みに対して、専門職が不安や悩みに傾聴し、寄り添いの相談支援を行うことにより、産婦が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるよう支援する。		事業の概要	産後の不安や負担軽減のほか、授乳が困難なまま退院し授乳に支援が必要な者などへ、委託した助産師の家庭訪問、委託した医療機関での通所サービスを行い身体的回復のための支援、授乳の指導、乳房ケア等を行う。

事業の実績・成果

乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことにより、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、子どもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

1　産後ケア（訪問型）【令和元年度（平成31年4月1日）開始】
生後1年未満の母子を対象に、助産師が自宅へ訪問し、保健指導等産後のケアを行う
一組7回まで利用可（デイサービス型との併用可）
新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
申込数 (組)	6	6	13
利用数 (組)	3	4	6
利用回数 (延)	8	12	19

＊申請日と利用日で年度が違う場合は、それぞれの年度で集計

2　産後ケア（デイサービス型）【令和元年度（令和2年1月1日）開始】
生後1年未満の母子を対象に、委託医療機関（スピカレディースクリニック）において、産婦の休息と沐浴等産後ケアを日帰りで行う
一組7回まで利用可（訪問型との併用可）
新型コロナウイルス感染症感染予防のため、受入を週1回、1組に限定して実施

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
申込数 (組)	2	2	9
利用数 (組)	0	2	0
利用回数 (延)	0	6	0

＊申請日と利用日で年度が違う場合は、それぞれの年度で集計

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名		子育て短期預かり事業		
担当課		子育て支援課	総合振興計画コード	2112-07
款	03	民生費	当初予算額	1,244,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,244,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	138,750円
事業の目的	育児疲れや仕事、学校等の公的行事への参加のため、一時的に子どもの養育が困難になったときに市が委託した施設で預かり、養育困難時の子育てを支援することで子育て支援の充実を図る。		事業の概要	保護者の病気、育児疲れ、学校行事への参加等により養育が一時的に困難となる児童を、委託先の愛の泉で預かる事業。 ・ショートステイ…0歳～18歳未満、7日間まで、食事あり ・トワイライトステイ(平日夜間＝学校等終了後～午後9時)…3歳～小学生、食事あり ・ホリデーステイ(午前8時30分～午後9時)…3歳～小学生、食事あり

事業の実績・成果

育児疲れや就労の理由での利用が主であるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言発出に伴い休止し、令和2年7月頃より、利用マニュアルの見直しを図り、感染対策を講じた上で事業を開始している。

ショートステイの利用日数が令和2年度の36日から14日に減少、ホリデーステイは4日から20日に増加している。

ショートステイ委託先：(福) 愛の泉　愛泉乳児園（2歳未満)、愛泉寮（2歳以上)
トワイライトステイ委託先：(福) 愛の泉
ホリデーステイ委託先：(福) 愛の泉

利用日数・委託額の推移

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用日数(日)	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	240	191	152	36	14
	ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ	20	0	0	0	0
	ﾎﾘﾃﾞｰｽﾃｲ	26	44	30	4	20
委託額(円)	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	1,133,750	954,700	712,150	190,500	52,500
	ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ	24,000	0	0	0	0
	ﾎﾘﾃﾞｰｽﾃｲ	94,250	187,500	122,750	12,750	86,250

事 業 名		訪問支援ホームスタート事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2112-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,537,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,537,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	1,517,000 円
事業の目的	6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援する。		事業の概要	・6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが無料で訪問する。 ・週に 1 回、2 時間程度（全 6 回程度の訪問、達成状況を把握しながら、延長について確認する。） ・地域子育て拠点事業補助金の「機能強化型分」を活用し、ホームスタートを実施する関係機関へ助成する。

事業の実績・成果

1　訪問実績

ホームスタートの研修を受けた「ホームビジター」が、調整役の「オーガナイザー（専門職）」と一緒に子育て中の家庭を訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援を行った。

訪問件数　　17 件　　延べ 26 回

2　公開講座

新型コロナウイルス感染症対策のため未実施。

事 業 名		子育て支援タクシー事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2112-09
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,256,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	5,136,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	0 円
事業の目的	出産後の子育て世帯の経済的不安を軽減し、安心・安全な子育てを支援する。		事業の概要	１歳未満の児童が、医療機関へタクシーで通院した際の料金の一部を助成する。 ・対象児童の出生日から１歳に達した日の前日までに利用したタクシー利用料金 ・タクシーの利用１回につき助成対象費用又は７３０円のいずれか低い額 ・１子につき１２回の利用を上限

事業の実績・成果

令和 3 年度新規事業として、令和 3 年 4 月 1 日以後におけるタクシーの利用について、1 歳未満の児童が、医療機関へタクシーで通院した際の料金の一部を助成するための経済的支援を開始した。

広報かぞ・市ホームページへの掲載及び窓口で助成対象者に事業チラシを配布するなど、制度の利用を促進した。

1　申請件数　　0 件

2　事業廃止　　令和 4 年 3 月 31 日までに出生した児童まで
※利用料の助成については、対象児童の出生日から１歳に達した日の前日までに利用したタクシー利用料金まで適用する。
※令和 4 年度当初予算「妊婦応援事業」で対応

3　助 成 額　　タクシーの利用 1 回につき助成対象費用又は 730 円のいずれか低い額
※1 子につき 12 回の利用を上限

事 業 名		子育て支援医療費支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2113-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	336,972,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	336,972,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	293,511,321 円
事業の目的	子育てに係る経済的な支援のひとつとして、医療費の一部を支給することにより、保護者の経済的負担を軽減し、児童の保健の向上と福祉の増進を図る。	事業の概要	支給対象年齢：15 歳（中学校修了まで） 支給方法：令和 4 年 10 月から県内で現物給付。（現物給付の利用上限 21,000 円）。 県補助：入院・通院共に就学前まで 市単独：入院・通院共に中学校修了まで	

事業の実績・成果

中学校修了までの方の医療費自己負担分を支給することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。

1　事業内容

(1) 支給対象　　市内に住所を有し、医療保険に加入している乳幼児及び児童・生徒
重度心身障害者医療費支給事業、ひとり親家庭等医療費支給事業の対象者は除く。

(2) 支給内容　　医療保険制度の適用となる全疾病（治療用補装具を含む）を対象に一部負担金を補助する。

(3) 支払方法　　市内は現物給付、その他は償還払い（現物給付の利用上限を 21,000 円とする）。

(4) 費用負担　　県：1/2（県補助対象分（入院・通院ともに小学校就学前まで）の支出に対して）

2　支給件数・支給金額の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
支給件数（件）	161,758	163,061	159,992	119,123	131,587
支給金額（円）	323,272,494	323,478,063	326,646,683	249,260,379	285,242,276

事 業 名		未熟児養育医療給付事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2113-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,218,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	5,760,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	5,613,091 円
事業の目的	医師が入院養育を必要と認めた新生児・幼児の保健の向上と、保護者の経済的負担の軽減を図るため、養育医療費を給付する。	事業の概要	・対象児童：医師が入院養育を必要と認めた市内居住の１歳未満の新生児、乳児 ・給付方法：保護者の申請に基づき医療券を交付し、指定医療機関にて受けた養育医療に対して給付を行う。	

事業の実績・成果

埼玉県からの権限委譲を受け、平成25年4月1日より市の事業として事務処理を行っている。

1　事業内容

(1) 支給対象　　市内に居住し、医師が入院養育を必要と認めた満１歳未満の未熟児

(2) 支給内容　　指定養育医療機関で行う入院治療のうち、「診察」「薬剤又は治療材料の支給」「医学的処置、手術その他の治療」「病院または診療所への入院」「移送」が対象

(3) 支払方法　　市へ申請後、医療券の交付を受け、指定医療機関にて養育医療の給付を受ける。

(4) 費用負担　　世帯構成員の所得に応じた自己負担額を支払う。

2　支給件数・支給金額の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支給件数(件)	47	67	54	66	64
支給金額(円)	4,797,432	5,357,367	4,559,853	5,527,472	5,610,896

事業名	遺児手当事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2113-07
款	03	民生費	当初予算額	3,078,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	3,078,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	2,859,000円
事業の目的	遺児の保護者に手当を支給し、子育て中の遺児家庭を経済的に支援し、児童の健全な育成を図る。	事業の概要	父母の一方又は父母がともに死亡した義務教育修了前の児童を監護・養育している方に児童1人につき月額3,000円の手当を支給する。 所得制限なし	

事業の実績・成果

遺児に対して遺児手当を支給することで、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費とともに、ひとり親家庭等を経済的に支援し、児童の健全な育成を図った。

1　事業内容

(1) 支給対象者　父母の一方又は父母がともに死亡した児童の保護者
(2) 支給内容　児童1人につき月額3,000円
(3) 支給期間　義務教育修了前まで
(4) 所得制限　なし
(5) 支払方法　2期に分けて支給（9月、3月）

2　対象世帯数・対象児童数・延児童数・手当支給額の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象世帯数（世帯）	64	59	55	60	57
対象児童数（人）	96	83	82	91	85
延児童数（人）	1,032	964	885	979	953
手当支給額（円）	3,096,000	2,892,000	2,655,000	2,937,000	2,859,000

事業名	誕生記念祝事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2113-08
款	03	民生費	当初予算額	6,500,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	6,500,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	6,050,000円
事業の目的	出産に対して祝意を表するとともに、出産後の経済的不安を軽減し、安心してよりよい子育てが行えるよう支援する。	事業の概要	出生届の手続きを行った保護者に対し、児童手当や子育て支援医療費の申請時に出生児童1人につき10,000円分の絆サポート券を支給する。	

事業の実績・成果

出生児童1人につき、絆サポート券10,000円を贈呈し、出産後の経済的不安の軽減を図った。

1　事業内容

（1）支給対象　市内に在住し、出生後最初の住民登録を市内にした新生児を出産した者またはその配偶者
（2）支給内容　記念品（絆サポート券　10,000円分／1児童）

2　支給実績

（1）誕生祝記念　605件

事 業 名		多子世帯学童保育料軽減事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2113-09
款	03	民生費	当 初 予 算 額	7,342,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	7,342,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	5,940,831 円
事業の目的	複数の子どもを育てている家庭に対し、経済的な支援を行う。		事業の概要	兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成室を利用の場合、2 人目の保育料を半額、3 人目以降の保育料を無料とする。 公立放課後児童健全育成事業では、保育料算定時に保育料を軽減する。 民間放課後児童健全育成事業では、公営の保育料軽減額を上限に市が民間放課後児童クラブへ補てんする。

事業の実績・成果

放課後児童健全育成事業を利用する多子世帯等の保護者に対し保育料を減免し、また、当該事業を実施する民間事業者が多子世帯等の保護者に対し保育料を減免した場合に、その減免分を補助することで、多子世帯等の経済的負担の軽減を図った。

1　事業内容

(1) 減免対象

・兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成事業を利用している世帯

・生活保護受給世帯

(2) 減免内容

【公立放課後児童健全育成事業】

・同時入室第 2 子の保育料を半額減額

・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額

【民間放課後児童健全育成事業】

・同時入室第 2 子の保育料の半額減額（上限 4,000 円）

・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額（上限 8,000 円）

・生活保護受給世帯の保育料全額減額

2　減免額

事業名	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
公立放課後児童健全育成事業	4,300,500 円	4,370,000 円	4,016,500 円	4,363,800 円
民間放課後児童健全育成事業	6,614,475 円	6,871,025 円	5,044,275 円	5,940,831 円

※公立放課後児童健全育成事業では、減免後の額で保育料を徴収している為、当事業の決算額には含まれません。

事 業 名		子育てのための施設等利用費支給事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2113-11
款	03	民生費	当 初 予 算 額	81,198,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	81,198,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	63,694,750 円
事業の目的	幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用費を無償化し、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図る。		事業の概要	無償化に必要な施設等利用給付認定を行い、請求に基づき給付費を支払う。 保育所、幼稚園、認定こども園等の保育料のほか、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用料を無償化する。 無償化の対象は3歳児クラスから5歳児クラスの子ども全員と、0歳児クラスから2歳児クラスの住民税非課税世帯の子ども。

事業の実績・成果

無償化に必要な施設等利用給費認定について申請に基づき審査し、該当者全員を認定した。
令和元年10月の無償化以降について、請求分の給付費を執行した。

支出金額

	令和元年度（10月1日～）	令和２年度	令和３年度
施設　（円）	26,858,360	50,657,100	58,761,100
保護者（円）	1,717,660	3,404,625	4,933,650

事 業 名		にぎやか家庭子育て応援事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2113-14
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,261,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,381,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	1,331,650 円
事業の目的	少子化で子どもの数が少なくなる中、子どもをたくさん産み育て、市の人口減少の歯止めと活性化に貢献している家庭を励まし、子育てを応援する。		事業の概要	・同一世帯に１８歳までの児童がいる家庭に第３子以降の子どもが誕生した際に絆サポート券（10,000円分）を支給する。 ・０歳～１５歳までの児童を５人以上養育している家庭に対し、記念品（10,000 円分の絆サポート券）を添えて表彰する。

事業の実績・成果

表彰や記念品の贈呈を通して「子どもを産み育てやすいまち」をアピールすることができた。また、絆サポート券を記念品として支給することで、多子家庭の支援と地域の活性化を図った。

1　事業内容

（1）にぎやか家庭表彰　市内に在住し0歳～15歳までの児童5人以上を養育している家庭を表彰し、記念品（絆サポート券　10,000円分/1家庭）を贈呈

（2）絆サポート券支給　市内に在住し第3子以降（0歳～18歳までの児童で）の子どもが誕生した家庭に記念品（絆サポート券　10,000円分/1家庭）を贈呈

2　事業実績

（1）にぎやか家庭表彰

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支給件数（件）	6	3	4	3	1

（2）絆サポート券支給

	令和3年度
支給件数（件）	132

事 業 名		教育・保育に係る教材費等補助事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2113-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,380,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,380,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	2,366,575 円
事業の目的	生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の幼稚園・保育所等の利用にかかる実費負担を軽減し、これら世帯の幼稚園・保育園等の円滑な利用を図る。		事業の概要	幼稚園・保育所等を利用する生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の副食教材・行事費等の実費徴収にかかる費用の一部を補助。 加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校３年生以下の兄姉まで拡大し一部を補助。 補助限度額（月額）：副食材料費 4,500 円、教材・行事費 2,500 円

事業の実績・成果

1　生活保護世帯等の幼稚園・保育所等の利用に伴う副食材料費、教材・行事費の一部を補助することにより、幼稚園・保育所等の円滑な利用を推進した。

補助対象者数・金額

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
補助対象児童数（人）	15	8	6	5	5
内、幼稚園（人）	3	1	1	3	3
内、保育所（人）	12	7	5	2	2
補助金額（円）	224,720	73,991	52,317	24,874	27,530
内、幼稚園（円）	117,632	38,561	33,757	15,000	17,450
内、保育所（円）	107,088	35,430	18,560	9,874	10,080

2　未移行幼稚園を利用する年収 360 万円未満世帯及び小学校３年生以下の兄姉から数えて第３子以降の副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。

補助対象者数・金額

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
補助対象児童数（人）	16	26	15
補助金額（円）	292,032	754,968	711,750

3　加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校３年生以下の兄姉にまで拡大し、副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。

補助対象者数・金額

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
補助対象児童数（人）	22	35	31
補助金額（円）	549,000	1,430,401	1,627,295

事 業 名		子育て支援センター事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2114-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	57,269,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	58,104,991 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	51,637,009 円
事業の目的	地域における子育て支援拠点としてのセンターの充実を図り、子育て支援を推進する。		事業の概要	子育て中の方を対象に親子の交流の場を提供し、親子交流会、育児相談の開催、子育てサークルの育成、子育て情報の提供等を行う。 ・地域子育て支援センター：20 か所 一般型：７か所（うち公立２か所） 公立幼稚園：13 か所

事業の実績・成果

子育て支援センターに運営費を助成し、地域における子育て支援を推進した。また、オンライン導入のための県主催研修に参加し、スキルアップを図った。

１　子育て支援センター助成　　38,361,000 円

（１）子育て家庭への支援活動を企画する職員を配置し、育児に対する相談・子育てサークル等への支援・特別保育事業の積極的な取り組みなどを行うことにより育児支援を行った。

（２）対象施設

子育て支援センター愛の泉ふれあいホーム・加須保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・吉川保育園・北川辺子育て支援センター・大利根子育て支援センター

（３）事業内容

	年間開所日数(日)	年間延利用者数(人)	主な事業内容
愛の泉ふれあいホーム	256	1,889	育児相談（面接相談、電話相談） 子育て支援、親子製作・遊び等
加須保育園	228	4,386	
花崎保育園	290	61	
三俣第一保育園	230	805	
吉川保育園	142	91	
北川辺子育て支援センター	238	1,161	
大利根子育て支援センター	292	3,909	

※新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施（予約制・人数制限等）

２　オンライン導入支援講座（埼玉県主催）への参加

新型コロナウイルス等感染リスク等を鑑み、自宅にいながら支援が受けられるよう拠点と各家庭が繋がる手段として、オンラインによる活動を推進するため、埼玉県主催による子育て支援センタースタッフを対象とした研修へ参加しスキルアップを図った。

３　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		子育てサロン事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2114-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	223,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	223,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	34,385 円
事業の目的	各地域で活動する子育て支援団体の連携により、子育てに関する情報の共有化を図るとともに、子育て家庭の現状と課題を把握し、地域ぐるみで子育てを支援する体制づくりと意識の醸成を図る。		事業の概要	子育て中の親子を対象に子育て相談や情報交換等の場の提供及び子育てサークル等子育てボランティアへの活動の場の提供と支援を図る。

事業の実績・成果

1　子育てサロンの運営

例年、身近な地域に親子で交流できる場所を設け、子育て支援団体等を中心にサロンを運営しているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を講じ状況に応じて実施した。

（単位：人）

No	地域名	施設名	開設日	利用者数
1	加須	花崎児童館子育てサロン	平成22年6月24日	4,867
		※ならでわの日		※0
2		市民プラザかぞ子育てサロン	平成22年10月8日	0
		※子育てワンポイントセミナー		※0
3		加須コミュニティーセンター子育てサロン	平成23年10月12日	79
4		利根川こども館子育てサロン	平成25年2月22日	10,347
5		不動岡コミュニティーセンター子育てサロン	平成25年6月23日	1,733
6	騎西	ふれあい広場	平成23年4月12日	0
7		ホップサロン	平成23年5月17日	0
8		ファミサポサロン	平成29年4月1日	0
9		あいあいサロン	平成24年5月30日	0
10	北川辺	北川辺子育てサロン	平成23年1月31日	6
11	大利根	さくらんぼ広場	平成23年1月19日	10
12		きらきらキッズ	平成23年1月19日	0
13		ポッケ	平成23年1月19日	0
合　計				17,042

※は内数

事 業 名		子育て支援ネットワーク事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2114-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	405,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	382,828 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,293 円
事業の目的	子育て支援関係団体の連携を強化して、子育て環境の充実を図り、地域での子育て支援を促進する。		事業の概要	・子育て支援団体の情報交換会、研修 ・ファシリテーターの養成 ・親支援プログラムの開催 ・チラシ、メール配信等によるイベント案内

事業の実績・成果

1　事業内容

(1) 子育て支援情報交換会・研修会・学習会

実施回数　1回　　参加人数　延べ10人参加

支援センター職員や幼稚園職員等子育て支援の現場に携わる職員等での情報交換会を実施した。

研修会・学習会については、新型コロナウイルス感染症感染予防のため中止とした。

(2)親支援プログラム講座（ノーバディズ・パーフェクト・プログラム）の開催

「完璧な親なんかいない」という理念のもと、子育て中の親を支援するカナダ生まれのプログラムを例年開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

(3)親支援プログラム フォローアップの開催（同窓会・交流会）

例年、過去に開催した同プログラムの参加者の同窓会・交流会を開催しているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防対策講じて開催を計画したが、感染状況により中止した交流会もあった。

実施　2グループ：参加者　計11名

中止　4グループ

(4) 親支援プログラム ファシリテーター研修

親支援プログラムファシリテーターとしての見識を深め、専門的な技術の習得およびスキルアップを図るため、研修への参加を推進しているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため見合わせた。

事 業 名		民間児童館助成事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2114-16
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,189,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	3,189,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,189,000 円
事業の目的	児童の健全な育成を促進するために、地域の子育て支援拠点である、みつまた児童館が実施する総合的な事業に対して助成する。	事業の概要	みつまた児童館が実施する児童の健全育成・養育に関する相談事業、地域グループの活動支援事業、異年齢交流・世代間交流事業に対し支援する。	

事業の実績・成果

子育て親子の福祉の向上を図るため、児童福祉施設併設型民間児童館事業を行う社会福祉法人加須福祉会（みつまた児童館）に対し、事業費補助金（3,000,000 円）を交付した。

また、児童館の地域組織活動育成クラブ（みつまた母親クラブ）に対し、補助金（189,000 円）を交付した。

1　施設概要

みつまた児童館（みつまた保育園に併設）

・地域の子育て支援活動の拠点のひとつとして定着

児童館利用状況　（単位：人）

開館日数（日）	幼　児	小学生	中学生	大人等	年間利用者数合計	一日平均利用者数
242	11,544	12,976	0	3,662	28,182	116

2　実施事業

(1) 放課後児童健全育成事業（みつまた児童クラブ）

(2) 地域児童育成活動支援事業

①相談事業

②啓発活動・福祉サービス利用の調整等

③地域住民による自主的活動の支援等

④関係機関等への連絡・協力

⑤地域行事との連携

(3) 児童健全育成特別事業

①子育て支援

②異年齢児との交流

③引きこもり・不登校等児童に対する支援

④思春期児童の養育の支援

事 業 名		子どもの居場所づくり事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2114-17
款	03	民生費	当 初 予 算 額	19,185,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	23,806,426 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	21,626,874 円
事業の目的	地域における子育て支援を図るため、放課後や休日の就学児童の居場所を創出する。		事業の概要	放課後や休日に就学児童が立ち寄り、その場所で一時を過ごせる子どもの居場所を公共施設等に創出する。 地域ボランティア等と協働し、「放課後子ども教室」を実施し、体験学習や遊びを提供する。

事業の実績・成果

子どもたちに健全な遊びを提供し、健康の増進や豊かな情操の育成を図るため、加須児童館、花崎児童館及び利根川こども館の3館を運営し、職員の創意工夫と地域との連携により行事やイベントを実施した。

また、放課後子ども教室の設置・運営について、学校関係者や地域住民等で構成する学区協議会を開催し、協議を行った。

また、北川辺コミュニティセンターの開設に当たり、施設内にキッズスペースを開設した（令和4年2月）。

1　児童館利用状況　（単位：人）

	開館日数（日）	幼　児	小学生	中学生	大人等	年間利用者数合計	一日平均利用者数
加須児童館	307	1,522	4,990	2,576	1,670	10,758	35
花崎児童館	307	2,240	3,903	355	2,627	9,125	30
利根川こども館	307	3,551	1,990	303	6,796	12,640	41
合　計	―	7,313	10,883	3,234	11,093	32,523	―

2　年間利用者数の推移　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加須児童館	11,574	12,459	13,121	6,955	10,758
花崎児童館	23,510	23,039	18,394	4,519	9,125
利根川こども館	25,829	25,416	21,721	6,346	12,640
合　計	60,913	60,914	53,236	17,820	32,523

3　放課後子ども教室の取組状況

	開設学校	内　　容
1	不動岡小学校	協議会を１回開催したが、新型コロナウイルス感染予防のためイベントを中止とした。
2	騎西小学校	協議会を１回開催したが、新型コロナウイルス感染予防のためイベントを中止とした。
3	田ケ谷小学校	協議会を１回開催したが、新型コロナウイルス感染予防のためイベントを中止とした。
4	大利根東小学校	協議会を２回開催したが、新型コロナウイルス感染予防のためイベントを中止とした。
5	水深小学校	学校長等と水深小放課後子ども教室学校区協議会の開催に向けた協議を進めた。

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		児童虐待防止等ネットワーク事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2114-18
款	03	民生費	当 初 予 算 額	199,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	180,680 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	173,260 円
事業の目的	保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。		事業の概要	本市の虐待防止等ネットワークを構成している機関の代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、虐待等の予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図る。 なお、児童福祉法の一部改正により、平成29年4月から、要保護児童地域対策協議会の調整機関に専門職（児童福祉司、保健師、保育士等）を配置

事業の実績・成果

児童虐待相談件数が増加し、それに伴い相談内容が複雑・多様化しているため、関係機関による個別ケース検討会議も随時開催している。問題点の整理と関係機関の役割分担を行い、虐待防止に努めている。

実務者会議、代表者会議での各関係機関との連携強化を図り、要保護児童等に対する情報交換、支援等についての協議を行い、虐待予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図っていたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため代表者会議は中止、実務者会議は3回中止で9回開催している。

また、市内小学1年生全員にクリアファイルを配布、市役所窓口にてポケットティッシュを配布し、児童虐待防止への啓発を行った。

○会議開催件数　個別ケース検討会議　36回（随時）
　　実務者会議　9回（月1回）
　　代表者会議　0回（年1回）

○実務者会議で取り扱った件数　47件
　うち、日常生活において落ちついた件数　11件（うち、転出　6件）

事 業 名		母子自立支援施設入所事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2114-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,170,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	6,127,621 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	6,127,621 円
事業の目的	保護を必要とする母子家庭に支援を行うことにより、子育て支援体制の充実を図ること、並びに、安全でかつ自立へ向けた指導が受けられるよう、生活の場を提供することを目的とする。	事業の概要	母子での生活を余儀なくされている家庭で、精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど、生活の安定が得られない母子家庭が、自立の道を歩むことができるよう母子生活支援施設で、様々な指導、支援を受けながら自立促進を図る。	

事業の実績・成果

精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど、生活の安定が得られない母子を母子生活支援施設に措置入所させることで、母子家庭の自立の促進を図る。また、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を、県から認定を受けた助産施設に入所させて助産を受けさせることで、出産に向けた心の安定と経済的不安の解消を図る。

施設入所世帯・措置費の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
措置入所世帯	0	0	0	1 世帯	1 世帯
措置費	0	0	0	1,454,556 円	6,109,301 円

令和 2 年度：令和 2 年 12 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

助産施設入所人数・措置費の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
助産施設入所人数	0	0	0	1 人	0
措置費	0	0	0	332,795 円	0

令和 2 年度：令和 3 年 1 月 5 日～1 月 13 日入院、1 月 6 日出産

事業名	母子福祉団体助成事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2114-21
款	03	民生費	当初予算額	18,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	18,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	18,000円
事業の目的	地域において児童福祉の向上を推進する団体に対する助成を行い、地域における子育て支援を促進する。	事業の概要	加須市における母子及び寡婦福祉団体への事業費補助金を交付し支援	

事業の実績・成果

母子家庭等の福祉の向上を図るため、加須市大利根母子福祉会に対して事業費補助金（18,000 円）を交付した。

会員相互の連絡を密にし、多様化する社会生活の変化に対応する新たな生活意識の熟成を図るため、同種の団体との連携や協働に努めた。

事 業 名		母子家庭等自立支援事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2122-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,242,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	11,912,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	7,997,920 円
事業の目的	母子家庭及び父子家庭の生活の安定のため、母及び父の就業を支援し、就業に有利な専門技能が持てるよう補助する。	事業の概要	・母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業　1年以上の就学で支給期間は4年が上限、給付金は市民税非課税世帯が月額100,000円（課税世帯は月額70,500円）、最終年は月額40,000円加算。 ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 修了した講座の受講料の60%（上限20万円。12,000円を超えない場合は支給なし）、一般教育訓練給付支給対象者の費用の 60%（上限 20 万円）の差額支給する。	

事業の実績・成果

○母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業

指定された講座を受講した場合に、受講に要した経費の一部（60%（12,001円以上200,000円以下））を支給し、自立を支援した。

児童扶養手当受給者、ホームページ、窓口チラシ等で事業周知のほか、関係課にも周知を依頼した。

支給支援件数　3件　77,920円

○母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業

1年以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込める場合、修業期間の全期間で促進給付金、また訓練修了後に修了支援給付金を支給し、母子家庭の自立を支援した。

児童扶養手当受給者、ホームページ、窓口チラシ等で事業周知のほか、関係課にも周知を依頼した。

高等職業訓練促進給付金支給件数　7件　7,100,000円
高等職業訓練修了支援給付金支給件数　3件　150,000円

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
高等職業訓練促進給付金支給件数	6	5	4	6	7
高等職業訓練修了支援給付金支給件数	2	2	2	2	3

事 業 名	ひとり親家庭等医療費事業		
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	2122-11
款 03	民生費	当 初 予 算 額	48,799,000 円
項 02	児童福祉費	最 終 予 算 額	48,799,000 円
目 01	児童福祉総務費	決 算 額	42,849,999 円
事業の目的	子育て中のひとり親家庭等を経済的に支援し、生活の安定を図る。	事業の概要	対象者は、市内のひとり親家庭等の 18 歳までの児童とその母(父)又は養育者。医療費の保険適用後の負担額から支給対象者の自己負担分、他制度から本人に支給される給付金等を控除した残りを支給する。15 歳までの児童の医療費は、令和 5 年 1 月から現物支給。

事業の実績・成果

ひとり親家庭等に対し、医療費の一部を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援した。

1　事業内容

(1) 支給対象者　ひとり親家庭等の 18 歳に達した年度末までの児童（一定の障害がある児童は 20 歳未満まで）とその母（父）又は養育者

(2) 支 給 内 容　医療保険の適用される医療費のうち、その保険適用後の負担額（医療費の 3 割等）から支給対象者の自己負担分、他制度から本人に支給されるもの（附加給付等）を控除した残りを支給

なお、支給対象者のうち児童を除く者が市町村民税課税者の場合、自己負担金が発生（ただし、現物支給対象の児童に対しては自己負担金を控除しない。）

①医療機関等ごと、1 人につき通院 1,000 円／月

②医療機関等ごと、1 人につき入院 1,200 円／日

(3) 支 給 期 間　受給者証交付申請日（申請日前に遡及する場合あり）から受給資格消滅日まで（支給対象者又は扶養義務者等の所得が制限額を超える場合は、支給停止となる。）

(4) 所 得 制 限　児童扶養手当制度の一部支給限度額

(5) 支 払 方 法　償還払または現物給付

(6) 費 用 負 担　県：1/2（県補助対象分の支出に対して）

2　支給対象者数・支給件数・支給額の推移

（単位：人）

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
対象者数	(父母)	996	986	950	822	767
	(児童)	1,503	1,498	1,424	1,254	1,197

（単位：件）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
支給件数	19,101	18,799	19,129	16,557	16,846

（単位：円）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
支給額	43,929,293	45,966,267	47,581,640	41,695,358	41,876,333

事 業 名		就学前子ども教育・保育認定事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2131-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,551,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	3,551,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	2,867,078 円
事業の目的	就学前（0～5 歳）児童に必要に応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。	事業の概要	就学前（0～5 歳）児童に、必要に応じて支給認定証を交付する。 保育サービスの提供を実施するため必要となる一連の事務を行う。 市民税を算定基礎に保育料の賦課徴収を行う。	

事業の実績・成果

1　認定者数（年度末現在）

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
１号認定（教育）	941	931	942	991	908
２号認定(保育　満3歳以上)	1,663	1,709	1,812	1,905	1,739
３号認定(保育　満3歳未満)	586	716	795	749	563
合計	3,190	3,356	3,549	3,645	3,210

事業名	民間保育所運営委託事業			
担当課	こども保育課		総合振興計画コード	2131-02
款	03	民生費	当初予算額	1,785,657,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,861,177,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	1,554,040,576円
事業の目的	保育を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、保育サービスの充実を図る。	事業の概要	保育所で保育の利用を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支出する。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。	

事業の実績・成果

民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育の充実を図った。

1　保育所の定員・入所児童数・運営費等

	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
愛泉幼児園	140	650	324	606	1,580	130,412,720
戸川保育園	70	251	156	317	724	71,917,950
加須保育園	160	781	357	736	1,874	147,795,850
不動岡保育園	80	258	279	557	1,094	88,169,870
不動岡第二保育園	20	283	0	0	283	72,279,090
志多見保育園	60	241	149	350	740	75,380,500
花崎保育園	180	857	362	670	1,889	155,216,080
三俣第一保育園	130	681	312	636	1,629	142,941,550
三俣第三保育園	120	614	288	612	1,514	131,298,390
みなみ保育園	131	670	308	699	1,677	136,818,000
にしき保育園	50	291	135	257	683	85,960,460
吉川保育園	60	165	101	253	519	51,328,630
リトル花保育園	90	520	240	463	1,223	119,091,330
私立市内計	1,291	6,262	3,011	6,156	15,429	1,408,610,420
私立市外委託	－	304	84	195	583	65,089,050
私立計	－	6,566	3,095	6,351	16,012	1,473,699,470
公立市外	－	25	20	19	64	3,916,270
合計	－	6,591	3,115	6,370	16,076	1,477,615,740

2　年間延べ入所児童数の推移

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
保育所入所児童数	22,986	23,032	22,043

※避難者支援事業該当者・夜間保育事業該当者・公立保育所含む

事 業 名		民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2131-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	484,629,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	484,629,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	433,011,380 円
事業の目的	就学前（0～5 歳）児童に必要に応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。		事業の概要	就学前(0～5 歳）児童の認定区分ごとに保育･教育を提供する。保育又は教育を提供した民間施設（子ども･子育て支援新制度に移行した私立幼稚園, 認定こども園及び地域型保育施設）は、利用した児童分の施設型給付費を市に請求し、市は確認のうえ施設に支払う（法定代理受領)。 単価は児童の年齢、園の定員による。

事業の実績・成果

子ども･子育て支援新制度に移行した認定こども園等に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育・教育の充実を図った。

認定こども園等の定員・入所児童数・運営費等

	認定区分	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
		（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
認定こども園騎西桜が丘	1号	80	0	294	531	825	
	2・3号	130	634	288	570	1,492	173,463,715
認定こども園大利根ふじ	1号	75	0	247	519	766	
	2・3号	80	260	199	408	867	119,066,135
市外認定こども園	1号	－	0	424	860	1,284	
	2・3号	－	149	44	330	523	116,839,311
認定こども園計		365	990	1,772	2,942	5,704	409,369,161
幼稚園（新制度移行済）	1号	－	0	0	0	0	0
地域型保育施設（小規模）	2・3号	－	100	0	0	100	20,159,290
家庭的保育	2・3号	－	7	0	0	7	1,466,500
事業所内保育	2・3号	－	12	0	0	12	1,993,250
合計			1,109	1,772	2,942	5,823	432,988,201

＊認定区分・・・1 号　満 3 歳以上教育認定（幼稚園、認定こども園幼稚園部分入園児）
2 号　満 3 歳以上保育認定（保育所、認定こども園保育部分入園児）
3 号　満 3 歳未満保育認定（保育所、認定こども園保育部分、小規模保育等入園児）

事 業 名		低年齢児保育事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2131-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	72,274,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	72,274,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	61,828,000 円
事業の目的	乳幼児を含めた多様な年齢の児童を育てる家庭の保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。		事業の概要	低年齢児の特性に応じた保育体制を確保するため、民間保育所に次の補助（県費 1/2）を行う。 ① 1 歳児 4 人に対し保育士 1 人の配置で 1 歳児 1 人当たり月額 20,000 円。 ② 乳児の年度途中入所に応じるため予め保育士を確保した場合、未充足乳児 1 人当たり 80,000 円（上限 882,000 円）。

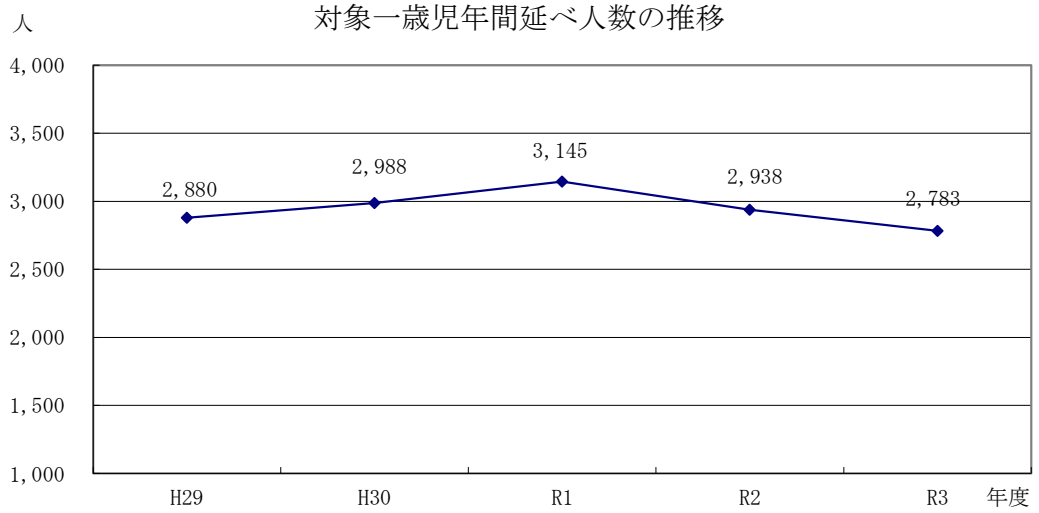
事業の実績・成果

安定的に低年齢児（0 歳児・1 歳児）の受入れができるよう、あらかじめ保育士を確保し、年度途中入所の需要等に対応できる体制を整えた保育所に対して助成を行った。

1　実施場所　　愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園
他 市外 9 園

2　対象一歳児年間延べ人数の推移　　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
入所児童数	2,880	2,988	3,145	2,938	2,783



事業名	長時間保育事業		
担当課	こども保育課	総合振興計画コード	2131-06
款 03	民生費	当初予算額	34,119,000円
項 02	児童福祉費	最終予算額	34,119,000円
目 01	児童福祉総務費	決算額	32,430,800円
事業の目的	労働環境等の多様化に伴う保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。	事業の概要	・保育短時間、保育標準時間の前後の時間において、更に延長保育を行う。 ・事業に際しては、保育士2名以上及び対象児童数に応じて必要となる職員を配置する。 ・児童に対しては、適宜間食又は給食等を提供する。 ・延長保育を実施する民間保育所に補助を行う。

事業の実績・成果

保護者の就労形態の多様化と通勤時間の増加等に伴い、認定時間の前後の時間において、さらに延長保育を行うため、実施する民間保育園に補助を行った。

1　実施場所

（標準時間認定児の延長保育が実施された園）

愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二夜間保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園

（短時間認定児の延長保育が実施された園）

戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・みなみ保育園・吉川保育園・認定こども園騎西桜が丘

2　延長保育事業延べ利用児童数の推移　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
短時間認定児延べ利用人数	4,629	4,249	5,925	5,340	6,276
標準時間認定児延べ利用人数	38,777	33,965	37,183	26,639	27,526

平成27年度から子ども子育て新制度が始まり、保育を必要とする事由や必要量により、1日最大11時間利用可能な「保育標準時間」と1日最大8時間利用可能な「保育短時間」に区分されている。区分に応じた保育時間を超えると延長保育となる。（区分に応じた保育時間は各園によって異なる。）

事 業 名		病後児保育事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2131-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,725,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	13,782,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	11,510,000 円

事業の目的	保育を必要とする病後児童に対する保育サービスの充実を図り、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。	事業の概要	病気回復中の乳幼児を預かる施設に対し、必要な看護師等の配置費用を、年間延べ利用者数に応じて補助金として支給（国 1/3・県 1/3）。 〇利用者数と補助金 ・基本分：4,166,000 円（内改善分 2,225,000 円） 10～ 49 人＝416,000 円 200～399 人＝3,225,000 円

事業の実績・成果

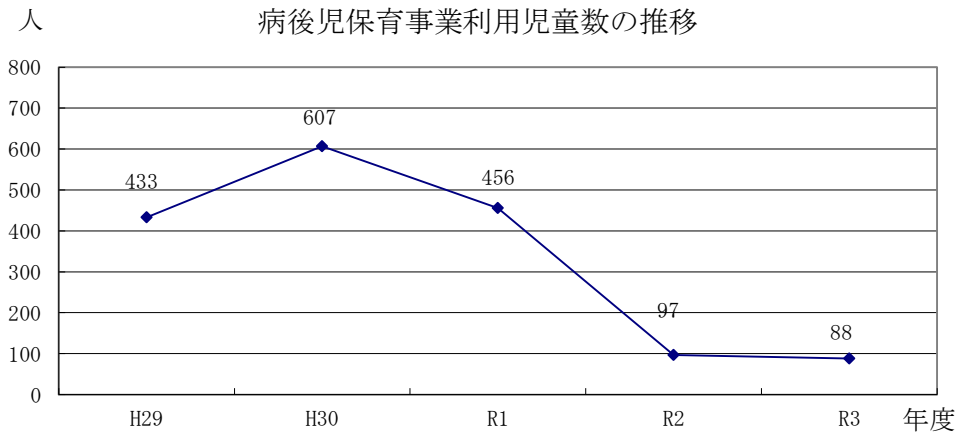
病気の回復期にある児童を児童福祉施設等で預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援した。窓口にパンフレットを設置するなど様々な媒体を利用し制度の周知を図った。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用延べ人数が大幅に減少したが、病後児保育の提供に必要な職員配置費用を年間延べ利用者数に応じて補助金として交付した。

1　実施場所　　愛泉乳児園・三俣第一保育園

2　病後児保育利用延べ人数　　（単位：人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用延べ人数	433	607	456	97	88



事業名	夜間保育所事業			
担当課	こども保育課		総合振興計画コード	2131-08
款	03	民生費	当初予算額	63,067,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	63,067,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	26,907,740円
事業の目的	夜間保育（11:00～22:00）を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するため、保育サービスの充実を図る。	事業の概要	三俣第二夜間保育園で保育の実施を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費（委託料）を保育所に支払う。	

事業の実績・成果

民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育の充実を図った。

保育所の定員・入所児童数・運営費等

	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
三俣第二夜間保育園	30	85	12	60	157	26,907,740
合計	－	85	12	60	157	26,907,740

事業名	民間保育所障害児保育事業			
担当課	こども保育課		総合振興計画コード	2131-09
款	03	民生費	当初予算額	18,568,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	18,568,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	10,945,980円
事業の目的	障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。	事業の概要	・保育を必要とし、障がいがある児童を集団保育で保育する。 ・身障手帳・療育手帳所持児童等の障がい児3名につき保育士1名増員の対策を講じた民間保育所に対し、増員保育士の人件費の一部を助成。 （特別児童扶養手当該当の場合は市費で月額74,140円、その他は県費で月額40,000円）	

事業の実績・成果

障がい児の受け入れを推進するために、民間保育所における保育士の加配に対し補助を行うことにより、円滑な障がい児保育を行った。

1　実施場所　愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二夜間保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園他市外1園

2　障がい児保育対策事業対象児童数の推移　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入所児童数	15	20	27	20	21

事 業 名		保育所アレルギー等対応特別給食提供事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2131-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,400,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	5,400,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	600,000 円
事業の目的	食物アレルギー等により給食等処遇に特別な配慮を必要とする児童に対し、アレルギー等に対応した給食の提供の充実を図る。	事業の概要	・食物アレルギー等により、健康面において給食等に特別な配慮が必要な児童を 2 人以上受け入れている民間保育所に対して助成（月額 50,000 円）し、当該児童に配慮した給食を提供する。	

事業の実績・成果

食物アレルギーや障害等のため、給食等処遇に特別な配慮を要する児童への対処等給食の充実を図り、調理員配置基準より 1 人以上多く調理員を配置している園へ助成を行った。県補助金は令和 3 年度の経過措置期間を経て廃止となる。

民間保育所への助成金　50,000 円／月 × 12 ヶ月 × 1 ヶ所 ＝ 600,000 円

実施場所・対象児童数　（単位：人）

保育園名	延べ人数
認定こども園騎西桜が丘	143
合　計	143

事業名	一時保育事業			
担当課	こども保育課		総合振興計画コード	2131-11
款	03	民生費	当初予算額	21,843,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	21,843,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	16,150,600円
事業の目的	家庭保育者の一時的な保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。	事業の概要	・公立と民間の保育所で一時的な保育の需要に応じる。 ・一時保育（一般型）を実施する民間保育所に対し、年間延利用児童数に応じた補助金を交付する。 ・一時保育（幼稚園型）を実施する幼稚園に対し、年間延べ利用児童数に応じた補助金を交付する。	

事業の実績・成果

家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を、保育所、幼稚園、認定こども園において、一時的に預かり、必要な保育を行った。

① 一般型

保育所・幼稚園・認定こども園等に在籍していない乳幼児を対象に、保育所の場所において一時保育を行った。

(1)実施場所　　愛泉幼児園・不動岡保育園・花崎保育園・三俣第一保育園

(2)年間延べ利用児童数　517人

② 幼稚園型

認定こども園や幼稚園に在籍する満３歳以上の幼児で、教育時間の前後または長期休業日等に当該園において、一時保育や預かり保育を行った。

(1)実施場所　（市内）大利根ふじこども園・認定こども園騎西桜が丘
（市外）栗橋さくら幼稚園・さくらのもり・やごうこども園

(2)年間延べ利用児童数　6,949人

事 業 名		避難者支援民間保育所等運営委託事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2131-12
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,970,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,970,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,139,160 円
事業の目的	子育て家庭の保護者の勤務等により、保育を必要とする児童の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援する。		事業の概要	原発避難者特例法に基づき、被災した子育て家庭の保護者の勤務等により、保育所で保育の実施を行った場合、国が定めた公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支払う。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。

事業の実績・成果

市内民間保育園において、原発避難者特例法に基づく対象児童（4名）の保育を実施した。

(参考)
東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律（平成23年法律第98号）第3条第1項の規定に基づき、次に掲げる市町村を指定市町村として指定する。
いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村

対象児童の受入内訳

	避難前住所	保育園名	入所期間
1	大熊町	三俣第一保育園	令和3年4月～令和4年3月
2	大熊町	三俣第一保育園	令和3年4月～令和4年3月
3	双葉町	花崎保育園	令和3年4月～令和4年3月
4	双葉町	花崎保育園	令和3年4月～令和4年3月

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">民間保育所助成事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">こども保育課</td><td>総合振興計画コード</td><td>2131-13</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>15,317,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">児童福祉費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>29,203,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>01</td><td colspan="2">児童福祉総務費</td><td>決 算 額</td><td>28,361,843 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">保育環境の整備・充実を図り保育サービスの充実に資する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">・民間保育所振興費
定員 1 人 5,000 円、4 月 1 日入園児 1 人 2,000 円。職員 1 人 9,000 円。日本スポーツ振興センター共済掛金 1 人 365 円（保育園）、285 円（認定こども園）。
・民間保育所歯科検診費
15,000 円～30,000 円
・民間保育所施設整備費助成
年間に 20 万円（毎年 1 施設の補助）</td></tr>
</table>

事業の実績・成果

民間保育所等（16 園）に対して助成し、民間保育所等の運営の充実と民間保育所等に勤務する職員の処遇等の改善を図った。

1　民間保育所振興費　　13,785,845 円

（1）振興費補助

・民間保育所の入所児童の処遇改善及び施設の改善に要する経費を助成した。

（2）職員厚生費補助

・職員の処遇改善に要する経費を助成した。

（3）独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入費補助

・園児の災害時の保障のため独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入に要する経費（定員 1 名に対し、年額 365 円等）を助成した。

2　民間保育所歯科検診費　495,000 円

民間保育所入所乳幼児の歯科検診を推進し、乳幼児の歯科保健の充実を図るため、歯科検診費に対して補助金を交付した。

3　保育士等処遇改善臨時特例交付金　7,402,820 円

新型コロナ感染症対応や少子化等への対応が重なる最前線となる私立保育園等に勤務する職員（保育士等）の処遇改善のため、国の「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業実施要綱」に基づき、職員の収入を月額 3%程度引き上げる措置を講じた保育園等に対し、当該措置に要する経費を補助した。その結果、私立保育園等に勤務する職員の処遇について、更なる改善を図ることができた。

なお、当該補助については国の補助金（国 10/10）を活用して実施した。

4　民間保育所施設整備費補助金　200,000 円

志多見保育園で実施したブランコ下のマットの入れ替えに対して助成を行った。

5　保育体制強化事業補助金　2,400,000 円

保育支援者を配置し、保育士の負担を軽減した園に対して補助金を支出した。

6　保育所等 ICT 化推進事業補助金　88,000 円

保育所等の ICT 化を推進することで保育士の負担軽減を図った園に対して補助金を支出した。

○　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		保育団体助成事業			
担 当 課		こども保育課		総合振興計画コード	2131-21
款	03	民生費		当 初 予 算 額	232,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	232,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	232,000 円
事業の目的	私立保育園同士の連携及び公立保育所との情報交換を深めるとともに人権を尊重した保育を推進する。		事業の概要	保育団体（加須私立保育園園長会、人権保育推進委員会）の運営費を補助することで、それぞれの団体の活動を推進し、一層の保育の質を高めることに寄与する。	

事業の実績・成果

1　加須私立保育園園長会運営費補助金（72,000 円）

私立保育園間の連携、情報共有及び公立保育所との情報交換を図るため、加須私立保育園園長会に対して運営費補助金を交付した。

・新型コロナ感染症感染対策のため各保育園へ手指用消毒液を配布した。

2　人権保育推進委員会補助金（160,000 円）

・加須市騎西地域人権保育推進委員会補助金（160,000 円）

・加須市の人権保育の推進を図るため、騎西地域の人権保育推進委員会に対して運営費補助金を交付し、保育所の様々な取組みを支援した。

事 業 名		公立放課後児童健全育成事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2133-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	252,821,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	267,596,430 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	227,723,549 円
事業の目的	放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。	事業の概要	・保護者の就労等により、家庭保育が困難な世帯の小学校就学児童を対象に小学校や幼稚園の余裕教室等を利用して学童保育を行う。 ・開設時間： 学校開業日：放課後～19 時 学校休業日：7 時 30 分～19 時 ・合同保育の実施	

事業の実績・成果

児童福祉法第 6 条の 3 第 2 項の規定に基づき、保護者が就労等により昼間留守家庭となる市内の就学児童に対し、授業終了後に児童厚生施設や小学校及び幼稚園の教室等を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図り、保護者の仕事と家庭の両立支援を行った。

1　実施施設一覧　（単位：人）

地域	小学校区	実施施設	定員	開設時間 通常	開設時間 土曜日	開設時間 長期休業日	対象学年
加須地域	加　須	加須小学校放課後児童健全育成室	75	放課後～19:00	7:30～19:00（7:30～8：00は延長保育）	同左	1 年生～6 年生
	花崎北	花崎北小学校放課後児童健全育成室	95				
	加須南	加須南小学校放課後児童健全育成室	60				
	不動岡	不動岡小学校放課後児童健全育成室	50				
	三　俣	三俣小学校放課後児童健全育成室	75				
	礼　羽	礼羽小学校放課後児童健全育成室	50				
	大　桑	大桑小学校放課後児童健全育成室	115				
	水　深	水深小学校第一放課後児童健全育成室	65				
		水深小学校第二放課後児童健全育成室	45				
		水深小学校第三放課後児童健全育成室	64				
	志多見	志多見小学校放課後児童健全育成室	32				
	樋遣川	樋遣川小学校放課後児童健全育成室	30				
	大　越	大越小学校放課後児童健全育成室	32				
大利根地域	大利根東	大利根東小放課後児童健全育成たなばた室	60				
	原　道	原道小放課後児童健全育成のぎく室	51				
	元　和	元和小放課後児童健全育成かえで室	61				
	豊　野	豊野小放課後児童健全育成もみじ室	30				

・広報かぞ、ＳＮＳによる指導員確保や、不動岡小、元和小、原道小の保育面積確保等により待機児童ゼロを維持することができた。

・公立放課後児童健全育成室において土曜日及びお盆の合同保育を実施した。

放課後児童健全育成室	拠点施設
加須小学校放課後児童健全育成室	加須小学校放課後児童健全育成室
加須南小学校放課後児童健全育成室	
水深小学校第一放課後児童健全育成室	水深小学校第一放課後児童健全育成室（一学期間） 水深小学校第二放課後児童健全育成室（二学期間） 水深小学校第三放課後児童健全育成室（三学期間）
水深小学校第二放課後児童健全育成室	
水深小学校第三放課後児童健全育成室	
不動岡小学校放課後児童健全育成室	礼羽小学校放課後児童健全育成室
礼羽小学校放課後児童健全育成室	
志多見小学校放課後児童健全育成室	
三俣小学校放課後児童健全育成室	三俣小学校放課後児童健全育成室
樋遣川小学校放課後児童健全育成室	
大越小学校放課後児童健全育成室	
大利根東小放課後児童健全育成たなばた室	大利根東小放課後児童健全育成たなばた室
原道小放課後児童健全育成のぎく室	
元和小放課後児童健全育成かえで室	
豊野小放課後児童健全育成もみじ室	

２　利用児童数と保護者負担金（学童保育料）収納状況の推移

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
児童数（人）		134, 587	144, 097	140, 523	133, 829	138, 750
調定額（円）		45, 650, 164	47, 531, 374	48, 675, 597	44, 646, 580	49, 714, 462
	現年度	45, 499, 464	47, 298, 049	48, 221, 197	44, 019, 030	48, 928, 412
	過年度	150, 700	233, 325	454, 400	627, 550	786, 050
収入済額（円）		45, 416, 839	47, 076, 974	48, 048. 047	43, 838, 030	48, 601, 762
	現年度	45, 266, 139	46, 889, 374	47, 867, 047	43, 662, 530	48, 571, 262
	過年度	150, 700	187, 600	181, 000	175, 500	30, 500
収納率（%）		99. 5	99. 0	98. 7	98. 1	97. 8
	現年度	99. 5	99. 1	99. 3	99. 1	99. 2
	過年度	100. 0	80. 4	39. 8	28. 0	3. 9

※児童数は年間延べ利用児童数

3　保護者負担金（月額）　（単位：円）

<table>
<tr><th colspan="3">階　　層</th><th>学童保育料</th><th>おやつ代</th><th>多子軽減</th><th>減　免</th></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="2">生活保護法による被保護世帯及び市民税非課税世帯</td><td>0</td><td rowspan="7">2,000</td><td rowspan="7">同一世帯において、複数児童が同時利用する場合、学童保育を利用する第 2 子の学童保育料を左記料金の 1／2、第 3 子以降の学童保育料を無料とする。</td><td rowspan="7">なし</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="2">市民税均等割のみ課税世帯</td><td>2,000</td></tr>
<tr><td>3</td><td rowspan="5">市民税所得割の額の区分が次の区分に該当する世帯</td><td>40,000 円未満</td><td>3,000</td></tr>
<tr><td>4</td><td>40,000 円以上
70,000 円未満</td><td>4,500</td></tr>
<tr><td>5</td><td>70,000 円以上
140,000 円未満</td><td>5,500</td></tr>
<tr><td>6</td><td>140,000 円以上
240,000 円未満</td><td>7,000</td></tr>
<tr><td>7</td><td>240,000 円以上</td><td>8,000</td></tr>
</table>

4　延長保育料

利　　用　　月	月当たりの料金
5 月、6 月、9 月、10 月、11 月、2 月	200
4 月、7 月、12 月、1 月、3 月	500
8 月	1,000

※1 階層は延長保育料負担 0 円

5　放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業　728,544 円

新型コロナ感染症対応や少子化等への対応が重なる最前線となる学童保育室に勤務する職員（放課後児童支援員等）の処遇改善のため、国の「放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業実施要綱」に基づき、資格を有する指導員の時給を 32 円引き上げる措置（令和 4 年 2 月分から）を講じた。

その結果、学童保育室に勤務する職員の処遇について、更なる改善を図ることができた。

なお、当該改善については国の補助金（国 10/10）を活用して実施した。

6　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">公立放課後児童健全育成事業【繰越明許】</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">こども保育課</td><td>総合振興計画コード</td><td>2133-01</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>21,193,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">児童福祉費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>21,193,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>01</td><td colspan="2">児童福祉総務費</td><td>決 算 額</td><td>19,691,985 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">・保護者の就労等により、家庭保育が困難な世帯の小学校就学児童を対象に小学校や幼稚園の余裕教室等を利用して学童保育を行う。
・開設時間：
学校開業日：放課後～19 時
学校休業日：7 時 30 分～19 時
・合同保育の実施</td></tr>
</table>

事業の実績・成果

【令和２年度から令和３年度へ繰越を行った理由】

新型コロナウイルス感染症対策備品のため、全国的に商品在庫がない状況であることから、年度末までの納品が困難であったため繰り越した。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		民間放課後児童健全育成事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2133-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	325,753,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	336,823,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	262,981,704 円
事業の目的	放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。	事業の概要	民間放課後児童クラブに事業委託し、放課後児童健全育成事業を実施する。	

事業の実績・成果

1　放課後児童健全育成事業委託　241,788,335 円

保護者が就労等により、昼間家庭にいない市内小学校に通う児童に対し、授業の終了後に公共施設等を利用して適切な遊びや生活の場を提供して、その健全な育成を図るため、民間児童クラブに放課後児童健全育成事業を委託した。（委託料の 1/3 を国、1/3 を県が補助）

また、放課後児童支援員や補助員の処遇改善に関する費用を補助した。（1/3 を国、1/3 を県が補助）

その結果、当該児童に対し適切な遊びの場及び生活の場を与えることができ、もって当該児童の健全な育成指導を行うことができた。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る委託料については、別冊に記載している。

【保育実績】

年間延べ登録児童数（施設別）　（単位：人）

地 域	クラブ名称	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
加須	愛泉学童クラブおおぞら組(民設民営)	555	526	445	366	229
	愛泉学童クラブつばさ組(民設民営)	395	401	378	231	282
	かぞ児童クラブ(民設民営)	437	418	425	412	385
	みつまた児童クラブ(民設民営)	468	606	650	506	593
	みつまた第三児童クラブ(民設民営)	317	276	196	264	202
	にしき学童(民設民営)	417	448	435	426	427
	みなみ児童クラブ(民設民営)	240	348	412	367	330
	リトル花学童クラブ(民設民営)				72	127
騎西	騎西風の子学童クラブ(公設民営)	539	518	530	529	600
	種足つばさ学童クラブ(公設民営)	549	517	572	523	497
	田ケ谷くすの木学童クラブ(公設民営)	368	371	389	377	353
	高柳けやき学童クラブ(公設民営)	352	338	384	455	536
	鴻茎おおぞら学童クラブ(公設民営)	356	385	454	443	430
	学童保育室ふたばクラブ(民設民営)	454	517	481	407	356
北川辺	東小学童クラブの会きらきらキッズ(公設民営)	508	431	425	407	421
	東小学童クラブの会きらきらキッズ第2(公設民営)		311	347	321	322
	北川辺学童保育の会げんきクラブ(公設民営)	661	722	734	572	606
合計（延べ児童数）		6,616	7,133	7,257	6,678	6,696

※東小学童クラブの会きらきらキッズ第２：平成 30 年４月１日 開室
※北川辺学童保育の会げんきクラブ：平成 31 年４月１日 増室（集計は施設で合算）
※愛泉学童クラブおおぞら組（旧はと組）：平成 31 年４月１日 名称変更
※リトル花学童クラブ：令和２年４月１日開室
※高柳けやき学童クラブ：令和３年４月１日 増室（集計は施設で合算）
※学童保育室ふたばクラブ：令和３年４月１日 増室（集計は施設で合算）

2　放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業　1,598,015 円

新型コロナ感染症対応や少子化等への対応が重なる最前線となる学童保育室に勤務する職員（放課後児童支援員等）の処遇改善のため、国の「放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業実施要綱」に基づき、職員の収入を月額3%程度引き上げる措置（令和４年２月分から）を講じた民間児童クラブに対し、当該措置に必要となった費用について補助した。

その結果、学童保育室に勤務する職員の処遇について、更なる改善を図ることができた。

なお、当該補助については国の補助金（国 10/10）を活用して実施した。

3　高柳学童保育室（高柳けやき学童クラブ）改修（増室）工事　8,195,000 円

これまで１支援単位（教室）で運営していた高柳学童保育室だが、地域の児童数の増加や学童保育への需要の増加などにより、現状の１支援単位（教室）では待機児童が発生する恐れがあることから、当該施設の空き教室を学童保育室として使用するために改修工事を行った。

改修工事により、当該施設は２支援単位（教室）、利用定員合計 70 人（30 人増）まで受け入れ可能となり、結果、増加する需要等に対応できる体制を整えることができた。

なお、改修工事については「子ども・子育て支援整備交付金」を活用して実施した。（2/3 を国、1/6 を県が補助）

4　公設民営学童室の修繕等　2,524,104 円

公設民営の学童保育室の施設等について、運営する事業者からの要望等を考慮し、修繕、改修及び設備清掃等を実施するとともに、必要となる備品を購入した。

結果、公設民営の学童保育室の保育環境について、維持・向上を図ることができた。

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="4">民間放課後児童健全育成事業【繰越明許】</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">こども保育課</td><td>総合振興計画コード</td><td>2133-03</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>1,547,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">児童福祉費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>1,547,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>01</td><td colspan="2">児童福祉総務費</td><td>決 算 額</td><td>1,482,008 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">民間放課後児童クラブに事業委託し、放課後児童健全育成事業を実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">【令和２年度から令和３年度へ繰越を行った理由】
当該工事等に係る費用を令和３年第１回定例会に補正予算として上程し、令和３年３月 17 日に議決されたが、議決から年度末の間に当該必要な工事の完了や備品の納品が困難であったため繰り越した。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。</td></tr>
</table>

事 業 名		三世代ふれあい家族応援事業			
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	5213-02
款	03	民生費		当 初 予 算 額	4,400,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	4,400,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	2,600,000 円
事業の目的	三世代同居家族の市内への定住化を促進し、安心した子育てと高齢者が安心して暮らせる環境を推進する。併せて、市内産業の活性化を図る。		事業の概要	三世代同居を目的とした住宅の取得やリフォームに係る費用の一部を助成する。	

事業の実績・成果

市内に三世代世帯が同居し、相互に協力することにより、子どもを安心して産み育てるとともに、高齢者が安心して暮らせる環境を整えるため、住宅の新築、購入又は増改築等に要する費用の一部を補助することにより、本市の定住人口の増加及び地域経済の活性化につなげることを目的として、平成 28 年４月１日から交付受付を開始した。

（事業の概要）

○交付対象費用

①同居するためのリフォーム工事に要した費用

②同居するための新築又は住宅の購入に要した費用

○補助金額　市内事業者との契約　：　30 万円

その他　：　20 万円

○補助金の交付状況

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
補助金交付件数（件）		11	17	25	19	12
	うち　市内事業者	1	8	8	5	2
	市外事業者	10	9	17	14	10
補助金交付額（円）		2,300,000	4,200,000	5,800,000	4,300,000	2,600,000
	うち　市内事業者	300,000	2,400,000	2,400,000	1,500,000	600,000
	市外事業者	2,000,000	1,800,000	3,400,000	2,800,000	2,000,000

○補助金を交付した世帯の合計人数

56 人（うち 33 人が市外からの転入者）

○固定資産税等の減免対象（税務課）

200 ㎡までの宅地に適用される税額の軽減措置（固定資産税１/6、都市計画税 1/3）を、3 年間 500 ㎡までに拡大

○固定資産税等減免状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
対象（件）	7	19	33	52	35
減免税額（円）	45,300	118,900	220,000	286,400	167,000

※　平成 29 年度から適用

事 業 名		妊産婦臨時特別育児等サービス助成事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	99111-00
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	3,096,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,096,000 円
事業の目的	コロナ禍で里帰り出産が困難となった妊産婦の不安や育児負担の軽減を図り、一人ひとりに寄り添った支援を実施する。		事業の概要	里帰り出産が困難となった妊産婦に対し、出産後に利用した育児・家事等サービスの利用料を助成する。 1 回の利用料につき 10,000 円を上限とし、月 4 回までを最大 6 カ月分助成する。 令和 2 年度のみ実施。事業実績に基づく補助金額確定による超過分を返還

事業の実績・成果

事業を実施したことにより、出産後の経済的負担及び育児不安の軽減を図り、よりきめ細やかな支援を行った。【埼玉県第二次補正予算　新型コロナウイルス流行下における妊産婦総合対策事業】

○当初交付決定額　　3,120,000 円

○精算額（確定額）　　24,000 円（事業実績額 48,500 円×補助率 1/2　※1,000 円未満切り捨て）

○差引額　　3,096,000 円　※超過交付により返還

事 業 名		赤ちゃんの駅事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2112-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,840 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	4,840 円
事業の目的	子育て中の親が安心して外出できるよう、子育て支援の環境を整える。		事業の概要	1 おむつ交換ができる 2 授乳ができる 1、2 のどちらかまたは両方の要件を備えた施設を公共的施設を中心に整備し、乳幼児を連れての外出を容易にする。

事業の実績・成果

○市内「赤ちゃんの駅」設置施設　　106 施設　181 箇所
　うち、新たに「赤ちゃんの駅」を設置した施設　1 施設　1 箇所

○花崎コミュニティセンター内の「赤ちゃんの駅」にある、おむつ交換台を修繕した。

事 業 名		児童手当支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2113-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,650,964,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,653,868,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	1,568,006,054 円
事業の目的	家庭等における生活の安定、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として児童手当を支給する。	事業の概要	・対象者は中学校修了までの児童 3 歳未満：1 万 5 千円 3 歳以上小学校修了前：第 1･2 子 1 万円 第 3 子以降：1 万 5 千円 中学生 1 万円を 6･10･2 月に支給する。	

事業の実績・成果

児童手当を支給することにより、子育て家庭に対する経済的支援を行った。また、市民に対して制度の周知を図るとともに、適正かつ迅速な事業執行に努めた。
※平成 24 年 4 月 1 日から「児童手当の一部を改正する法律」が施行され、平成 24 年 6 月から所得制限が導入された。

1　事業内容

（1）支給対象　0 歳から中学校修了前までの間にある児童の養育者に支給

（2）支給月額　3 歳未満　一律 15,000 円
3 歳以上小学校修了前　10,000 円（第 3 子以降は 15,000 円）
小学校修了後中学校修了前　一律 10,000 円
特例給付（所得制限超過者）　一律　5,000 円

（3）支払時期　原則として、6 月、10 月、2 月にそれぞれの前月分までを支給

2　児童手当支給額

延児童数・支給額の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
延児童数（人）	154,283	151,843	148,775	146,611	143,186
支給額（円）	1,694,675,000	1,666,380,000	1,628,365,000	1,598,025,000	1,561,955,000

事業名	児童扶養手当支給事業		
担当課	子育て支援課	総合振興計画コード	2122-09
款 03	民生費	当初予算額	462,173,000円
項 02	児童福祉費	最終予算額	462,173,000円
目 02	児童措置費	決算額	371,478,644円
事業の目的	子育て中のひとり親家庭等に対する経済的な支援を行い、生活の安定と自立に向けた支援を行う。	事業の概要	・対象者は18歳までの児童（障害の状態にある場合は20歳未満） ・申請者や扶養義務者の所得により、手当の一部又は全部が支給停止になる場合がある。 ・受給開始から5年等経過した受給者は自立に向けた活動等を行わないと手当額の2分の1が支給停止となる。 ・支払月は奇数月の年6回のほか転出者、喪失者等に対し随時払を行う。

事業の実績・成果

児童扶養手当を支給することで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図った。

1　児童扶養手当支給額

区分		手当月額（円）	延月人数（人）	支出額（円）
全部支給者		43,160	4,775	205,955,220
一部停止者		43,150～10,180	3,932	112,325,800
加算額	2子加算	10,190、10,180～5,100	3,729	35,104,130
	3子以降加算	6,110、6,100～3,060	1,147	6,802,040
１３条の２対象者			275	8,132,140
１３条の３対象者			12	258,960
合計			13,870	368,578,290

2　支給延児童数・支給額の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延児童数（人）	15,105	14,858	18,358	14,163	13,870
支給額（円）	397,275,980	391,050,260	499,191,640	383,155,990	368,578,290

事 業 名		避難者支援児童扶養手当支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2122-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,366,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	5,366,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	3,014,400 円
事業の目的	原発避難者特例法に基づいたひとり親家庭等の避難者に児童扶養手当を支給し、経済的支援を図る。		事業の概要	・避難元団体から通知があった日の属する月の翌月分から手当を支給する。支払は1･3･5･7･9･11月の奇数月年6回。 ・ひとり親家庭等の児童が18歳（障害の状態にある場合は20歳未満）に達した日の属する年度末まで手当を受けることができる。

事業の実績・成果

避難元自治体と連携し、原発避難者特例法に基づいたひとり親家庭等の避難者の実態把握と手当支給に努め経済的支援を図った。

1　対象者

・双葉町　　受給者数　6人　　延児童数　　76人

・浪江町　　受給者数　1人　　延児童数　　24人

2　児童扶養手当支給額

区　　分		手 当 月 額（円）	延月人数（人）	支 出 額（円）
全 部 支 給 者		43,160	56	2,416,960
一 部 停 止 者		43,150～10,180	24	433,160
加算額	2 子 加 算	10,190、10,180～5,100	20	164,280
	3 子以降加算	6,110、6,100～3,060	0	0
合　　計			100	3,014,400

事業名		低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）支給事業【繰越明許】		
担当課		子育て支援課	総合振興計画コード	2113-18
款	03	民生費	当初予算額	71,092,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	71,092,000円
目	02	児童措置費	決算額	66,411,350円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親世帯の家計の経常収支は大きく悪化していることにより、心身等に特に大きな困難を抱えていることを踏まえ、こうした世帯を支援するため、子育て世帯生活支援特別給付金を早期に支給する。		事業の概要	実施に要する経費（事業費及び事務費）については、国が補助（10/10）する。 【児童扶養手当受給者等への給付】 ・対象児童1人につき5万円 ・令和3年4月分の対象となる児童 【収入が減少した児童扶養手当受給資格者等への給付】 ・対象児童1人につき5万円

事業の実績・成果

【繰越明許　令和2年度から令和3年度へ繰り越す理由】
県への交付申請（電子媒体）の事前提出が令和3年4月1日（県から国へは令和3年4月2日）となっているため 3 月補正を行い、交付決定後早期に支給を開始するため繰り越した（繰越明許額71,092,000円）。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

事業名		低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ふたり親世帯分）支給事業		
担当課		子育て支援課	総合振興計画コード	2113-19
款	03	民生費	当初予算額	0円
項	02	児童福祉費	最終予算額	94,371,000円
目	02	児童措置費	決算額	43,763,810円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金（ふたり親世帯分）を早期に支給する。		事業の概要	実施に要する経費（事業費及び事務費）については、国が補助（10/10）する。 【支給対象者】令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の支給を受けている者であって、令和 3 年度分の住民税均等割が非課税である者等 【給付額】児童1人当たり一律5万円

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		子育て世帯への臨時特別給付金（現金給付分）支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2113-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,578,841,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	1,549,351,999 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、子育て世帯については、子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、所得が児童手当の所得制限限度額内である世帯の 0 歳から 18 歳までの子ども 1 人当たり 10 万円を一括給付する。	事業の概要	実施に要する経費（事業費及び事務費）については、国が補助（10/10）する。 【支給対象者】 令和 3 年 9 月 30 日（基準日）時点で、平成 15 年 4 月 2 日から基準日までに出生した児童を養育する父母等、または、基準日の翌日から令和 4 年 3 月 31 日までに出生した児童を養育する父母等 【給付額】 子ども 1 人当たり 10 万円	
事業の実績・成果				
新型コロナウイルス感染症に係る対応 【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。				

事 業 名		ひとり親世帯への臨時特別給付金支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	99111-00
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	8,470,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	8,470,000 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、こうした世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を早期に支給する。	事業の概要	・支給対象者 ① 児童扶養手当受給世帯等への給付（基本給付分） 1 世帯 5 万円、第 2 子以降 1 人につき 3 万円 ② 収入が減少した児童扶養手当受給世帯等への給付（追加給付分） 1 世帯 5 万円 ・再支給あり（基本給付分のみ）	
事業の実績・成果				

令和 2 年度母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金（ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費分・事務費分）の返還金が発生したため、事業実績報告に基づき適切に支出した。

1　事業費
- 交付決定額：136,640,000 円
- 支給決定額：128,630,000 円

【児童扶養手当受給世帯等への給付】（再支給あり）
- 支給対象世帯数 1,746 世帯×@50,000 円＝87,300,000 円
- 第 2 子以降支給対象児童数 976 人×@30,000 円=29,280,000 円

【収入が減少した児童扶養手当受給世帯等への給付】
- 支給対象世帯数 241 世帯×@50,000 円＝12,050,000 円

- 返還金：8,010,000 円

2　事務費
- 交付決定額：4,192,000 円
- 支出額：3,732,000 円
- 返還金：460,000 円

※国庫補助事業：補助率 10/10

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">子育て世帯への臨時特別給付金支給事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">子育て支援課</td><td>総合振興計画コード</td><td>99111-00</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>0 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">児童福祉費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>1,206,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>02</td><td colspan="2">児童措置費</td><td>決 算 額</td><td>1,206,000 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童手当を受給する世帯（0 歳～中学生のいる世帯）に対し、臨時特別の給付金（一時金）を支給する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">事業の実施主体は市区町村であり、実施に要する経費（給付事業費及び事務費）については、国が補助（10/10）する。

【給付額】対象児童 1 人当たり 1 万円
【対象児童】
児童手当の令和 2 年 4 月分の対象となる児童（3 月分の対象となる児童含む）</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">令和 2 年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金及び事務費補助金の返還金が発生したため、事業実績報告に基づき適切に支出した。

1　事業費
・交付決定額：140,000,000 円
・支給決定額：132,360,000 円
支給対象児童数 13,236 人×@10,000 円＝132,360,000 円
・返還金：640,000 円

2　事務費
・交付決定額：4,560,000 円
・支出額：3,994,000 円
・返還金：566,000 円

※国庫補助事業：補助率 10/10</td></tr>
</table>

事 業 名		公立保育所管理運営事業		
担 当 課		こども保育課	総合振興計画コード	2131-14
款	03	民生費	当 初 予 算 額	354,877,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	367,607,600 円
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	254,477,066 円
事業の目的	公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。		事業の概要	公立保育所（7ヶ所）の運営管理 公立保育所の保育時間 第一保育所、こすもす保育園、第三保育所、第四保育所（7:30～18:30） 騎西保育所（7:30～18:30） 北川辺保育所（7:30～19:30） わらべ保育園（7:30～19:30）

事業の実績・成果

公立保育所において、安全等に十分配慮しながら保育を実施し、保育を必要とする保護者の子育て支援を行った。また、保育士（会計年度任用職員）の確保に努め、待機児童ゼロを維持した。

○主な支出

・浄化槽送風機修繕　（わらべ保育園）
・冷凍冷蔵庫修繕　（わらべ保育園）
・保育室床暖房設備修繕　（北川辺保育所）
・消火栓ホース交換　（わらべ保育園）
・保育室空調設備修繕　（第一保育所）

○保育所等入所児童数（4月1日現在）　（単位：人）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公立入所児童数		554	503	516	499	478
内訳	市内①	548	495	495	511	472
	市外受託	6	8	4	5	6
私立入所児童数		1,415	1,486	1,520	1,567	1,484
内訳	市内②	1,358	1,441	1,514	1,474	1,447
	市外受託	57	45	53	46	37
合　計（公＋私）		1,969	1,989	2,036	2,066	1,962
市外委託③		49	54	69	93	87
内訳	公立	12	10	10	9	5
	私立	37	44	83	60	82
①＋②＋③合計		1,955	1,990	2,054	2,102	2,006

※市内・・・市内在住の児童
　市外受託・・・市外在住で加須市の保育所等に入所している児童
　市外委託・・・市内在住で加須市以外の保育所等に入所している児童
※①＋②＋③合計は、保育所等に入所している市内在住児童の合計

○保育士等処遇改善臨時特例事業　412,362円

新型コロナ感染症対応や少子化等への対応が重なる最前線となる保育所に勤務する保育士の処遇改善のため、国の「保育士等処遇改善臨時特例事業実施要綱」に基づき、保育士の賃金を引き上げる措置（令和4年2月分から）を講じた。（改善額　月給7,314円、時給31円）

その結果、保育所に勤務する職員の処遇について、更なる改善を図ることができた。

なお、当該改善については国の補助金（国10/10）を活用して実施した。

【繰越明許　令和3年度から令和4年度へ繰り越す理由】
工事請負費（繰越明許額　11,867,900 円）
・騎西保育所調理室空調設備更新工事　702,900 円
・わらべ保育園大ホール他空調設備更新工事　11,165,000円
工事箇所が普段利用する部屋のため、休園日に工事を施工することから、年度内の完了が見込めないため繰り越した。

○　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">公立保育所管理運営事業【繰越明許】</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">こども保育課</td><td>総合振興計画コード</td><td>2131-14</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>6,899,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">児童福祉費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>6,899,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>03</td><td colspan="2">児童福祉施設費</td><td>決 算 額</td><td>5,631,780 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">公立保育所（7ヶ所）の運営管理
公立保育所の保育時間
第一保育所、こすもす保育園、第三保育所、第四保育所（7:30～18:30）
騎西保育所（7:30～18:30）
北川辺保育所（7:30～19:30）
わらべ保育園（7:30～19:30）</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">【令和２年度から令和３年度へ繰越を行った理由】
新型コロナウイルス感染症対策備品のため、全国的に商品在庫がない状況であることから、年度末までの納品が困難であったため繰り越した。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。</td></tr>
</table>

事業名	あすなろ園管理運営事業			
担当課	こども保育課		総合振興計画コード	2131-15
款	03	民生費	当初予算額	6,775,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	6,823,900円
目	03	児童福祉施設費	決算額	5,020,433円
事業の目的	母子通園により障がい児の機能訓練や生活訓練を実施し、子どもの発達に合わせた支援とともに親支援を行い、集団保育や就学につなげる。	事業の概要	障がいがある就学前児童の発達支援と同時に、共に通う保護者に対して家庭における育児の支援（助言・指導）等を行い、集団保育や就学に向けた訓練を行う。 保育所・幼稚園における障がい児保育についても、医師や保健センター、特別支援学校等とも連携して支援を行い、就学に向けた保護者への助言、あるいは児童発達支援事業所等の活用につなげる。	

事業の実績・成果

就学前の心身障がい児に対する日常生活の指導訓練・地域社会との交流及び専門家等による診断又は指導を実施した。

○通園児童数（4月1日現在）　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
あすなろ園	18	13	14	11	10

○利用状況（3月31日現在）　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
生活指導	8	12	11	8	7
理学療法	4	6	6	3	2
言語療法	16	9	11	11	10

※専門家の訓練利用は通園者以外も利用可能である。

○保育士等処遇改善　14,105円

民間保育施設や公立保育所に勤務する保育士等に対して実施した「保育士等処遇改善臨時特例事業」にあわせて、あすなろ園に勤務する保育士の処遇改善のため、保育士の賃金を引き上げる措置（令和4年2月分から）を講じた。（改善額　時給31円）

その結果、あすなろ園に勤務する職員の処遇について、更なる改善を図ることができた。

○　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">あすなろ園管理運営事業【繰越明許】</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">こども保育課</td><td>総合振興計画コード</td><td>2131-15</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>141,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">児童福祉費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>141,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>03</td><td colspan="2">児童福祉施設費</td><td>決 算 額</td><td>140,795 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">母子通園により障がい児の機能訓練や生活訓練を実施し、子どもの発達に合わせた支援とともに親支援を行い、集団保育や就学につなげる。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">障がいがある就学前児童の発達支援と同時に、共に通う保護者に対して家庭における育児の支援（助言・指導）等を行い、集団保育や就学に向けた訓練を行う。
保育所・幼稚園における障がい児保育についても、医師や保健センター、特別支援学校等とも連携して支援を行い、就学に向けた保護者への助言、あるいは児童発達支援事業所等の活用につなげる。</td></tr>
</table>

事業の実績・成果

【令和２年度から令和３年度へ繰越を行った理由】

新型コロナウイルス感染症対策備品のため、全国的に商品在庫がない状況であることから、年度末までの納品が困難であったため繰り越した。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名	公立保育所障害児保育事業			
担当課	こども保育課		総合振興計画コード	2131-16
款	03	民生費	当初予算額	78,019,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	78,287,000円
目	03	児童福祉施設費	決算額	62,018,873円
事業の目的	障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。	事業の概要	障がいがあり保育を必要とする児童の集団保育を、全公立保育所で実施。障がい児3人に対し最低1名の保育士を加配するとともに、専門家や専門機関と必要な連携をとりながら、児童の発達及び保護者の就労と子育てを支援する。	

事業の実績・成果

障がいの程度等により、民間保育所が受け入れを困難とした児童の入所や支援を行った。
特別支援学校のコーディネーター派遣により、個別相談や巡回指導を実施した。

（単位：人、円）

	特別な配慮が必要な児童数	加配保育士数	決算額
第一保育所	6	4	9,359,151
こすもす保育園	12	5	11,705,938
第三保育所（休止中）	0	0	0
第四保育所	5	3	5,870,043
騎西保育所	6	3	5,996,249
北川辺保育所	9	6	12,540,921
わらべ保育園	11	7	16,546,571
合計	49	28	62,018,873

※特別な配慮が必要な児童数及び加配保育士数は4月1日現在

○保育士等処遇改善臨時特例事業　254,782円

新型コロナ感染症対応や少子化等への対応が重なる最前線となる保育所に勤務する保育士の処遇改善のため、国の「保育士等処遇改善臨時特例事業実施要綱」に基づき、保育士の賃金を引き上げる措置（令和4年2月分から）を講じた。（改善額　時給31円）

その結果、保育所に勤務する職員の処遇について、更なる改善を図ることができた。

なお、当該改善については国の補助金（国10/10）を活用して実施した。

事 業 名		民間保育所等施設整備助成事業			
担 当 課		こども保育課		総合振興計画コード	2132-01
款	03	民生費		当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	10,595,000 円
目	03	児童福祉施設費		決 算 額	9,504,000 円
事業の目的	保育所に入所を希望する全ての児童が入所できるよう民間保育所整備・充実を促進する。		事業の概要	民間保育所において行う創設・増改築・大規模改修事業等に対し助成を行う。	

事業の実績・成果

児童の安全確保を図るため、（福）愛の泉　愛泉幼児園が防犯対策として実施した外構工事（門扉・塀の改修）に対して市及び国の補助金を交付した。

・改修費用　14,300,000 円
・交付金額　 9,504,000 円

【内訳】　（円）

国庫補助金（1/2）	6,336,000
市補助金（1/4）	3,168,000
施設負担部分	4,796,000
合計	14,300,000

※愛泉幼児園が当初計画していた非常通報装置の設置工事（工事金額：379,500 円）については、自己資金で実施する申出があり、補助金交付変更申請書が提出されたことから、補助金交付決定額の減額が生じた。
・当初決定額 9,787,000 円→変更決定額 9,504,000 円（▲283,000 円）

事 業 名		子どもふれあいの家管理運営事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2133-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	523,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	584,874 円
目	04	児童館費	決 算 額	573,642 円
事業の目的	地域の子どもたちの交流施設の充実と経費節減を図るため、効率的な施設管理を行う。	事業の概要	・地域の子育て支援拠点として適切な施設管理を行う。 ・水深小第二健全育成室として利用中。	

事業の実績・成果

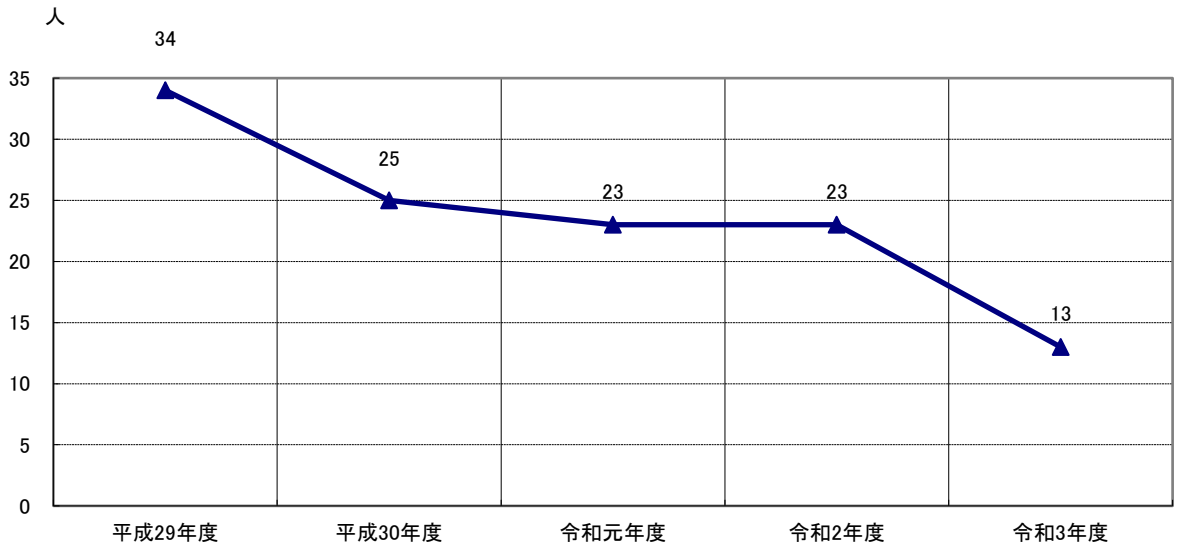
水深小学校区内における児童数の増加に伴い放課後児童クラブの利用児童数が増加し、水深小学校内の併設施設の収容能力を超えたため、子どもふれあいの家を水深小第二健全育成室として活用することで、利用児童数の分散化を図った。

事 業 名		生活保護者自立支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1173-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	6,216,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	6,316,000 円
目	01	生活保護総務費	決 算 額	5,141,718 円
事業の目的	生活保護世帯の社会的自立を支援する。	事業の概要	就労支援相談員による就労意欲の喚起及び就労自立支援、面接相談員の生活保護相談を実施する。	

事業の実績・成果

就労支援相談員の支援による被保護世帯の就労自立・就労支援活動に取り組み、被保護世帯の自立の助長に努めた。

就労自立の状況・推移



事 業 名		生活保護適正実施推進事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1173-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	6,620,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	7,123,000 円
目	01	生活保護総務費	決 算 額	7,116,950 円
事業の目的	生活保護費の不正受給防止を図る。		事業の概要	生活保護システムを活用し、保護業務に係る決定、経理、医療、介護、統計等の一連の事務処理を効率的に実施する。 医療扶助の適正化を図るため、診療報酬明細書（レセプト）の自動内容点検を実施する。生活習慣病の発症予防や重症化予防が必要な対象者を抽出し、医療と生活の両面から健康管理支援を行う。

事業の実績・成果

○生活保護システムの運用は、事務処理の効率化や統計業務の正確性に寄与した。
○診療報酬明細書の点検のうち、資格点検を職員が行うほか、内容点検、縦覧点検については、システム委託し、医療扶助費の適正な支払いに努めた。

【参考】再審査請求の状況（平成 29 年度～令和 3 年度）　（単位：円、件）

		返戻金額	診療機関による取下げ等	成果額	点検内容	
					資格点検	内容点検
平成 29 年度	合計金額	3,550,773	789,973	2,760,800	1,190,078	1,570,722
	合計枚数	142	22	120	27	93
平成 30 年度	合計金額	3,488,981	64,245	3,424,736	2,801,080	623,656
	合計枚数	170	7	163	40	123
令和元年度	合計金額	2,423,938	0	2,423,938	1,214,340	1,209,598
	合計枚数	168	0	168	8	160
令和２年度	合計金額	4,290,706	0	4,290,706	1,749,886	2,540,820
	合計枚数	390	0	390	72	318
令和３年度	合計金額	6,918,717	0	6,918,718	4,496,616	2,422,102
	合計枚数	167	0	167	65	102

○現業員の資質の向上及び知識の習得を図ることを目的とし、各種研修会に参加した。
○後発医薬品使用促進について、チラシを年２回送付し、その他担当ケースワーカーが家庭訪問の際に原則使用についての説明を行い、使用率向上を図った。

事 業 名		生活保護管理事業			
担 当 課		生活福祉課		総合振興計画コード	1173-06
款	03	民生費		当 初 予 算 額	7,690,000 円
項	03	生活保護費		最 終 予 算 額	7,690,000 円
目	01	生活保護総務費		決 算 額	6,505,598 円
事業の目的	生活保護の適正な運営を図り生活保護者の自立を促進する。		事業の概要	生活保護新規申請時調査の徹底・29 条調査・扶養義務者照会、医療報酬支払基金等による診療報酬及び介護報酬明細書点検確認、嘱託医による医療要否意見書の確認などを実施する。	

事業の実績・成果

○嘱託医による医療要否意見書のチェック及び要保護者の医療扶助の決定実施にともなう専門的判断及び必要な助言指導等により、医療扶助費の適正化に努めた。

○医療報酬支払基金等による診療報酬明細書及び介護報酬明細書の審査を実施するとともに、後発医薬品の使用促進と医療費の抑制を図るため、保護だより等の啓発資料を配布し、医療扶助費等の適正化に努めた。

○課税調査を始めとする生活保護法第 29 条調査を実施し、生活保護の適正実施に努めた。

○市の就労支援相談員やハローワークの就労相談員等によるチーム連携により、要保護者への自立に向けた就労支援を実施し、適正指導に努めた。

○定期的な家庭訪問や施設訪問、病状調査を実施し、適切な支援に努めた。

○市内の無料低額宿泊所と定期的に情報交換を行い、適正運営と地域との共生に努めている。施設の入居者は増加し満室状態が続いているが、周辺自治会との信頼関係が築かれている。

○ホームレスや生活困窮等により緊急的な食事提供が必要な方に対し、アルファ米の提供を行った。

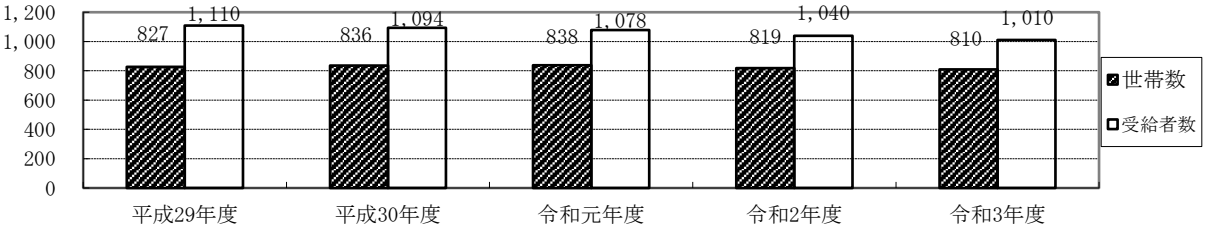
事 業 名		生活保護事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	1173-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,803,150,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	1,833,343,000 円
目	02	扶助費	決 算 額	1,707,499,966 円
事業の目的	最低限度の生活の保障と要保護者の自立を図る。		事業の概要	生活保護に関する相談、申請受付業務を行うとともに生活困窮の程度に応じた保護の実施および自立助長のための就労支援を行う。

事業の実績・成果

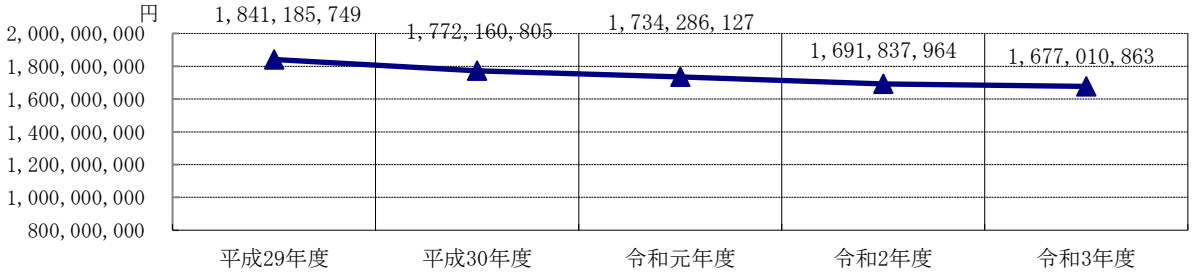
生活保護の状況について

1　生活保護世帯数および受給者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
世帯数（世帯）	827	836	838	819	810
受給者数（人）	1,110	1,094	1,078	1,040	1,010



2　生活保護費
保護費の推移



生活保護世帯数は、ここ数年横ばいあるいは微減の傾向にあり、これに伴い生活保護費も減少の傾向にある。

3　類型別世帯数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
高齢者世帯	448(54.7%)	461(55.6%)	482(57.9%)	466(57.1%)	461(57.2%)
母子世帯	37(4.5%)	33(4.0%)	24(2.9%)	25(3.1%)	22(2.7%)
障害者世帯	83(10.1%)	83(10.0%)	92(11.0%)	89(10.9%)	101(12.6%)
傷病者世帯	149(18.1%)	159(19.2%)	151(18.1%)	161(19.7%)	147(18.2%)
その他世帯	103(12.6%)	93(11.2%)	84(10.1%)	75(9.2%)	75(9.3%)

類型別世帯数では停止世帯を含まないため、生活保護世帯数の合計と誤差が生じている。

事業名	災害時要援護者支援事業		
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1163-06
款 03	民生費	当初予算額	533,000円
項 04	災害救助費	最終予算額	533,000円
目 01	災害救助費	決算額	471,008円

事業の目的	事業の概要
災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。	災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。 要援護者名簿は、1年に1回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に配付し情報を更新する。 福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。

事業の実績・成果

1　災害時要援護者名簿の整備

災害時等における安否確認や避難誘導、救出活動等を的確に行えるよう、要援護者名簿を整備した。

（1）名簿の配付　　自治協力団体、自主防災組織、民生委員、消防団等に配付
※年度更新時に旧名簿は回収

（2）登録者情報の更新　　定期的な登録者情報の更新に努め、災害時に備えた。

（3）登録者数　　7,154人（実人数）

（単位：人）

内訳（複数項目該当者は重複加算）		延合計	7,491
① ひとり暮らし高齢者	2,610	⑤知的障害者（Ⓐ、A、B）	28
② 高齢者のみの世帯	4,378	⑥精神障害者（1、2級）	20
③ 要介護（3、4、5）	83	⑦外国人（日本語不自由）	0
④ 身体障害者（1、2、3級）	262	⑧その他	110

2　災害時要援護者名簿管理システム

システム保守業務…341,000円
災害時要援護者管理システムの円滑な運用を実施するため、システムの保守業務を委託した。

3　福祉避難所の確保

福祉避難スペースでは避難生活が困難な要援護者が必要な支援を受けられるよう、施設・設備、体制の整った介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害児施設、障害者サービス事業所等と協定を締結し、福祉避難所として指定している。

福祉避難所協定締結施設数　（単位：件）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
19	22	27	28	29

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">災害時要援護者支援事業【繰越明許】</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">地域福祉課</td><td>総合振興計画コード</td><td>1163-06</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>9,876,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>04</td><td colspan="2">災害救助費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>9,876,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>01</td><td colspan="2">災害救助費</td><td>決 算 額</td><td>9,263,375 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。
要援護者名簿は、1 年に 1 回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に配付し情報を更新する。
福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">1 新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。</td></tr>
</table>

事業名	被災者支援事業			
担当課	地域福祉課		総合振興計画コード	1163-09
款	03	民生費	当初予算額	3,216,000円
項	04	災害救助費	最終予算額	3,216,000円
目	01	災害救助費	決算額	1,209,777円
事業の目的	災害見舞金・弔慰金・応急住宅補助金を支給することで、災害を受けた者などの保護と福祉の増進を図る。	事業の概要	災害の被災者に見舞金及び仮設住宅補助金を支給する。 【見舞金・弔慰金】 家屋全焼（壊）20万円 半焼（壊）10万円、床上浸水5万円 部分焼（一部損壊）1万円 傷害見舞金3万円、弔慰金10万円 【仮設・賃貸住宅の補助】 月額2万円（上限）×12ヶ月まで	

事業の実績・成果

1　加須市災害見舞金等支給要綱に基づく見舞金弔慰金
災害見舞金弔慰金　880,000円

（単位：件）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
家屋	全焼・全壊（20万円）	8	7	4	3	3
	半焼・半壊（10万円）	1	1	0	0	2
	床上浸水（5万円）	0	0	0	4	0
	部分焼･一部損壊（1万円）	6	12	10	5	2
見舞金	負傷者（3万円）	4	0	5	2	2
弔慰金	死亡者（10万円）	1	0	0	2	0

2　加須市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づく災害弔慰金
なし

3　り災者応急住宅費補助金　320,000円

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数（件）	2	4	4	3	4
金額（円）	320,000	355,800	392,000	355,000	320,000

4　埼玉県・市長村被災者安心支援制度負担金（令和3年度から本事業で実施）

区分	令和3年度
件数（件）	1
金額（円）	9,777

事 業 名		健康づくり推進計画進行管理事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1111-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	134,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	134,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	0 円
事業の目的	「埼玉一の健康寿命のまち」の実現を目指し、市民一人ひとりが健康づくりの主体となり自分に適した健康づくりを進めるための計画を推進する。	事業の概要	加須市健康づくり推進計画に位置付けられた事業を健康づくり推進委員会で進捗を確認し、評価し、翌年度事業に反映する。	

事業の実績・成果

健康づくり推進委員会を書面により開催し、第3次健康づくり推進計画に位置付けられた事業の進捗状況を評価するとともに、委員より回答のあった助言の精査を実施した。

1　健康づくり推進員会開催回数：1回

2　健康づくり推進計画に位置付けられた事業の令和2年度評価：順調・おおむね順調53%

計画の柱等	1 (達成済)	2 (概ね順調)	3 (やや遅れている)	4 (大幅に遅れている)	5 (未着手)	計
1　病気の予防	4	6	5	3	1	19
2　食生活・栄養	3	2	2	1	2	10
3　身体活動・運動	1	2	1	6	2	12
4　休養・こころの健康	1	2	4	0	2	9
5　歯・口腔の健康	0	3	2	0	1	6
6　たばこ・アルコール	3	1	0	1	0	5
7　医療体制	4	2	4	1	0	11
計	16	18	18	12	8	72

事 業 名		健康情報活用事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1111-27
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	10,119,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	18,842,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	18,097,806 円
事業の目的	市民の病気を予防するため、市民の健康データを管理・共有し、各種相談事業や健診（検診）事業等で有効に活用する。		事業の概要	健康管理システム「健康かるて」により、市民の乳幼児健診、予防接種、成人健診（検診）等のデータを一元管理し、市民個々への適切な事業案内や相談・指導を実施する。 また、統計データとして集計・分析することにより、県等への報告や事業の見直し、事務改善等に役立てる。

事業の実績・成果

健康管理システムを安定的に運用できるよう、健康管理システムの保守管理を実施した。

予防接種や健診対象者の抽出、未受診者のフォローに活用する等、健康管理システムを適切に管理、運用することで、市民の健康づくり推進のための事業を円滑に実施できた。

また、マイナンバー制度を活用し、マイナポータルでの閲覧や市町村間での情報連携を行うため、下記のとおり健康管理システムの改修を行った。

・ロタウイルス予防接種情報の副本登録業務委託　1,397,000 円
・新型インフルエンザ等予防接種情報の副本登録業務委託　2,288,000 円
・健（検）診情報連携システム整備業務委託　6,435,000円

集団健（検）診ＷＥＢ予約システムを導入し、インターネットから集団がん検診等の予約を行えるよう体制を整えた。

・集団健（検）診ＷＥＢ予約システム導入・運用業務委託　550,000 円

事 業 名		健康づくり管理事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1111-28
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	5,249,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	5,249,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	4,013,696 円
事業の目的	健康づくりの推進に係る共通的な経費、備品等を適切に管理・執行する。 また、職員の能力向上を図る。		事業の概要	健康づくりの推進に係る共通的な物品、備品等の管理や事業日程を調整する。 また、計画的に研修等に参加し、職員の能力向上を図る。

事業の実績・成果

１　専門的知識の維持・向上

職員の積極的な各種研修等への参加及び専門誌からの情報収集に努めることにより、専門的知識の維持や向上を図ることができた。

２　保健事業のお知らせ

乳幼児健康診査、予防接種、健康診査、がん検診、健康相談等を掲載した令和3年度の年間事業「保健事業のお知らせ」を作成し、各世帯に配布した。

３　保健事業に係る健診用品、自動車等の維持管理

乳幼児への訪問や処遇困難ケースに係る緊急訪問を円滑に遂行するため、各種用品、自動車等を維持管理した。

事 業 名		骨髄移植ドナー推進事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1111-31
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	420,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	420,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	420,000 円
事業の目的	白血病や再生不良性貧血などの病気は、骨髄移植や末梢血幹細胞移植が最も効果のある治療とされていることから、骨髄等の移植推進を図るとともに、その基盤ともなる骨髄バンクドナー登録の推進を図る。	事業の概要	骨髄等の移植推進を図るとともに、埼玉骨髄バンク推進連絡会と連携し、市内献血実施事業所等の協力を得ながら骨髄バンク登録の推進を図る。 また、骨髄移植ドナー協力者等へ助成金を交付する。	

事業の実績・成果

平成26年度から埼玉骨髄バンク推進連絡会の協力を得て、献血会場におけるドナー登録会を実施している。令和3年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大を受けながらも、登録会を開催できる機会が逓増しドナー登録者も増加した。

1　骨髄移植ドナー登録数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数（回）	15	19	15	2	5
登録者数（人）	52	68	61	4	12

2　骨髄移植ドナー推進事業助成金事業　（単位：人）

	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
提供者数	総数	2	1	1	4
	ドナー休暇あり	0	0	0	3
	ドナー休暇なし	2	1	1	1

事業名	献血推進事業			
担当課	健康医療推進課		総合振興計画コード	1111-32
款	04	衛生費	当初予算額	166,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	166,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	118,602円
事業の目的	がん患者、けが人等の生命を救うため、相互扶助の精神に基づき、献血の普及を図り、良質な血液を確保する。	事業の概要	埼玉県の献血推進計画や埼玉県赤十字血液センターの献血受入計画に基づき、市内の各所で献血を実施する。 赤十字血液センターと協力して、献血の普及、協力事業所の確保を図るとともに、献血者へ記念品を配布する。	

事業の実績・成果

各事業所・団体等23会場で献血を実施し、献血思想を普及するとともに、良質な血液の確保が図られた。

1　献血者内訳等

会場数（回数）	献血者数目標値（人）	受付者数（人）	献血者数（人）		
			200ml	400ml	計
23（55）	2,719	2,314	158	1,899	2,057

2　献血者の推移　（単位：人）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
献血者数	2,114	2,168	1,876	1,896	2,057

事業名	食生活改善推進事業			
担当課	いきいき健康長寿課		総合振興計画コード	1112-04
款	04	衛生費	当初予算額	757,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	757,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	527,049円
事業の目的	食生活を改善することにより、生活習慣病予防やフレイル予防など、市民の健康づくりに資する。	事業の概要	食生活改善推進員による食生活改善推進活動を支援するとともに、生活習慣病予防等をテーマに食生活改善推進員が講師となりヘルシークッキングを開催する。 また、食生活改善推進員協議会との共催により、食生活改善推進員を養成するための講座や資質の向上を図るための定例リーダー研修会を開催する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理実習を伴う事業は中止となったが、食生活改善推進員と協議を重ね、定例リーダー研修会は調理実習と試食を割愛した講義のみという新しいスタイルを試みた。管理栄養士による定例リーダー研修会を実施できたことにより、健康課題である高血圧や糖尿病予防に関する食生活改善の学びを通して、会員から会員への伝達活動への実施につなげることができた。

また、三密対策を図りながら、会員同士で調理実習以外の運動や広報などの自主活動に取り組むことができた。

さらに、令和2、3年度の養成講座申込み者に定例リーダー研修会への案内を行い、参加につなげた。

1　ヘルシークッキング（市からの委託事業）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数（回）	30	30	30	中止（コロナのため）	中止（コロナのため）
参加者延人数（人）	691	655	658		
うち初回参加人数(人)	231	145	148		

2　食生活改善推進員養成講座（市との共催事業）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施日数（日）	6	6	6	中止（コロナのため）	中止（コロナのため）
参加者延人数（人）	26	56	44		
食生活改善推進員数（人）	188	185	190		

3　食生活改善推進員定例リーダー研修会（講師：市管理栄養士／対象：食生活改善推進員）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数（回）	6	6	6	6	6
参加者延人数（人）	155	161	157	68	133

4　食生活改善推進員定例伝達活動（講師：リーダー研修会に参加した食生活改善推進員／対象：食生活改善推進員）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数（回）	49	53	51	中止（コロナのため）	31
参加者延人数（人）	691	710	700		424

事 業 名		地域医療ネットワーク（とねっと）事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1131-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	3,887,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	3,887,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	3,884,000 円
事業の目的	地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。		事業の概要	・医療機関及び参加者の増加を図るため、普及啓発を行う。 ・協議会事務局費を負担し、協議会の事務を支援する。

事業の実績・成果

「とねっと」を管理・運営する埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の会長市として、協議会事務局と連携し、事業の諸課題の解決に向け、埼玉県や構成市町等との協議を進めた。

1　会議の開催状況

(1) 協議会総会　(2 回)
(2) 協議会作業部会全体会会議　(2 回)
(3) 協議会 IT ネットワーク担当部会システムワーキンググループ会議　(6 回)
(4) 利根地域医療連携連絡協議会（行政担当課長）会議　(3 回)

2　令和 3 年度の主な取組

(1) 利根保健医療圏域外の住民及び医療機関も含めた参加促進
(2) システムの普及啓発
(3) 住民・医療機関を対象としたアンケートの実施

3　「とねっと」の普及・啓発

協議会事務局と連携して、市民及び医療機関への普及・啓発に取り組み、15,071 人の市民、市内 52 の医療機関（歯科、調剤薬局含む）の参加を得ることができた（令和 4 年 3 月 31 日現在)。

［普及・啓発の主な取組］

新型コロナウイルス感染症の影響により、中核病院等での普及活動が実施できなかったことや、患者の受診抑制等があったなかで、広報紙、ホームページ上でのお知らせや、ポスターの掲示などを推進し、参加者の増加を図った。

【住民及び医療機関等の参加状況】

	市内	利根保健医療圏全体	圏域外
参加住民数（人）	15,071	35,194	43
参加施設数（施設）	52	152	5

（注）利根保健医療圏全体の参加施設数には、県立循環器・呼吸器病センター、県立がんセンター、県立小児医療センターを含む。

事業名	医療情報提供事業			
担当課	健康医療推進課		総合振興計画コード	1131-04
款	04	衛生費	当初予算額	3,264,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	3,264,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	0円
事業の目的	市民が安心して医療機関にかかれるよう、医療機関の情報を的確に提供する。	事業の概要	広報紙やホームページ、ガイドブック、チラシなど様々な媒体を活用し、市民に必要な医療情報を提供する。	

事業の実績・成果

様々な媒体で、市民に医療機関や医療相談窓口等に関する情報を分かりやすく提供し、市民がこれらの情報を収集、把握する際の一助とすることができた。

1　印刷媒体による情報提供

	掲載内容	提供方法等
加須市医療機関ガイドブック	市内医療機関の名称、連絡先、診療科目、診療時間、休診日、時間外診療や往診の有無など	庁舎や公共施設に配備し、転入者や希望者に配布
休日・夜間救急診断カレンダー	市内救急病院の休日・夜間における救急診療体制や休日当番医など	毎月の「広報かぞ」に掲載
市内医療機関診療情報	夏季及び年末年始における市内医療機関の診療予定など	各総合支所等公共施設に配置
地域の医療機関情報	市内医療機関、歯科診療所、調剤薬局及び各種医療相談窓口など	「加須市子育てガイドブック」令和2年度改訂版に掲載

2　ホームページによる情報提供

情報内容	市内医療機関診療情報				救急医療機関	小児救急・休日小児科診療	夜間休日救急診療
	病院	小児科	耳鼻科・眼科	内科・整外等			
閲覧件数	760	320	567	1,203	2,462	5,941	9,610

3　埼玉県の救急電話相談（#7119）

埼玉県の委託により埼玉県医師会が実施している救急医療情報相談、大人の救急電話相談、小児救急電話相談。(24時間受付　年中無休)

（単位：件）

救急医療情報	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市民からの問合せ件数	989	916	965	741	939

（単位：件）

大人の救急情報	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市民からの問合せ件数	394	588	600	516	638

【繰越明許　令和3年度から令和4年度へ繰越す理由】

(繰越明許額　3,241,000円)

医療機関ガイドブックについて、令和4年度の済生会加須病院や加須東病院の開院など、より正確な情報を反映させるため。

事業名	済生会病院支援事業			
担当課	健康医療推進課		総合振興計画コード	1132-01
款	04	衛生費	当初予算額	3,625,837,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	3,625,837,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	3,616,465,949円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するために、埼玉県済生会加須病院の建設支援を行う。	事業の概要	埼玉県済生会加須病院の開院に向けて、済生会との連絡調整を行い、周辺整備等を進めていく。	

事業の実績・成果

令和4年6月1日の埼玉県済生会加須病院開院に向け、主に次の業務を実施した。

（1）済生会栗橋病院との協議
済生会新病院建設支援プロジェクト推進本部会議：計5回開催（全43回開催）
済生会新病院の建設に係る連絡調整会議：計5回開催（全34回開催）

（2）補助金の交付
加須市済生会新病院建設工事等補助金交付要綱（令和元年9月18日制定）に基づき、埼玉県済生会に令和3年度分の補助金を交付した。（補助額　3,567,500,000円）

（3）新病院建設等支援に係る主な事業

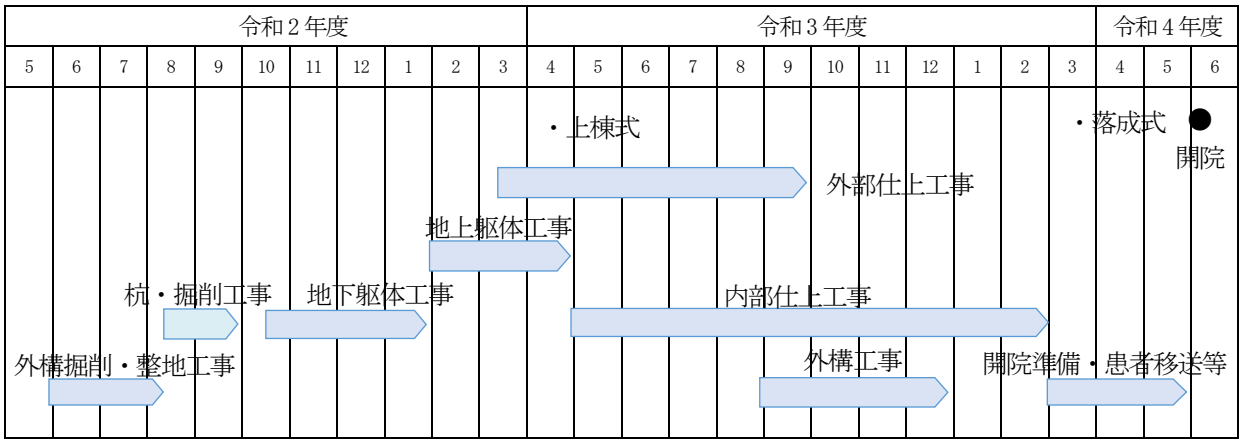
事業内容	支出額
用地確定杭設置委託	1,144,000円
周辺水路フェンス設計委託	365,200円
東西ブロック設置工事	9,878,000円
調整池ポンプ設置工事	14,674,000円
周辺道路整備工事（県道側舗装）	7,590,000円
周辺道路整備工事（市道側舗装）	9,636,000円
管理用道路舗装工事	5,665,000円
計	48,952,200円

（4）埼玉県済生会加須病院の開院に伴う加須市と埼玉県済生会との包括的連携に関する協定の締結
令和4年1月25日、加須市と済生会加須病院が緊密に連携し、地域の一層の活性化と市民サービスの向上を図るため、埼玉県済生会と包括的連携協定を締結した。
【協定の具体的な内容】
① 地域医療の推進に関すること
・重篤患者の積極的受け入れなど、救急医療の充実　など
② 市民への先進的な医療提供に関すること
・ロボット手術の導入などによる高度な医療の提供　など
③ 災害対策に関すること
・災害時における傷病者の積極的な受入れ　など
④ まちづくりに関すること
・病院の立地効果を生かしたまちづくりに関する連携・協力
⑤ その他相互に連携協力することが必要と認められる事項に関すること
・特別交付税を活用した財政支援、市民公開講座の開催　など

（5）埼玉県済生会加須病院市民サポーターの設立

令和４年３月４日、地域に密着した市民に愛される病院にするために、加須市自治協力団体連合会会長などが発起人となり、市民サポーターが設立された。

（6）済生会による建設工事に係る工程



事業名	産婦人科開設支援事業			
担当課	健康医療推進課		総合振興計画コード	1132-02
款	04	衛生費	当初予算額	13,000 円
項	01	保健衛生費	最終予算額	13,000 円
目	01	保健衛生総務費	決算額	0 円
事業の目的	特に整備が必要な分娩を扱う産婦人科及び救急医療を担う救急科の市内開設を促進し、市民がより安心できる医療環境を整備する。		事業の概要	新たに分娩を扱う産婦人科又は救急医療を担う救急科を市内に開設しようとするものに対し、1,000 万円を上限に開設費用の 1/2 を市が補助することによって、市内開設の促進を図る。

事業の実績・成果

産婦人科及び救急科の市内開設への支援制度である「加須市産婦人科・救急科開設支援事業補助金交付要綱」について、本事業の周知、活用に向け、市ホームページに掲載した。

また、埼玉県済生会加須病院の開院に伴う埼玉県済生会との包括的連携に関する協定において、「済生会加須病院は、市民ニーズに対応した診療科目の確保に努める」とし、周産期医療の必要性について確認を行った。

事 業 名		看護師等育成確保支援事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1132-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	559,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	559,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	542,882 円
事業の目的	長寿化の進行に伴い、今後ますます医療を必要とする人の増加が見込まれるなか、地域医療を担う人材を確保し、市民がより安心できる医療環境を整備する。		事業の概要	埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けて看護師等養成施設に就学していた学生で、卒業後、市内の医療機関等において正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き看護業務に従事しているものに対し、埼玉県に返還した奨学金の額の 1/2 を上限に市が助成する。

事業の実績・成果

市内の医療機関等における看護師や准看護師を確保するための支援制度として、「加須市看護師等育成確保支援事業補助金交付要綱」を制定し、本事業の活用に向け、市ホームページ等で周知するとともに、該当者１名に対し助成を行った。

１　事業概要

（1）　対象者

・埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けている方、またはこれから貸与を受ける方

・看護師等養成施設を卒業した日の翌日から２ヶ月以内に市内の医療機関で看護師の業務に従事し、正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き従事している方

（2）　補助金額

・上記対象者が埼玉県に返還した奨学金の額の２分の１

２　本事業の活用実績

・１名（埼玉県済生会栗橋病院勤務）　540,000 円

事業名	医療体制確保基金事業				
担当課		健康医療推進課		総合振興計画コード	1132-07
款	04	衛生費		当初予算額	2,297,000円
項	01	保健衛生費		最終予算額	6,772,000円
目	01	保健衛生総務費		決算額	5,555,081円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するため、これに要する経費の財源を基金に積み立てる。		事業の概要	基金を積み立て、済生会病院の誘致や、産婦人科・救急科の市内開設、看護師の人材確保等の支援に要する経費に充てる。	

事業の実績・成果

医療体制確保基金

寄附金（ふるさとづくり寄附金）及び基金運用から生じた利益（利子）について、医療体制確保基金へ積み立てを行った。また、埼玉県済生会加須病院建設に係る周辺整備、建設工事等補助金の財源に充てるため、同基金の取り崩しを行った。

なお、医療体制確保基金は、埼玉県済生会加須病院の誘致にあたり、済生会に対する財政支援や市が行う造成工事等の財源として活用していたが、補助金の交付や全ての工事は令和3年度をもって完了し、令和4年6月1日に開院を迎えることとなり、基金の目的も達成するため、令和3年度末をもって基金を廃止する。

【年度末基金残高の推移】 （単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
積み立て額	3,003,040,000	515,898,492	761,393,183
（うち寄附金）	1,010,000	885,000	1,040,000
利子	1,293	497,877	701,341
取り崩し額	2,030,000	15,013,492	135,737,183
年度末残高	3,001,011,293	3,502,394,170	4,128,751,511

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
積み立て額	549,272,000	36,700,000	5,319,000
（うち寄附金）	720,000	2,270,000	5,319,000
利子	653,284	761,072	236,081
取り崩し額	622,572,910	439,682,946	3,659,437,092
年度末残高	4,056,103,885	3,653,882,011	0

※ 令和3年度は、済生会病院支援事業（周辺道路整備工事、東西ブロック設置工事、新病院建設工事等補助金等）に充当するため、3,616,452,200円を取り崩した。また、残りの42,984,892円については、一般会計に繰入れた。

事 業 名		初期・２次・３次救急医療支援事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1133-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	50,710,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	100,710,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	50,636,000 円
事業の目的	医師不足などによる厳しい医療環境のなかで、地域の救急医療体制を確保し、医療に対する市民の安心感を高める。	事業の概要	関係機関と連携し、救急医療を必要とする市民が、安心して医療を受けられる救急医療体制を整備する。 ・在宅当番医制の運営 ・救急病院の当直医確保への支援 ・東部北地区病院群輪番制の運営支援 ・埼玉東部消防組合との連携 ・救急医療体制推進協議会等での協議 ・公的病院救急医療等運営費の補助	

事業の実績・成果

厳しい救急医療環境の中で、休日・夜間における初期（軽症）救急患者及び二次（重症）救急患者の受入態勢を維持することができた。

１．初期救急医療体制 … 救急医療支援事業、在宅当番医制

（1） 救急医療支援事業

内容	土曜日・日曜日・祝日の夜間において、救急医療体制の確保に必要な調整及び医師雇い入れ賃金の一部を補助（補助金額：9,420 千円）
参加病院	市内 2 救急告示病院（中田病院、十善病院）
対象日数	中田病院：60 日、十善病院：59 日
対象日患者数	中田病院：166 人、十善病院：15 人

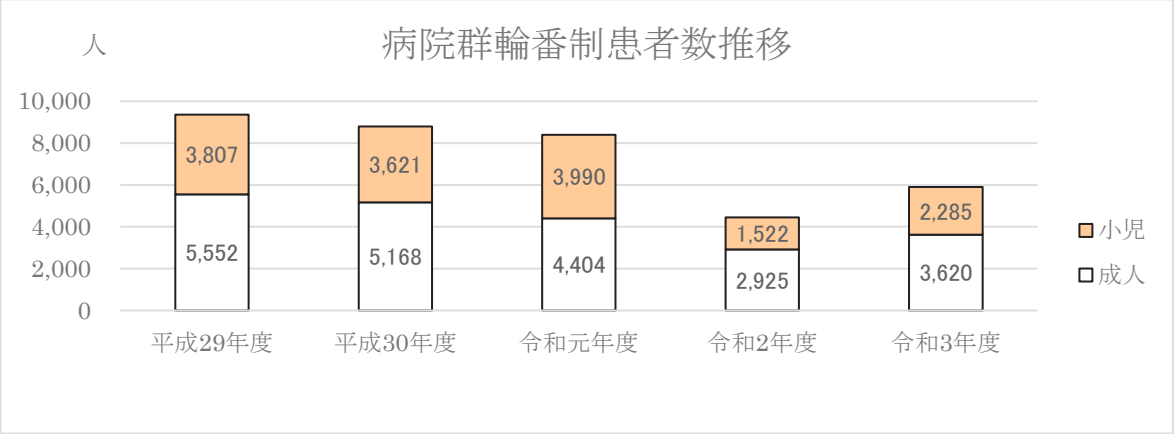
（2） 在宅当番医制

内容	医療機関が当番制で休日診療を実施し、初期救急患者への対応を行う。
委託先	北埼玉医師会（加須市内：市内の 2 救急告示病院（中田病院、十善病院） 羽生市医師会：医師会会員の 25 医療機関）
構成市及び負担金	加須市：2,728 千円、羽生市：1,316 千円　　合計　4,044 千円
実施日	加須医師会　：中田病院；35 日、十善病院；35 日　合計　70 日 羽生市医師会：25 医療機関　合計　72 日
実施日患者数	加須医師会　：1,704 人（中田病院；1,215 人、十善病院；489 人） 羽生市医師会：1,028 人

２．二次救急医療体制 … 病院群輪番制、公的病院救急医療等運営費補助

（1）病院群輪番制

内容	東部北地区（6 市 2 町）の二次救急医療機関が連携して、輪番方式で休日・夜間等の重症患者の受入れを実施
運営費補助金 （6 市 2 町合計）	成人 34,960 千円、小児 34,960 千円　（計）69,920 千円 ※小児 34,960 千円のうち、16,102 千円は県補助金
加須市負担金	成人 6,218 千円、小児 3,354 千円　（計）9,572 千円
実施日（回数） 及び患者数	成人：437/437（実施率 100.0%）　3,620 人 小児：437/437（実施率 100.0%）　2,285 人



（２）公的病院救急医療等運営費補助

救急医療等の不採算部門を担う公的病院に特別交付税を活用した財政支援を行った。

補助額……済生会栗橋病院：27,600 千円

【繰越明許　令和３年度から令和４年度へ繰り越す理由】

三次救急医療補助金（繰越明許額　50,000,000 円）

令和４年６月１日開院の済生会加須病院における救命救急センターの指定状況を踏まえて補助を行うため。

事業名	休日小児科診療事業		
担当課	健康医療推進課	総合振興計画コード	1133-02
款 04	衛生費	当初予算額	1,380,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	1,380,000円
目 01	保健衛生総務費	決算額	1,380,000円
事業の目的	小児患者の重症化の予防と保護者の負担の軽減を図るとともに、軽症患者の集中により逼迫している小児第二次救急医療体制の緩和を図る。	事業の概要	市内の小児科専門医が当番制で診療にあたる休日小児科診療体制を整備する。 【実施期間】①4月から10月の祝日 ②11月から3月の日曜、祝日、年末年始（元日を除く） 【診療時間】午前9時～正午

事業の実績・成果

多くの医療機関が休診となる4月から10月の祝日とインフルエンザやウイルス性胃腸炎などが流行する11月から翌年3月の日曜日・祝日・年末年始における小児科診療体制を整備し、多くの小児患者及び保護者の負担の軽減を図ることができた。

1　事業内容

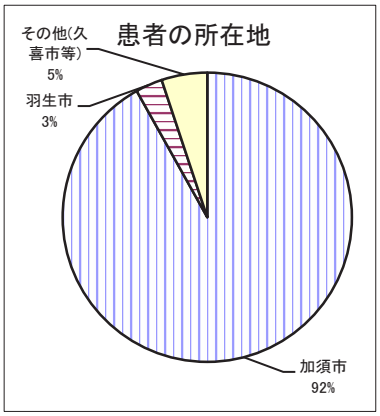
(1) 実施日　令和3年4月～令和3年10月の祝日及び
令和3年11月～令和4年3月の日曜、祝日、年末年始（1月1日を除く）全39日

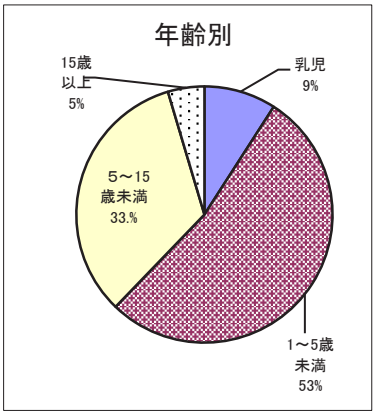
(2) 診療時間　午前9時～正午

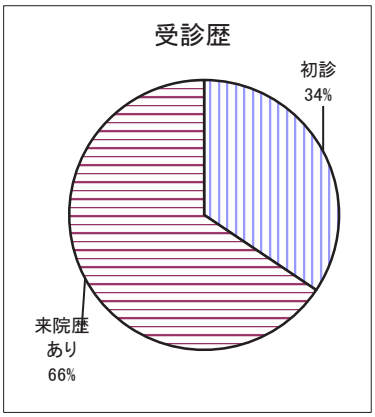
(3) 医療機関　中田病院（小児科）、加藤こどもクリニック、つのだ小児科医院、ともながこどもクリニック、福島小児科医院による当番制

(4) 委託料　当番1回当たり35,000円、会議出席謝金1回当たり3,000円（合計1,380,000円）

2　患者の内訳（令和3年度）

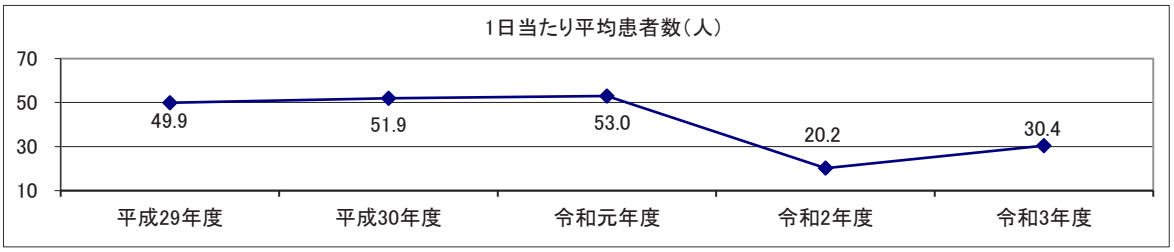






3　患者数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施日（日）	39	41	43	41	39
患者数（人）	1,948	2,129	2,281	827	1,187
1日当たり平均患者数(人)	49.9	51.9	53.0	20.2	30.4



事 業 名		特別休日歯科診療事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1133-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	175,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	175,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	175,000 円
事業の目的	急病患者の歯科医療を確保するため、多くの歯科診療所が休診日にあたるゴールデンウィーク、年末年始などに歯科診療体制を整える。	事業の概要	ゴールデンウィーク、年末年始に市内の歯科診療所が当番制で急患歯科診療を実施する。 診療時間：午前9時～正午	

事業の実績・成果

ゴールデンウィーク、年末年始などの特別休日に急病患者に対する歯科診療機会を提供することができた。

○受診者数 （単位：人）

	月 日	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ゴールデンウィーク	4月30日※			2		
	5月3日	0	2	9	0	3
	5月4日	2	1	5	9	2
	5月5日	5	3	0	2	4
年末年始	12月31日	11	19	16	17	11
	1月1日	2	5	6	0	7
	1月2日	5	7	4	6	8
	1月3日	4	4	2	2	15
計		29	41	44	36	50

※ 令和元年度については、ゴールデンウィークが 10 連休であったため、歯科医師会と協議し 4 月 30 日を実施した。

事 業 名		小児科医による救急講座・子育て相談事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1133-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	139,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	139,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	36,083 円
事業の目的	子育て支援の一環として、子育て中の方が、将来にわたり安心して医療を受けられる小児医療体制を構築する。	事業の概要	小学生までの子どもを子育て中の保護者や養護教諭などを対象に、小児科専門医による講話や相談を行う講座を開催する。（年４回）	

事業の実績・成果

保護者が、子どもの急な病気やけがにも慌てずに対処できるように、加須、騎西、北川辺、大利根の各地域で１回ずつ、市内の小児科専門医による救急講座・子育て相談を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により YouTube による配信とした。

１　参加者数　（単位：人）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
全域	333	261	304	― ※1	650 ※2

※1　令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

※2　令和３年度は視聴回数を参加者数とした。

事業名	不妊治療事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2111-04
款	04	衛生費	当初予算額	7,380,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	7,380,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	5,483,000円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、不妊や不育に悩む夫婦が不妊治療や不妊検査、不育症検査を受けることによる経済的負担を軽減することにより、不妊治療等を受けやすい環境を整備する。	事業の概要	①不妊治療費助成事業は、埼玉県不妊治療費助成事業の支給の決定を受けた、初回治療時妻年齢43歳未満の夫婦を対象に、不妊治療費用の一部（県の助成金額を控除した自己負担額の1/2、上限15万円）を助成する。②早期不妊検査費助成事業及び不育症検査費助成事業は、妻年齢43才未満の夫婦が受けた不妊検査費用や不育症検査費用の一部（上限2万円、1回限り）を助成する。	

事業の実績・成果

安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進することができた。

1　不妊治療費被助成者数

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
不妊治療費被助成者数	49	39	34	41	55
不妊治療による妊娠者数	16	16	17	16	29

【参考】

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
埼玉県不妊治療費助成事業申請者数（加須市民）	91	85	87	101	133

2　早期不妊検査費被助成者数

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
早期不妊検査費被助成者数	10	16	10	17	9

3　不育症検査費被助成者数（平成30年度から助成開始）

（単位：件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
不育症検査費被助成者数	3	5	4	11

事業名	妊婦保健事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2111-05
款	04	衛生費	当初予算額	61,593,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	61,593,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	59,094,294円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、母体や胎児の健康の保持増進を図るとともに、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識を習得いただき、安心して出産できるよう支援する。	事業の概要	妊婦健康診査（14回分のうち1回目14,070円、2回目以降は5,010円、5,710円、8,010円または8,110円を助成）及び関連検査の費用と、令和3年4月1日以降に受けた新生児聴覚検査費用（最大5,000円）、を助成する。また、パパママ学級を開催し、安心して出産できるよう支援する。	

事業の実績・成果

妊娠届出をした妊婦の100.8%※（613人／608人）が妊婦健康診査を受診したため、妊婦の健康を守ることに役立った。

※受診者には令和2年度に妊娠届出をした者も含まれるため、100%を超えることもある。

また、パパ・ママ学級参加者へのアンケートの結果、「参加して育児不安が減ったか」という質問に対して、回答者の94.7%（90人／95人）が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答し、妊娠や出産に対する不安の軽減につなげることができた。

1　妊娠届出等

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
妊娠届出(件)	690	624	635	584	608
母子手帳交付数(冊)	718	659	670	637	638

2　妊婦健康診査受診者数　（単位：人）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
妊婦健康診査受診者数（公費負担）	1回目	676	609	608	582	613
	2回目	659	612	589	573	589
	3回目	658	588	571	583	586
	4回目	650	606	555	572	574
	5回目	539	532	508	519	499
	HTLV-1抗体検査	694	611	603	584	611
	性器クラミジア検査	694	618	602	587	612
	6回目から14回目	5,341	4,638	4,285	4,237	4,524

3　新生児聴覚検査費用助成件数

	令和3年度
助成件数	536

4　パパ・ママ学級　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
パパ参加者数	73	104	93	47	68
ママ参加者数	94	133	125	65	81
計	167	237	218	112	149

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名	避難者支援妊婦保健事業				
担当課		子育て支援課		総合振興計画コード	2111-06
款	04	衛生費		当初予算額	522,000円
項	01	保健衛生費		最終予算額	522,000円
目	01	保健衛生総務費		決算額	0円
事業の目的	原発避難者特例法に基づき、東日本大震災により被災した者のうち、妊婦に対して妊婦健康診査受診等の支援を行う。		事業の概要	妊婦健康診査費用の助成（14回分の1回目14,070円、2回目以降は5,010円、5,710円、8,010円または8,110円）等の支援を行う。（平成24年1月から実施）	

事業の実績・成果

避難者のうち、令和3年度中に妊娠届出をした者や妊婦健康診査を受診した者はいなかった。

（単位：人）

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
妊婦健康診査受診（公費負担）者数	1回目	1	3	2	0	0
	2回目	3	3	1	1	0
	3回目	3	3	1	1	0
	4回目	4	2	1	1	0
	5回目	2	2	1	1	0
	HTLV-1抗体検査	2	3	2	0	0
	性器クラミジア検査	2	3	2	0	0
	6回目から14回目	6	12	11	8	0

事 業 名		こんにちは赤ちゃん事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2112-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	3,135,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	3,268,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	3,067,901 円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、乳児家庭の孤立化を防ぎ、親子の健全な育成環境の確保を図る。また、産後うつ病を防ぎ、適切な養育の実施を確保する。		事業の概要	生後 4 か月までの乳児のいる全ての家庭に助産師、保健師が訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状態等を把握し、助言を行う。 また、未熟児訪問や、養育支援訪問（専門的相談・指導が必要な家庭訪問）を行う。

事業の実績・成果

産婦から提出された出生連絡票に基づき連絡し、生後 4 か月までの乳児のいる家庭を助産師または保健師が訪問した。出生連絡票の提出がない場合、連絡を行い訪問した。

訪問により、乳児の発育・発達、健康状態を把握するとともに、母親（父親）の育児に対する相談を受け、育児支援を行うことができた。

1　訪問件数（年度訪問件数）　（単位：件）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
653	652	572	545	574

※訪問件数については、前年度生まれの乳児、他市へ依頼した訪問も含む。

2　令和 3 年度訪問状況　（単位：人）

令和 4 年 5 月 24 日現在（令和 4 年生まれの児の訪問が終了していないため）

対象者数（出生数－転出＋転入）		602
訪問者数		561
訪問予定者数		17
未訪問の内訳	面接等	2
	施設入所	3
	希望なし	19

※対象者数は、令和 4 年 3 月 31 日までの児

※希望なしの理由は、里帰り中のため調整がつかない、経産婦のため心配なことがない等。

3　養育支援訪問（未熟児養育医療申請者、病院からの連絡等）　（単位：件）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
79	66	53	60	54

※平成 28 年度からは未熟児養育医療申請者の訪問件数に病院からの連絡等の訪問件数を合算。

※訪問件数については、前年度生まれの乳児も含む。

事 業 名		母子保健推進員訪問活動事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2114-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	163,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	163,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	39,745 円
事業の目的	地域における子育て支援を促進するため、母子愛育会の班員のうち、母子保健推進員として登録した者が、市民の見守り・声掛け訪問活動を実施する。		事業の概要	愛育班員のうち母子保健推進員として登録した者が、受け持ち地域に住む全ての市民を対象に家庭訪問を実施する。そして、母子保健推進員と保健師が地域の健康問題を把握し、健康増進に取り組む。

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、訪問期間や対象者をしぼっての実施であったが、各地域の母子保健推進員が、それぞれの担当地域の市民宅を訪問し、健康に関する資料や情報を直接提供することができた。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
家庭訪問件数（件）	1,553	942	906	301	372
母子保健推進員数（人）	285	247	241	237	237

事 業 名		健康づくり地域交流事業			
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	2114-04
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	1,632,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	1,632,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	942,510 円
事業の目的	地域特性に合わせた交流の場の提供や、愛育班だよりを発行し、市民の心と体の健康増進を図る。		事業の概要	遊びの広場（子どもを遊ばせながら、母親同士が集い合える場の提供）、三世代交流会等を開催する。また、愛育班だよりを発行する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、遊びの広場・三世代交流会を中止とした。愛育だよりは、2年ぶりに連合会で広報誌「あいいく」を作成し、市内の全地域に配布した。

1　遊びの広場：親子で遊べる場や友達づくりの場

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数（回）	37	35	34	0	0
一般参加人（人）	961	1,004	1,025	0	0

2　三世代交流会：高齢者と親と子どもが一緒に遊び相互理解を深める場

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数（回）	10	10	10	0	0
一般参加人（人）	1,301	1,300	1,289	0	0

3　愛育班だより：訪問により把握した健康問題をテーマに、各地区愛育班で発行

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
発行回数（回）	25	25	21	2	6
発行部数（部）	41,020	43,620	34,720	3,400	46,760

事業名	乳幼児健診事業				
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード		2121-01
款	04	衛生費	当初予算額		12,074,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額		12,074,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額		11,211,682円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、乳幼児の健診を実施し、乳幼児の健康の保持増進及び虐待予防を図る。	事業の概要	乳幼児の身体計測、内科診察・歯科診察、保健相談、栄養相談、心理相談、歯科相談を実施する。		

事業の実績・成果

乳幼児健診を行うことにより、乳幼児の発育・発達の遅れ、疾病等の早期発見が図られた。

また、未受診児については、未把握のないよう、再通知や訪問、電話等で状況把握し、リスクの軽減を図った。

〈乳幼児健診実績の推移〉

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
3～4か月児健診	受診人数 (受診率%)	680 (97.8)	638 (98.0)	606 (97.4)	482 (96.2)	573 (97.3)
	健康管理上注意する者 (その者の割合%)	300 (44.1)	280 (43.9)	263 (43.4)	216 (44.8)	245 (42.8)
9～10か月児健診	受診人数 (受診率%)	683 (96.7)	685 (96.6)	603 (93.8)	499 (97.5)	589 (95.5)
	健康管理上注意する者 (その者の割合%)	278 (40.7)	287 (41.9)	260 (43.1)	204 (40.9)	227 (38.5)
1歳6か月児健診	受診人数 (受診率%)	724 (95.6)	693 (96.5)	681 (94.7)	660 (94.6)	626 (96.6)
	健康管理上注意する者 (その者の割合%)	331 (45.7)	331 (45.7)	314 (46.1)	319 (48.3)	321 (51.3)
2歳児健診	受診人数 (受診率%)	745 (94.2)	731 (94.8)	684 (93.7)	627 (94.1)	620 (93.9)
	健康管理上注意する者 (その者の割合%)	352 (47.2)	359 (49.1)	314 (45.9)	319 (50.9)	284 (45.8)
3歳児健診	受診人数 (受診率%)	758 (95.1)	738 (94.6)	739 (91.9)	762 (95.5)	706 (95.1)
	健康管理上注意する者 (その者の割合%)	285 (37.6)	285 (38.6)	285 (38.6)	318 (41.7)	286 (40.5)

＜乳幼児健診実績＞（令和３年 ４月 １日～令和４年 ５月 31 日現在）

	該当者（人）	受診者（人）	未受診者（人）	受診率（%）	異常なし（人）	健康管理上注意する者（人）	その割合（%）
3～4 か月健診	589	573	16	97.3	328	245	42.8
9～10 か月健診	617	589	28	95.5	362	227	38.5
1 歳 6 か月健診	648	626	22	96.6	305	321	51.3
2 歳児健診	660	621	39	94.1	336	285	45.9
3 歳児健診	742	706	36	95.1	420	286	40.5

＜令和３年度　未受診児の状況＞（令和３年 ４月 １日～令和４年 ５月 31 日現在）　（単位：人）

	3～4 か月児健診	9～10 か月児健診	1 歳 6 か月児健診	2 歳児健診	3 歳児健診
医療機関で受診	12	13	6	10	7
保育園（所）・幼稚園で受診	1	6	7	13	22
市外・海外在住	0	1	0	3	1
市の保健師による訪問・面接	3	8	9	13	6
合　　計	16	28	22	39	36

＜新型コロナウイルス感染症に係る対応＞

【Ⅰ．感染予防】安心して健診を受診できる環境の整備

感染拡大の防止や、安心して健診が受けられる環境の整備をするため、健診一回の開催人数を 40 人までとし、ソーシャルディスタンスを保つ会場設置やこまめなアルコール消毒を行い、感染予防対策を講じて開催した。また、人数制限に伴う受診機会の減少を防ぐため、健診を追加実施した。

（単位：回）

	3～4か月健診	9～10か月健診	1歳6か月健診	2歳児健診	3歳児健診
追加実施回数	0	1	0	2	3

9～10 か月健診では、対象者が多い月があり医師２名を配置。

２歳児健診、１歳６か月健診との合同開催を１回

３歳児健診追加を２回、２歳児健診との合同開催を１回

○健診の追加実施に伴う経費（合計：259,000 円）

（乳児健診謝金）

医師：23,000 円×1 人

（幼児健診謝金）

医師：23,000 円×4 人　　歯科医師：23,000 円×3 人

保健師：7,000 円×6 人　　看護師：6,000 円×8 人　　歯科衛生士：6,000 円×3 人

栄養士：7,000 円×2 人　　心理士：15,000 円×3 人

事 業 名		親子歯科保健推進事業			
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	2121-02
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	1,321,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	1,321,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	858,158 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、親と子がむし歯、歯並び、歯周疾患について正しい知識を習得する機会を拡充する。		事業の概要	・2 歳児から就学前の幼児を対象とした市が実施する歯 LOW 教室、フッ素塗布	

事業の実績・成果

歯の健康について知識の普及を図り、フッ素塗布によるむし歯の予防に努めたことにより、むし歯のない幼児を増やすことができた。

1　むし歯のない幼児の割合　（単位：%）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
歯 LOW 教室	94.7	97.5	100.0	100.0	100.0
2 歳児健診	97.0	97.0	97.2	98.4	93.9
3 歳児健診	82.9	86.6	88.1	87.5	86.2

2　3 歳児健診における歯みがき指導参加状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
健診受診者(人)	758	738	739	762	700
参加人数(人)	634	637	597	691	700
参加率（%）	83.6	86.3	80.8	90.7	100

3　フッ素塗布（歯 LOW 教室含む）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
実施回数（回）	16	16	15	10	12
参加人数（人）	604	577	463	213	135

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 6 回実施を見合わせ、12 回実施した。

事 業 名		育児健康相談事業			
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	2121-05
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	426,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	426,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	402,000 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、養育者の育児不安の軽減を図り、乳幼児の健全な発育発達を促す。		事業の概要	乳幼児健康相談、訪問、面接、電話などにより、育児や発育・発達に関する相談を行う。	

事業の実績・成果

乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことで、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、子どもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

1　乳幼児健康相談（乳幼児に関する健康相談）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
実施回数 (回)	41	34	32	23	28
実人数 (人)	315	325	268	176	180
延人数 (人)	663	611	541	278	328

2　乳幼児に対する訪問、面接、電話の実施延べ件数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
訪問実人数 (人)	56	112	89	76	67
訪問延件数 (件)	80	153	123	128	145
面接延件数 (件)	50	105	92	105	136
電話延件数 (件)	408	656	829	1051	966

事業名	幼児発達支援事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2121-06
款	04	衛生費	当初予算額	2,858,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	2,858,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	2,834,728円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、幼児期の発達、または養育者の育児の不安などにより、育児支援が必要な養育者と子に対して支援を行う。	事業の概要	ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある幼児や、子どもとの関わりに不安をもっている養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図る。 また、必要な幼児に対し医療機関への受診を勧め、幼児の特徴を知り、発達を促す関わりができるようにする。	

事業の実績・成果

親子・育児教室では、ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある子どもや、子どもとの関わりに不安を持つ養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図るとともに、必要に応じて医療機関へ受診を勧め、健全な発達を促すことができた。

また、ことばの相談では、ことばの遅れや発音等心配のある子どもに対し、言語聴覚士による個別相談を行うとともに、必要に応じて医療機関への受診を勧め、言語発達及び健全な発達を促すことができた。

1　親子・育児教室

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数（回）	59	59	56	50	60
参加延人数（人）	831	852	780	411	479

※　加須地域は概ね3歳4か月までは親子教室、概ね3歳4か月以降は育児教室として、騎西・北川辺・大利根地域は年齢にかかわらず、親子教室として実施した。

2　ことばの相談（言語聴覚士による相談）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数（回）	69	72	72	67	71
参加延人数（人）	530	548	560	597	676

事 業 名		親と子の食育事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2121-07
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	79,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	79,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	45,287 円
事業の目的	食に対する意識を高め、正しい食習慣の形成確立を目指し、将来の生活習慣病予防や健康づくりを推進する。	事業の概要	講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝える。 乳児期：らくらく離乳食教室 学童期：わくわく食育クッキング その他公民館、小学校等への出前健康教育	

事業の実績・成果

講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝え、各ライフステージにおける食事作りのポイントや注意点等の情報提供を行い、日常生活に反映できるよう支援した。

1　らくらく離乳食教室

生後 4～9 か月の子どもと保護者を対象に、口腔発達に合わせた離乳食のすすめ方及び食生活リズムについての講話・実演を通して、乳児の食に関する情報を伝えることができた。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
予定回数(回)	12	12	12	12	12
実施回数(回)	12	12	※9	※9	12
参加者数(人)	158	164	134	75	170

※実施回数の減少の理由：新型コロナウイルス感染症予防のため

【令和 3 年度らくらく離乳食教室終了後アンケート】

項目	よく理解できた	概ね理解できた	あまり理解できない	全く理解できない	その他
回答割合（%）	91.1	8.4	0.4	0	0

2　学童のための栄養学習

わくわく食育クッキング（児童及び保護者を対象にした講話、調理実習、試食）の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。代替として、北川辺西小学校及び北川辺東小学校に通う児童とその保護者(4 年生 69 名)に対してカルシウム摂取に関する資料の配付とアンケートを実施(回収率 85.5%)した。資料とアンケートを通して、普段の食生活を振り返る機会を提供することができた。

事業名	がん検診事業			
担当課	いきいき健康長寿課		総合振興計画コード	1111-07
款	04	衛生費	当初予算額	148,018,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	148,018,000円
目	02	予防費	決算額	128,092,384円
事業の目的	市民の病気を予防するため、各種がん検診等を実施し、がんの早期発見、早期治療を促す。	事業の概要	各種がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）、胃がんリスク検診、B型及びC型肝炎ウイルス検診を実施する。 また、生活保護受給者への健康診査を実施する。	

事業の実績・成果

集団検診は48回の予定であったが2月に1回追加し49回実施した。コロナ禍で年度前半に受診者が少なかったため、乳がん検診以外の個別検診は、加須医師会と調整を行い、実施期間を令和4年2月末まで延長し、検診の機会を設けることができた。

がん検診の受診率は対象者の算出方法が変更となったため低下したが、受診者数は全てのがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）で前年度より増加した。

がん検診を実施することにより、「がん」の早期発見・早期治療を促すことができた。

1 実施内容

検診名	集団	個別	検診内容
胃がん検診	○	○	胃部エックス線検査（集団検診） 胃内視鏡検査（個別検診）
肺がん検診	○	○	胸部エックス線検査、喀痰検査（ハイリスク者）
大腸がん検診	○	○	便潜血検査
子宮頸がん検診	○	○	子宮頸部細胞診、ＨＰＶ検査
乳がん検診	○	○	乳房エックス線検査
前立腺がん検診	○	○	ＰＳＡ検査
胃がんリスク検診	－	○	ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG 検査、血清ペプシノゲン検査
健康診査 （生活保護等）	－	○	身体計測、血圧、血液検査(脂質、血糖、貧血、肝機能等)、尿検査 ＊医師の判断により心電図

2 実績

(1) がん検診

ア 胃がん検診

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（人）		34,777	35,145	35,537	35,820	72,182
バリウム検査	受診者数(人)	3,304	3,177	3,296	1,693	2,410
内視鏡検査	受診者数(人)	364	406	419	471	542
バリウム+内視鏡	受診者数(人)	3,668	3,583	3,715	2,164	2,952
	受診率（%）	14.1	13.8	13.8	12.0	5.1
バリウム検査	要精密検査者数（人）	91	169	242	164	207
	胃がん発見者数（人）	2	3	3	1	2
内視鏡検査	要精密検査者数（人）	47	37	40	82	87
	胃がん発見者数（人）	3	0	0	2	2

※平成24年9月1日から胃内視鏡検査を実施している。

イ 肺がん検診

	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（人）	34,777	35,145	35,537	35,820	72,182
受診者数（人）	5,954	6,378	6,714	4,878	6,145
受診率（%）	17.1	18.1	18.9	13.6	8.5
要精密検査者数（人）	153	176	284	235	243
肺がん発見者数（人）	4	4	8	3	4

ウ 大腸がん検診

	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（人）	34,777	35,145	35,537	35,820	72,182
受診者数（人）	7,891	8,616	8,883	7,728	8,350
受診率（%）	22.7	24.5	25.0	21.6	11.6
要精密検査者数（人）	511	563	585	553	507
大腸がん発見者数（人）	14	21	26	21	18

エ 子宮頸がん検診（妊婦健診を除く。）

	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（人）	24,505	24,464	24,407	24,401	47,361
受診者数（人）	4,678	4,884	4,884	4,137	4,515
受診率（%）	27.4	27.6	28.1	26.3	12.9
要精密検査者数（人）	63	50	49	54	47
子宮頸がん発見者数（人）	2	1	1	2	1

オ 乳がん検診

	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（人）	20,949	21,120	21,294	21,455	36,724
受診者数（人）	2,469	2,578	2,625	2,007	2,349
受診率（%）	23.0	23.5	24.1	21.2	11.7
要精密検査者数（人）	155	195	179	134	159
乳がん発見者数（人）	12	9	10	11	11

カ 前立腺がん検診

	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数（人）	12,401	12,591	12,825	13,134	27,401
受診者数（人）	2,257	2,557	2,737	2,386	2,599
受診率（%）	18.2	20.3	21.3	18.2	9.5
要精密検査者数（人）	149	209	158	131	162
前立腺がん発見者数（人）	10	12	10	9	8

キ 胃がんリスク検診

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者
受診者数（人）	87	97	75	79	92

※ 「対象者数(人)」の算出方法は令和3年度から変更となる。令和2年度までは「人口−就業者数＋農林水産業従事者数」であったが、令和3年度からは年齢別対象者全てを母数とする。

※ 胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診における「受診率（%）」の数値は、県報告値（（「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」−「前年度及び当該年度における2 年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100）とする。

※ がん発見者数は、精密検査実施医療機関から年度を越えて結果が報告されるため、人数は増加する場合がある。

(2) 健康診査(生保健診等)　　(単位：人)

	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数	798	763	780	767	675
受診者数	76	70	67	79	64

(3)　若年者在宅ターミナルケア支援事業

在宅療養をする若年（20歳以上40歳未満）の末期と診断されたがん患者が、住み慣れた自宅等で最期まで自分らしく安心して日常生活を送れるよう、在宅サービス（訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具の貸与）利用料の一部助成を行う事業を、令和3年9月から開始した。　　利用実績　なし

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事業名		肝炎検診事業		
担当課		いきいき健康長寿課	総合振興計画コード	1111-10
款	04	衛生費	当初予算額	831,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	831,000円
目	02	予防費	決算額	560,226円
事業の目的	市民の病気を予防するため、肝炎検診を実施し、肝炎に関する健康被害の回避、症状の軽減、進行の遅延に努める。	事業の概要	当該年度中に40歳を迎える方、または当該年度において満41歳以上となる方であって、過去に当該肝炎健診に相当する検診を受けたことがない方を対象に委託医療機関で肝炎ウィルス検査を実施する。	

事業の実績・成果

特定健康診査との同時実施や、けんしんパスポートによる個別通知、チラシの配布を行い、検診（肝炎ウイルス検査）の周知を行うことができた。

(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受診者数	158	178	149	151	134
要精密検査者数	0	1	2	3	3

事 業 名		骨粗しょう症予防事業		
担 当 課		いきいき健康長寿課	総合振興計画コード	1111-11
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	3,176,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,692,251 円
目	02	予防費	決 算 額	1,937,225 円
事業の目的	要介護の主な原因となる骨折を招く骨粗しょう症予防のため、骨密度測定を実施し、早期から骨量減少への対策を行う。		事業の概要	骨密度測定を各地域で実施する。また、測定後は結果説明をし、要指導域の方及び希望者に対して保健師・管理栄養士による個別相談を実施する。

事業の実績・成果

自身の骨密度を知ることにより、骨粗しょう症の予防に対する意識を高めることができた。

参加機会を増やすために、令和 3 年度から回数を 1 回増やし 13 回に拡充し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三密対策を講じて実施した。

また、節目年齢（40、45、50、55、60、65、70 歳）の女性に、はがきによる受診案内を行い、受診勧奨を行うことができた。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
実施回数(回)	9	9	9	12	13
受診者数(人)	1,002	1,040	1,091	1,027	1,247

事業名	健康相談事業		
担当課	いきいき健康長寿課	総合振興計画コード	1111-16
款 04	衛生費	当初予算額	334,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	334,000円
目 02	予防費	決算額	247,672円
事業の目的	市民の病気を予防するため、健康相談を実施し、健康の保持増進及び生活習慣病予防に努める。	事業の概要	高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症、女性の健康、病態別（肥満、心臓病など）から重点課題を選定し、重点健康相談を実施する。また、健康全般、栄養、歯科など総合健康相談を実施する。

事業の実績・成果

健康相談のアンケート結果から、自分や家族の体の状態や生活習慣の改善点、健診を受ける必要性について「分かった」「やや分かった」と答えた方が 100%であったため、相談者に健診受診の必要性や生活習慣の改善点を指導することができた。

1　重点健康相談（歯周疾患、骨粗しょう症、高血圧、糖尿病、脂質異常症）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数(回)	16	20	19	22	23
相談件数(件)	447	535	534	531	507

※令和3年度内訳507件（歯周疾患13件、骨粗しょう症419件、高血圧20件、糖尿病45件、脂質異常症10件）

2　総合健康相談

(1) 保健相談

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数(回)	89	65	154	371	18
相談件数(件)	514	420	473	393	38

【種類別実施内訳】

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)
保健センター健康相談	27	64	14	45	13	78	13	35	8	28
医療診断センター健康相談	12	80	12	70	12	47	―	―	―	―
他課依頼健康相談	12	147	―	―	―	―	―	―	―	―
出前健康相談	1	10	1	9	1	9	0	0	0	0
健康まつり健康相談※	4	180	4	262	4	215	中止		中止	
新型コロナウイルス相談※	―	―	―	―	105	105	337	337	―	―
その他（電話・来所）	33	33	34	34	19	19	21	21	10	10
合計	89	514	65	420	154	473	371	393	18	38

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により健康まつりが中止のため、実施なし。
※新型コロナウイルス感染症の相談については、令和3年度より当課での集計なし。

(2) 栄養・歯科相談

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
栄養	実施回数(回)	39	19	19	19	12
	相談件数(件)	50	42	71	42	20
歯科	実施回数(回)	1	1	2	2	0
	相談件数(件)	1	1	2	2	0

事業名	生活習慣病予防事業		
担当課	いきいき健康長寿課	総合振興計画コード	1112-01
款 04	衛生費	当初予算額	2,511,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	2,511,000円
目 02	予防費	決算額	1,666,940円
事業の目的	市民の病気を予防するため、生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及し、市民が「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高める。	事業の概要	生活習慣病予防講座の開催、健康手帳の交付、かぞ健康マイレージの実施等を通じ、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及する。

事業の実績・成果

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、医師・歯科医師出前講座、栄養講座、運動体験講座を縮小して実施した。（健康まつりは全地域中止）実施した事業については、定員を減らし、三密対策を講じて実施し、運動や、生活習慣病、骨粗しょう症などについて普及啓発を行い、生活習慣病の予防を図ることができた。かぞ健康マイレージは従来の参加型から成果型へ実施内容を変更した。

1　健康手帳の交付　（単位：冊）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
交付数	4,932	5,577	5,097	4,215	4,544

2　生活習慣病予防講座（健康教育）の開催

(1) 令和3年度実施内容及び実績

実施内容	実施回数（回）	参加延人数（人）
歯周疾患予防	8	25
骨粗しょう症・転倒予防	14	1,269
病態別（医師出前講座、栄養講座）	7	122
一般（生活習慣病、運動、栄養等）	75	5,706
計	104	7,122

(2) 年度別実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実施回数（回）	158	183	176	87	104
参加延人数（人）	7,655	10,627	10,548	5,458	7,122

3　かぞ健康マイレージの実施　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
応募者数	484	575	613	482	481

4　健康まつりの開催

(1) 実施内容

アルコールパッチテスト、健康相談、足裏健康測定、脳年齢測定、血管年齢測定等

(2) 年度別実績　（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	平成元年度	令和2年度	令和3年度
参加人数	6,134	6,295	7,721	中止	中止

事 業 名		成人歯科保健推進事業		
担 当 課		いきいき健康長寿課	総合振興計画コード	1112-13
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	2,129,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,612,749 円
目	02	予防費	決 算 額	2,508,787 円
事業の目的	高齢期における健康を維持し、食べる楽しさを享受できるように、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康の保持増進を図る。 また、8020 運動の普及啓発を推進する。	事業の概要	・成人歯科検診（20 歳以上の方及び妊婦を対象）を歯科医院へ委託 ・8020 お達者歯科健診（65 歳以上を対象に公民館等で健診を実施し、80 歳以上で 20 本以上自分自身の歯がある方を地区敬老会で表彰）	

事業の実績・成果

成人歯科検診の実施により、口腔内の状態を把握し、歯周疾患等の早期発見・予防を図ることにつながった。また、8020 お達者歯科健康診査の実施により、8020 運動の普及啓発を推進できた。

1　成人歯科検診（歯周病検診）

対象：20 歳以上の市民

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
検診人数（人）	267	310	408	430	419
平均むし歯歯数（本）	12.1	10.9	12.3	11.4	11.9
平均現存歯数（本）	27.0	27.1	26.8	26.6	26.8

2　8020 お達者歯科健康診査

対象：65 歳以上の市民

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
実施回数（回）	8	8	8	8	8
参加人数（人）	55	30	37	29	25
表彰人数（人）	50	18	25	22	20

※　表彰対象：８０歳以上（4 月 1 日現在）で、自分の歯を２０本以上（治療した歯も含む）お持ちの方

事 業 名	こころの健康づくり事業			
担 当 課	健康医療推進課		総合振興計画コード	1113-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	978,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	978,000 円
目	02	予防費	決 算 額	880,034 円
事業の目的	市民が心身ともにより健康的な生活を送ることができるよう、心の健康づくりを推進し、精神疾患や自殺の予防を図る。	事業の概要	精神科医師、公認心理師へ相談する機会を提供する。 また、自殺予防に関する啓発を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携し訪問指導を実施する。	

事業の実績・成果

保健師による電話・面接・訪問相談のほか、精神科医師や公認心理師による相談を実施した。また、メンタルチェックシステム「こころの体温計」を市ホームページ等において周知し、こころの健康づくりへの普及啓発に努めるとともに、相談者のこころの健康づくりに役立てた。

1　精神保健相談（保健師による相談）　（単位：件）

相談手段	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電　話	145	61	50	65	51
面　接	163	32	25	20	6
訪　問	26	8	4	7	1

2　こころの健康相談

ア　精神科医師による相談

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回数（回）	12	12	12	12	5
延べ人数（人）	14	9	6	7	7

イ　公認心理師による相談

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回数（回）	25	25	19	30	25
延べ人数（人）	28	26	25	45	40

※令和3年度公認心理師による相談については、当初実施予定21回（ただし、うち1回は大雪警報による加須市雪害に対応するタイムラインの発動に基づき中止）に加え、合同相談振替5回を実施した。

3　合同相談（公認心理師による相談）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回数（回）	14	14	14	8	9
延べ人数（人）	16	11	11	6	7

※令和3年度については、新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年6月、8月、9月、令和4年2月、3月の計5回が中止となり、「こころの健康相談」へ振替を行った。

4　メンタルチェックシステム「こころの体温計」　（単位：件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ホームページアクセス件数	18,527	21,237	20,455	15,116

5　自殺予防週間及び月間についての周知

・広報かぞ令和3年9月・3月号
・ホームページへの掲載
・図書館資料等を活用した行政情報PR活動3月

事業名		新型コロナウイルス感染症予防対策事業		
担当課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1121-01
款	04	衛生費	当初予算額	26,432,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	90,723,518円
目	02	予防費	決算額	50,100,832円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の拡大を可能な限り抑制することで、市民の生命を守り、健康被害を最小限にとどめる。		事業の概要	・こども又は高齢者で集団感染のおそれのある場合、保健所が幅広く行うＰＣＲ検査の対象とならない人を対象に、市独自でＰＣＲ検査費用を実施（25,000円/人）。ＰＣＲ検査に付帯するＣＴ検査等費用を助成（上限5,000円/人）。 ・消毒液、マスク等の備蓄及び活用 ・予防方法の普及啓発 ・新型コロナウイルス感染症対策本部

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊参照）。

【繰越明許　令和3年度から令和4年度へ繰越す理由】
（繰越明許額　30,446,011円）
行政検査等の対象とならない方に対する市独自のＰＣＲ検査費、保育所や学童に配布する消毒液等、また、自宅療養者への食料品等の配付等について年度を跨いで継続的に事業を実施するため繰越を行った。

事業名		新型コロナウイルス感染症予防対策事業【繰越明許】		
担当課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1121-01
款	04	衛生費	当初予算額	4,975,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	4,975,000円
目	02	予防費	決算額	4,825,000円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の拡大を可能な限り抑制することで、市民の生命を守り、健康被害を最小限にとどめる。		事業の概要	・こども又は高齢者で集団感染のおそれのある場合、保健所が幅広く行うＰＣＲ検査の対象とならない人を対象に、市独自でＰＣＲ検査費用を実施（25,000円/人）。ＰＣＲ検査に付帯するＣＴ検査等費用を助成（上限5,000円/人）。 ・消毒液、マスク等の備蓄及び活用 ・予防方法の普及啓発 ・新型コロナウイルス感染症対策本部

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		高齢者予防接種事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1141-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	83,200,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	84,085,645 円
目	02	予防費	決 算 額	83,554,922 円
事業の目的	健康寿命を延ばすため、対象疾患の罹患・流行を防止する。		事業の概要	高齢者インフルエンザは接種日 65 歳以上又は障がい者 1 級で 60 から 64 歳が委託先で接種する費用を助成する。 高齢者肺炎球菌は市内、古河市内の委託医療機関の場合、国が示す定期接種対象者に市独自対象者を加え、年度末年齢 65 歳以上で接種歴のない全員を対象に接種費用を助成する

事業の実績・成果

1　高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種

高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部を助成することにより、高齢者の疾病予防に努めることができた。

（単位：人）

種　類	平成 29 年度 接種者数	平成 30 年度 接種者数	令和元年度 接種者数	令和 2 年度 接種者数	令和 3 年度	
					接種者数	対象者数
高齢者インフルエンザ	13,855	14,087	16,017	21,944	18,888	34,169
高齢者肺炎球菌	1,253	1,342	1,733	1,881	1,164	22,218

令和 3 年度接種率：高齢者インフルエンザ 55.3%（全体）、高齢者肺炎球菌 47.7%（65 歳）

事 業 名	いきいき長寿保健事業		
担 当 課	いきいき健康長寿課	総合振興計画コード	1141-27
款 04	衛生費	当 初 予 算 額	4,471,000 円
項 01	保健衛生費	最 終 予 算 額	4,471,000 円
目 02	予防費	決 算 額	3,199,873 円
事業の目的	医療専門職が主体となり、加齢に伴う心身機能の低下による、疾病や生活習慣病の重症化予防やフレイルを予防するための運動・口腔機能の向上や栄養状態の改善を行う。	事業の概要	医療・介護のデータの分析をもとにした個別的支援と、ふれあいサロン等の通いの場を活用したフレイル予防の健康教室を行う。

事業の実績・成果

令和２年度から新規事業として、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に行い、疾病の予防や、生活習慣病の重症化予防、フレイル予防を推進するための取り組みを開始した。

個別支援（ハイリスク支援）として、低栄養者、口腔機能低下者、医療機関受診勧奨者を対象に、医療専門職（保健師、管理栄養士、歯科衛生士）が訪問や電話などによる保健指導を行った。その中で、生活に課題を抱えている３ケースを高齢者相談センターへつなぎ、継続支援につなげた。

集団支援（ポピュレーション支援）として、ふれあいサロンへ出向き、フレイル予防の講話、フレイルチェックを行い、フレイル予防の普及啓発を行った。

また国保データベース（ＫＤＢ）システムの健診、医療、介護情報から、健康課題の分析を行い、加須市の健康課題を作成した。

１　個別支援（ハイリスク支援）
　前年度後期高齢者健康診査受診者から対象者を抽出

（１）低栄養　（単位：人）

	令和２年度	令和３年度
対象者数	79	76
支援実施者実数	43	61

（２）口腔機能低下　（単位：人）

	令和２年度	令和３年度
対象者数	実施なし	65
支援実施者実数		60

（３）受診勧奨　（単位：人）

	令和２年度	令和３年度
対象者数	28	24
支援実施者実数	20	19

２　集団支援（ポピュレーション支援）

	令和２年度	令和３年度
開催回数（回）	中止	14
参加者数（人）		135

事業名	予防接種事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	2121-03
款	04	衛生費	当初予算額	240,646,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	240,646,000円
目	02	予防費	決算額	198,164,755円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、予防接種により対象疾病の罹患防止と免疫水準を維持することにより、流行を阻止する。	事業の概要	定期予防接種（ＢＣＧ、ポリオ、三種混合、四種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎、ロタウイルス）、成人男性の風しん抗体検査及び風しん予防接種費用を全額助成する。 インフルエンザ予防接種費用の一部助成を中学３年生に実施する。	

事業の実績・成果

小児予防接種の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

１　定期接種実績

（単位：人）

種　類	平成29年度接種者数	平成30年度接種者数	令和元年度接種者数	令和2年度接種者数	令和３年度	
					接種者数	対象者数
ＢＣＧ	668	684	623	641	569	613
三種混合	0	3	2	2	1	
不活性ポリオ	54	23	2	2	0	
四種混合	2,753	2,782	2,612	2,566	2,427	2,362
二種混合	763	712	681	820	783	973
麻しん風しん混合１期	747	701	662	656	590	658
麻しん風しん混合２期	827	761	750	794	774	820
麻しん	0	0	0	0	0	
風しん	0	0	0	0	0	
日本脳炎	3,413	4,285	3,645	3,800	2,037	3,496
ヒブ	2,810	2,684	2,471	2,489	2,395	2,362
小児用肺炎球菌	2,799	2,692	2,524	2,443	2,393	2,362
子宮頸がん	5	2	9	50	192	
水痘	1,416	1,396	1,374	1,349	1,232	1,316
Ｂ型肝炎	2,099	1,996	1,810	1,803	1,755	1,704
ロタウイルス				500	1,217	1,179

※「子宮頸がん」は平成25年６月から定期予防接種として継続するものの、接種を勧奨しないとされていたが、令和３年11月に積極的勧奨の差控えが終了した。

２　定期外接種（市独自の予防接種）実績

（単位：人）

種　類	平成29年度接種者数	平成30年度接種者数	令和元年度接種者数	令和2年度接種者数	令和３年度	
					接種者数	対象者数
中学3年生インフルエンザ	561	558	629	573	363	973

３　風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券送付

風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券送付

	令和３年度
対象者（男性のみ）	昭和37年４月２日～昭和41年４月１日
対象者数	2,816人

風しん抗体検査及び予防接種実績

（単位：件）

	令和３年度
抗体検査	1200
予防接種	239

市が全額助成し、対象者の自己負担なし

※平成31年４月１日から開始
本事業は、法令により令和４年３月31日まで時限的に実施することとされている。
対象者は、昭和37年４月２日から昭和54年４月１日までの間に生まれた男性である。
国から示されたとおり、下表のようにクーポン券を３年に分けて発送する。

対象者（男性のみ）	クーポン券発送年度
昭和47年４月２日～昭和54年４月１日　①	令和元年度
昭和41年４月２日～昭和47年４月１日　②	令和２年度
昭和37年４月２日～昭和41年４月１日　③	令和３年度

（参考）平成31年２月28日　13,498人（①＋②＋③）

事 業 名		避難者支援予防接種事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	2121-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	1,881,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,881,000 円
目	02	予防費	決 算 額	580,335 円
事業の目的	原発避難者特例法に基づき東日本大震災により被災した者に対し、予防接種の支援を行う。		事業の概要	定期予防接種（ＢＣＧ、ポリオ、三種混合、四種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎、ロタウイルス）を全額助成、高齢者インフルエンザを 4,085 円、高齢者肺炎球菌を 5,382 円助成する。 また、中学 3 年生インフルエンザ予防接種費用を 2,000 円助成する。

事業の実績・成果

東日本大震災により被災し、市内に避難している方に対する予防接種の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

定期予防接種等接種実績

（単位：人）

		接種者数	市町村別内訳								
			双葉町	大熊町	浪江町	飯舘村	川内村	いわき市	南相馬市	富岡町	楢葉町
小児用	BCG	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	二種混合	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	四種混合	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	麻しん風しん混合	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヒブ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	小児用肺炎球菌	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	水痘	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	Ｂ型肝炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学3年生インフルエンザ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	小　計	19	15	3	1	0	0	0	0	0	0
高齢者用	高齢者インフルエンザ	100	92	0	6	1	0	0	1	0	0
	高齢者肺炎球菌	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	小　計	102	94	0	6	1	0	0	1	0	0
合　計		121	109	3	7	1	0	0	1	0	0

事業名	動物適正飼養事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4433-03
款	04	衛生費	当初予算額	779,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	779,000円
目	02	予防費	決算額	629,878円
事業の目的	狂犬病予防対策を推進するとともに、ペットの適正な飼育等の普及啓発を行い、快適な地域生活環境の保全を図る。	事業の概要	犬の登録及び狂犬病予防注射の実施や狂犬病予防に向けた普及・啓発を行う。さらに、ペットの適正飼養についての広報活動及び指導を実施する。	

事業の実績・成果

1　狂犬病予防集合注射
(1)日時　4月7・9・13・15・18・20日（6日間）
(2)場所　各地域の公民館、体育館、総合支所、コミュニティセンター等

2　狂犬病予防注射勧奨通知の送付
(1) 発送日　令和3年10月4日
(2) 対　象　狂犬病予防注射を5年間未接種犬の飼い主
(3) 対象人数　960人

【犬の登録頭数の推移】　（単位：頭）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規登録数	430	431	448	454	384
登録頭数	7,784	7,653	7,606	7,444	7,259

【年度別狂犬病予防注射済頭数・接種率の推移】　（単位：頭・%）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
登録頭数	7,784	7,653	7,606	7,444	7,259
注射済頭数	5,924	5,593	5,519	4,766	4,782
接種率	76.1	73.1	72.6	64.0	65.9

3　適正飼育についてチラシ・広報紙による啓発
・犬猫の糞尿迷惑看板の配布　令和3年度配布実績　122枚

事 業 名		新型コロナウイルスワクチン接種事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1121-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	0 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	863,546,000 円
目	02	予防費	決 算 額	266,791,852 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症に係るワクチンについて、市民への円滑な接種を実施するため必要な体制の整備を図る。		事業の概要	・人的体制の整備 ・予防接種台帳システム等のシステム改修 ・接種券、予診票、案内等の印刷及び発送 ・接種の実施体制の確保 ・相談体制等の確保

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

【繰越明許　令和３年度から令和４年度へ繰り越す理由】
（繰越明許額　534,342,453 円）
年度を跨いでワクチン接種を実施するため繰り越しを行った。

事 業 名		新型コロナウイルスワクチン接種事業【繰越明許】		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1121-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	778,989,275 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	778,989,275 円
目	02	予防費	決 算 額	647,290,486 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症に係るワクチンについて、市民への円滑な接種を実施するため必要な体制の整備を図る。		事業の概要	・人的体制の整備 ・予防接種台帳システム等のシステム改修 ・接種券、予診票、案内等の印刷及び発送 ・接種の実施体制の確保 ・相談体制等の確保

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊参照）。

事 業 名		環境美化活動団体支援事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4121-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	553,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	553,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	399,264 円

事業の目的	環境美化の推進を図るため、市と市民等の協働により、公共施設における地域の植栽・清掃等の環境美化活動を促進する。	事業の概要	花の植付や清掃活動などの環境美化活動に必要な物品、用具等の支給やボランティア活動保険への加入、活動団体の名称を表示したサインボードの設置などを行う。

事業の実績・成果

ボランティア団体や企業等との協働により、市が管理している道路や公園等の清掃や、花壇の植栽等の美化活動を行った。

1　支援内容

(1) 美化活動を行うために必要な物品、用具等の支給又は貸与
(2) 緑化に必要な花の種・苗の支給
(3) 収集又は搬出が困難なごみの回収
(4) 活動団体の名称を表示したサインボードの設置
(5) ボランティア活動保険への加入

2　支給内容

・軍手、鎌、ほうき等の清掃用具
・パンジー、ビオラ、マリーゴールド等の苗
・ボランティア活動保険への加入

3　ボランティア団体数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体数（団体）	35	40	37	38	39
人数（人）	604	688	665	666	685

4　美化活動の現状と効果

清掃活動地域は、27 か所で実施され、継続的に清掃活動が行われた。また、15 か所の植栽活動地域では、主に春季と秋季の年 2 回、花苗等の植栽が行われた。

令和 3 年度は、2 団体が新規登録となり、新たな活動地域を得ることができ、快適で美しい環境づくりを継続的に推進することができた。

事 業 名		地域衛生協働事業			
担 当 課		環境政策課		総合振興計画コード	4122-04
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	1,498,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	1,498,000 円
目	03	環境衛生費		決 算 額	1,185,946 円
事業の目的	地域の公衆衛生の維持・向上を図るため、地域住民との協働による地域の衛生活動を推進する。		事業の概要	自治協力団体が地域の公衆衛生の向上等の為に行う害虫駆除で使用する防疫薬剤を配布する。また、薬剤散布に使用する機材の購入費補助を行う。	

事業の実績・成果

1　自治協力団体（市全域）への防疫薬剤の配布

自治協力団体（市全域）に対し、次表のとおり市が防疫薬剤を配布した。各地区において消毒機による衛生害虫の防疫活動が行われ、地域衛生の向上が図られた。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体数(団体)	26	20	20	20	20
回 数（ 回 ）	104	100	112	105	120

2　環境衛生功労者感謝状の贈呈

長年にわたり地域の清掃、ごみ等の分別指導や草刈り等の環境衛生活動を率先して実施し、地域の環境美化に尽力した方に感謝状を贈呈した。

・ 対　象　　環境衛生功労者　11 名・2 団体

3　明るい社会づくりの会への活動事業費補助　　140,000 円

明るく住みよい社会づくりを図るため、加須市明るい社会づくりの会に補助金を交付し、次の事業が実施された。

・会報配布、東日本大震災被災地ボランティア(宮城県石巻市)など

事 業 名		清掃活動促進事業			
担 当 課		資源リサイクル課		総合振興計画コード	4123-02
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	16,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	16,000 円
目	03	環境衛生費		決 算 額	0 円
事業の目的	市民や事業者と市の協働による清潔な地域環境の実現を図るため、市民や事業者の生活環境の保全及び環境美化意識の向上に努める。		事業の概要	・加須市コミュニティ協議会等の市民団体と協働により、まちの一斉清掃を実施する。	

事業の実績・成果

コミュニティ協議会等の市民団体との協働により、市内の一斉清掃を実施し、環境美化の促進と環境保全の意識高揚を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、一斉清掃は計画した 11 回のうち 5 回の実施にとどまり、6 回が中止となった。また、渡良瀬遊水地クリーン作戦も中止した。その結果、予算措置した渡良瀬遊水地クリーン作戦の傷害保険料及び清掃活動に伴う消耗品の支出はなかった。

1　年間清掃活動の実績

実施日	地域	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）
5 月 23 日（日）	北川辺	1,190	1,360
6 月 20 日（日）	加　須	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
7 月 25 日（日）	大利根		
8 月 29 日（日）	騎　西		
11 月の一ヵ月間	加　須	集計不能	5,200
11 月 14 日（日）	北川辺	1,239	1,310
12 月 19 日（日）	大利根	2,657	2,830
3 月の一ヵ月間	加　須	集計不能	720
3 月 6 日（日）	騎　西	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	北川辺		
3 月 13 日（日）	大利根		
合　計		5,086	11,420

2　渡良瀬遊水地クリーン作戦

実施日	参加団体数	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）
日にち設定せず	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

事 業 名		「浮野の里」自然環境保全事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4212-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	3,457,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	3,556,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	3,399,571 円
事業の目的	自然環境との共生を推進するため、県の緑のトラスト保全地であり、優れた自然と歴史的景観が残る「浮野の里」を保全し、活用を図る。		事業の概要	「浮野の里」公有地の管理委託や「さいたま緑のトラスト協会」ボランティアと連携した保全活動・保全管理を行うとともに、「浮野の里」自然観察会を開催し環境学習の場としても活用する。 また、県絶滅危惧種に指定されるトキソウの保護と増殖を図る。 （浮野の里面積：約 125 万㎡、うち令和 3 年度末時点の公有地面積：89,910 ㎡）

事業の実績・成果

1　「浮野の里」公有地管理業務委託

展望台・四阿等の清掃、クヌギ並木遊歩道の除草を行うほか、あやめ祭りの主会場となる花菖蒲園内の除草や「ちりじ野」のヨシ刈り払いなど通年の維持管理を行った。業務は、地元の市民活動団体であり、浮野の里を熟知している「浮野の里・葦の会」に委託し、「浮野の里」の環境を保全するとともに、地域の活性化に寄与した。

2　浮野の里トイレ清掃委託

清掃業務（週 2 回）を加須市シルバー人材センターに委託し、来訪者への衛生面の向上を図った。

3　さいたま緑のトラスト協会ボランティアスタッフの保全活動への参加

15 人がボランティアスタッフとして登録し、浮野の里・葦の会の活動にあわせて定期的（毎月 2 回）な保全活動を行い、浮野の里の自然環境保全に貢献した。

4　浮野の里あやめ祭り

毎年 6 月に浮野の里・葦の会主催により開催される「浮野の里・あやめ祭り」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

5　浮野の里ヨシ焼き

浮野の里の貴重な湿地環境の保全や害虫駆除のため、ヨシ焼きを実施した。

・日　　時　令和 4 年 1 月 10 日（月・祝）午前 8 時 30 分ごろから
・場　　所　浮野の里（加須市多門寺・北篠崎の一部 東北縦貫自動車道・加須ＩＣ北方）
・実施主体　浮野の里・葦の会

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">「風の里」環境保全事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">地域振興課（騎西）</td><td>総合振興計画コード</td><td>4212-02</td></tr>
<tr><td>款</td><td>04</td><td colspan="2">衛生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>20,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td colspan="2">保健衛生費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>1,304,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>03</td><td colspan="2">環境衛生費</td><td>決 算 額</td><td>1,276,000 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割をはたす“ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全・活用に努める。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">・周辺住民と協働しての清掃活動
（H22.8.30 に加須市と加須市上種足地区いきいき農村整備事業維持運営委員会が「加須市上種足地区いきいき農村整備事業施設の維持運営に関する協定」を締結）
・自然観察会等の実施
・池の護岸の修繕工事の実施</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割を果たす“ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全管理を市単独で行った。
また、池の木製護岸が老朽化のため崩れたため、補修工事を行った。
なお、貴重な自然環境を利用して、例年地元小学校の児童を対象に自然観察会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。</td></tr>
</table>

事 業 名		オニバス保護活用事業		
担 当 課		地域振興課（北川辺）	総合振興計画コード	4212-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	514,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	514,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	408,770 円
事業の目的	豊かな自然環境を保全するために、絶滅危惧種であるオニバス及び同所に自生する水生植物の保護育成を通じ、地域の活性化を図る。	事業の概要	オニバスの保護に伴う除草などの一連の作業をオニバスの会に委託している。 オニバスの会及び環境科学国際センター等の協力を得ながら、オニバスの保護育成に努める。	

事業の実績・成果

絶滅危惧種であるオニバスの保護に努めるとともに、その活動を通じ、地域の観光資源として活用を図るため、オニバスの会を中心に保護活動及びPR活動に取り組んだ。

1　オニバス自生地管理

オニバス保護活動団体である「オニバスの会」にオニバス自生地及び試験田等の管理委託を行い、開花時期に照準を合わせ、管理作業及び景観づくりに努めた。

（1）除草作業　　令和3年6月25日、7月2日、9日、16日（計4回）

（2）復元池干し上げ等の作業　　令和4年3月14日

※オニバス開花時期等

発芽確認　令和3年6月12日

開花確認　令和3年7月16日

2　オニバスガイドの活動内容

オニバスガイドを開設し、次の活動を行った。（チーフガイド2名、ボランティアガイド11名）

（1）オニバス開花時期のガイド活動

令和3年8月中の毎週土・日曜日及びお盆期間（13日（金）～16日（月）、午前8時～11時）

（2）オニバスフェスタ

令和3年8月中に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

（3）開花時期における来訪者数（7月下旬～9月上旬）　　（単位：人）

来訪者数等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開花時期の来訪者数	1,883	1,212	1,041	1,079	425
オニバスフェスタ来場者数	220	280	250	中止	中止

試験田のオニバスの花

復元池はオニバスが咲きませんでした。

事 業 名		一般廃棄物処理基本計画策定事業			
担 当 課		資源リサイクル課		総合振興計画コード	4411-01
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	678,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	866,035 円
目	03	環境衛生費		決 算 額	584,854 円
事業の目的	循環型社会の構築を目指すため、一般廃棄物の資源化・減量化・適正処理を総合的･計画的に推進する。		事業の概要	・現計画（計画期間：平成 24 年度～令和 3 年度）の次期計画策定に向けて、第 2 次加須市総合振興計画との整合を図り、第 2 次加須市一般廃棄物処理基本計画を令和 4 年度中に策定する。 計画期間：令和 4 年度～令和 13 年度	

事業の実績・成果

第 2 次加須市一般廃棄物処理基本計画の策定に向けて市民へアンケート調査を実施
　市民意向調査データ抽出対応作業委託料　442,035 円

【アンケート調査の概要】
① 調査地域　　市内の全域
② 調査対象　　市内の 1,000 人（男性 500 人／女性 500 人）
③ 対象年齢　　18 歳以上
④ 使用データ　住民基本台帳データ
⑤ 調査方法　　郵送配布・郵送回収
⑥ 調査期間　　令和 4 年 3 月 11 日～令和 4 年 3 月 28 日

事 業 名		一般廃棄物処理基本計画進行管理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4411-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	170,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	170,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	43,000 円
事業の目的	循環型社会の構築を目指すため、一般廃棄物の資源化・減量化・適正処理を総合的･計画的に推進する。		事業の概要	・一般廃棄物処理基本計画の施策を計画的に推進するため、省令第 1 条の 3 の規定により毎年度の事業に係る実施計画を定める。 ・計画の進行管理を行うため、前年度の事業成果を取りまとめ、廃棄物減量等推進審議会に報告し意見を聴く。 （現計画期間：平成 24 年度～令和 3 年度） ※次期計画令和 4 年度策定予定

事業の実績・成果

平成 24 年 3 月に策定した加須市一般廃棄物処理基本計画に基づき進行管理を行っている。10 年目となる令和 3 年度は､加須市廃棄物減量等推進審議会を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面審議にて 1 回開催し、各種意見を聴取するとともに、計画に基づいた一般廃棄物処理を行っていることが確認できた。

○令和 3 年度　第 1 回加須市廃棄物減量等推進審議会（書面審議）

1　開催日　　令和 4 年 2 月 18 日（金）

2　議事　　(1)役員の改選について
(2)令和 2 年度ごみ処理の状況について
(3)ごみの資源化・減量化に向けた取組について
(4)加須・大利根クリーンセンター事業報告について
(5)令和 2 年度指定ごみ袋の販売実績及び分別推進料の使いみちについて
(6)令和 2 年度いなほの湯運営実績について
(7)令和 3 年度一般廃棄物処理実施計画について
(8) 第 2 次加須市一般廃棄物処理基本計画策定について
（ア）第 2 次加須市一般廃棄物処理基本計画の策定概要について
（イ）基本計画策定に係る市民アンケートの実施について

書面回答委員数　18 人 ／ 委員数 18 人

事 業 名		５Ｒの推進事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4411-04
款	04	衛生費	当　初　予　算　額	5,556,000 円
項	01	保健衛生費	最　終　予　算　額	5,367,965 円
目	03	環境衛生費	決　　算　　額	2,953,133 円

事業の目的	市民との協働により「日本一のリサイクルのまち」をめざし、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの発生抑制・再使用・再生利用等５Ｒを推進し、市民の意識を高める。	事業の概要	・ごみ処理施設見学会、講座等の開催やホームページ、広報等を活用した市民への啓発を実施する。 ・資源ごみ回収報償金を交付し市民のリサイクル活動を支援する。

事業の実績・成果

ごみの資源化・減量化を図るため、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）、不要なものを買わない・もらわない（リフューズ）、修理しながら長く使い続ける（リペア）の５Ｒの推進に関する啓発活動を行った。

また、外国人の住民に対しても適正な分別を推進するため、ベトナム語版の「ごみの分け方・出し方」を作成した。（ほか、英語・中国語・ポルトガル語版あり）

さらに、小型家電の回収量の増加を図るため、平成30年7月から本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所に回収ボックスを設置し、資源化の周知及び排出機会の拡大を行った。

1　１人１日あたりのごみ排出量の推移　（単位：ｇ）

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
１人１日当たりのごみ排出量	984	995	966	1,010	984

2　資源ごみ集団回収

(1) 回収実績　（単位：kg、本、円）

団体数	紙 類	布 類	生びん	金属類	報償金	資源化総量
53 団体	552,720	12,080	12	19,463	2,921,430	584,275

(2) 回収量・報償金の推移　（単位：t、円）

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
回 収 量	1,068	1,007	948	517	584
報償金額	5,339,715	5,038,775	4,738,720	2,584,395	2,921,430

3　ごみ処理施設見学会の実施（小学４年生対象）

(1) 参加数（参加者数は、引率者を含む。）

学校数	クラス数	参加者数
0	0	0

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

4　小売店におけるリサイクルステーション（資源回収ボックス）設置状況を加須市ホームページへ掲載

事 業 名		バイオマス資源化事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4411-05
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	24,374,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	24,374,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	20,756,414 円
事業の目的	ごみの資源化・減量化のため、草木類や生ごみ等のバイオマス（生物由来のもの）の資源化を推進する。		事業の概要	・民間リサイクル業者と連携した草木類の資源化（チップ化して燃料へ）を実施する（緑のリサイクル事業）。 ・生ごみ処理容器等購入費補助金を周知及び交付する。 ・公園の剪定枝などをチップ化、堆肥化、木炭化する。また、体験会などを実施する。

事業の実績・成果

剪定枝、家具類などの木くず類について、「緑のリサイクル事業」として民間処理施設においてチップ化し、発電施設や製紙メーカーなどの工場で使用する電力用ボイラーなどの代替燃料として、資源化を図った。

また、公園の管理作業で発生する剪定枝や枯葉などの資源を再利用するとともに、自然への理解、環境への認識深めるため、チップ化体験会や炭焼き体験会の実施を準備しようとしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

1　草木類中間処理委託

（単位：kg、円）

年　　度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
資源化量	4,883,570	5,106,740	4,208,260	4,807,860	4,423,220
市委託処理量	1,832,010	1,928,640	1,918,260	2,275,070	2,033,570
委託費	16,343,534	16,664,069	16,798,677	20,071,449	17,895,416

※平成 23 年度からの開始

2　生ごみ処理容器等購入の支援

燃やすごみ減容のため、コンポスト・電気式処理機等の生ごみ処理容器購入費を助成した。

（平成 24 年 6 月 1 日から補助金額の統一・拡充）

補助上限額：電気式　　40,000 円／1 基

コンポスト　4,000 円／1 基

（単位：基、円）

機種	基数	補助金額
コンポスト	68	295,850
電気式処理機	62	2,262,318
計	130	2,558,168

3　チップ化体験会（けやき公園駐車場）

※　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

4　炭焼き体験会（種足ふれあいの森）

※　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

事業名	食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業			
担当課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4411-06
款	04	衛生費	当初予算額	211,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	211,000円
目	03	環境衛生費	決算額	82,500円
事業の目的	食品ロス及びプラスチックごみを削減させ、ごみの資源化・減量化を推進するとともに、世界的な問題となっている海洋汚染の防止等を図る。	事業の概要	・広報紙、ＨＰ、チラシ等により啓発活動を実施する。 ・食品ロス削減のため、食べきりかぞ協力店事業を実施する。 ・プラスチックごみ削減のため、マイバック・マイボトル運動を実施する。 ・市役所内においても、プラスチック削減運動（マイバッグ・マイボトル運動）を実施する。	

事業の実績・成果

本来食べられるのに廃棄されてしまう食品ロスを削減するため、市民への啓発のほか、来店者からの希望する量のメニューの導入や食べ残しの削減の対応などの協力を行う「食べきりかぞ」協力店の登録やＰＲを進め、ごみの減量化を図った。また、海洋プラスチック汚染が問題視されているなか、プラスチックごみの排出抑制のため、令和２年７月からのレジ袋有料化に伴い、マイバッグの利用推進を図った。

1　プラスチックごみの排出抑制、削減の取組み

(1) 市民向けにマイバッグの利用促進及びＰＲ（市内公共施設にポスター掲示、チラシを配布）

(2) 市役所内において、マイボトル・マイバッグ運動を推進（令和３年１月４日から）

2　食べきりかぞ協力店事業

生ごみの減量や、食品ロスの削減に向けた下記の取組を１つでも実践する店舗を、「『食べきり“かぞ”』協力店」として登録し、その取組をホームページにて周知した。

また、食べきりかぞ協力店ステッカー及びポスターを刷新し、協力店に配布した。

取組実践項目

(1) 小盛、ハーフサイズメニュー等の設定

(2) 来店者からの要望に応じた量の調整

(3) 食べ残し削減の呼びかけ

例：宴会での食べきりの呼びかけ、注文受付時に適量注文の呼びかけ、食べきり協力店である旨の呼びかけ等

(4) 量り売り、ばら売り、少量パック等による販売

(5) ポスター等の掲示による啓発活動の実施

(6) その他生ごみの減量・食品ロスの削減につながる取組の実施

（単位：店）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
登録店舗数	－	－	47	57	57

※令和元年度から実施

3　「てまえどり」帯POPのデザインの募集

市職員に募集を呼びかけ、8名の職員から12作品の応募があり、投票により3作品を選定し、店頭掲示候補作品とした。

4　食品ロス削減に関するその他の取組み

埼玉県を主体として、本市を含む6市で担当者レベルでの食ロス削減部（仮称）の活動を毎月1回実施した。（リモート会議）

事業名	リサイクル協働事業		
担当課	資源リサイクル課	総合振興計画コード	4411-07
款 04	衛生費	当初予算額	23,937,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	25,869,000円
目 03	環境衛生費	決算額	23,858,452円
事業の目的	ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの分別や集積所の管理等について、地区リサイクル推進協力会を中心とした市民との協働を進める。	事業の概要	・リサイクル推進協力会連絡会・役員会における地域間の情報共有、各地域協力会で実施する研修実施、各地区のごみ収納かご、カラスネット購入の支援を行う。 ・市内の地区協力会におけるごみ集積所管理等のリサイクル推進員の活動を支援する。 ・ごみ集積所整備に対する支援を行う。

事業の実績・成果

「日本一のリサイクルのまち」を目指し、ごみの分別・収集体制の統一を機に設立した市民団体であるリサイクル推進協力会を多方面から支援し、市民と行政の協働によるごみの資源化と減量化を図った。

1　ごみ集積所整備の支援　　11件　887,828円
ごみの集積所の新設、改修等について、各地区のリサイクル協力会に補助金を交付した。

2　地区リサイクル推進協力会への支援
(1)各地区リサイクル推進協力会交付金を交付した。

（単位：地区、円）

地域	地区協力会数	交付金額
加須地域リサイクル推進協力会	75	9,835,400
騎西地域リサイクル推進協力会	48	2,664,300
北川辺地域リサイクル推進協力会	19	897,900
大利根地域リサイクル推進協力会	37	1,957,400
合計	179	15,355,000

(2)ごみ集積所の適正管理・不法投棄対応等に係る現地確認、指導等を行った。

3　地域リサイクル推進協力会・リサイクル推進協力会連絡会の運営支援
(1)リサイクル推進員研修の実施
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リサイクル推進員にマニュアルを送付した。
（リサイクル推進員数　889人）

(2)リサイクル推進協力会役員会、リサイクル推進協力会連絡会を開催し、情報提供、情報共有を行った。

事業名	資源物再生処理事業			
担当課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4411-08
款	04	衛生費	当初予算額	201,922,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	200,827,500円
目	03	環境衛生費	決算額	176,917,518円
事業の目的	循環型社会の構築をはかるため、ごみの資源化・減量化を推進する。	事業の概要	・スチール缶、アルミ缶、飲食用びん、ペットボトル、プラスチック類・ゴム製品、紙・布類、小型家電、布団の資源化を図る。	

事業の実績・成果

資源ごみ等のリサイクルを行うとともに、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、びん類・ペットボトルの再商品化を図り、ごみの資源化・減量化を推進した。

1　リサイクル率の推移　（単位：%）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
リサイクル率	38.8	38.4	37.1	38.4	37.4

※令和3年度までの目標値40%

2　再生資源売払代金（歳入）

分別収集された資源ごみや焼却後の磁性物、クリーンセンターで分別した小型家電や布団、硬質プラスチック、粗大ごみ処理施設での破砕処理後の金属類などを再生事業者に売払った。

（単位：kg、円）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資源化量	3,974,191	3,806,248	3,744,929	4,071,482	3,839,213
売払代金	33,970,472	29,727,004	17,930,696	16,418,037	39,976,016

3　容器包装リサイクル法に係る拠出金（歳入）

・有償入札拠出金（ペットボトル）　8,519,074円

4　資源ごみの中間処理の概要

分別収集した資源ごみ等について、リサイクルを図った。

（単位：kg、円）

品目	委託事業者	処理量	委託料	備考
びん類	㈱ｳｨｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	114,140	4,067,945	容器包装リサイクル法に基づく処理
びん類	㈱山口商店	358,800	9,077,640	
びん類	三栄ガラス㈱	193,880	260,315	
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 ｺﾞﾑ製品	㈱ダイヤ整環	2,075,840	105,037,504	
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 ｺﾞﾑ製品	㈱ｳｨｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	686,730	44,191,072	容器包装リサイクル法に基づく処理
ペットボトル	(公社)加須市 シルバー人材センター	194,086	5,766,494	

事 業 名		ＰＣＢ廃棄物適正処理推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4412-06
款	04	衛生費	当　初　予　算　額	6,823,000 円
項	01	保健衛生費	最　終　予　算　額	6,724,000 円
目	03	環境衛生費	決　　算　　額	5,655,634 円
事業の目的	PCB 特措法に基づく適正な PCB 廃棄物等の保管・処理を実施する。		事業の概要	市の保有する PCB 廃棄物の保有状況調査を適宜実施し、保管及び処分に係る計画・スケジュールを作成する。 また、当該計画等に基づき、各保有課と調整のうえ、法令に定める適正な保管・処分を計画的・効率的に実施する。

事業の実績・成果

1　PCB 廃棄物の保管及び処分状況等届出書の取りまとめ

毎年県への届出が義務付けられている PCB 廃棄物の保管及び処分状況届出書について、一括して取りまとめ、提出した。

2　特別管理産業廃棄物管理責任者講習会の参加

PCB 廃棄物の適正保管を実施するため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが主催する講習会へ参加した。

(1) 対 象 課　　特別管理産業廃棄物管理責任者の未設置課

(2) 参加人数　　4 人

3　PCB 廃棄物処理業務

各施設で保管していた高濃度 PCB 廃棄物について、適正に処理を行った。

No.	施設名	廃棄物の種類	数量	濃度区分
1	北川辺北部浄水場	コンデンサー	1 基	高濃度
2	大利根総合支所	コンデンサー	1 基	高濃度
3	旧加須学校給食センター跡地	コンデンサー	1 基	高濃度
4	三俣小学校	コンデンサー	1 基	高濃度
5	北川辺東小学校	コンデンサー	1 基	高濃度
6	加須北中学校	コンデンサー	1 基	高濃度
7	大利根中学校	コンデンサー	1 基	高濃度

事業名	不法投棄防止事業			
担当課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4433-04
款	04	衛生費	当初予算額	1,386,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,386,000円
目	03	環境衛生費	決算額	1,181,370円
事業の目的	地域の環境美化及び生活環境の保全を図るため、ごみの不法投棄を防止する。		事業の概要	・関係課との合同パトロールを行い、ごみの不法投棄を防止する。 ・希望する市民へ看板を配布し、民地への不法投棄防止を支援する。 ・集積所への不法投棄ごみのうち、タイヤなどの処理困難物を回収し適正に処理する。 ・集積所への不法投棄防止対策を検討する。

事業の実績・成果

市民からの情報提供や日々の不法投棄防止パトロールにより、ごみ集積所の不適正排出、道路・河川等の不法投棄によるごみを回収し、処理困難物の適正処理を行い、生活環境の保全を図った。

また、不法投棄防止看板を作製し、希望する市民に配布した。

1　不法投棄処理困難物処理　（単位：kg、円）

委託先	処理困難物	処理量	委託料
(株)クワバラ・パンぷキン	ﾀｲﾔ・ｿﾌｧｰ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・消火器等	7,660	99,580
(株)ダイヤ整環	ﾀｲﾔ・ﾏｯﾄﾚｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ等	9,460	122,980
(財) 家電製品協会 ((有)ヤマトヨ商店の運搬料含む)	特定家庭用機器	－	301,010
合計		17,120	523,570

2　不法投棄防止看板等の作成　（単位：枚及び本、円）

作成物	作成数	購入費
不法投棄防止看板	120	343,200
資源ごみ持ち去り禁止看板	100	105,600
看板取付用支柱	190	209,000
合計	－	657,800

事業名	生活環境緊急対策事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4433-06
款	04	衛生費	当初予算額	235,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	235,000円
目	03	環境衛生費	決算額	90,416円
事業の目的	市民の生活環境の保全を図るため、緊急性を要する事故・災害の発生時において、環境衛生面での迅速な対応を行う。		事業の概要	油の流出などの水質事故への迅速な対応や床下浸水被害家屋等への消毒の迅速な実施などの生活環境上の緊急時の対応を行う。また、スズメ蜂などの害虫駆除業者の市民への紹介を行う。

事業の実績・成果

1　市民からの蜂駆除に関する問合せ・相談
　駆除事業者等の紹介　114件

2　集中豪雨や台風の影響による床下浸水家屋の床下消毒の実施
　令和3年度浸水家屋消毒件数　0件

事 業 名		広域利根斎場組合運営事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	5315-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	43,176,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	43,176,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	43,176,000 円
事業の目的	生活環境の保全を図るため、「広域利根斎場」の円滑な管理運営を行う。	事業の概要	火葬業務等を行う斎場（メモリアルトネ）の管理運営を行うため、運営費負担金を支出する。 【構成市】：加須市、久喜市、幸手市、宮代町	

事業の実績・成果

1　広域利根斎場組合の施設の維持管理や運営業務が円滑に行われるよう負担金を交付した。

負担金額の推移　（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
負担金額	38,955,000	38,950,000	38,371,000	37,887,000	43,176,000
負担金総額	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	125,000,000

※負担金総額は、久喜市・加須市・幸手市・宮代町の合計

＜参考＞広域利根斎場組合決算額の推移　（単位：円）

決　算　額	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳　入	261,051,737	249,378,699	246,105,691	236,123,705	311,083,061
歳　出	224,489,335	214,628,166	216,775,465	208,424,717	269,352,481

2　広域利根斎場組合施設使用状況

・火葬受入件数は、1 日最大人体 16 件、小動物の単独火葬 1 日 2 件

広域利根斎場組合施設利用の推移（加須市分）　（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
火葬室	1,081	1,166	1,178	1,188	1,257
待合室	1,553	1,579	1,536	1,321	1,390
葬祭場	619	654	601	492	444
霊安室	277	296	268	171	161
小動物	1,237	1,167	1,171	1,147	1,119

事 業 名		保健センター管理運営事業			
担 当 課		いきいき健康長寿課		総合振興計画コード	1111-29
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	11,010,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	18,432,394 円
目	04	保健センター費		決 算 額	11,310,429 円
事業の目的	健康づくりの拠点である加須保健センターの施設設備を適切に維持管理するとともに有効活用を図る。		事業の概要	老朽化の進んでいる加須保健センターの施設、電気、機械設備等を計画的に維持管理・修繕する。	

事業の実績・成果

消防設備点検、自家用電気工作物管理、清掃業務、冷暖房保守及び警備等の委託による管理運営を行うとともに、コピー、冷暖房灯油、電気、ガス、水道・下水道及び電話等の適正管理に努めた。

加須保健センターにおいて、下表の修繕及び工事を実施した。

修繕・工事名	執行額
照明器具修繕	42,350 円
屋上冷温水発生機部品交換修繕	99,594 円
採光窓雨漏修繕	856,900 円
空調設備修繕（冷却塔、ファンコイルユニットドレン）	134,750 円
空調設備修繕（送風機）	82,500 円
混合水栓等修繕	160,000 円
南側外部自動ドア修繕	304,700 円
和室天井修繕	133,100 円
ホール空調設備工事	495,000 円
南側外部自動ドア修繕	339,000 円
合計	2,647,894 円

【繰越明許　令和３年度から令和４年度へ繰り越す理由】

繰越明許	繰越額
２階エアコン設置工事	5,357,000 円
タブレット型検温機購入	440,000 円
空気清浄機購入	550,000 円
合計	6,347,000 円

２階エアコン設置工事については令和３年 12 月議会において補正予算を計上したものであるが、議決日から年度末までの期間が短く、年度内の工事完了が見込めないため繰り越した。

タブレット型検温機及び空気清浄議購入については、令和４年３月議会において、補正予算を計上したものであるが、議決日から年度末までの期間が短く、年度内の納品が見込めないため繰り越した。

事 業 名		医療診断センター管理運営事業		
担 当 課		健康医療推進課	総合振興計画コード	1132-06
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	116,922,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	116,922,000 円
目	05	医療診断センター費	決 算 額	114,310,486 円
事業の目的	高度医療機器を活用した画像診断によって地域医療の高度化を図り、もって、市民の健康の保持・増進に寄与する。		事業の概要	MRＩやＣＴ等の高度医療機器を活用し、医療機関からの依頼による検査及び市民の健康の保持増進に必要な事業（脳ドック、乳がん検診）を実施する。 また、地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した医療連携を推進する。

事業の実績・成果

MRＩやＣＴなどの高度医療機器を使って、医療機関からの依頼による検査や脳ドック検査などを行うことで地域医療に貢献し、市民の健康の保持・増進を図ることができた。

1　年度別検査の状況　（単位：件）

区分 / 年度	診療日数	医療機関からの依頼件数					検診件数			合 計
		MRI	CT	MMG	超音波	小計	脳ドック	乳がん	小 計	
平成29年度	245	1,806	635	38	1	2,480	188	1,809	1,997	4,477
平成30年度	244	1,651	823	46	0	2,520	181	1,766	1,947	4,467
令和元年度	240	1,727	904	39	0	2,670	136	1,792	1,928	4,598
令和2年度	243	1,576	923	48	0	2,547	112	1,465	1,577	4,124
令和3年度	242	1,568	909	39	0	2,516	110	1,798	1,908	4,424

2　脳ドック検査の状況

MRＩを使って脳ドック検査を実施し、受検者の疾病等の早期発見や健康意識の向上などに貢献した。

	件　数	市内・市外の別		備　　考
		市　内	市　外	うち、国民健康保険、後期高齢者医療利用補助
人　数(件)	110	89	21	国保62　後期高齢14
割　合(%)		80.9	19.1	69.1

3　乳がん検診の状況

マンモグラフィを使って乳がん検診（個別検診）を実施し、がんの早期発見、早期治療につなげることができた。

	受診者数	要精密検査者数	うち、乳がん発見者数
人　数(件)	1,798	124	5
割　合(%)		6.9	4.0

※個別検診（医療診断センター分）のみ集計

事 業 名	健康ふれあいセンター管理運営事業			
担 当 課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	1113-19
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	51,983,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	53,077,500 円
目	06	健康ふれあいセンター費	決 算 額	50,534,002 円
事業の目的	市民の健康の保持及び増進、体力の向上並びに住民相互のふれあいと交流の場としての施設の管理運営を行う。	事業の概要	・指定管理者による施設の管理・運営を実施し、衛生管理や設備の点検及び修繕を行う。 ・経営安定化のための集客事業を実施する。	

事業の実績・成果

健康ふれあいセンターの管理運営を指定管理者の㈱クリーン工房に委託し、民間のノウハウを活用した運営を行った。

※指定管理の期間は令和３年４月～令和６年３月までの３年間

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、営業時間を短縮して開館した。

1　入館者数

入館者数は、55,983 人で前年比 147.1%となった。

（単位：日、人）

年度	営業日数	入館者数			
		大人	子供（小学生）	幼児（小学校就学前）	合　計
平成 29 年度	311	68,347	4,634	4,319	77,300
平成 30 年度	311	67,565	3,615	3,009	74,189
令和元年度	293	65,959	3,827	2,694	72,480
令和２年度	241	35,398	1,512	1,135	38,045
令和３年度	310	52,269	2,073	1,641	55,983

2　施設利用料金及び売上金（指定管理者の収入）

売上げは、36,972,682 円で前年比 142%となった。

（単位：円）

年度	施設利用料金	売上金	合　計
平成 29 年度	28,313,600	33,436,833	61,750,433
平成 30 年度	27,075,050	30,728,840	57,803,890
令和元年度	26,076,250	28,166,174	54,242,424
令和２年度	14,881,000	11,142,441	26,023,441
令和３年度	21,839,000	15,133,682	36,972,682

3　主な施設の修繕等

・配管洗浄剤購入（レジオネラ菌対策）
・ＧＦサンラウンジャー購入
・最終排水槽排水ポンプ No1、No2 交換修繕
・スパ空調機ＡＨＵ－1 自動制御機器修繕
・健康ふれあいセンター正面玄関周囲インターロッキング修繕

【繰越明許　令和３年度から令和４年度に繰り越す理由】
健康ふれあいセンターの修繕（繰越明許額　1,639,000 円）
・上水給水ポンプユニット更新
・再利用水給水ポンプフート弁更新
コロナ禍により機器製造メーカーの工場閉鎖で部品等の納期が見通せない状況であり、納期未定の状態が続いているため。

健康ふれあいセンターの備品購入（繰越明許額　563,000 円）
・厨房ガス湯沸かし器購入
・厨房ガスフライヤー購入
コロナ禍により機器製造メーカーの工場閉鎖で製品の納期が見通せない状況であり、納期未定の状態が続いているため。

事 業 名		加須クリーンセンター管理運営事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4412-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	11,427,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	11,427,000 円
目	01	清掃総務費	決 算 額	11,249,090 円

事業の目的	処理施設の適切な管理運営のために、施設の安全管理及び周辺環境美化を推進する。	事業の概要	・処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る。

事業の実績・成果

加須クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。

また、周辺環境対策として地元環境対策協議会へ補助金を交付した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、視察研修や懇談会が中止になったことから、地元環境対策協議会会長とは、随時打合せを行い、さらに、加須クリーンセンターの事業報告書を協議会に提出し、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。

1　円滑な受付、誘導

受付を会計年度任用職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。

2　適切な施設管理

(1) 施設保守点検　・施設警備保守
　　・自動ドア保守点検

(2) 場内環境美化　・場内樹木剪定委託
　　・場内清掃業務委託

3　周辺環境対策

周辺ほ場に景観形成作物としてホテイアオイ等の植付けを行い、いなほの湯や加須クリーンセンターへの来館者の目を楽しませるとともに、周辺環境の向上及び地域の活性化を図った。

事 業 名		大利根クリーンセンター管理運営事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4412-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	9,206,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	9,206,000 円
目	01	清掃総務費	決 算 額	8,647,205 円

事業の目的	処理施設の適切な管理運営のために、ごみの適正処理及び周辺環境美化を推進する。	事業の概要	・処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る。（中止）

事業の実績・成果

大利根クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。

また、周辺環境対策として地元環境対策協議会へ補助金を交付した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、視察研修や懇談会が中止になったことから、地元環境対策協議会会長とは、随時打合せを行い、さらに、大利根クリーンセンターの事業報告書を協議会に提出し、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。

1　円滑な受付、誘導

受付を臨時職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。

2　適切な施設管理

(1)　施設保守点検　・自家用電気工作物保安管理
　　・消防設備点検
　　・浄化槽保守点検

(2)　場内環境美化　・場内樹木消毒
　　・高木剪定を委託

3　周辺環境対策

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 3 年度に実施を予定していた視察研修及び住民懇談会は中止した。

事業名	ごみ収集事業			
担当課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4411-03
款	04	衛生費	当初予算額	509,983,000円
項	02	清掃費	最終予算額	511,591,696円
目	02	じん芥処理費	決算額	505,498,295円

事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみ集積所に出されたごみを適正に収集運搬する。	事業の概要	・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等を適正に収集運搬する。 ・ごみカレンダー等を配布し、ごみ収集日程やごみの出し方などを周知徹底する。 ・指定ごみ袋取扱店と連携した指定ごみ袋の安定供給とごみ処理手数料の円滑な徴収・収納を実施する。

事業の実績・成果

ごみに出されたごみを適正に収集運搬するとともに、指定ごみ袋制度、粗大ごみの戸別収集を実施し、生活環境の保全等を図った。

1　燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等収集運搬業務委託　427,150,680円

市民が集積所に出した燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ等の収集運搬業務及び粗大ごみ戸別収集業務を委託し収集を行った。

○収集品目別・地域別委託料　（単位：円）

<table>
<tr><th>収集品目</th><th>加須</th><th colspan="2">騎西</th><th>北川辺・大利根</th></tr>
<tr><td>燃やすごみ</td><td rowspan="2">122,593,680</td><td>A</td><td rowspan="6">A：41,751,600
B：38,808,000</td><td>38,257,560</td></tr>
<tr><td>プラスチック類・ゴム製品</td><td>B</td><td rowspan="4">32,240,340</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ</td><td rowspan="4">90,010,800</td><td rowspan="3">A</td></tr>
<tr><td>危険ごみ</td></tr>
<tr><td>粗大ごみ</td></tr>
<tr><td>びん・缶・ペットボトル</td><td rowspan="2">B</td><td>27,310,800</td></tr>
<tr><td>紙・布類</td><td>20,097,000</td><td>16,080,900</td></tr>
</table>

※集積所のごみ収集を祝日も実施したことにより、市民サービスの向上が図られた。

2　指定ごみ袋制度の運用

指定ごみ袋の製造及び配送を行い、ごみ処理手数料を徴収した。　（単位：冊、円、店舗）

<table>
<tr><th colspan="2">販売冊数</th><th>手数料徴収額</th><th>徴収委託料</th><th>登録店舗数</th></tr>
<tr><td>燃やすごみ　45ℓ</td><td>222,276</td><td>55,569,000</td><td rowspan="9">19,747,662</td><td rowspan="9">203</td></tr>
<tr><td>燃やすごみ　30ℓ</td><td>147,472</td><td>25,070,240</td></tr>
<tr><td>燃やすごみ　20ℓ</td><td>99,589</td><td>10,954,790</td></tr>
<tr><td>燃やすごみ　15ℓ</td><td>94,954</td><td>6,646,780</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ　45ℓ</td><td>15,048</td><td>3,762,000</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ　30ℓ</td><td>8,351</td><td>1,419,670</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ　20ℓ</td><td>5,760</td><td>633,600</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ　10ℓ</td><td>4,964</td><td>248,200</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>598,414</td><td>104,304,280</td></tr>
</table>

・指定ごみ袋製造・配送業務委託料　42,411,171円

・指定ごみ袋受注及びごみ処理手数料出納業務委託料　6,402,000円

3　犬猫等死体処理業務委託　726,000円

市の管理する道路等の犬や猫等の動物の死体処理を適正に行った。（処理件数 55件）

4　ごみカレンダー

令和4年度版を庁内印刷により作成し、令和4年3月に全戸配布した。

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した。（別冊参照）

事業名	加須クリーンセンターごみ処理事業		
担当課	資源リサイクル課	総合振興計画コード	4412-03
款 04	衛生費	当初予算額	605,079,000円
項 02	清掃費	最終予算額	619,275,000円
目 02	じん芥処理費	決算額	591,207,143円
事業の目的	加須・騎西地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。	事業の概要	・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、ペットボトル等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設、ペットボトル減容施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・最終処分場を維持管理する。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域等から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。

1　燃やすごみの処理

○燃やすごみ搬入量　（単位：t）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
22,375	22,479	22,473	22,686	22,184

燃やすごみの中から、草木類48t、紙類79t、布団類8t、布類9tを分別し資源化した。

2　燃やさないごみ、粗大ごみ、危険ごみの処理

○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む）　（単位：t）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1,631	1,712	1,765	2,191	2,013

○粗大ごみ搬入量　（単位：t）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
90	98	106	132	123

燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類355t、小型家電210t、金属類488ｔ、プラスチック類82t、硬質プラスチック26t、びん類16t、アルミ缶4t、スチール缶8tを分別し資源化した。また、危険ごみの中から、乾電池35t、蛍光管9tを資源化した。

3　ペットボトルの処理

○ペットボトル処理量　（単位：t）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
218	223	210	212	207

処理量に、ペットボトルのラベル、キャップを含む。

4　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
3,058	資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	2,245	63,578,350
	埋立処分	数量	委託料
	㈱ｳｲｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	553	18,540,061
	ｸﾞﾘｰﾝﾌｨﾙ小坂（株）	239	9,231,261
	埼玉県環境整備センター	21	464,200

※委託料に運搬費を含む。

不燃残渣の処分の状況　（単位：t、円）

不燃残渣発生量	処分の内容		
336	埋立処分	数量	委託料
	埼玉県環境整備ｾﾝﾀｰ	336	8,858,142

※委託料に運搬費を含む。

○自己最終処分場の状況　（単位：㎥）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
埋立量	0	0	0	0	0
残余容量	11,151	11,151	11,151	11,151	11,151

5　施設修繕の状況

＜ごみ焼却施設＞

・1号給じん装置用油圧シリンダ補修

・1号・2号焼却炉耐火物修繕及び1号ガス冷却室天井部交換修繕

・１号加熱ファン、ベアリング交換

・ごみ焼却棟事務室空調機修繕

＜粗大ごみ施設＞

・ペットボトル減容機油圧配管交換修繕（その1・その2）

・破砕棟作業員室空調機修繕

-粗大ごみ処理施設設備機器修繕

＜浸出水処理施設＞

・浸出水処理施設ポンプ類整備

6　リサイクルフェアの実施

例年、粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を開催していたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

7　上尾市ごみ処理施設の火災による不燃ごみの受入

上尾市のごみ処理施設（西貝塚環境センター）の一部が火災により、処理できなくなったため、不燃ごみの一部を令和3年4月1日から7月31日まで計113.89ｔを受け入れ処理した。

8　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した。（別冊参照）

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">加須クリーンセンターごみ処理事業【繰越明許】</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">資源リサイクル課</td><td>総合振興計画コード</td><td>4412-03</td></tr>
<tr><td>款</td><td>04</td><td colspan="2">衛生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>47,317,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">清掃費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>47,317,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>02</td><td colspan="2">じん芥処理費</td><td>決 算 額</td><td>44,517,000 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">加須・騎西地域等から排出されるゴンの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、ペットボトル等の中間処理・処分を実施する。
・ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設、ペットボトル減容施設の運転及び維持管理を行う。
・直接搬入ごみの分別指導を行う。
・最終処分場を維持管理する。
・環境調査を実施する。
・リサイクルフェアを実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">経年劣化による異常等が確認された設備の修繕や備品購入を行い、加須クリーンセンターのごみ処理が停滞することなく、継続的・安定的に行われるようにした。

＜加須クリーンセンターごみ焼却施設の修繕＞
ごみ焼却施設処理水噴霧ポンプ更新等修繕　14,300,000 円
4 成分ガス分析計更新等修繕　21,230,000 円
＜加須クリーンセンター浸出水処理施設の修繕＞
浸出水処理施設ポンプ類整備　5,148,000 円
＜加須クリーンセンター粗大ごみ処理施設の備品購入＞
ショベルローダ購入　3,839,000 円</td></tr>
</table>

事 業 名		大利根クリーンセンターごみ処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4412-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	190,927,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	201,927,000 円
目	02	じん芥処理費	決 算 額	185,911,883 円
事業の目的	北川辺・大利根地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。	事業の概要	・燃やすごみ等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。（中止）	

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。

1　燃やすごみの処理

○燃やすごみ搬入量　（単位：t）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
5,574	5,634	5,808	6,036	6,050

燃やすごみの中から、草木類 921t、紙類 57t、布類 3t を分別し資源化した。

2　燃やさないごみ、粗大ごみの処理

○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む）　（単位：t）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
157	160	159	160	160

○粗大ごみ搬入量　（単位：t）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
207	223	228	303	250

燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類 135t、小型家電 36t、金属類 63t、プラスチック類 129t、硬質プラスチック 7t、びん類 8t、アルミ缶 1t、スチール缶 1t、乾電池 1t、蛍光管 1t を分別し資源化した。

3　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量（ばいじん含む）	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	383	10,536,350
587	ﾒﾙﾃｯｸ㈱	58	2,766,207
	埋立処分	数量	委託料
	㈱ｳｲｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	146	6,172,509

※委託料に運搬費を含む。

4　施設修繕の状況

・破砕機切断刃交換修繕：破砕機の切断刃の取替修繕
・減温水ポンプ取替修繕：減温水ポンプの取替修繕
・ごみ焼却炉内耐火物修繕（2 号炉）：焼却炉内の耐火物の取替修繕
・1 号炉内火格子取替修繕：焼却炉内の火格子の取替修繕
・水噴霧用コンプレッサー交換修繕：水噴霧用コンプレッサーの取替修繕
・中央制御室エアコン緊急修繕：中央制御室のエアコンの取替修繕

5　リサイクルフェアの実施

例年、粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を開催していたが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

事 業 名		加須クリーンセンターし尿処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4424-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	157,292,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	157,292,000 円
目	03	し尿処理費	決 算 額	136,176,303 円
事業の目的	河川の浄化を図るため、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。	事業の概要	・浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。	

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。

1　し尿及び浄化槽汚泥の処理

○し尿処理量　（単位：kl）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
生し尿	788	731	714	660	590
浄化槽汚泥等	18,580	18,716	18,785	19,611	19,633
合計	19,368	19,447	19,499	20,271	20,223

2　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
67	再資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	67	2,188,497

※委託料に運搬費を含む。

3 公衆衛生向上の支援

し尿の適正処理及び悪臭防止を推進するため、し尿収集運搬許可業者9社で組織する加須市清掃組合に対し補助金を交付し公衆衛生向上に努めた。

・悪臭防止対策（清掃車から発生する悪臭防止対策）　480,000円

・し尿処理業務の円滑化対策　180,000円

【繰越明許　令和3年度から令和4年度に繰り越す理由】

加須クリーンセンターし尿処理施設の修繕（繰越明許額　19,624,000円）

・し尿処理施設修繕工事

原契約の修繕作業中に、新たな部品の交換が必要となったが、その部品については工場製作による受注生産品であること、また、コロナ禍による生産能力の減により、納期が令和4年5月の見込みとなったため。

事 業 名		大利根クリーンセンターし尿処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4424-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	84,823,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	84,823,000 円
目	03	し尿処理費	決 算 額	82,586,338 円
事業の目的	河川の浄化を図るため、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。	事業の概要	・浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。	

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。

1　し尿及び浄化槽汚泥の処理

○し尿処理量　（単位：kl）

区　分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
生し尿	596	575	547	502	521
浄化槽汚泥等	9,940	10,471	10,985	11,955	11,587
合　計	10,536	11,046	11,532	12,457	12,108

2　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
33	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	33	886,325

※委託料に運搬費を含む。

3　施設修繕の状況

・返送汚泥引抜ポンプ用インバーター交換修繕：汚泥ポンプ用の部品の取替修繕
・循環液移送ポンプ修繕:移送ポンプの部品の取替修繕
・井水管漏水緊急修繕:漏水による井水管の取替修繕
・機械設備修繕: 取水設備、前処理設備（細目スクリーン・スクリュープレス)、焼却設備、UV 計・演算器等修繕の取替修繕